

川口市
第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定に係る高齢者等実態調査
調査結果報告書

平成26年3月

もくじ

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査方法	1
4. 調査時期	1
5. 回収状況	1
6. 報告書の見方	2
II 調査結果(1号被保険者・2号被保険者)	3
1 基本項目	3
2 家族や生活状況	8
3 外出	20
4 口腔・栄養	25
5 日常生活	33
6 社会参加	38
7 健康	54
8 介護保険	70
9 高齢者福祉サービス全般	78
III リスク分析(1号被保険者)	83
1. 運動器	83
2. 閉じこもり	84
3. 転倒	85
4. 栄養	86
5. 口腔	87
6. 認知症予防	88
7. 認知機能障害程度	89
8. うつ予防	90
9. 虚弱	91
10. 二次予防対象者	93
11. 日常生活動作	96
12. 手段的日常生活動作	98
13. 知的能動性	100
14. 社会的役割	101
15. 生活機能総合評価	102

IV 各地区のリスク該当状況(1号被保険者)	103
1. 運動器	103
2. 閉じこもり	104
3. 転倒	105
4. 栄養	106
5. 口腔	107
6. 認知症予防	108
7. 認知機能障害程度	109
8. うつ予防	110
9. 虚弱	111
10. 二次予防対象者	112
11. 日常生活動作	113
12. 手段的日常生活動作	114
13. 知的能動性	115
14. 社会的役割	116
15. 生活機能総合評価	117
V 調査結果(介護サービス事業者)	119
1 基本項目	119
2 事業運営	120
3 サービス提供	126
VI 自由記載	135
1 1号被保険者	135
2 2号被保険者	138
3 介護サービス事業者	140
VII 調査票	144

I 調査概要

1. 調査の目的

第6期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、円滑な計画策定に必要な基礎資料とするための実態調査及び集計・分析を行うことを目的として、アンケート調査を実施しました。

2. 調査設計

調査の種別	対象者	抽出数
1号被保険者	65歳以上の市民	4,500
2号被保険者	2号被保険者のうち55～64歳の市民	1,200
介護サービス事業者	市内の介護サービス事業者	300

3. 調査方法

郵送配布・郵送回収

4. 調査時期

平成26年1月～2月

5. 回収状況

調査の種別	有効回収数	有効回収率
1号被保険者	3,011	66.9%
2号被保険者	661	55.1%
介護サービス事業者	223	74.3%

I 調査概要

6. 報告書の見方

- (1) 回答結果は、有効サンプル数に対して、少数点第2位を四捨五入したそれぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様となります。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (4) グラフ及び表のN数は有効標本数（集計対象者総数）、(SA)は単数回答の設問、(MA)は複数回答の設問、(NA)は数量による設問、(FA)は記述による設問を表しています。
- (5) 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- (6) クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致しない場合があります。

II 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

1 基本項目

■調査結果概要

調査票記入者は、74歳未満では8割以上が「あて名のご本人が記入」となっていますが、75歳以上では6割弱となり、3割弱が「ご家族が記入」となっています。

回答者の年齢は、1号被保険者では、「65～69歳」が19.7%、「70～74歳」が21.7%、「75～79歳」が20.5%、「80～85歳」が20.3%、「85歳以上」が17.8%となっています。

2号被保険者では、「50～59歳」が43.6%、「60～64歳」が55.1%となっており、1号被保険者、2号被保険者ともに年齢間の大きな差はありません。

回答者の性別は、1号被保険者、2号被保険者ともに女性の割合がやや高くなっています。

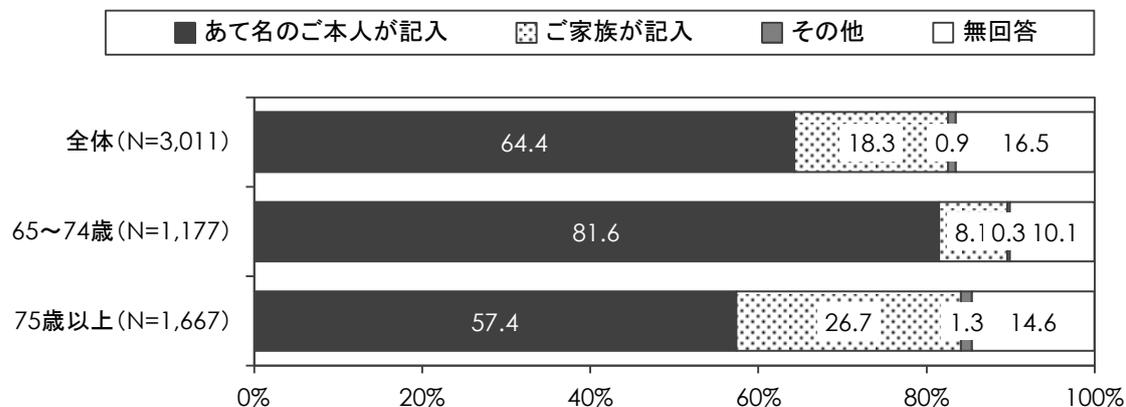
回答者の居住地区では、1号被保険者、2号被保険者ともに大きな地域差は見られません。

Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

1. 調査票記入者

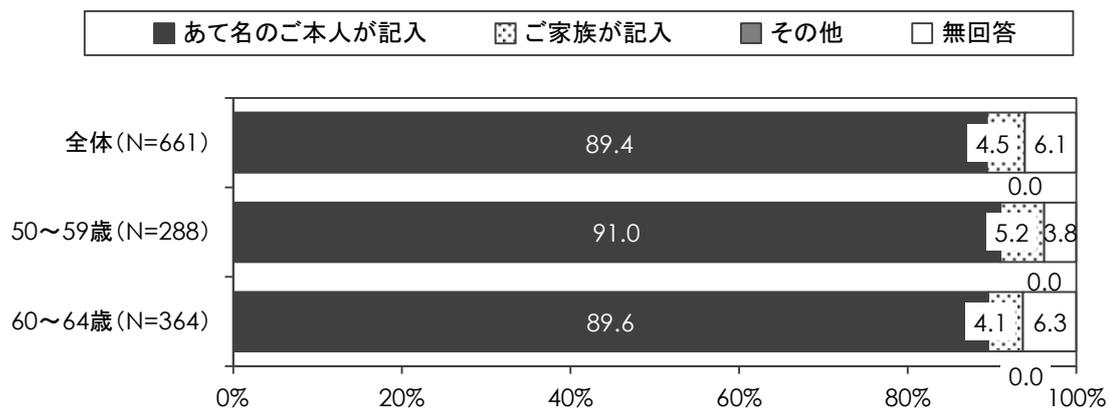
【1号被保険者】

①調査票を記入されたのはどなたですか（SA）



【2号被保険者】

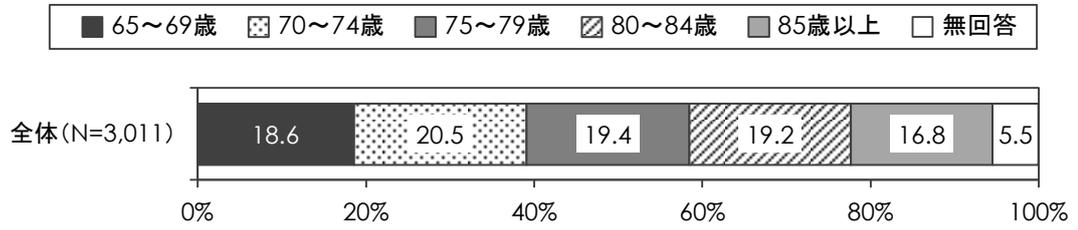
①調査票を記入されたのはどなたですか（SA）



2. 回答者の年齢

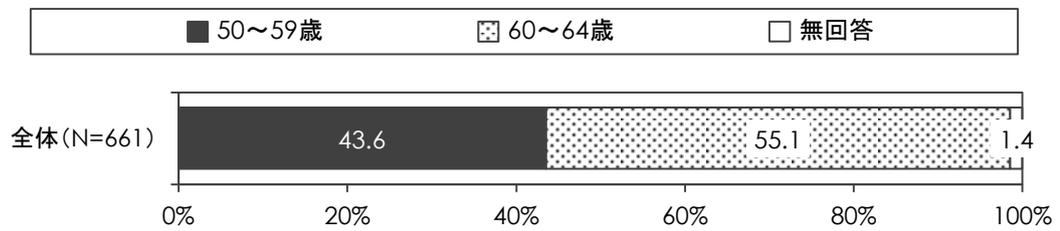
【1号被保険者】

②年齢(SA)



【2号被保険者】

②年齢(SA)

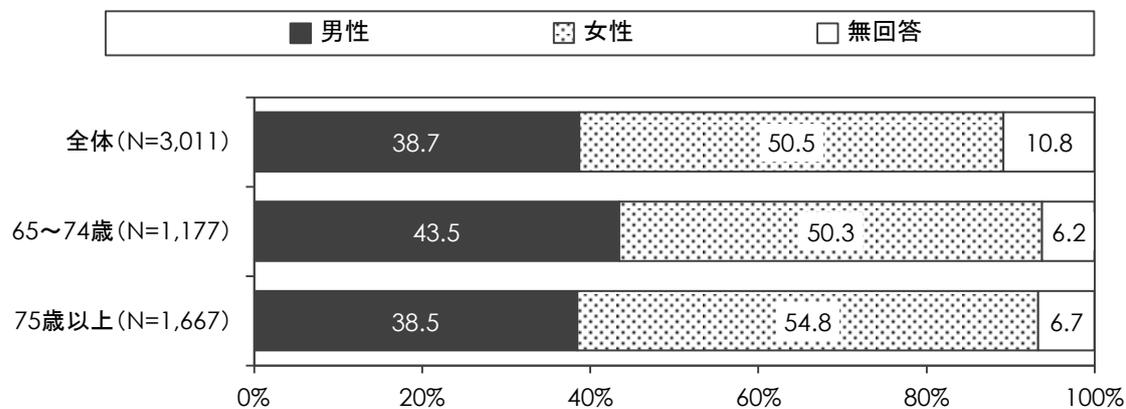


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

3. 回答者の性別

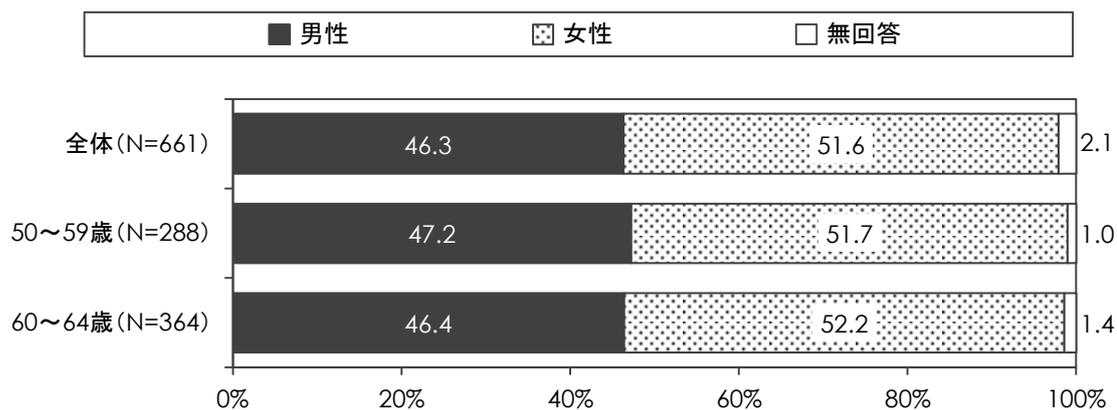
【1号被保険者】

③性別(SA)



【2号被保険者】

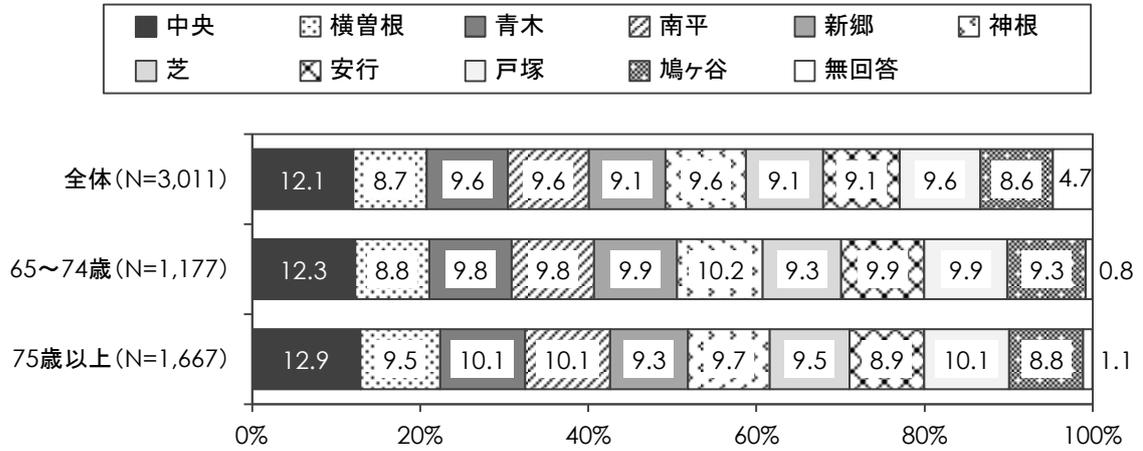
③性別(SA)



4. 調査対象者の居住地区

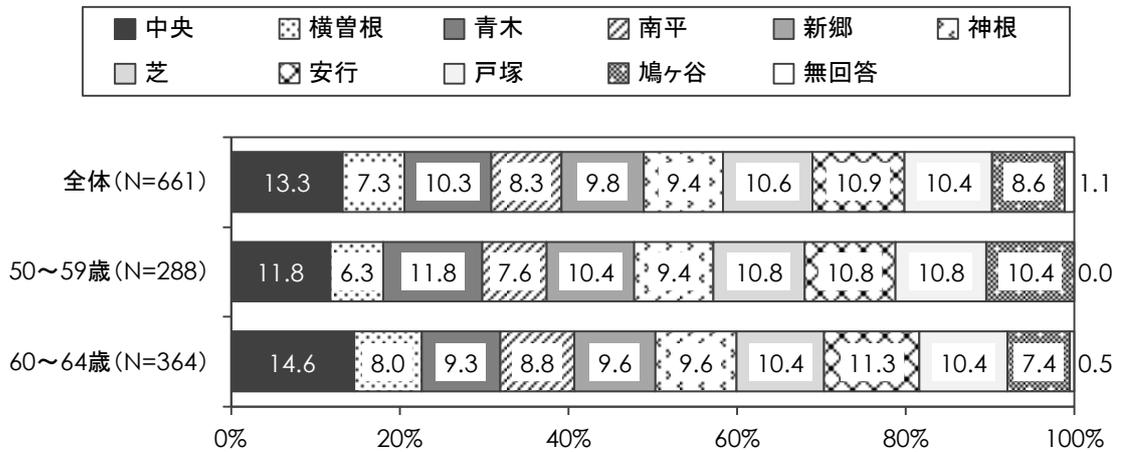
【1号被保険者】

④住所(SA)



【2号被保険者】

④住所(SA)



2 家族や生活状況

■調査結果概要

家族構成は、1号被保険者では、「家族など同居」が7割弱、「一人暮らし」が2割弱となっています。「65～74歳」の「一人暮らし」は1割強、「75歳以上」では2割弱となっており、高齢の「一人暮らし」の割合が高くなっています。

2号被保険者では、「未婚の子どもとの同居世帯」が4割弱で最も高く、次いで「夫婦ふたり暮らし」が3割強、「ひとり暮らし」がおよそ1割と続いています。なお、「50～59歳」の「ひとり暮らし」は1割未満、「60～64歳」では1割強となっており、年齢が高くなるに従って独居者割合が高くなっています。

（家族など同居している方のみの）日中独居は、1号被保険者では、「よくある」が3割強、「たまにある」が4割強となっており、年齢差はないものの、7割以上が日中独居者となっています。

2号被保険者においても、「60～64歳」で2割強、「50～59歳」で1割強が平日の日中に「ひとりであることが多い」と回答しています。

1号被保険者の介護・介助の必要性は、「75歳以上」で2割強、「65～74歳」で1割弱が「現在、何らかの介助を受けている」と回答しています。また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は、「75歳以上」でおよそ1割、「65～74歳」で1割未満となっており、全体で2割強が介護・介助を必要としています。

1号被保険者の（介護・介助が必要な方のみの）介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が3割強で最も高くなっています。次いで、「認知症」が2割強、「骨折・転倒」、「脳卒中」が2割弱と続いています。「75歳以上」で最も高い原因は、「高齢による衰弱」で4割弱、「60～74歳」では「脳卒中」で2割強となっています。

1号被保険者の（介護・介助が必要な方のみの）主な介護・介助者は、「介護サービスのヘルパー」が3割強で最も高くなっています。次いで、「配偶者」、「娘」が2割弱と続いています。「65～74歳」では、「配偶者」が最も高くなっており、介助者の年齢をみると、65歳以上が7割弱となっています。いわゆる老老介護の割合が高くなっていることがわかります。

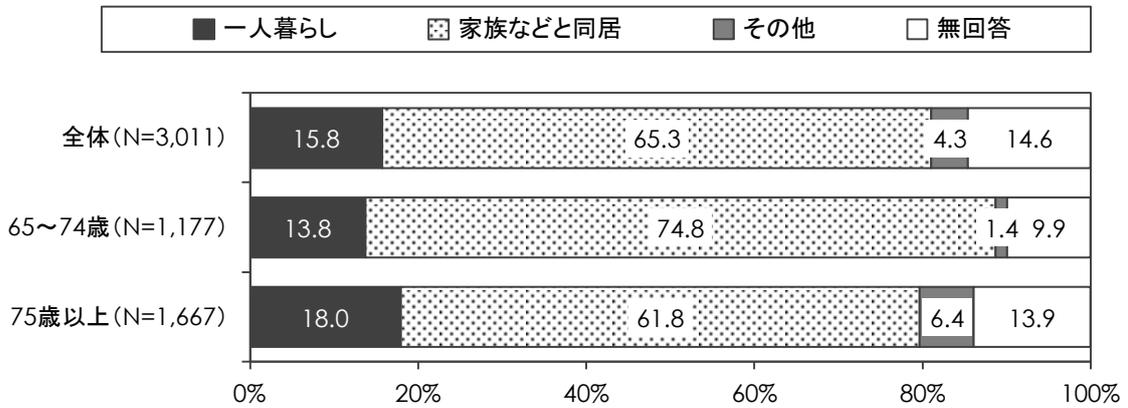
1号被保険者の現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」がおよそ4割で最も高くなっています。次いで「ややゆとりがある」が3割強、「苦しい」が2割弱と続いており、半数以上が苦しいと感じています。

2号被保険者の今後の希望の住まいは、「可能な限り今の住まいで生活したい」が6割強で最も高くなっています。他の項目はいずれも1割未満となっています。特に「60～64歳」で「可能な限り今の住まいで生活したい」（7割弱）と回答した割合が高くなっています。

1. 家族構成

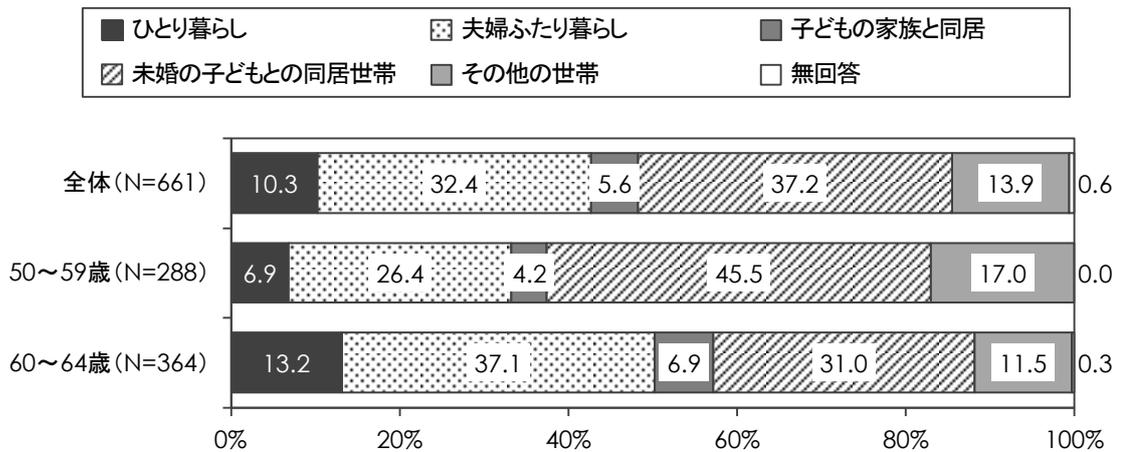
【1号被保険者】

問1-Q1. 家族構成をお教えてください(SA)



【2号被保険者】

問1 平成26年1月1日現在の世帯状況をお教えてください。(SA)



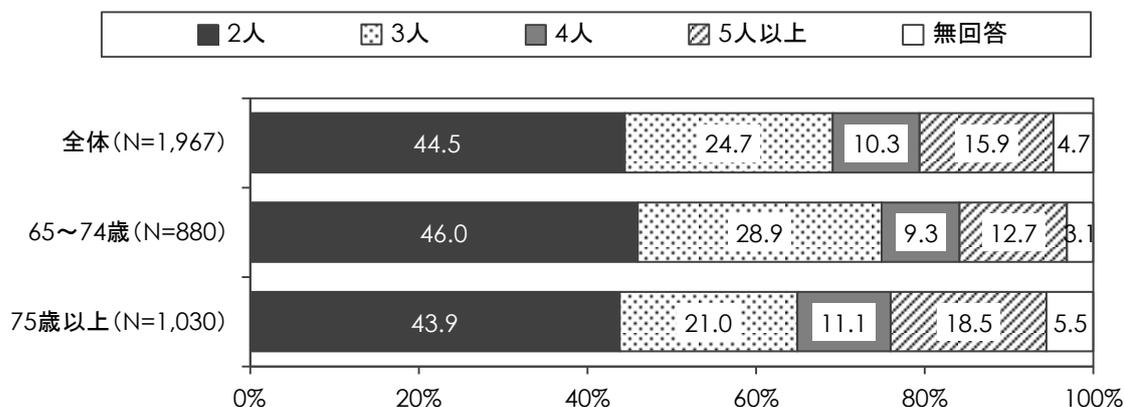
Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

2. 同居者

【1号被保険者】

問1-Q1-1. (家族など同居されている方のみ)

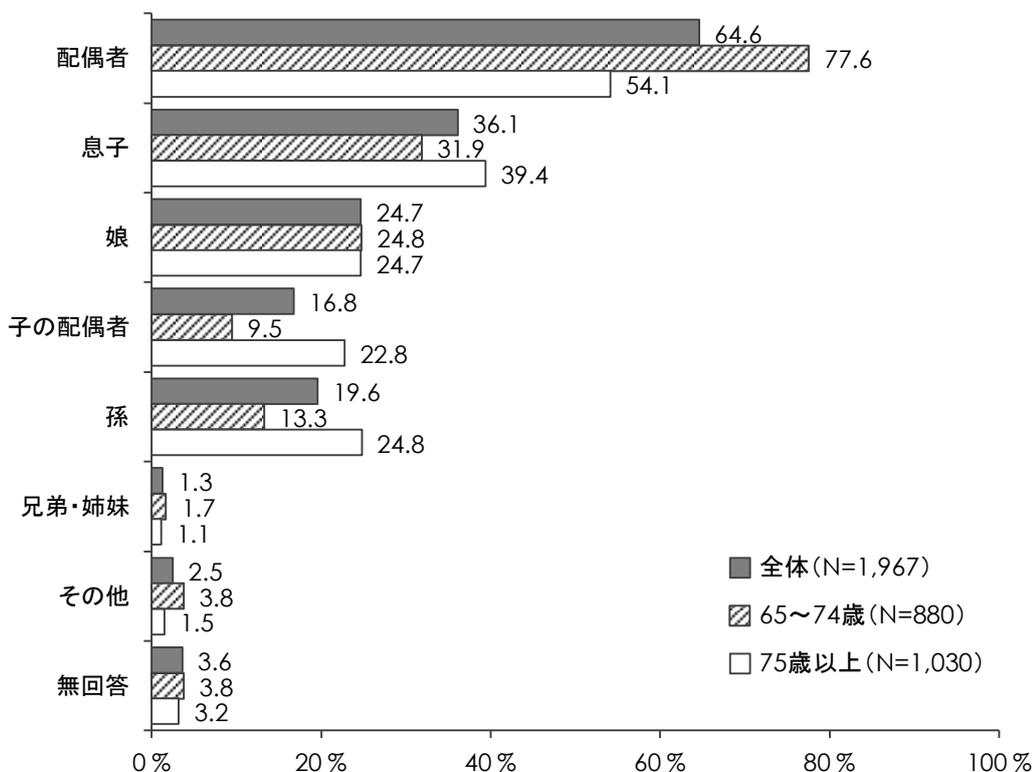
ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか(MA)



【1号被保険者】

問1-Q1-1. (家族など同居されている方のみ)

ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか(MA)

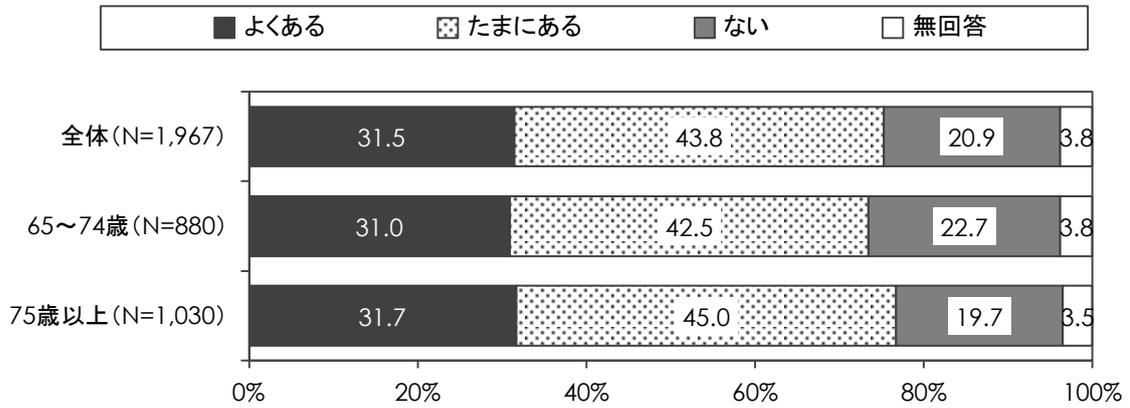


3. 日中独居

【1号被保険者】

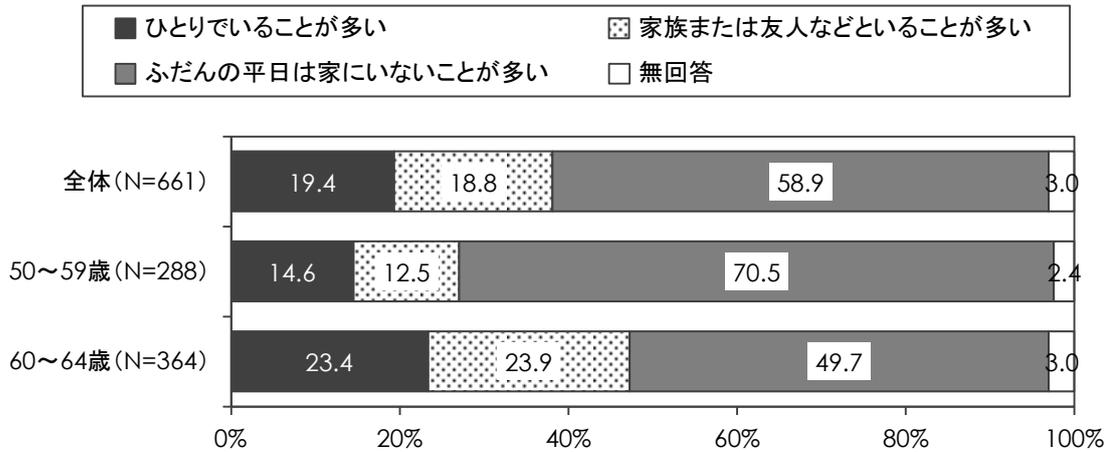
問1-Q1-2. (家族など同居されている方のみ)

日中、一人になることがありますか(SA)



【2号被保険者】

問6 あなた(あて名ご本人)は、平日の日中はご自宅にいますか。(SA)

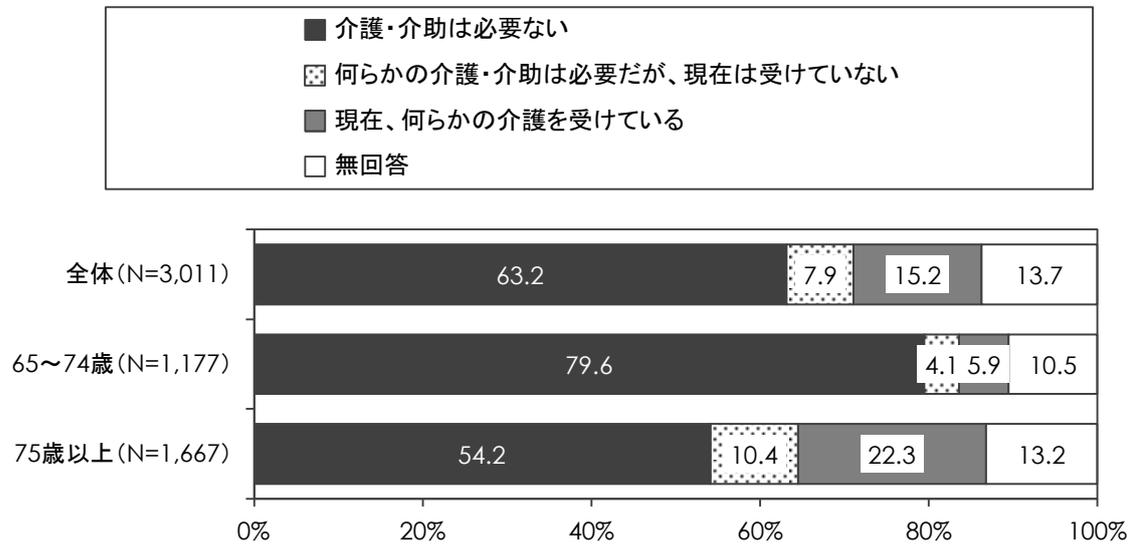


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

4. 介護・介助の必要性

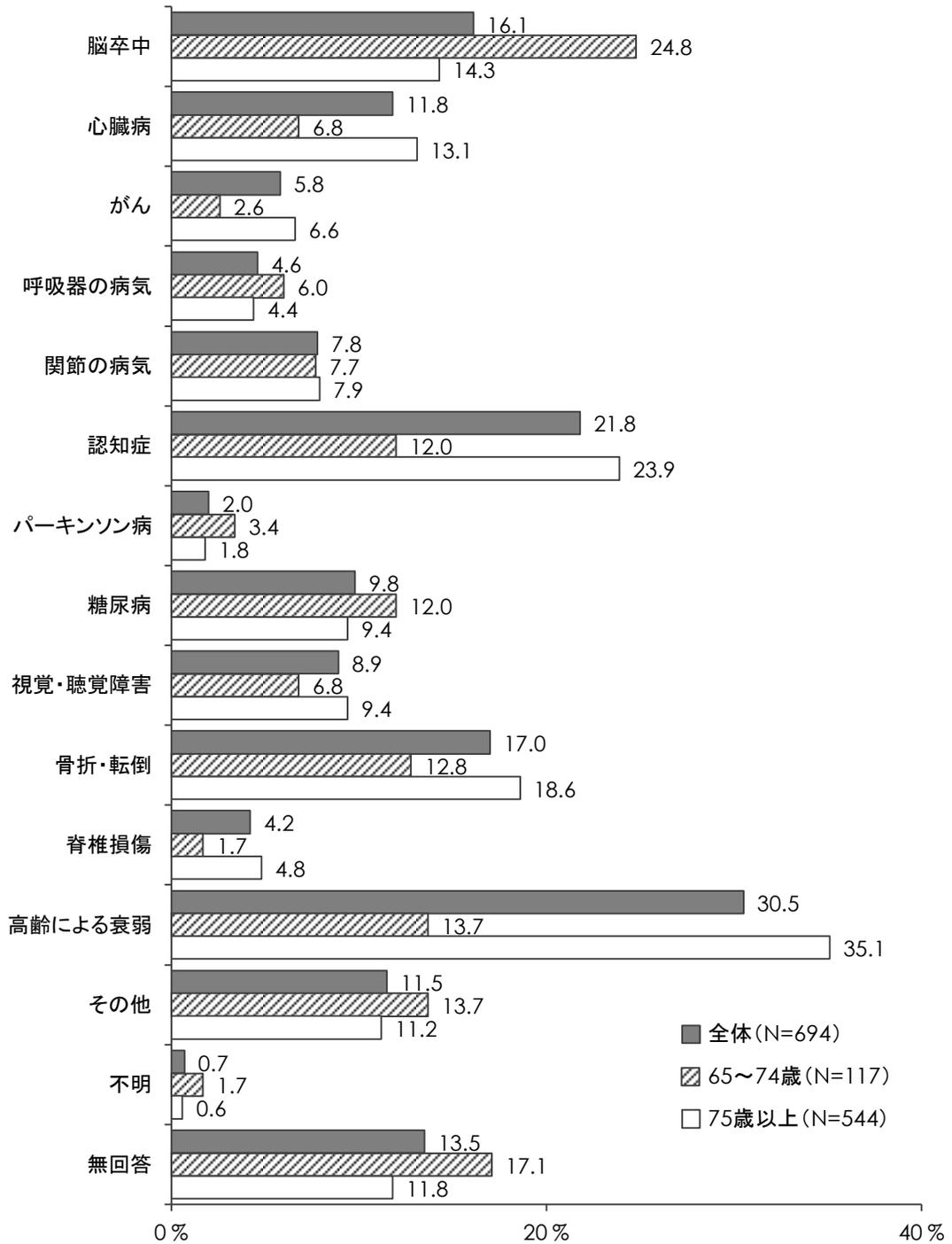
【1号被保険者】

問1-Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（SA）



【1号被保険者】

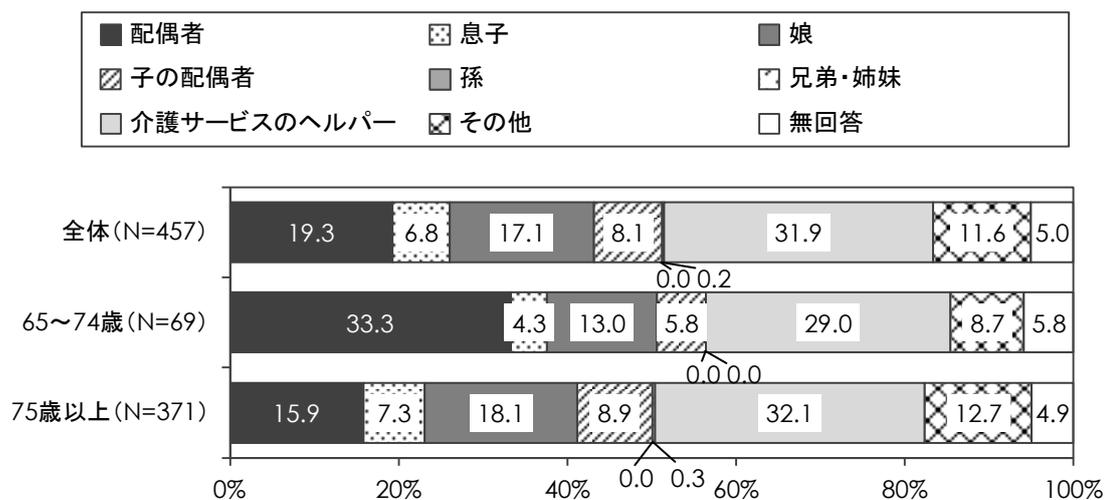
問1-Q2-1. (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(MA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

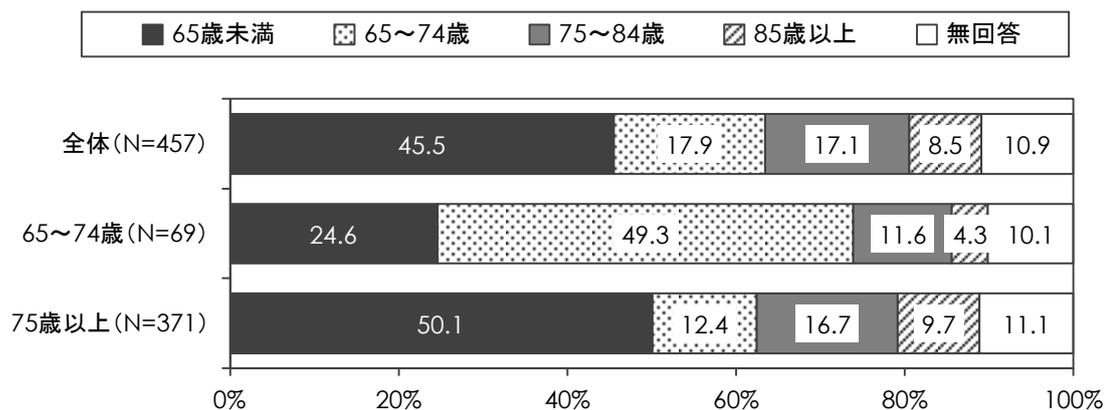
【1号被保険者】

問1-Q2-2. (介護・介助を受けている方のみ)主にどなたの介護・介助を受けていますか(SA)



【1号被保険者】

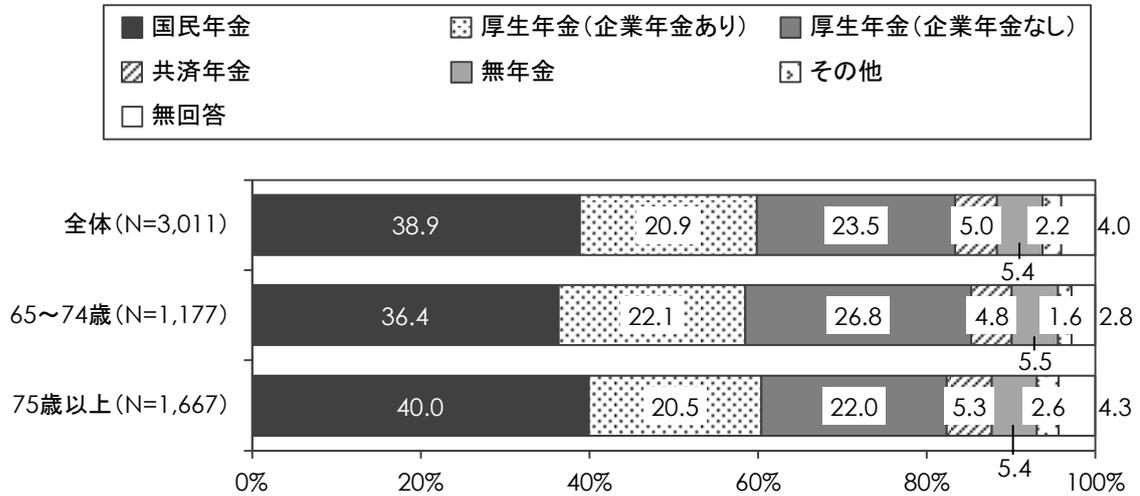
問1-Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ)主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか(SA)



5. 経済状況

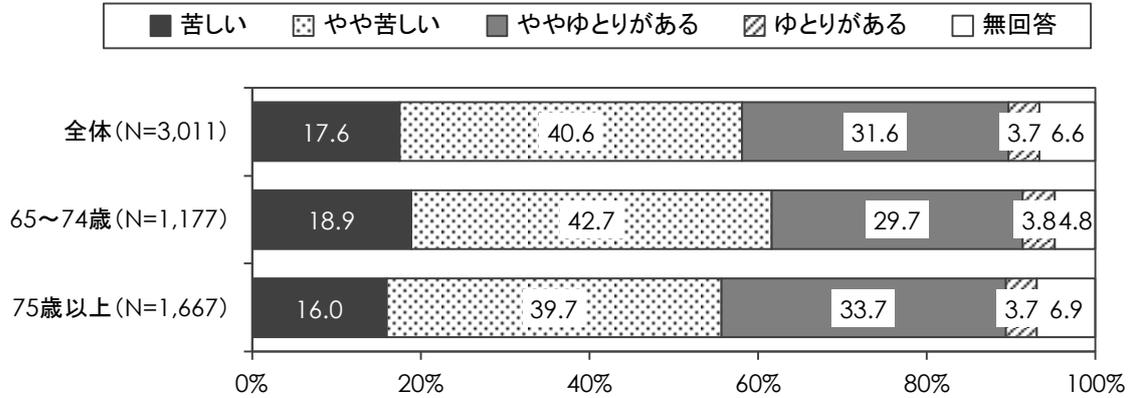
【1号被保険者】

問1-Q3. 年金の種類は次のどれですか(SA)



【1号被保険者】

問1-Q4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(SA)

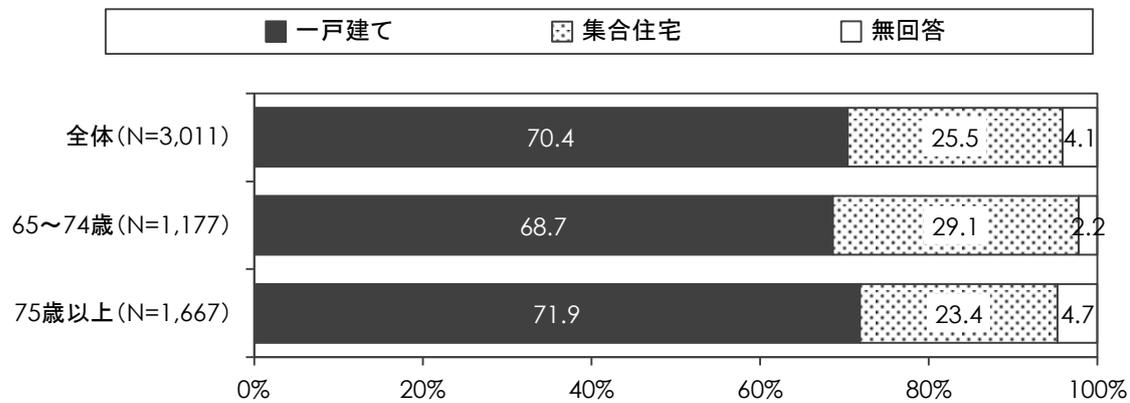


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

6. 住まい

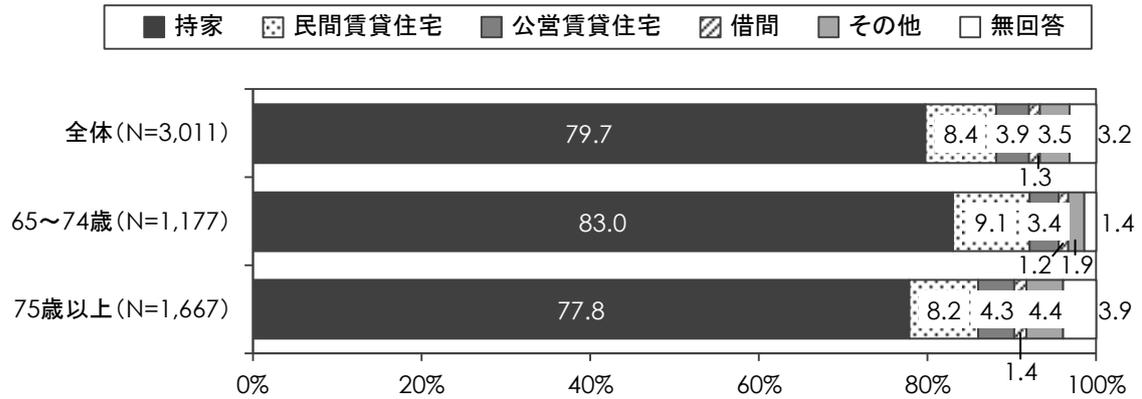
【1号被保険者】

問1-Q5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (SA)



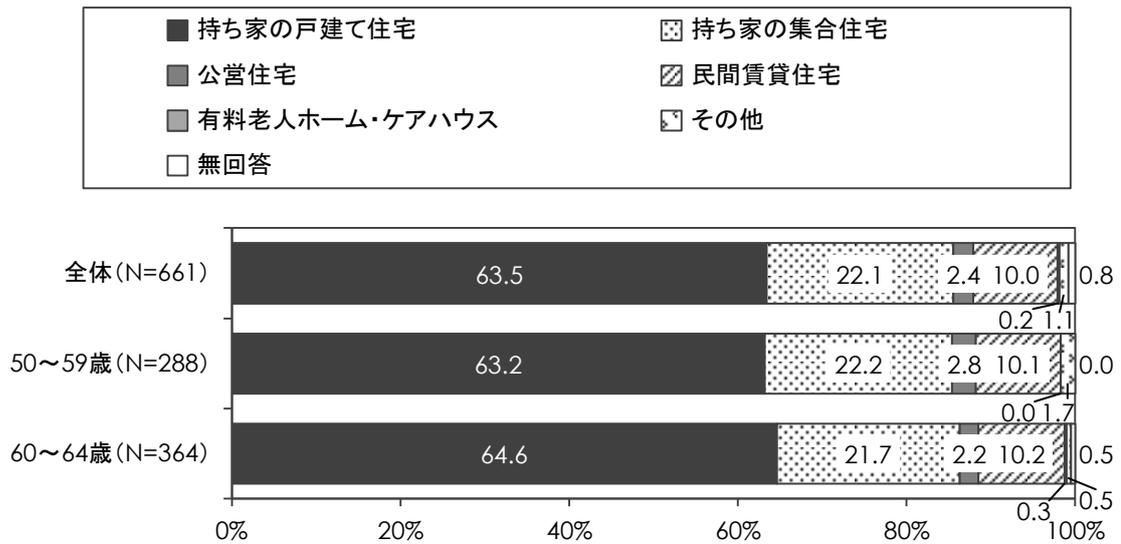
【1号被保険者】

問1-Q6. お住まいは、次のどれにあたりますか（SA）



【2号被保険者】

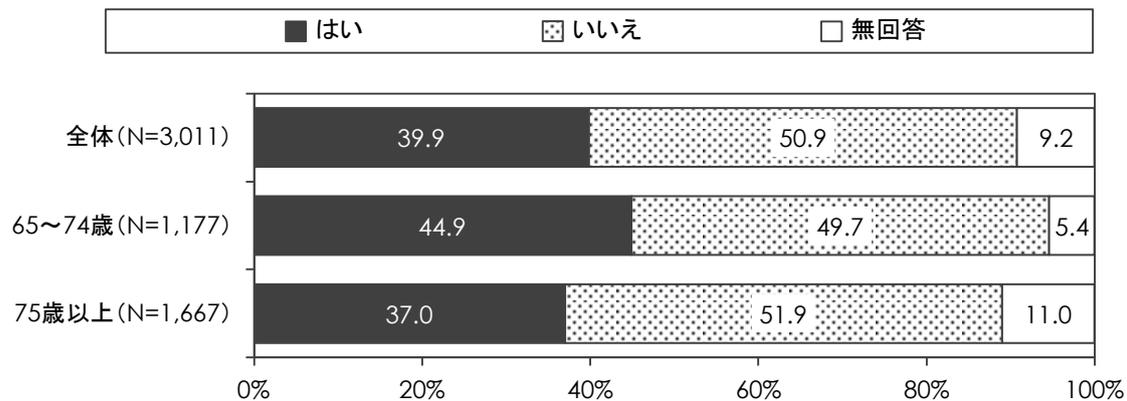
問3 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

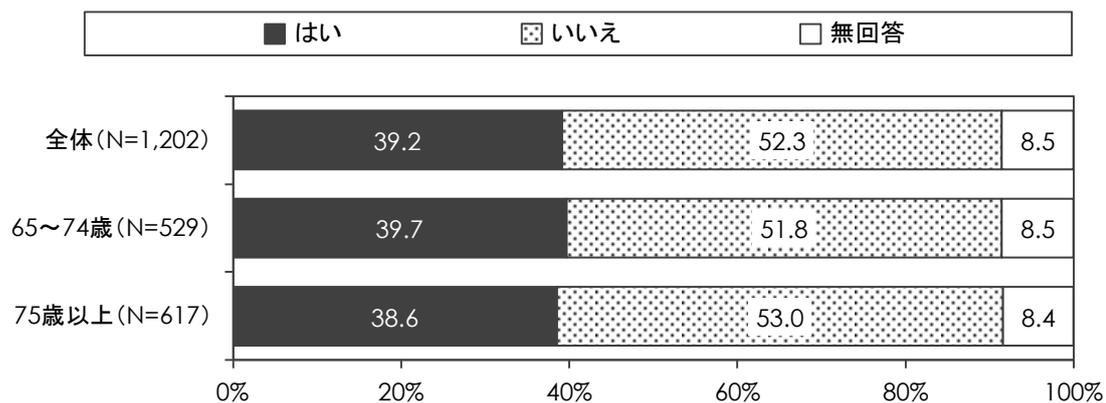
【1号被保険者】

問1-Q7. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか(SA)



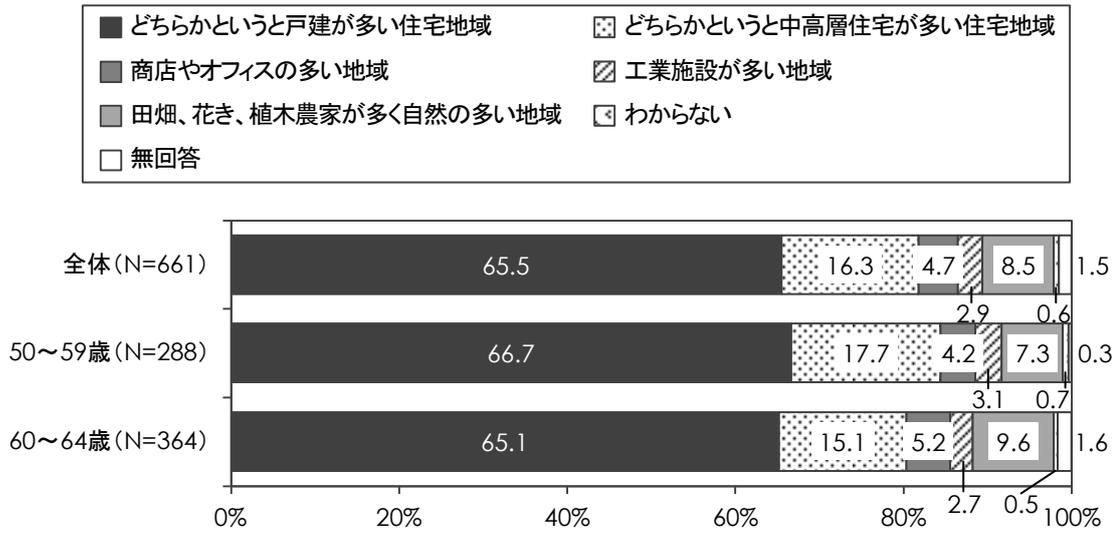
【1号被保険者】

問1-Q7-1. (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか(SA)



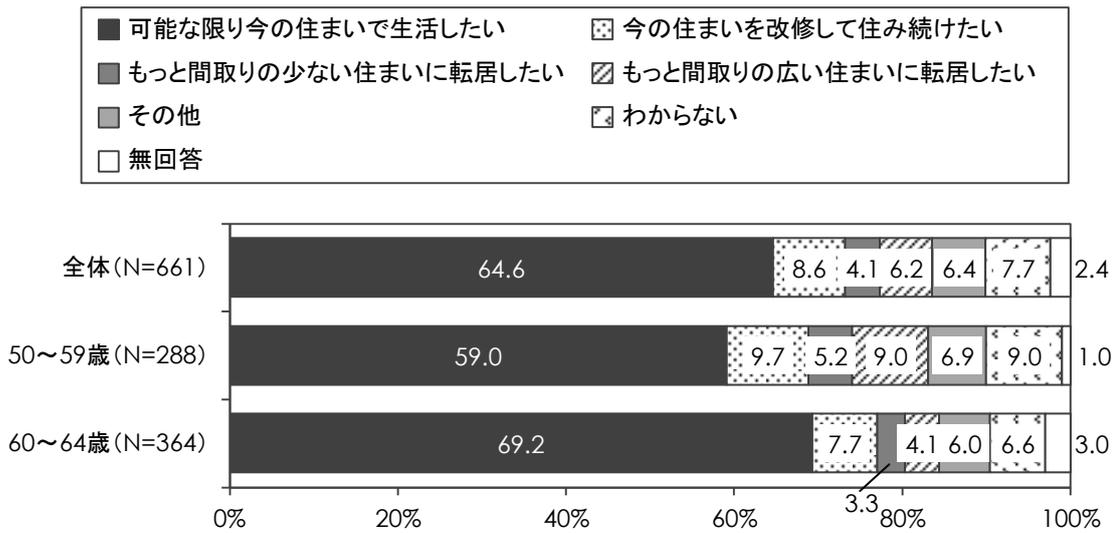
【2号被保険者】

問2 あなた(あて名ご本人)のお住まいの周辺の環境について、あてはまるものをお選びください。(SA)



【2号被保険者】

問10 あなた(あて名ご本人)は今後もずっと現在のお住まいで生活したいですか。(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

3 外出

■調査結果概要

1号被保険者の外出状況は、外出を控えている方は「75歳以上」で4割弱、「65～74歳」で1割強となっています。その理由としては、「足腰などの痛み」が過半数を占めています。

1号被保険者の外出手段は、「徒歩」がおよそ6割で最も高くなっています。次いで、「自転車」が4割弱、「自動車（自分の運転）」と「路線バス」が2割強と続いています。

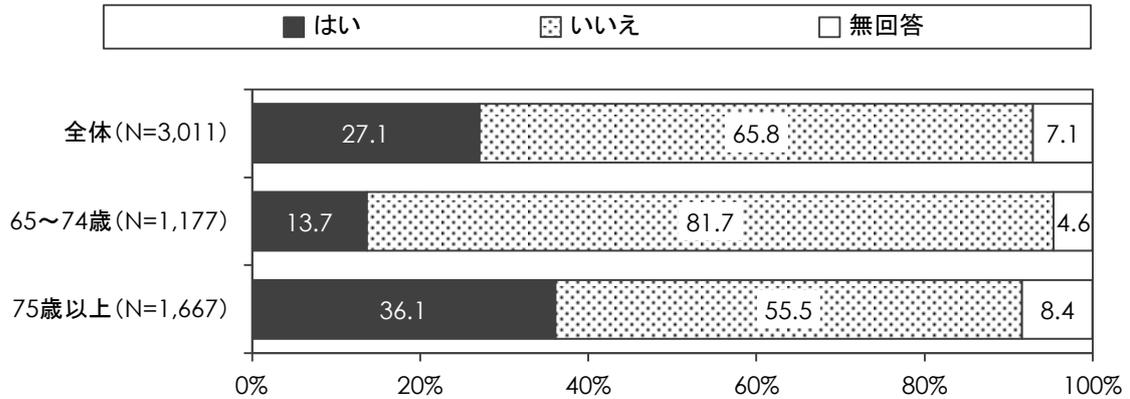
2号被保険者の外出状況は、散歩や買物、通院、仕事などで外出する割合について、「ほとんど毎日」がおよそ8割となっており、「ほとんど出かけない」と回答した方はいませんでした。

また、外出することについても、8割以上が「特に負担には感じない」と回答しています。

1. 外出状況

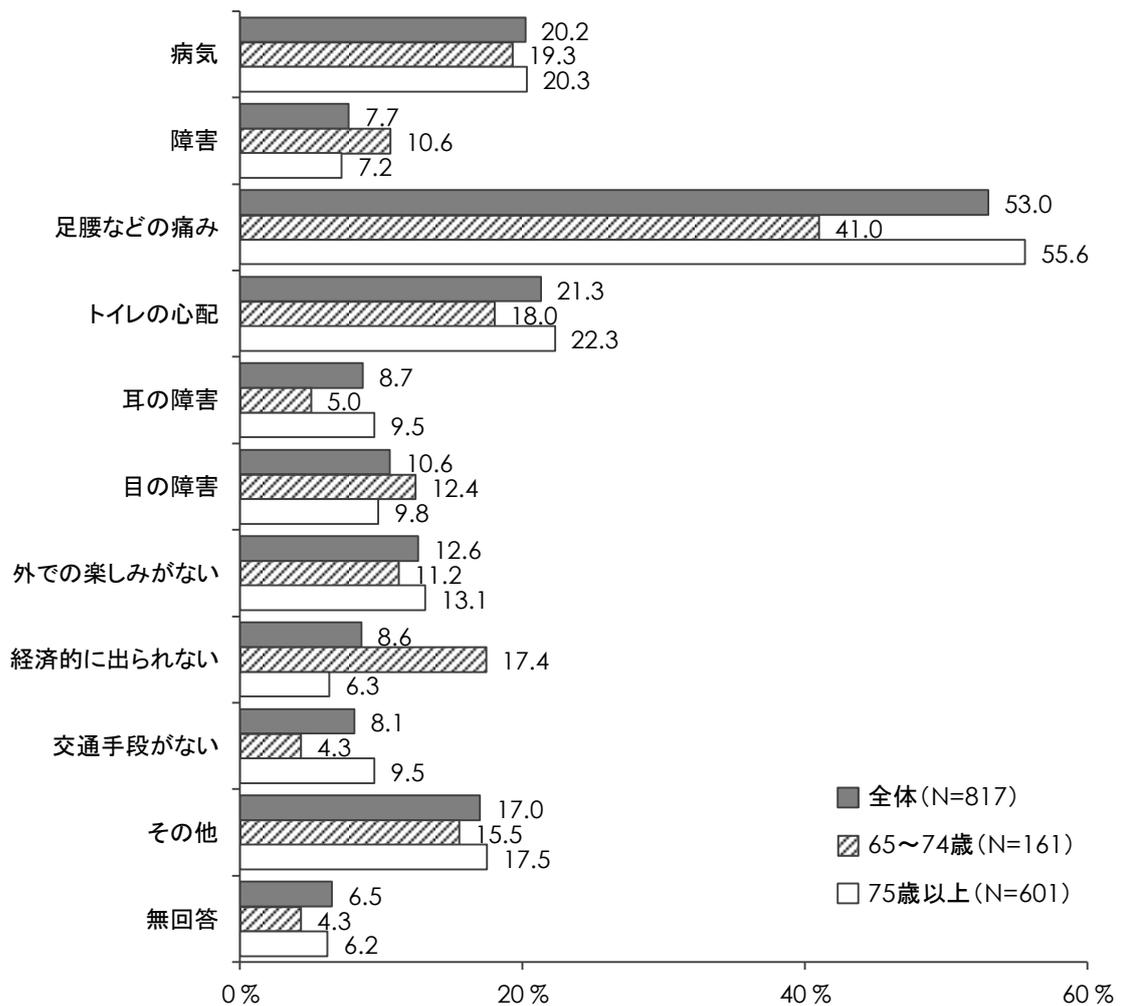
【1号被保険者】

問2-Q7. 外出を控えていますか(SA)



【1号被保険者】

問2-Q7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか(MA)



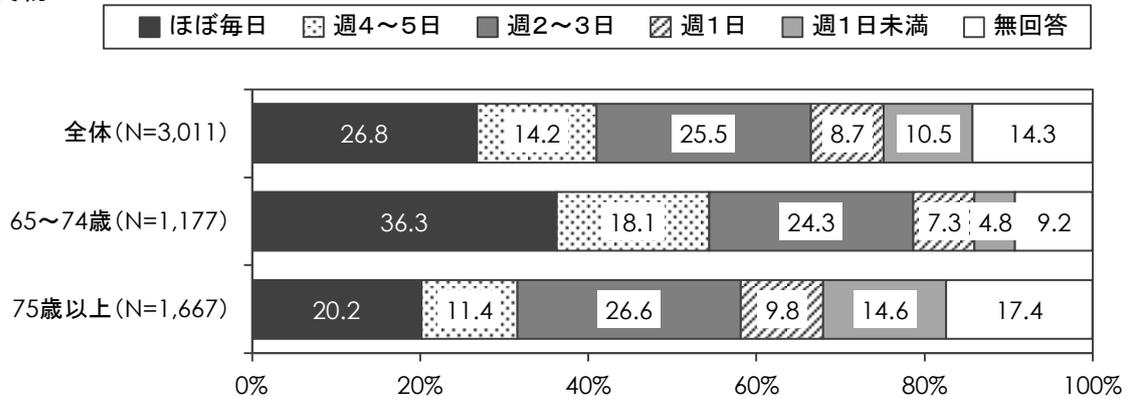
Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

2. 外出頻度

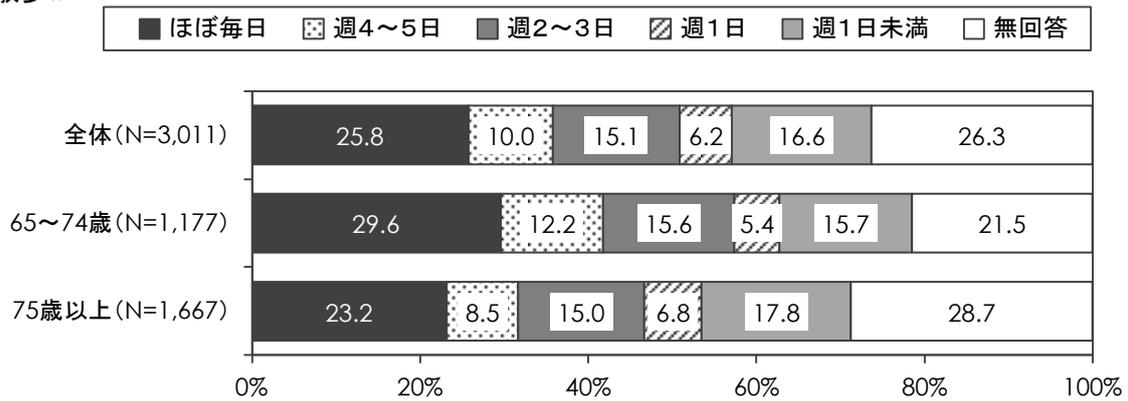
【1号被保険者】

問2-Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか(SA)

《買物》

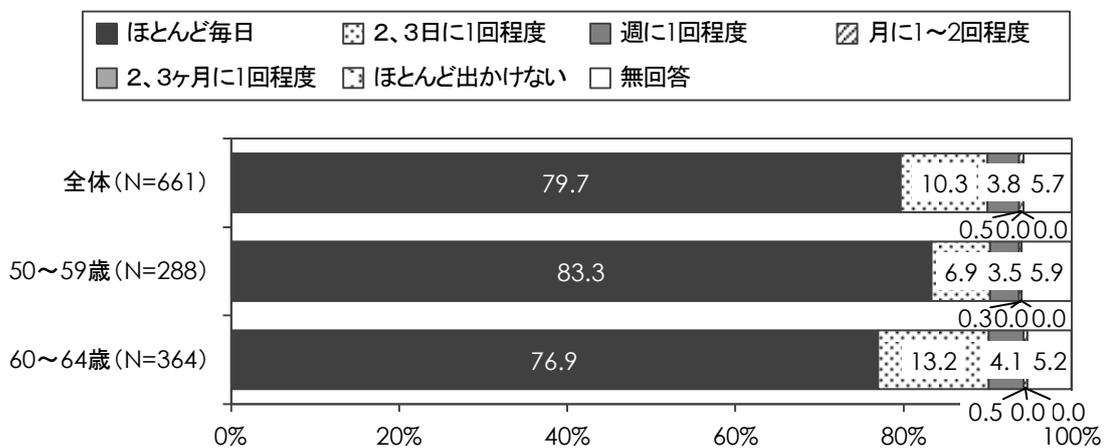


《散歩》



【2号被保険者】

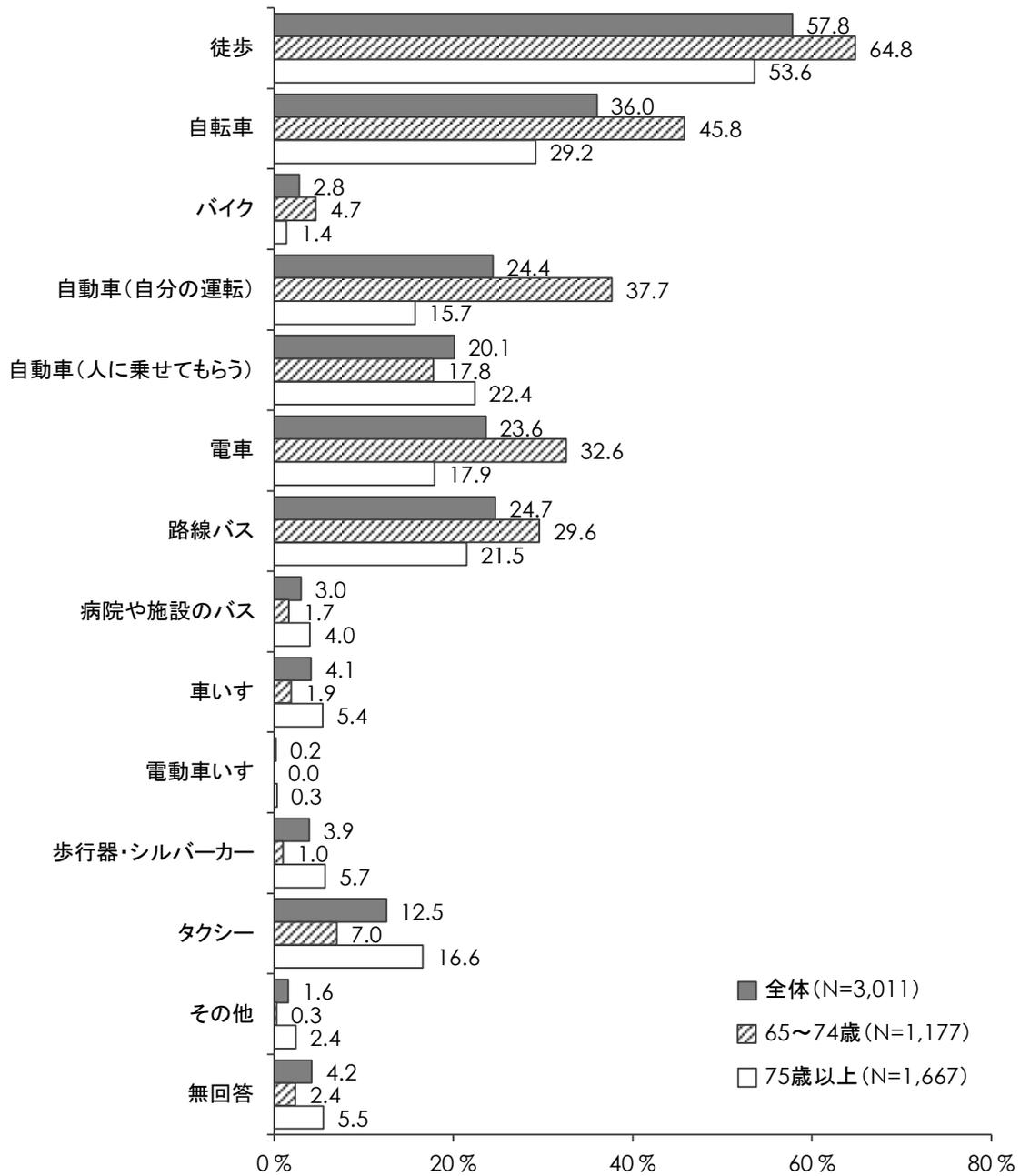
問5 散歩や買物、通院、仕事などで外出する割合はどのくらいですか。(SA)



3. 外出手段

【1号被保険者】

問2-Q9. 外出する際の移動手段は何ですか(MA)

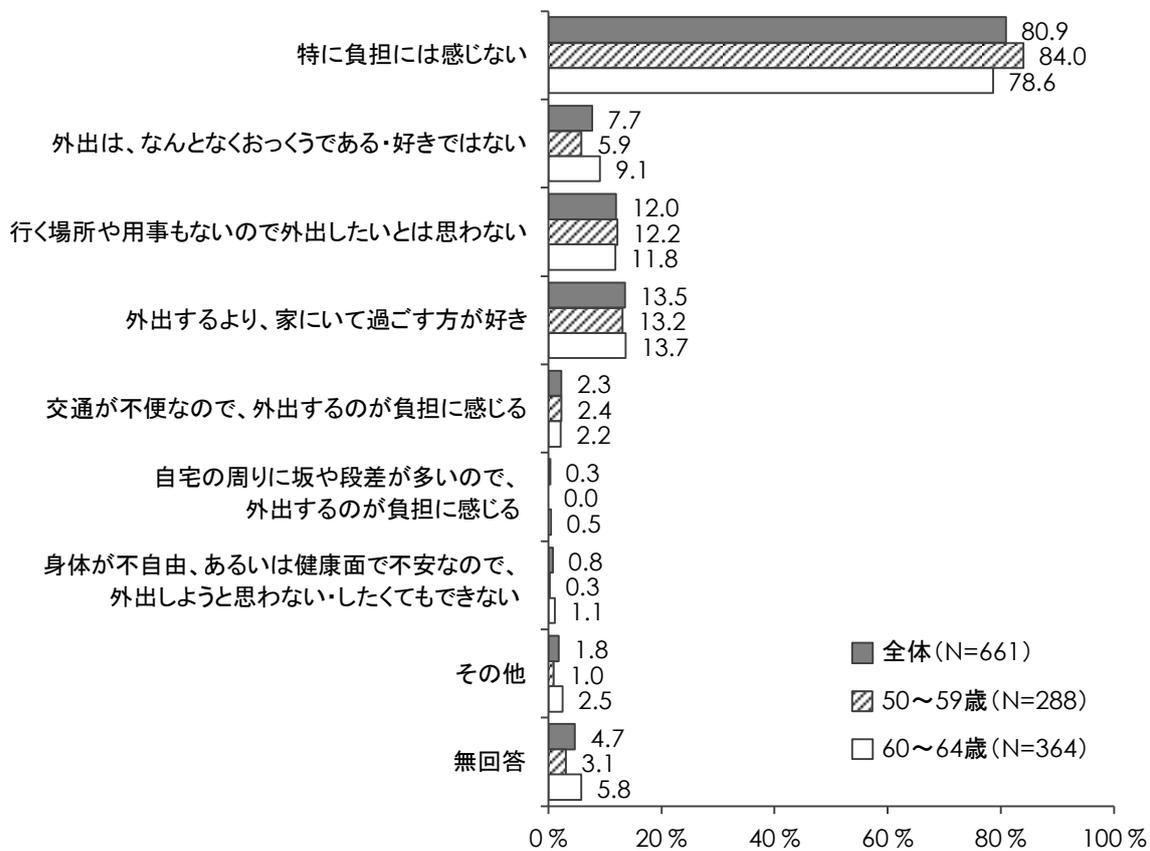


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

4. 外出すること

【2号被保険者】

問23 あなた(あて名ご本人)は、外出することについてどのようにお考えですか。(MA)



4 口腔・栄養

■調査結果概要

1号被保険者の歯の手入れについて、8割以上が毎日歯磨きをしています。定期的に歯科受診をしている方は4割弱にとどまっています。

また、入れ歯を使用している方は全体のおよそ5割となっており、「75歳以上」では6割以上を占めています。

2号被保険者の歯の状態について、歯の本数は、およそ3割が「28本以上」、4割が「20～27本」であると回答しています。

歯ぐき・口の状態は、「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が2割弱で最も高くなっています。次いで、「抜けたままにしている歯がある」、「歯を磨いたときに血が出る」と続いています。なお、「あてはまるものはない」はおよそ4割となっています。

1号被保険者の食事の状況について、食事の回数は、「朝昼晩の3食」がおよそ9割を占めており、食事を抜く方はごく僅かとなっています。

また、だれかと食事をする機会は、「毎日ある」がおよそ6割で最も高くなっており、「ほとんどない」は1割未満となっています。「75歳以上」では、「毎日ある」がやや低くなり、「ほとんどない」が僅かに高くなっています。

なお、食事をともにする人は、「家族」が8割以上、「近所の人や友人」が2割以上となっています。

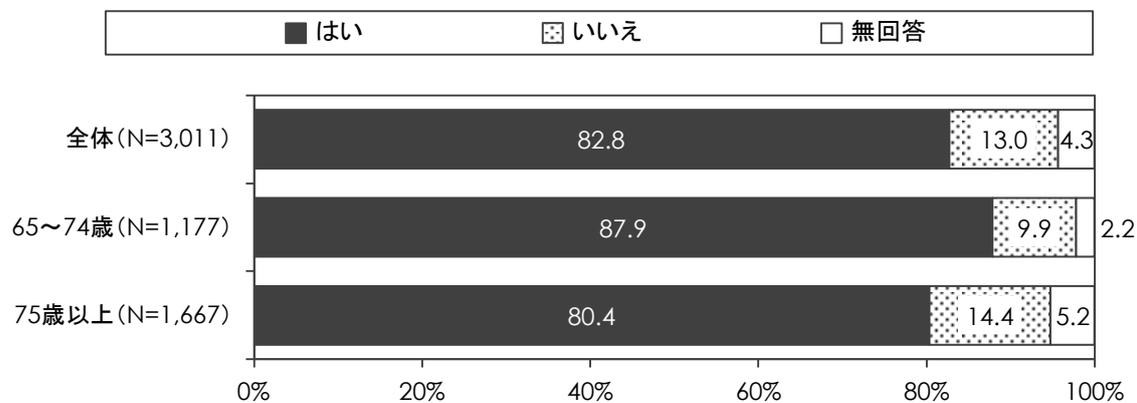
2号被保険者の食事の状況について、食事量の変化は、およそ8割が「変化なし」でその他の項目は1割未満となっています。

Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

1. 歯の手入れ

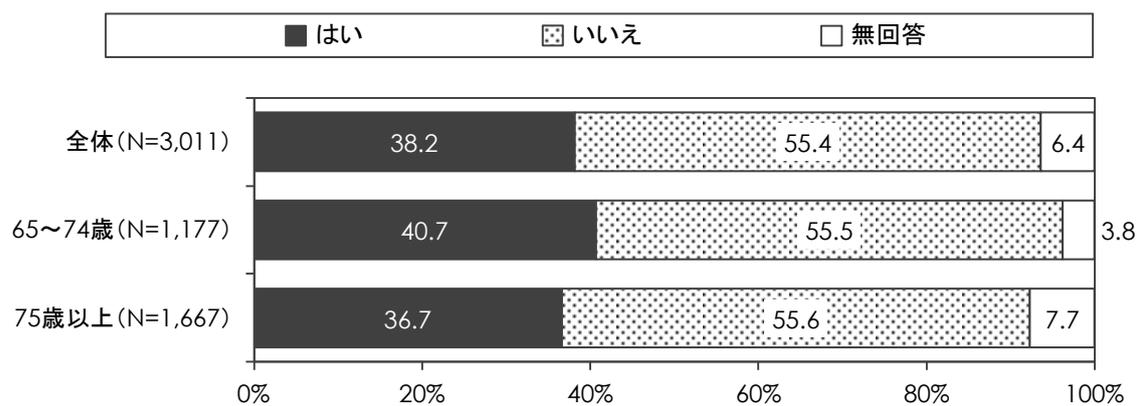
【1号被保険者】

問4-Q6. 歯磨きを毎日していますか(SA)



【1号被保険者】

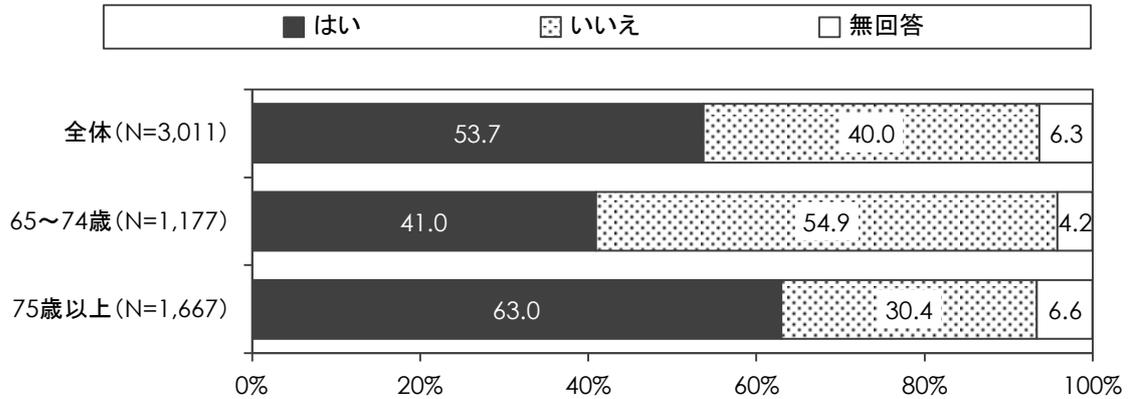
問4-Q7. 定期的に歯科受診をしていますか(SA)



2. 入れ歯の使用状況

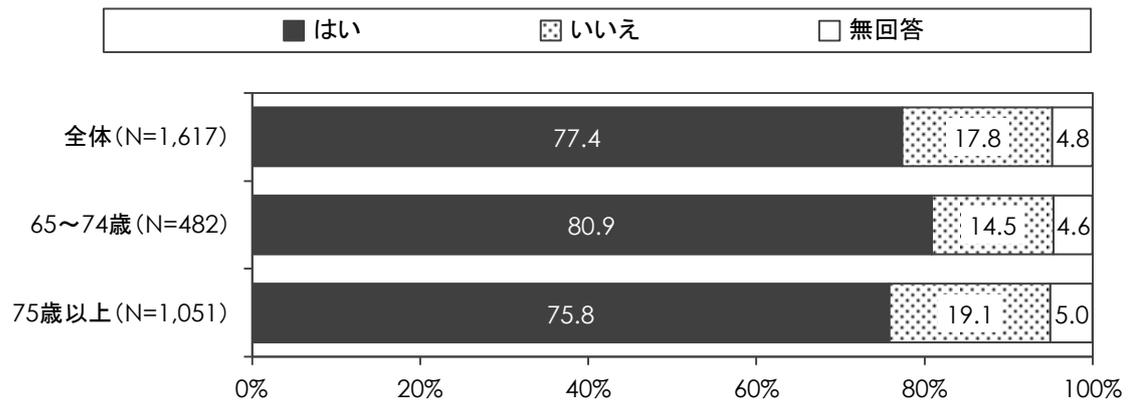
【1号被保険者】

問4-Q8. 入れ歯を使用していますか(SA)



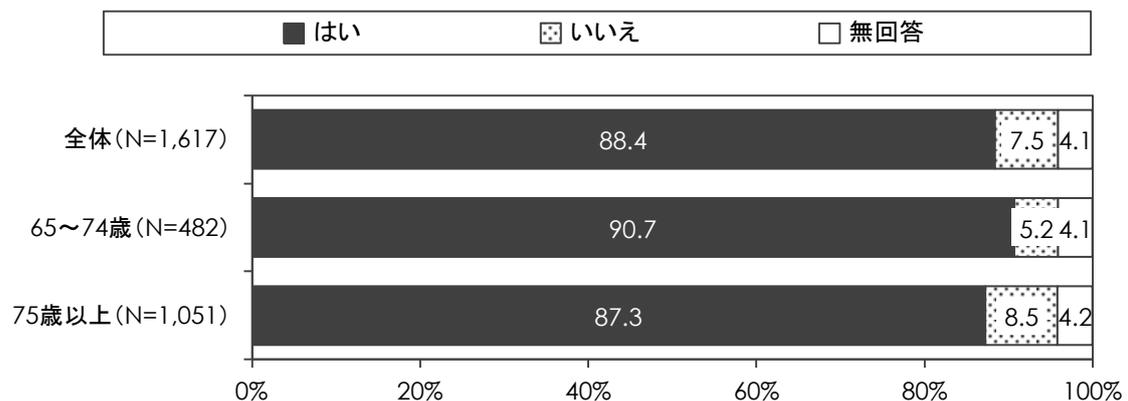
【1号被保険者】

問4-Q8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか(SA)



【1号被保険者】

問4-Q8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか(SA)

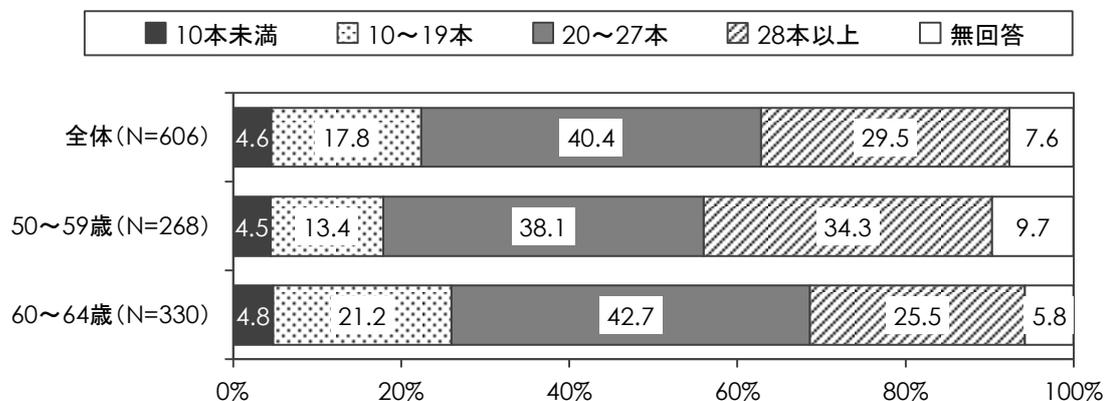


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

3. 歯の状態

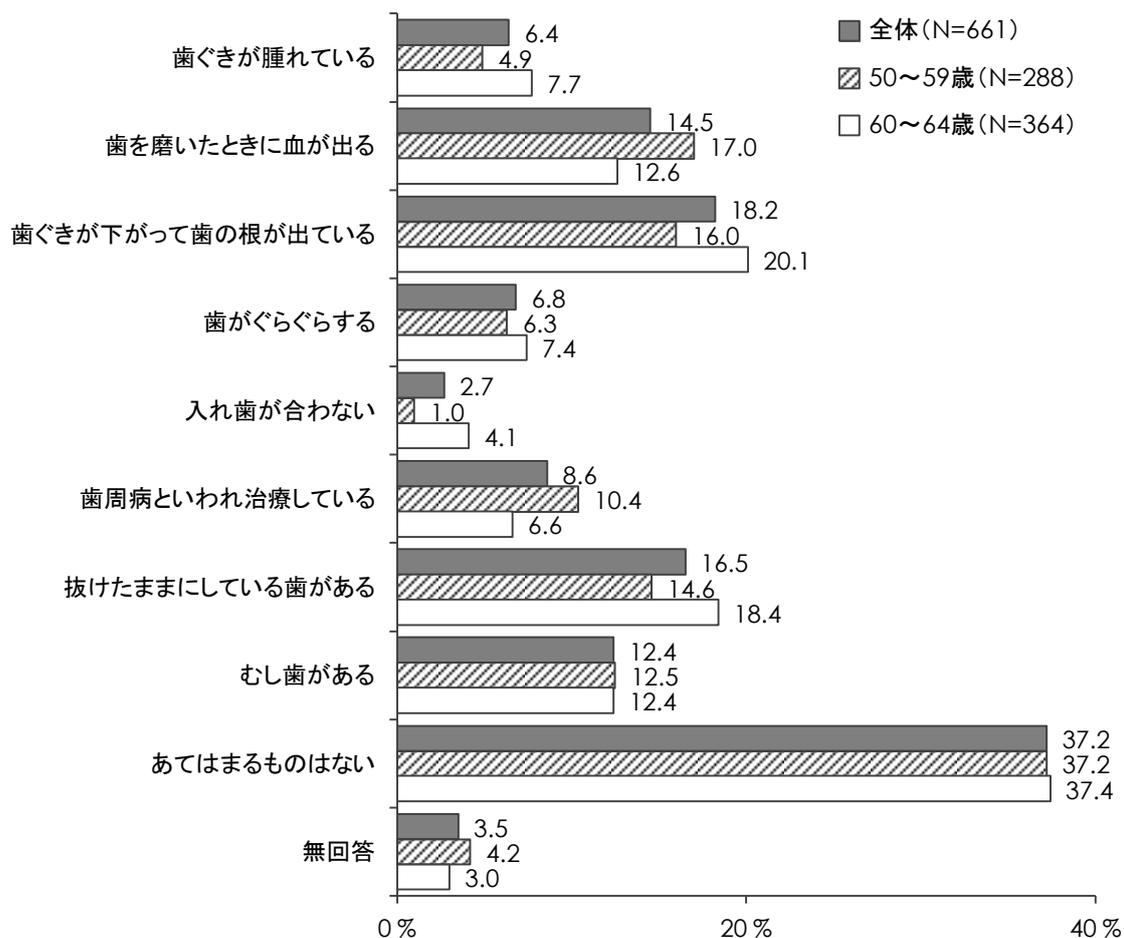
【2号被保険者】

問17 自分の歯は何本ありますか。入れ歯、インプラントは含みません。（差し歯は含みます。）(SA)



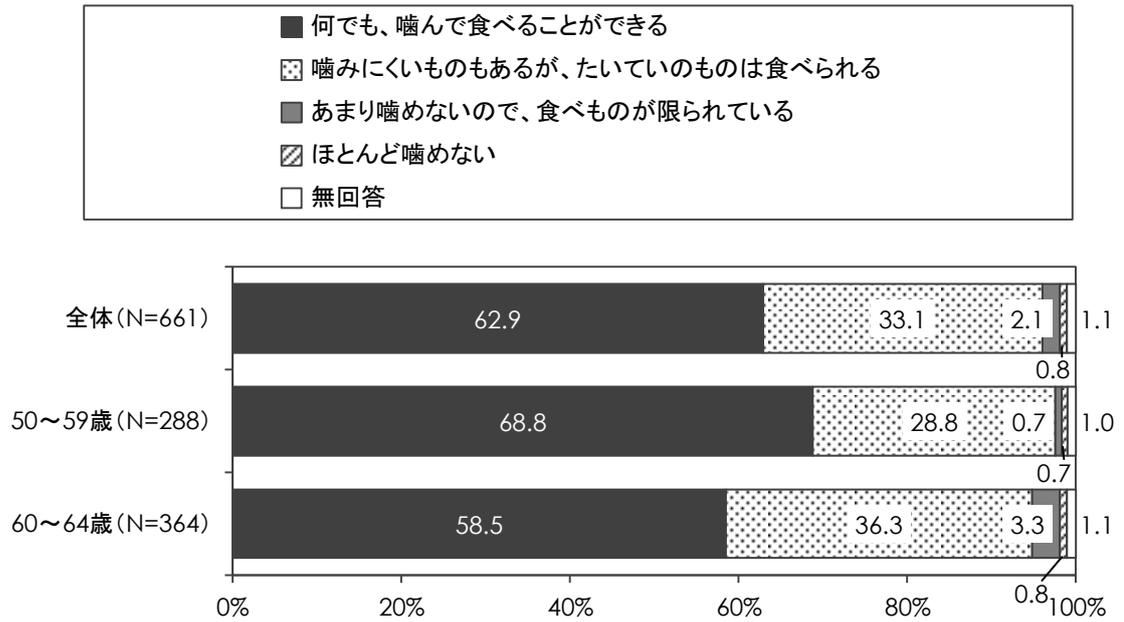
【2号被保険者】

問18 あなた(あて名ご本人)の現在の歯ぐき・口の状態についてお答えください。(MA)



【2号被保険者】

問19 嚙んで食べる時の状態はいかがですか。(SA)

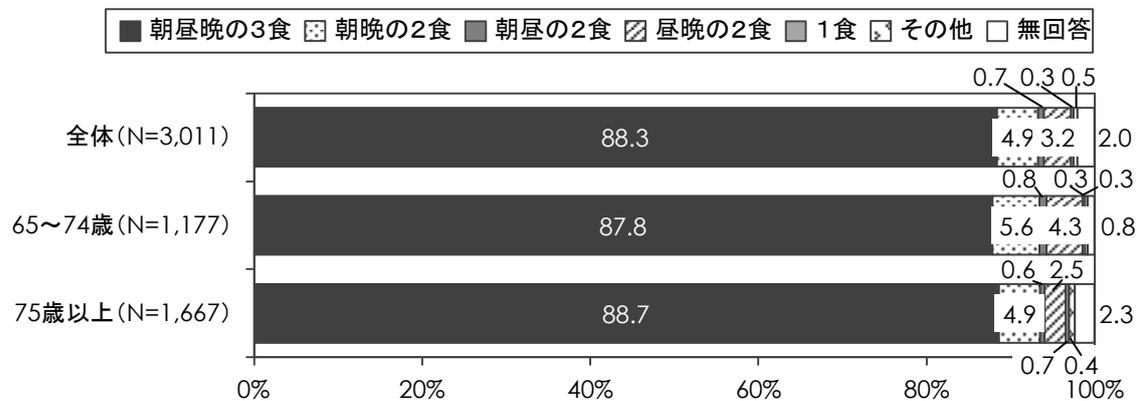


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

4. 食事の状況

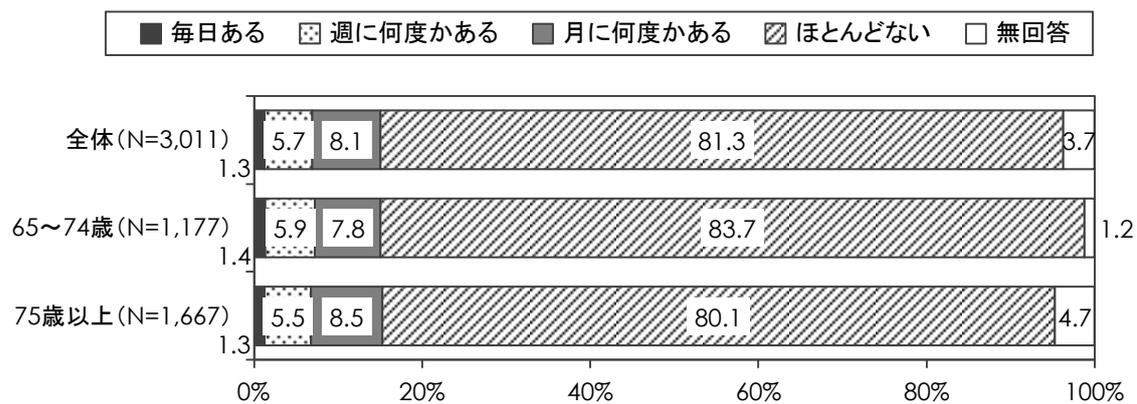
【1号被保険者】

問4-Q9. 1日の食事の回数は何回ですか(SA)



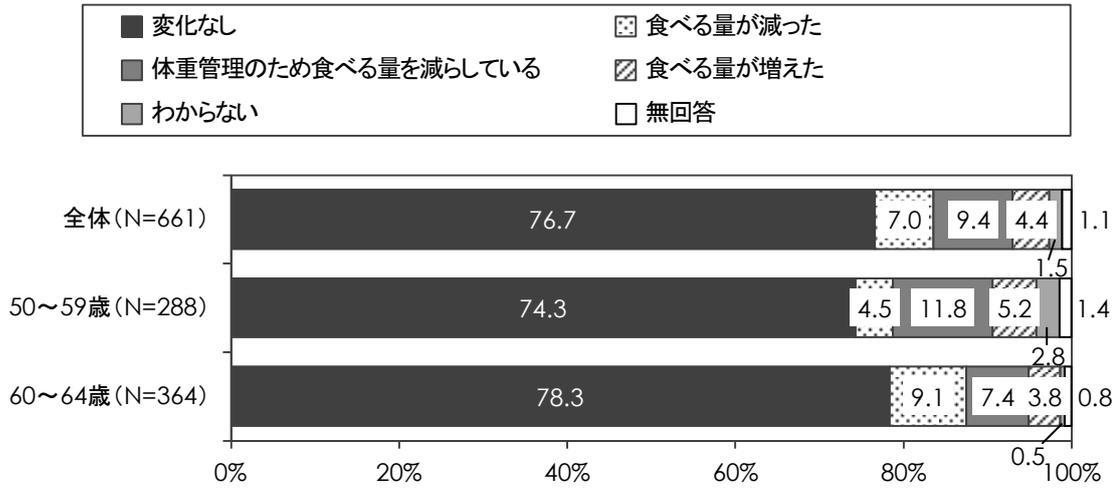
【1号被保険者】

問4-Q10. 食事を抜くことがありますか(SA)



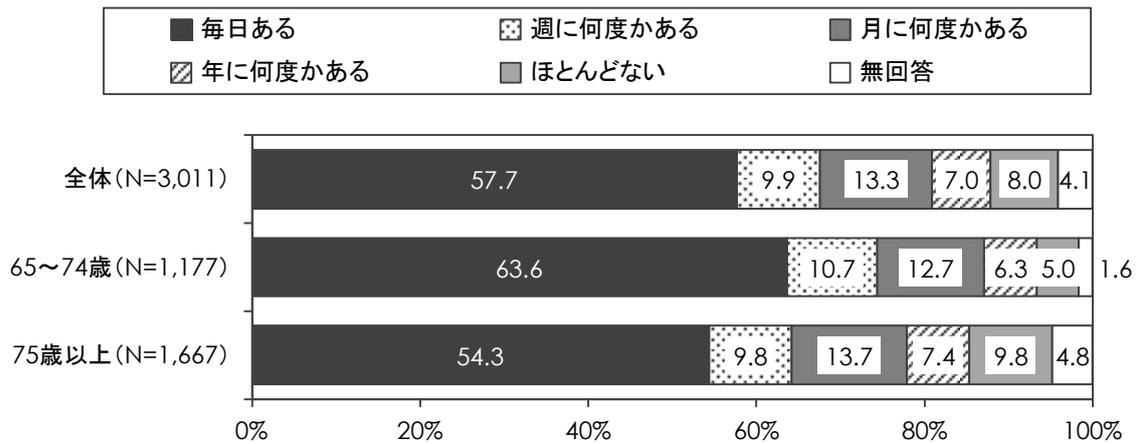
【2号被保険者】

問16 あなた(あて名ご本人)は、半年前に比べて、食事量の変化がありましたか。(SA)



【1号被保険者】

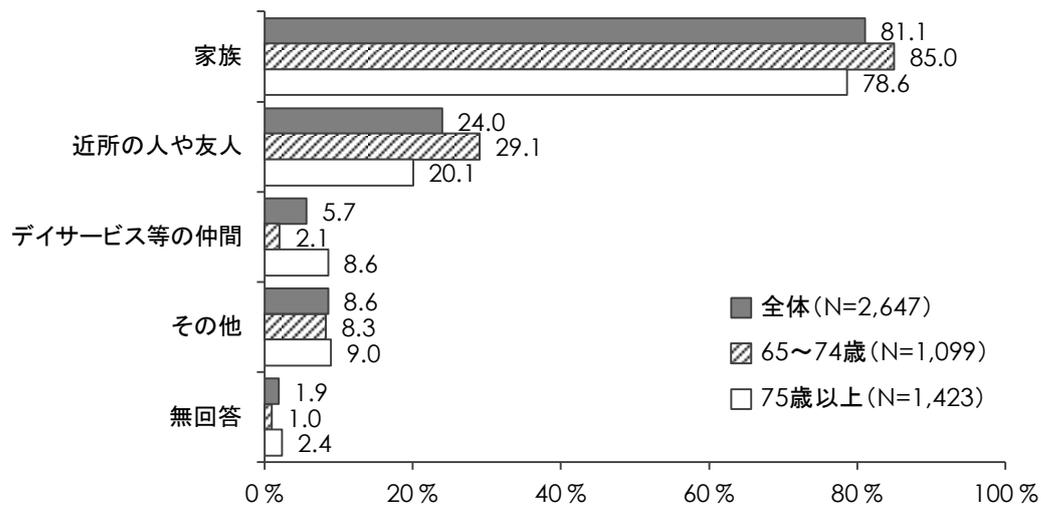
問4-Q11. 自分一人ではなく、どなたかと食事をともしる機会がありますか(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【1号被保険者】

Q11-1. (どなたかと食事をとともにする機会がある方のみ) 食事をとともにする人はどなたですか(MA)



5 日常生活

1号被保険者の（日用品の買物をしていない、できない方のみの）買物をする人は、「同居の家族」がおおよそ7割を占めています。食事の用意をする人においても、同様となっています。「ヘルパー」、「配食サービス利用」はいずれも1割未満となっています。

2号被保険者の平日の食事は、朝昼晚いずれも、「自分でつくる」、「配偶者がつくる」が過半数を占めています。昼食では、「外食する」がおおよそ2割を占めています。

孤独死について、2号被保険者の感じ方は、「あまり感じない」がおおよそ4割を占めており、「感じる」と「まあまあ感じる」を合わせるとおおよそ4割となっています。

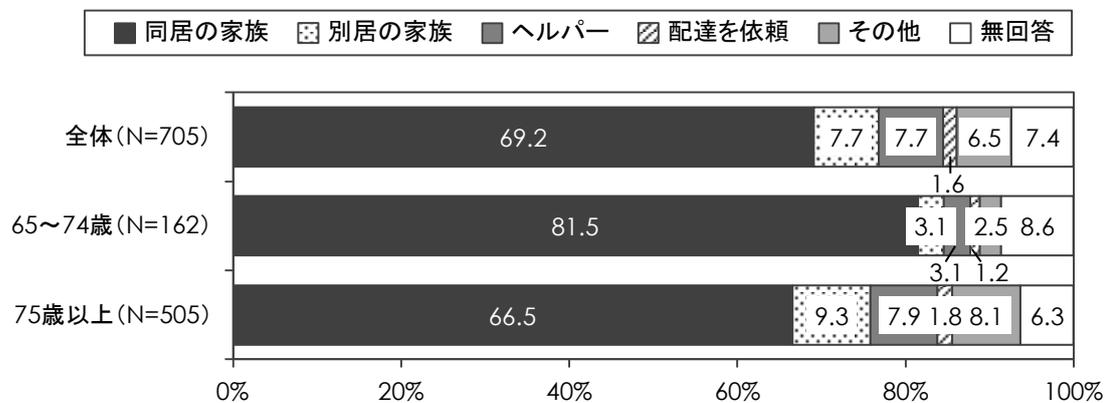
「感じる」と「まあまあ感じる」と回答した理由は「ご近所との付き合いが少ないから」がおおよそ3割、「一人暮らしだから」がおおよそ2割を占めています。

Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

1. 買物・食事の支援

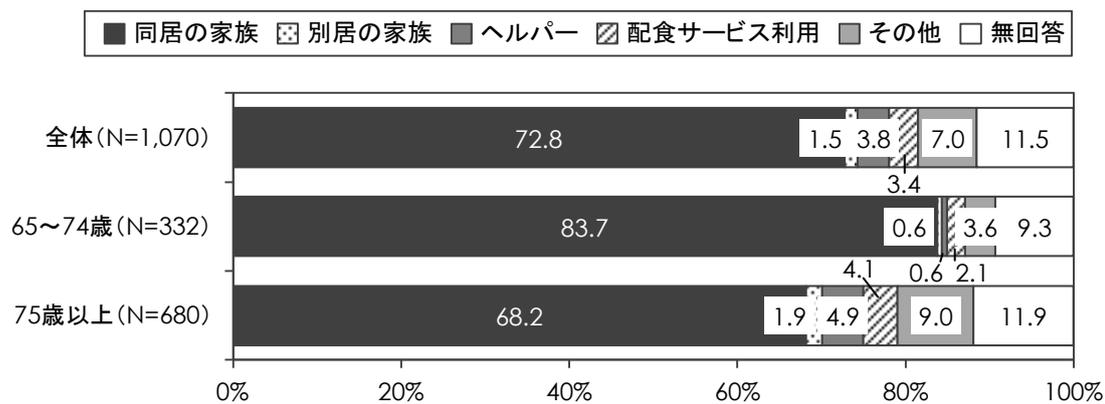
【1号被保険者】

問6-Q2-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ)日用品の買物をする人は主にどなたですか(SA)



【1号被保険者】

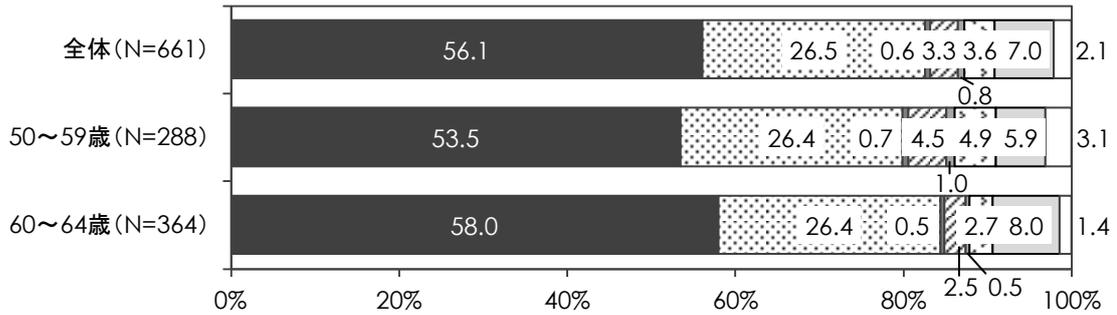
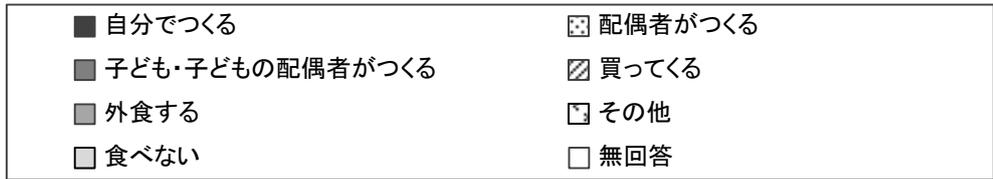
問6-Q3-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)食事の用意をする人は主にどなたですか(SA)



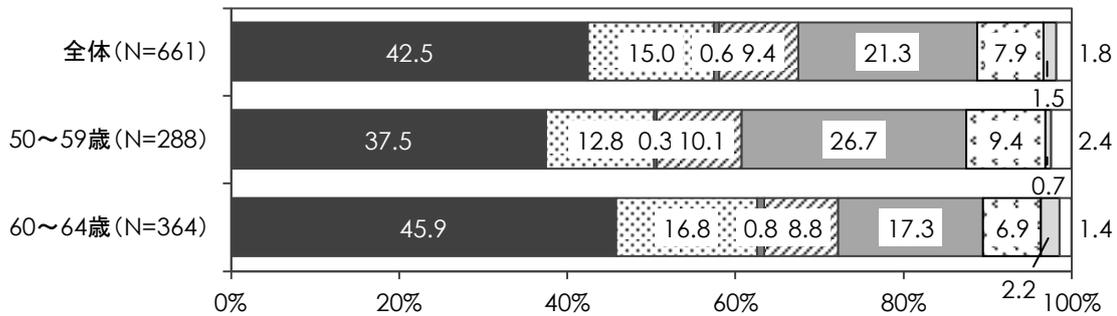
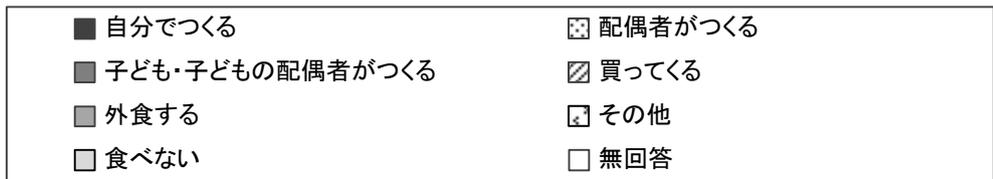
【2号被保険者】

問21 平日の食事は主にどなたがつくりですか。(SA)

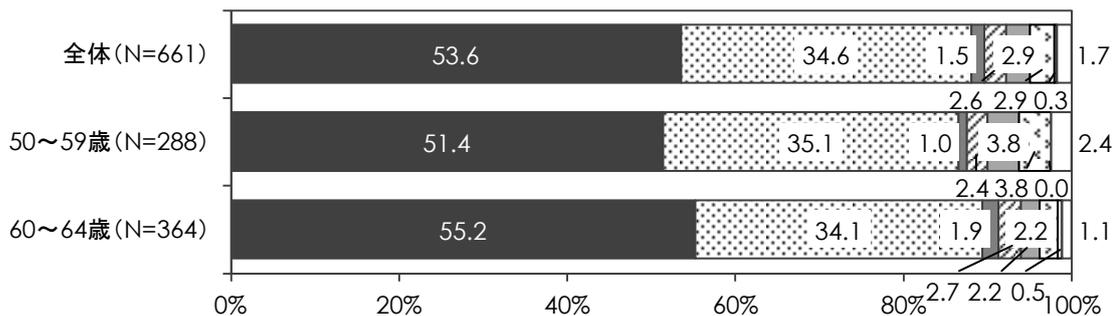
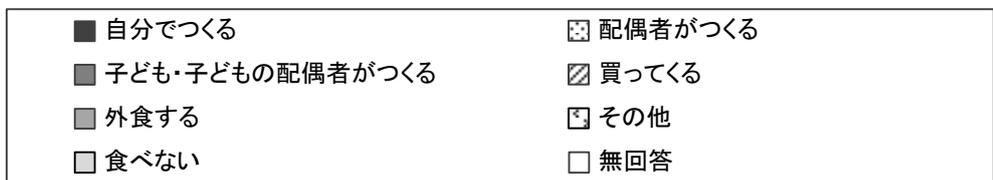
《朝食》



《昼食》



《夕食》

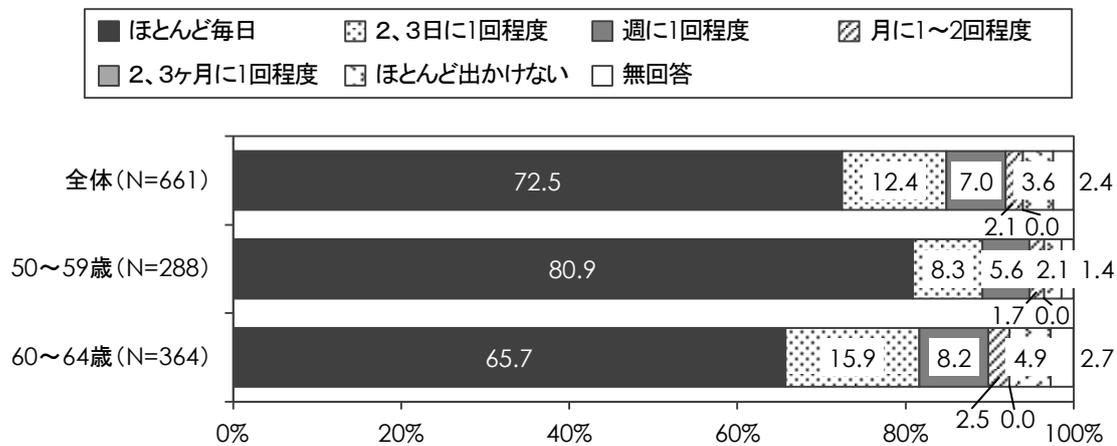


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

2. 家族以外との会話

【2号被保険者】

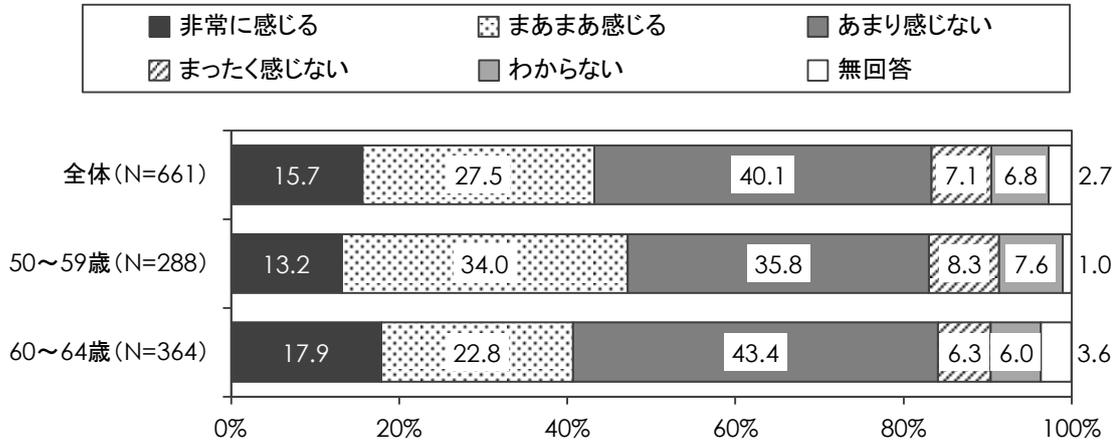
問7 ご家族以外の方との会話をする割合はどのくらいですか。(SA)



3. 孤独死

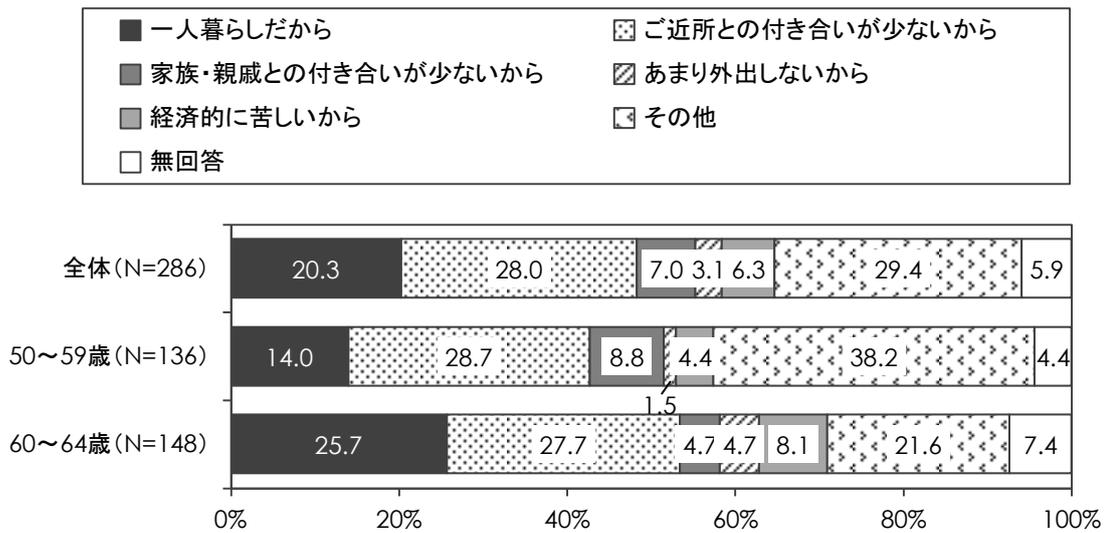
【2号被保険者】

問11 孤独死(誰にも看取られることなく、亡くなった後に発見される死)について、身近な問題だと感じますか。(SA)



【2号被保険者】

問11-1(問11で「1」～「2」と回答された方)主な理由は何ですか。(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

6 社会参加

■調査結果概要

1号被保険者の会・グループへの参加状況は、「スポーツ関係」、「趣味関係」で「週1回以上」の参加割合が高く、全体ではいずれも1割強となっています。一方、「老人クラブ」は、全体のおよそ7割が「していない」と回答しており、「65～74歳」では、8割強となっています。

また、1号被保険者の社会活動や仕事への参加状況は、「収入のある仕事」で「週1回以上」の参加割合が高く、全体で1割強、「65～74歳」では3割弱となっています。一方、その他の項目は、「していない」と回答した方の割合が高く、参加している方の割合はごく僅かとなっています。

2号被保険者の行っている運動は、「ウォーキング」が4割弱、「体操」が1割強、「ゴルフ」が1割弱となっています。逆に、「特に運動はしていない」が4割弱となっており、特に「50～59歳」では4割強となっています。

また、2号被保険者の行っている活動は、「友人・知人との交流」がおよそ4割、「運動、スポーツ、健康体操」が3割強、「趣味や娯楽活動」と「パソコン」が3割弱となっています。一方、「特に活動していない」は3割弱となっており、行っている運動と活動を合わせて、3割弱の方が運動も活動も行っていないことがわかります。

2号被保険者の社会活動への参加希望は、「健康・スポーツ等の活動」が4割弱、「各種学習・研究活動」が2割弱となっています。一方、「特に参加したい地域活動はない」がおよそ3割となっています。

1号被保険者の周囲との助け合いは、心配事や愚痴を聞いてくれる人と看病や世話をしてくれる人のいずれも、「配偶者」が最も高くなっています。「75才以上」では、「配偶者」の割合が大きく低下し、「同居の子ども」、「別居のこども」の割合がやや高くなっています。

1号被保険者のよく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が4割強となっており、年齢差はありません。次いで、「趣味や関心が同じ友人」が3割弱、「仕事での同僚・元同僚」が2割強となっていますが、「75歳以上」では、それぞれ2割強、1割強に低下していることから、「近所・同じ地域の人」の重要性は高いと言えます。

2号被保険者の就労希望は、「働きたい」が全体で8割弱となっており、「50～59歳」では9割弱、「60～64歳」では7割弱となっています。

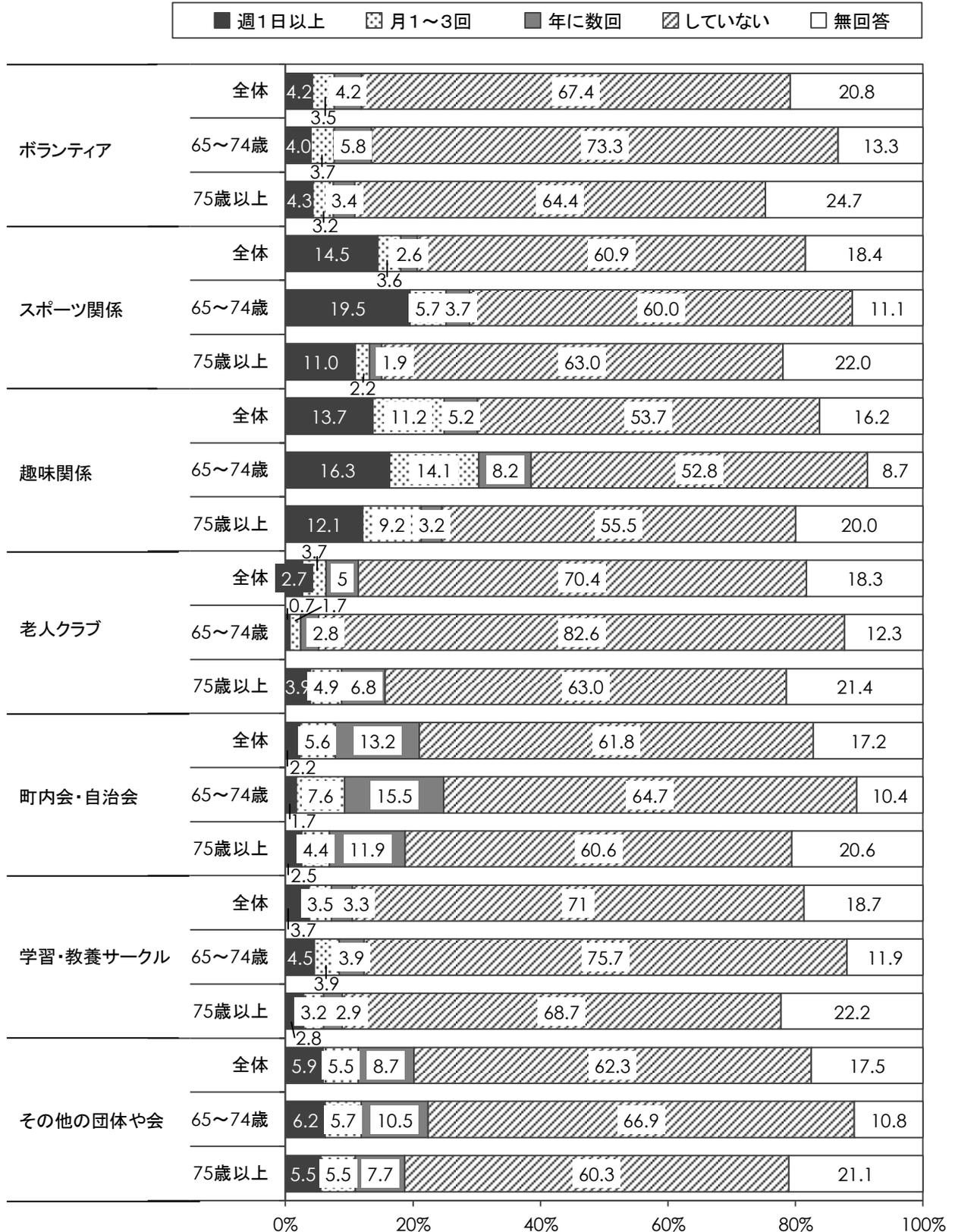
また、就労希望のある方の働きたい年齢は、全体で「65～69歳」が5割弱、「70～74歳」が3割強となっており、65歳を過ぎても働きたい方が大半であることがわかります。

ただし、働き方としては、定年前とは異なる条件での就労を希望しています。

1. 会・グループへの参加状況

【1号被保険者】

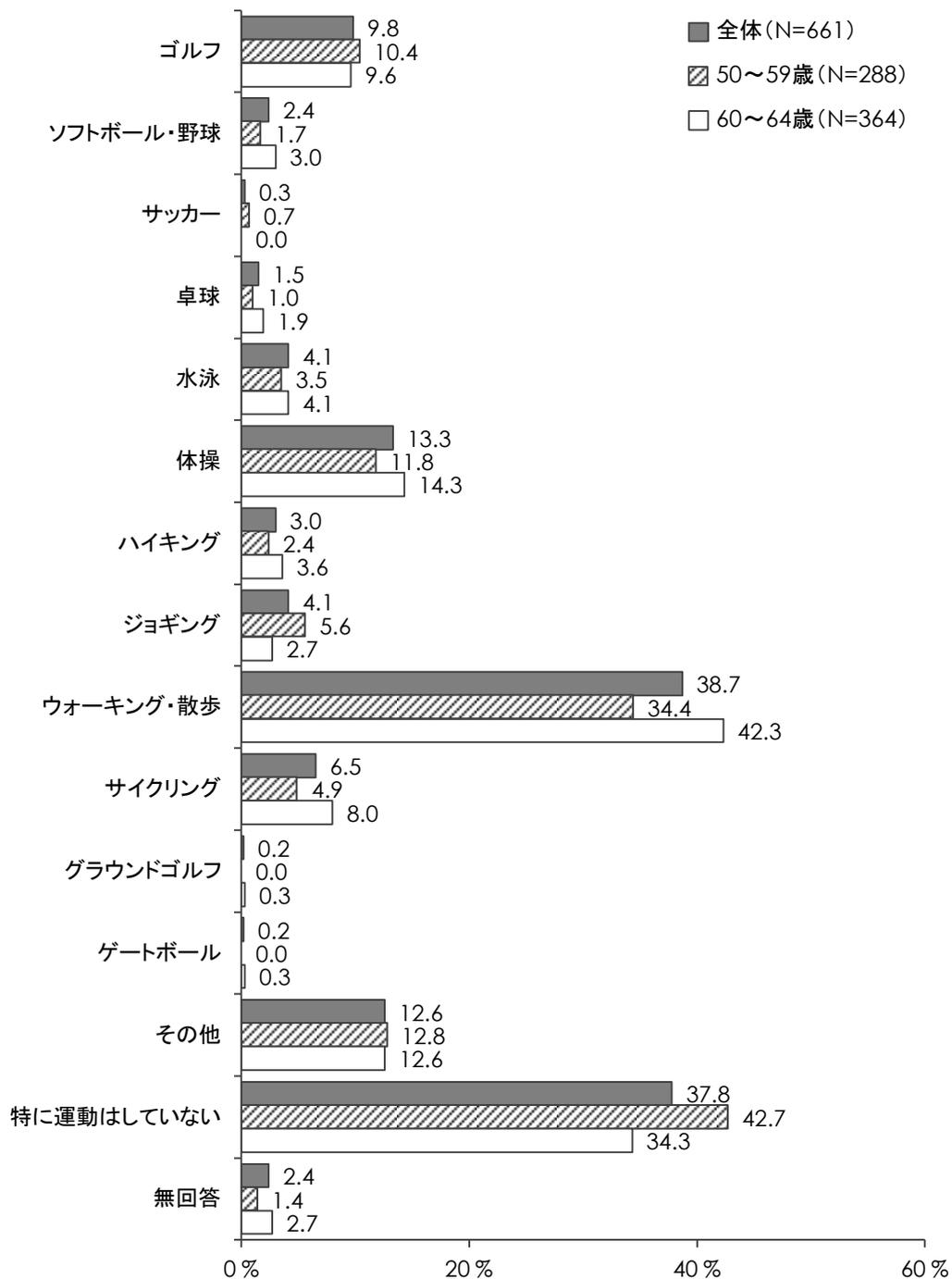
問7-Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【2号被保険者】

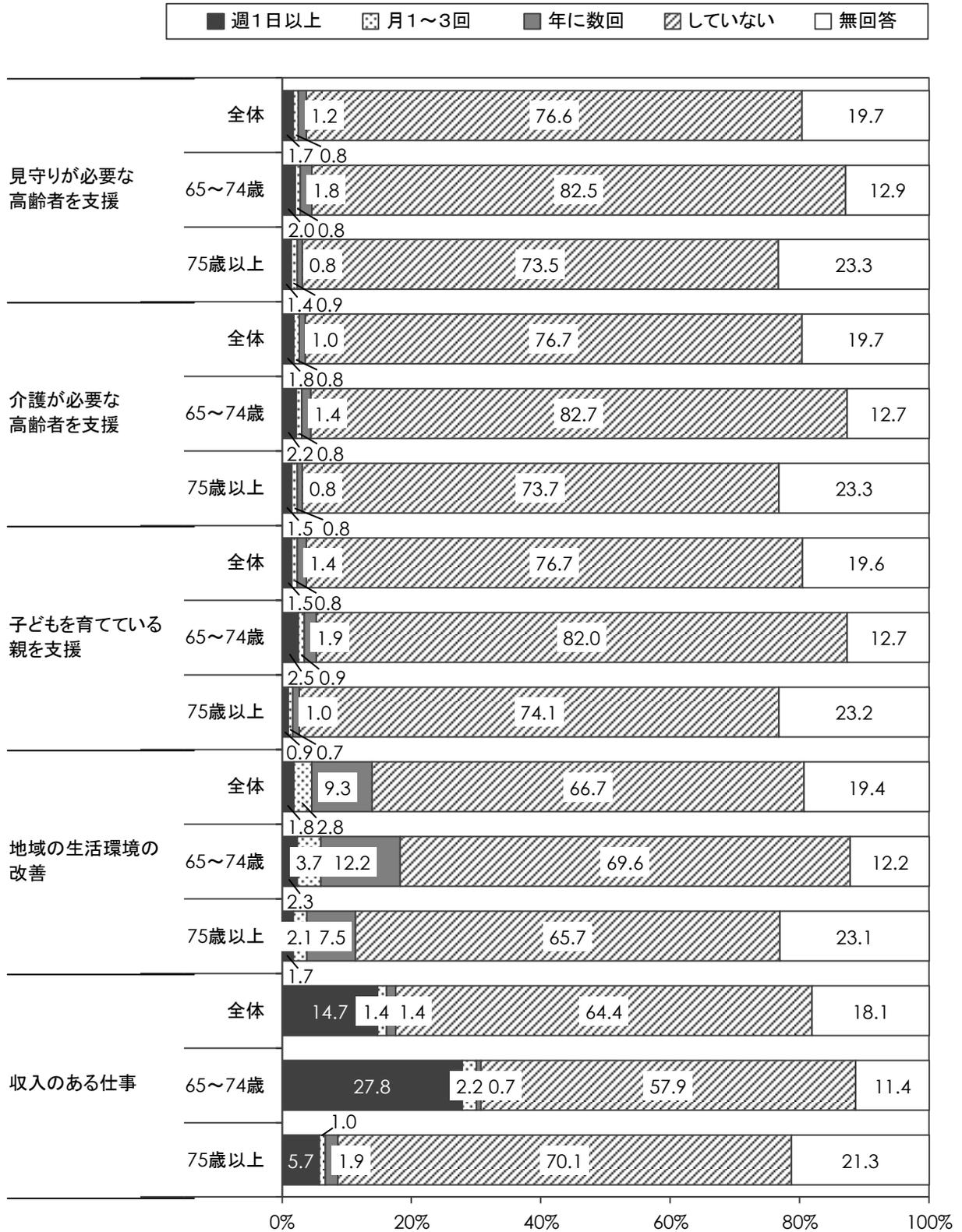
問9 普段あなた(あて名ご本人)はどのような運動をしていますか(MA)



2. 社会活動や仕事への参加状況

【1号被保険者】

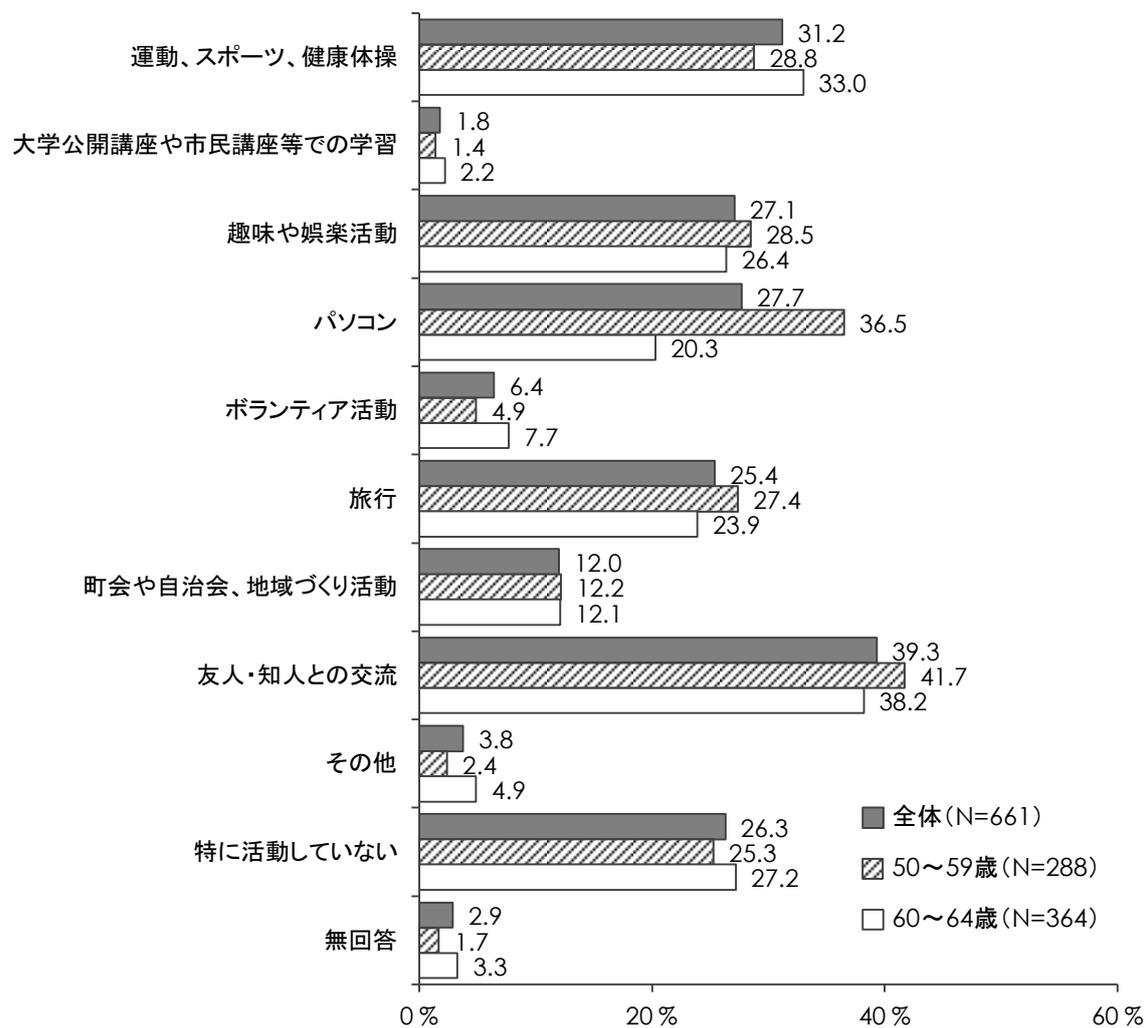
問7-Q12. 以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【2号被保険者】

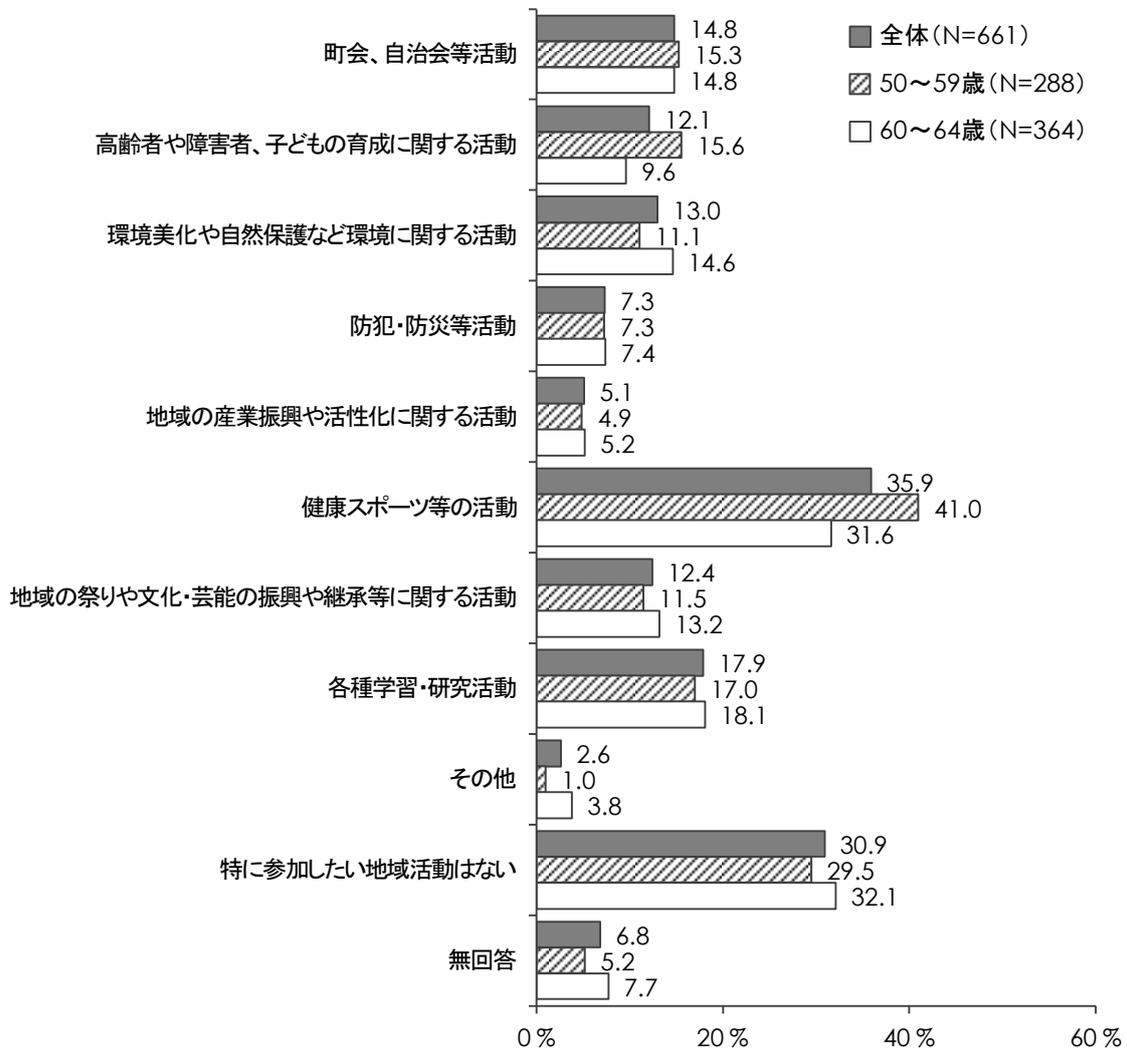
問8 あなた(あて名ご本人)は現在、次のような活動をしていますか。(MA)



3. 社会活動への参加希望

【2号被保険者】

問12 今後、以下のような地域での活動に参加したい、又は、続けたいですか。(MA)



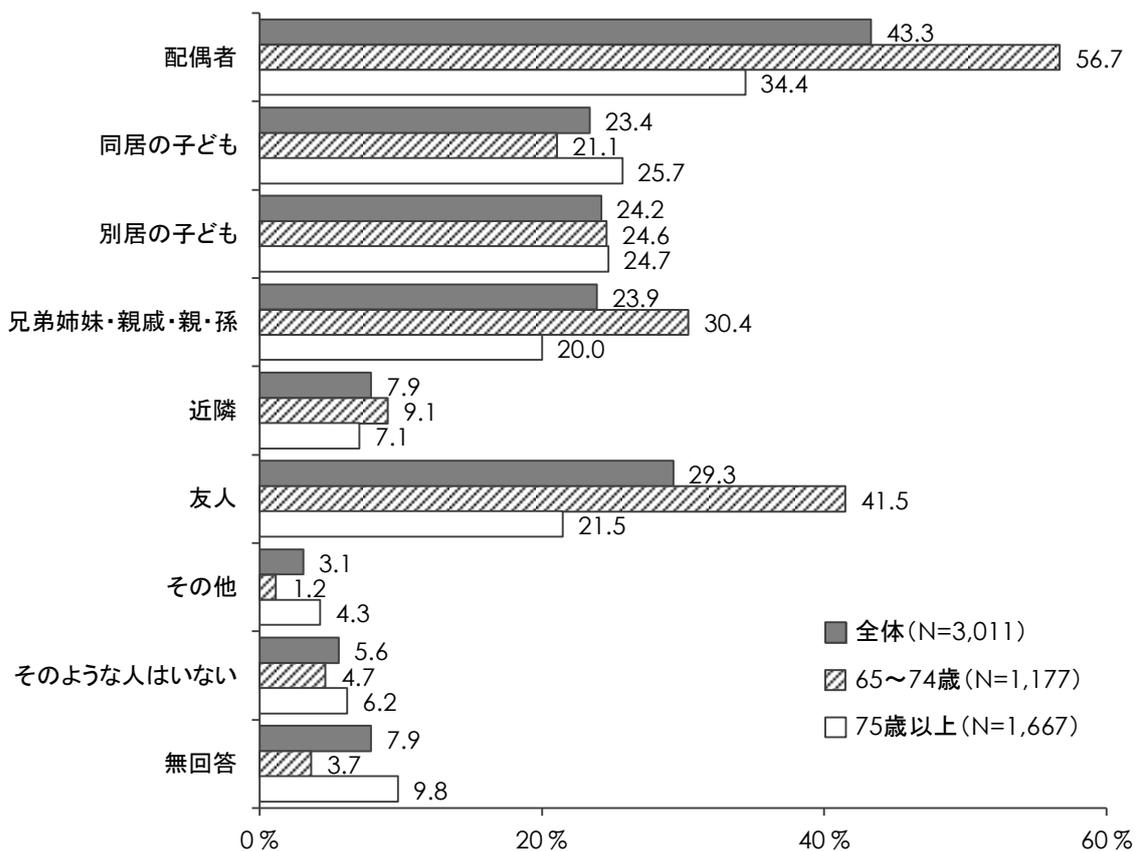
Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

4. 周囲との助け合い

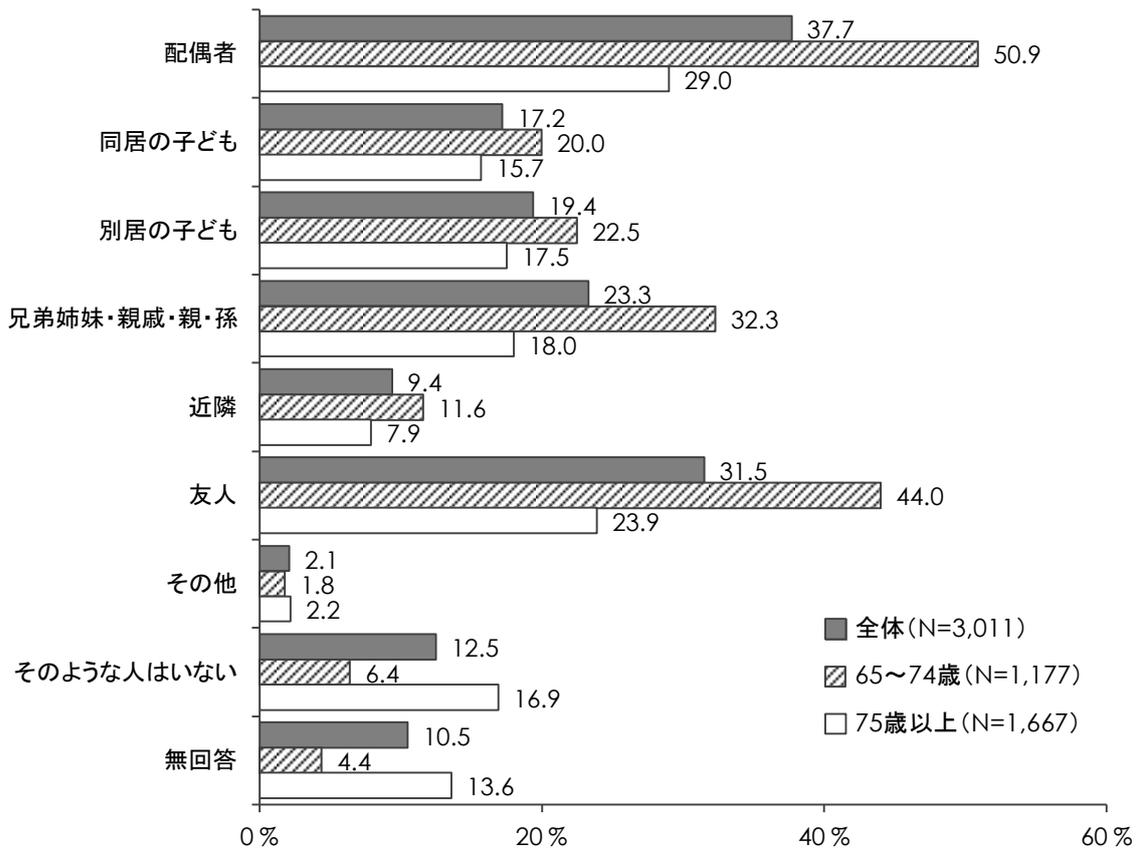
【1号被保険者】

問7-Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします（MA）

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

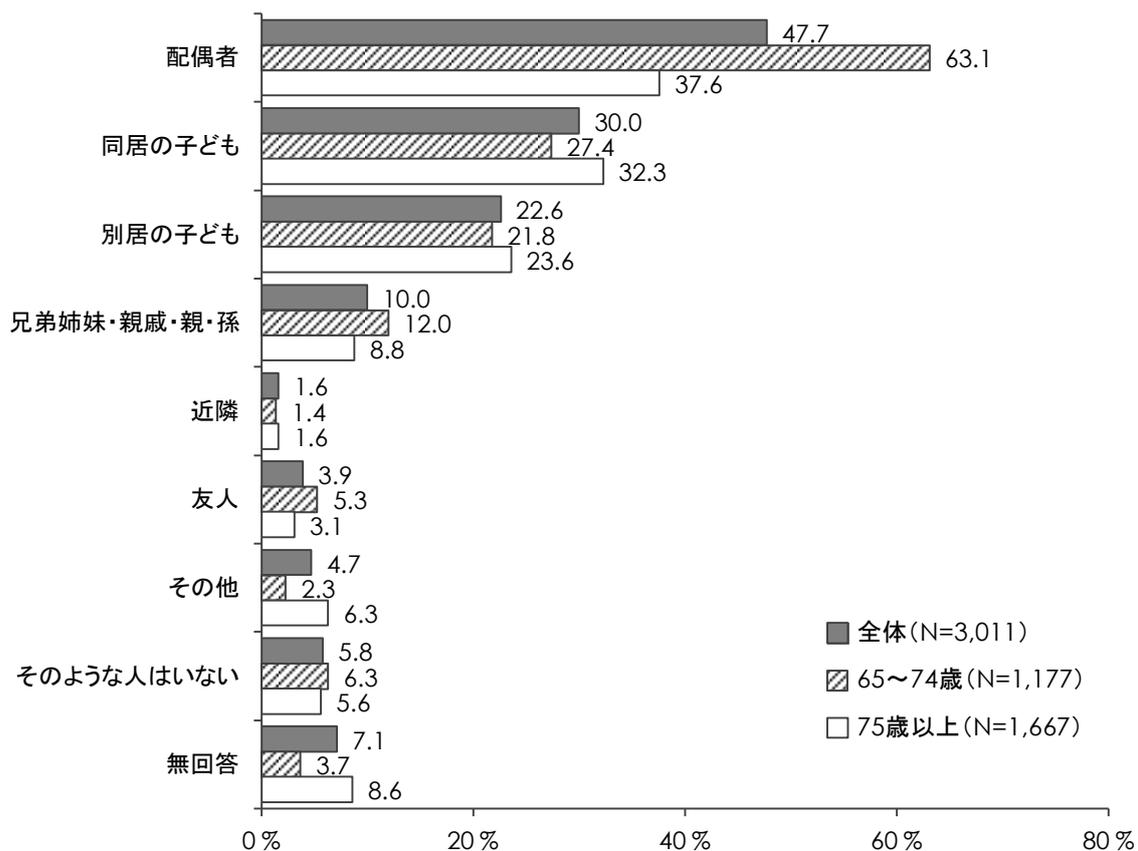


(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

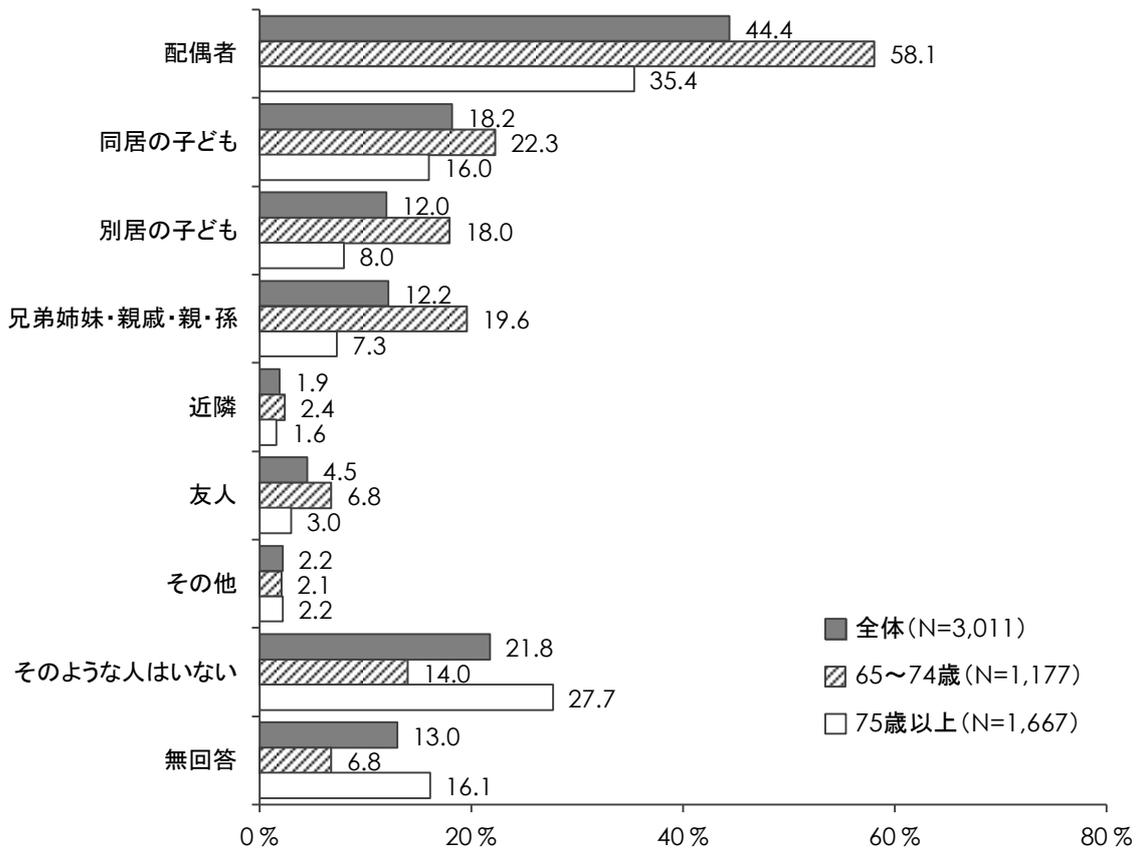


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



(4) 反対に、看病や世話をしあげる人

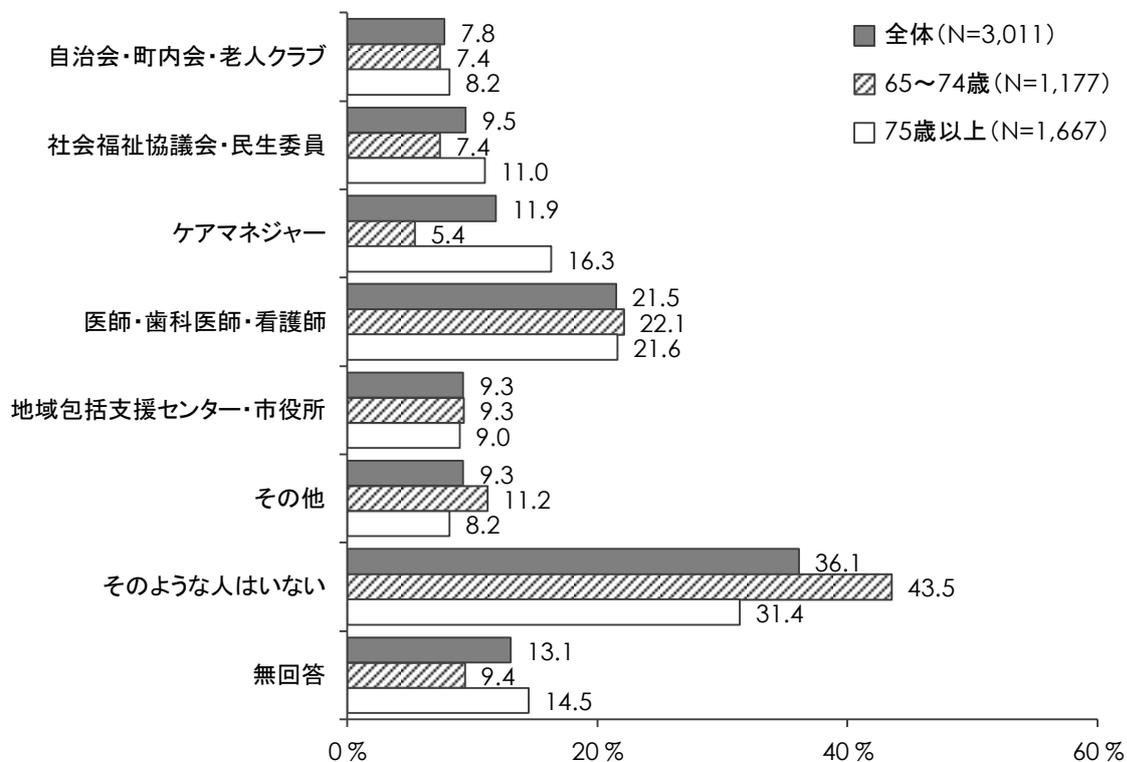


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

5. 相談相手

【1号被保険者】

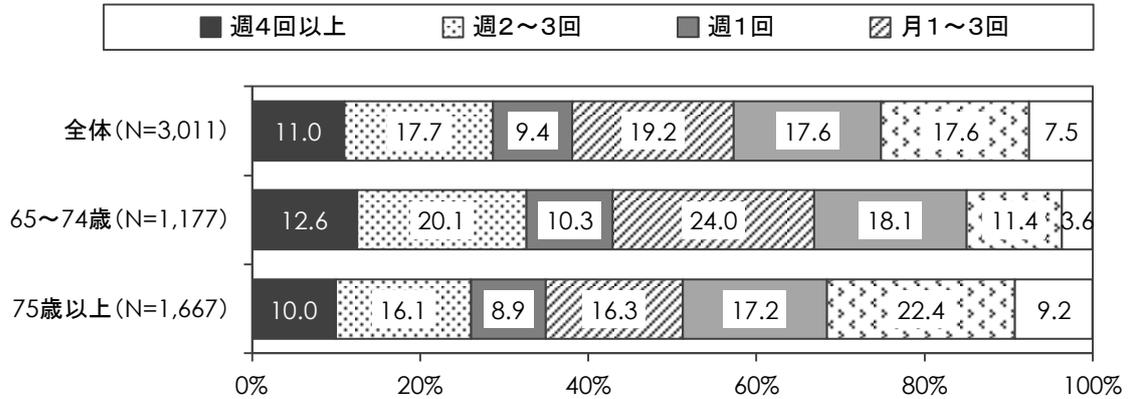
問7-Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(MA)



6. 友人・知人との関わり

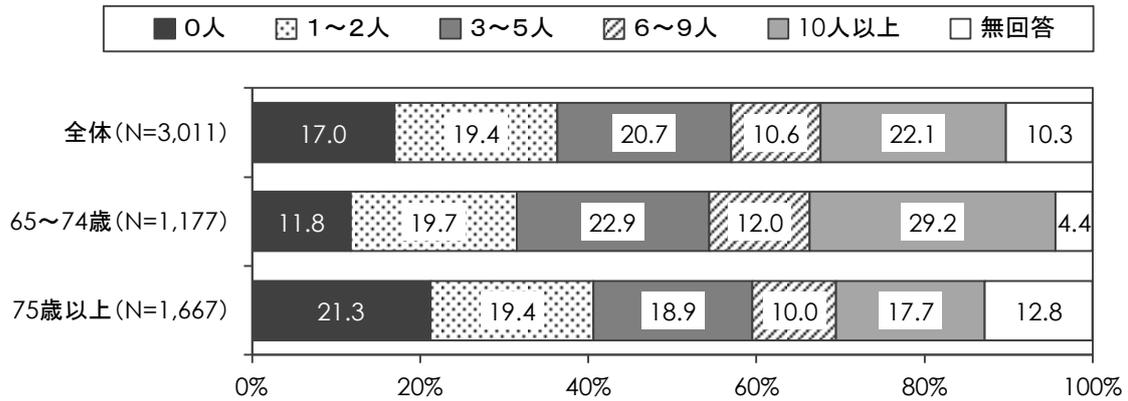
【1号被保険者】

問7-Q15. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(SA)



【1号被保険者】

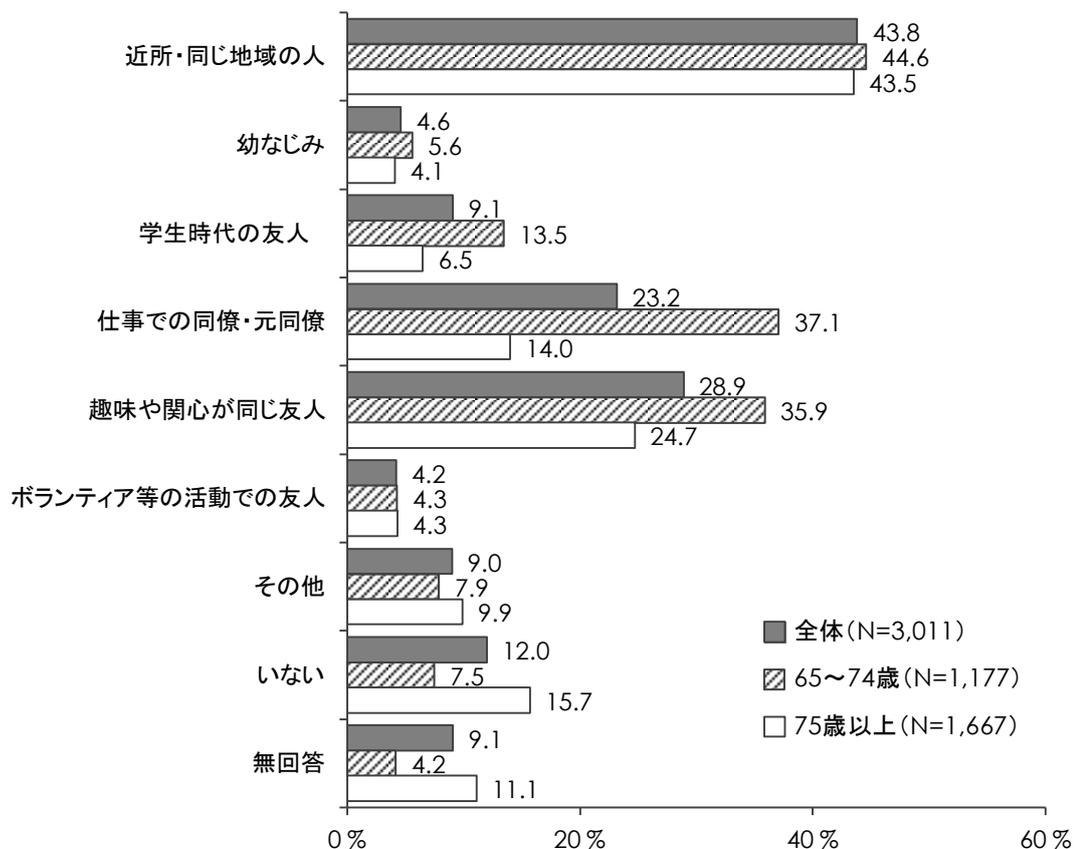
問7-Q16. この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか(同じ人には何度会っても1人と数えます)(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【1号被保険者】

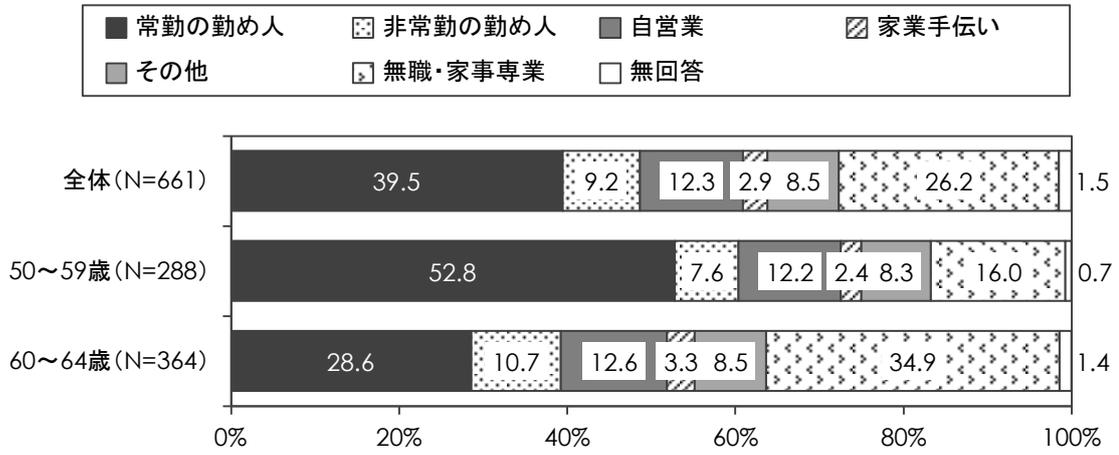
問7-Q17. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(MA)



7. 就労状況

【2号被保険者】

問4 あなた(あて名ご本人)の仕事は次のどれですか。(SA)

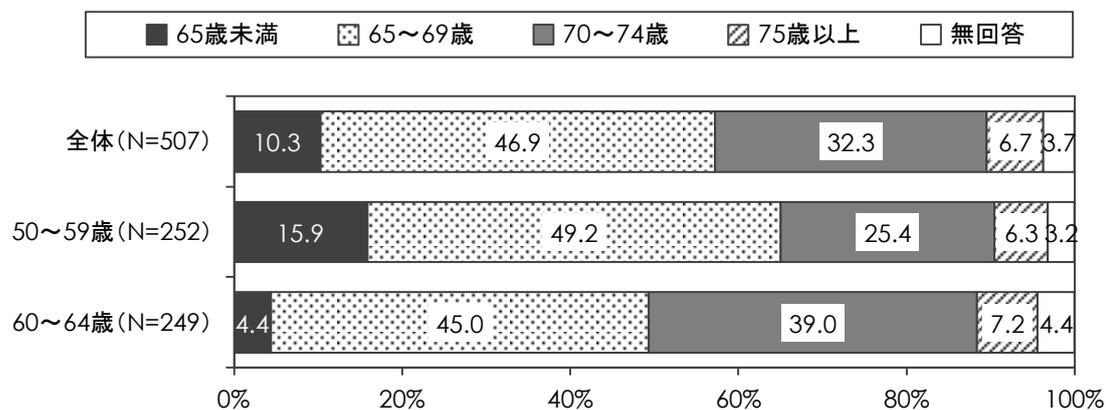
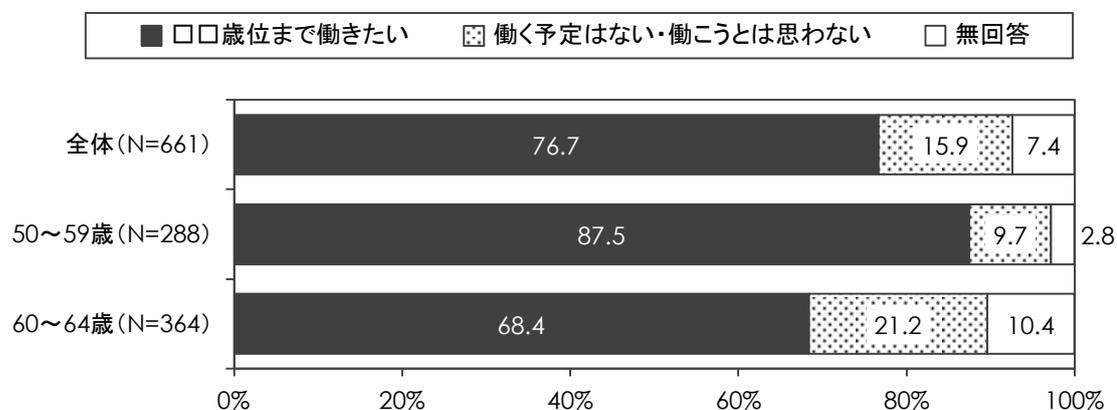


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

8. 就労希望

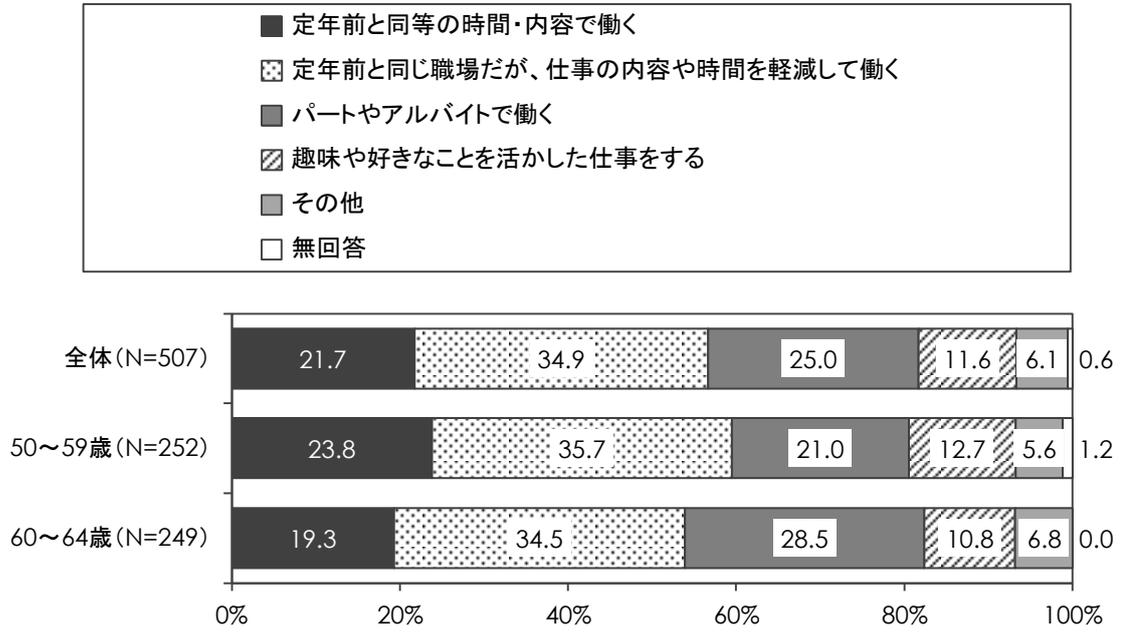
【2号被保険者】

問4-1 あなた(あて名ご本人)は、何歳まで働き続けたいと思いますか。(SA、NA)



【2号被保険者】

問4-2 あなた(あて名ご本人)は、働き続ける場合、どのような働き方が望ましいと思いますか。(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

7 健康

■調査結果概要

1号被保険者の健康状態は、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせると、およそ7割が健康であると感じています。逆に、「健康でない」と「あまり健康でない」を合わせると2割強となっています。「75歳以上」に限定すると、7割弱が健康、3割弱が健康でないと感じています。

一方、2号被保険者の健康状態は、8割弱が健康であると感じており、逆におよそ2割が健康ではないと感じています。

この結果から、大きな差はないものの、年齢が高くなるに従って、健康でないと感じる割合も高くなっていることがわかります。

1号被保険者の既往症では、「高血圧」が4割強で最も高くなっています。次いで、「目の病気」が2割強、「心臓病」と「糖尿病」、「筋骨格の病気」が1割強となっています。いずれも「75歳以上」で割合がやや高くなっています。

2号被保険者の既往症においても、「高血圧症」が5割強で最も高くなっています。次いで、「脂質異常症」が3割弱、「糖尿病」が2割強となっています。

（利用している方のみの）1号被保険者の在宅サービスの利用状況は、「通所介護」が4割強で最も高くなっています。次いで、「訪問介護」と「訪問診療」が2割弱となっています。

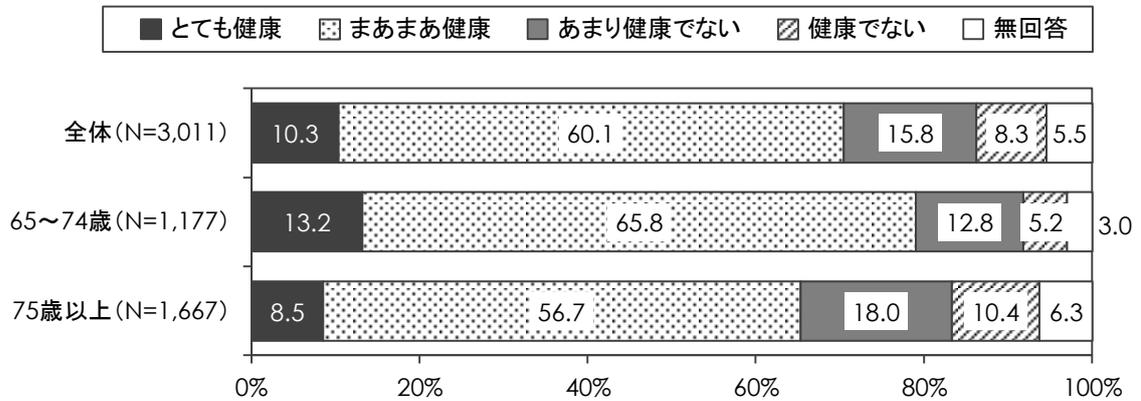
2号被保険者の定期的な健康診断は、「受けている」と「時々、受けている」を合わせると8割強となっています。一方、「受けていない」は2割弱となっています。

また、2号被保険者のかかりつけ医は、「いる」が6割弱、「いない」がおよそ4割となっています。

1. 健康状態

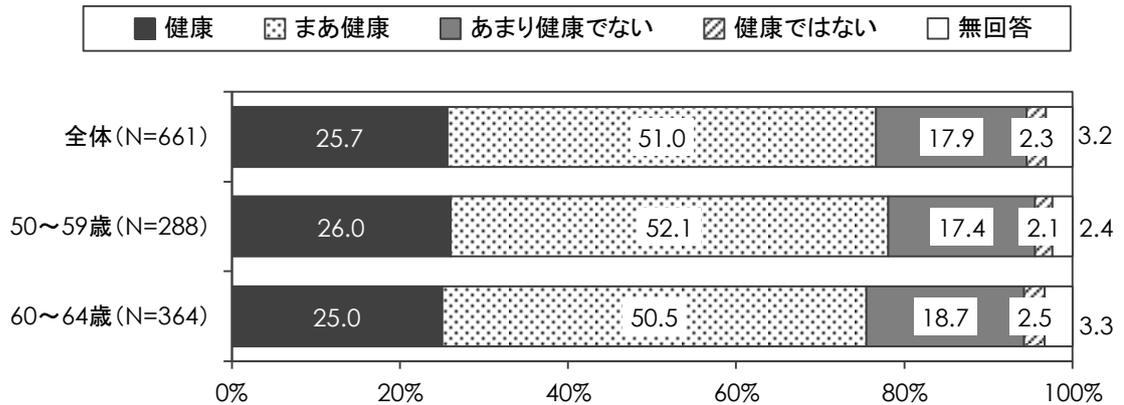
【1号被保険者】

問8-Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか(SA)



【2号被保険者】

問13 現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(SA)

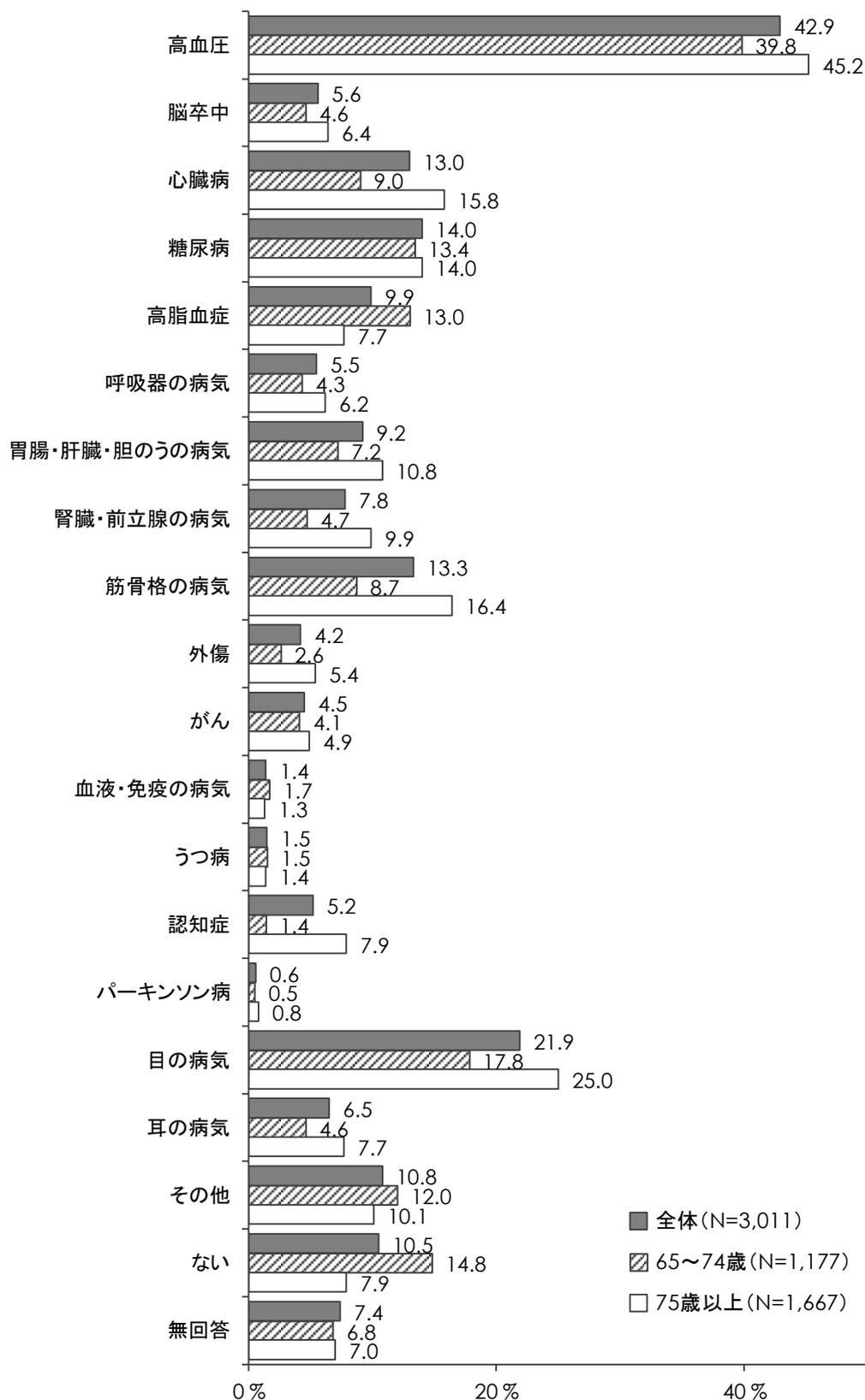


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

2. 既往症

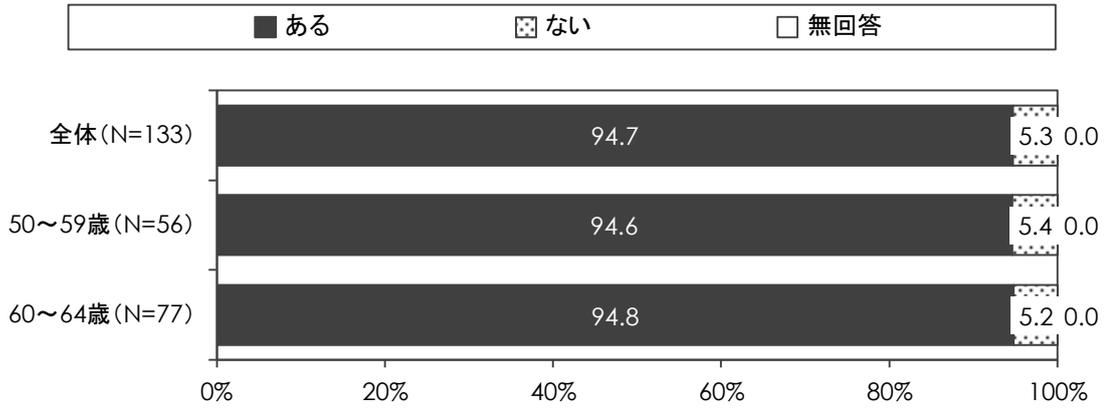
【1号被保険者】

問8-Q2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(MA)



【2号被保険者】

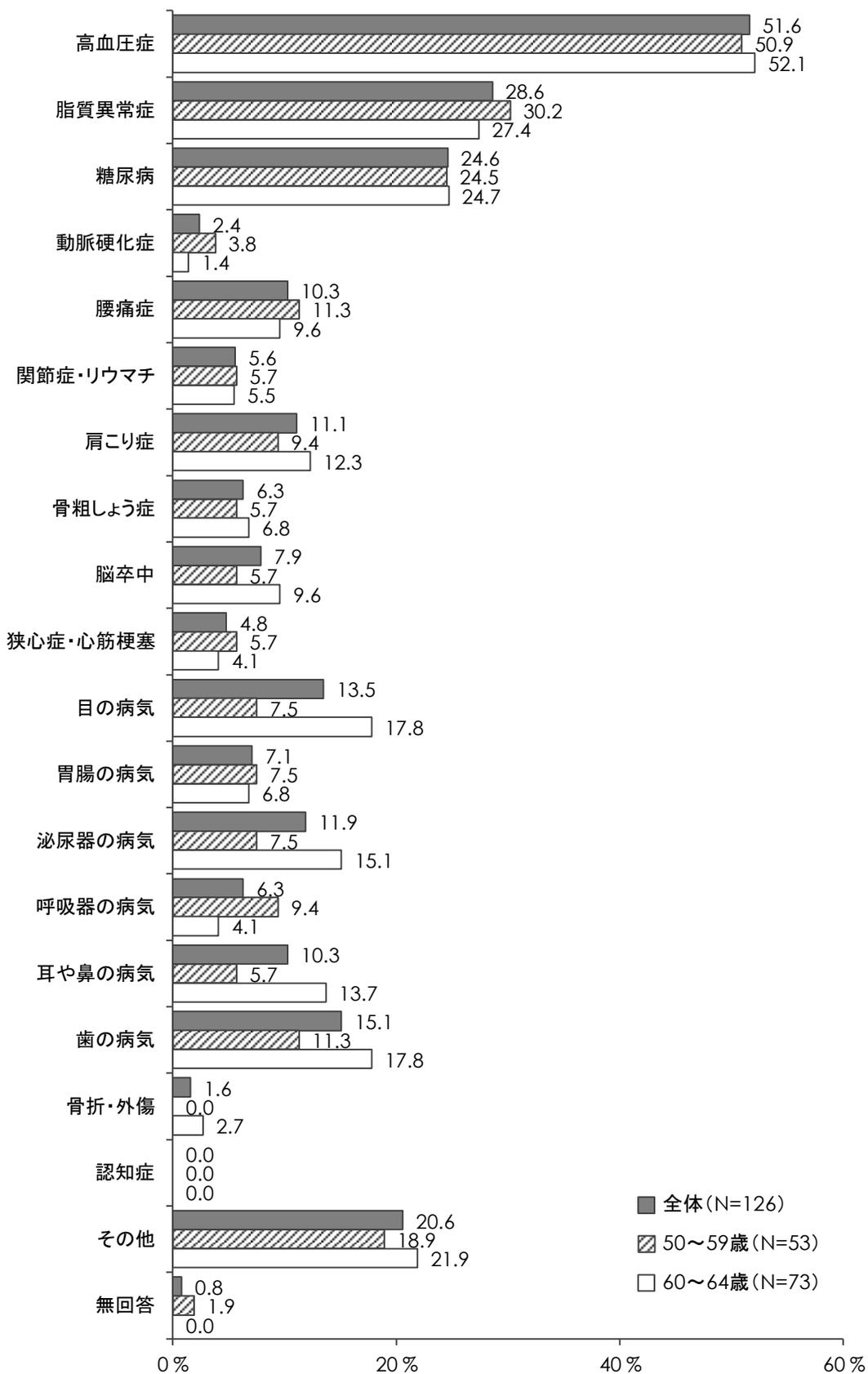
問13-1 医療機関で治療中又は服薬中の病気やけがはありますか。(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

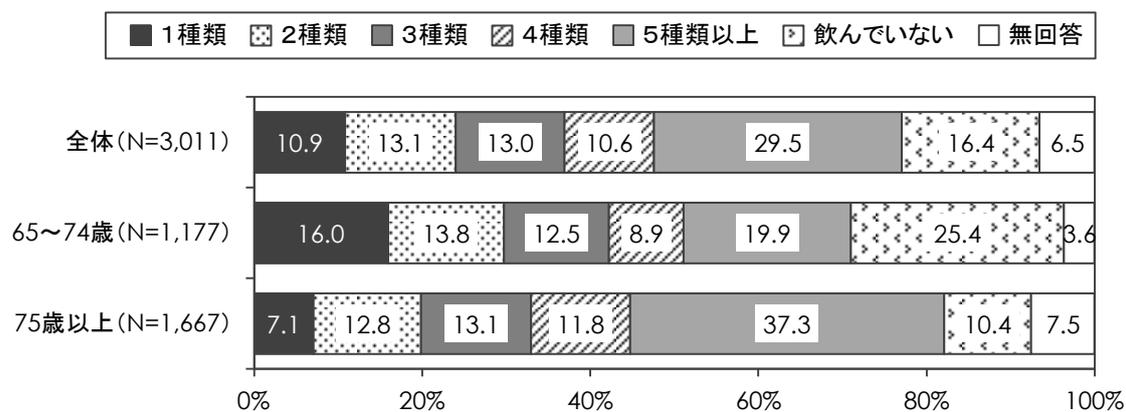
【2号被保険者】

問13-2 どのような病気・けがですか。(MA)



【1号被保険者】

問8-Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか(SA)

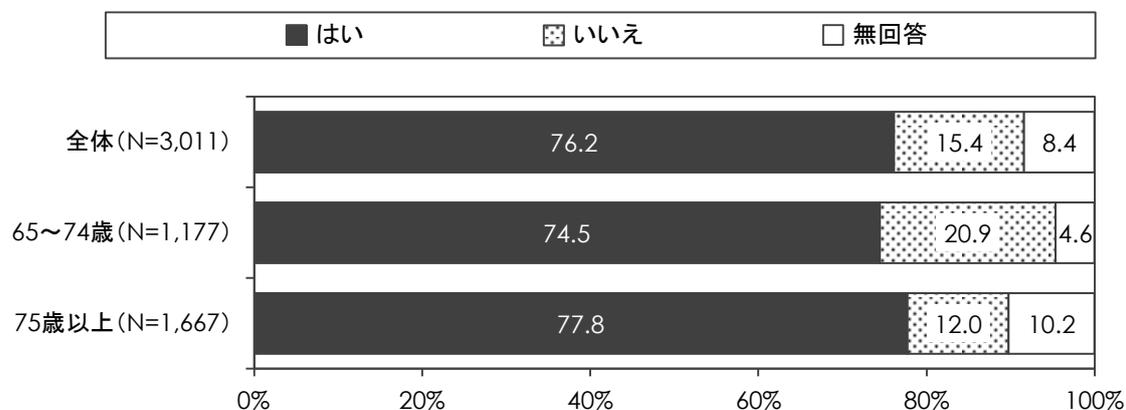


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

3. 通院状況

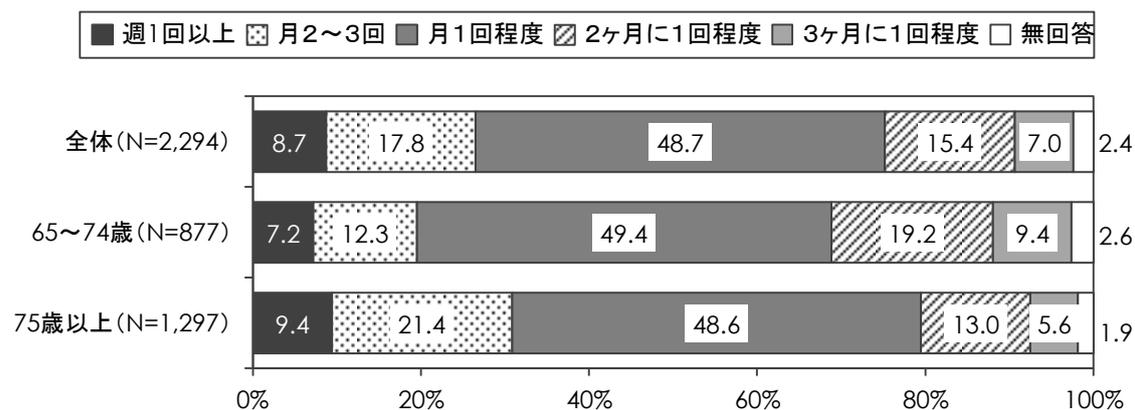
【1号被保険者】

問8-Q4. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか（SA）



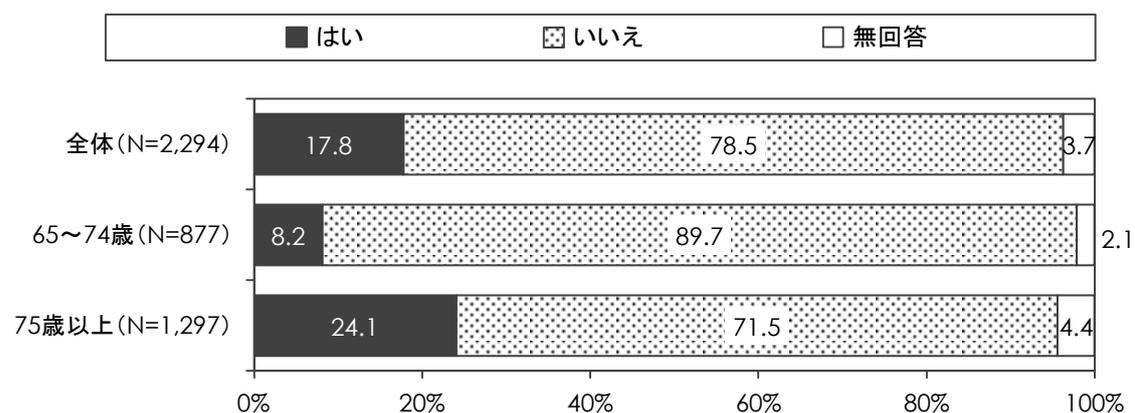
【1号被保険者】

問8-Q4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか（SA）



【1号被保険者】

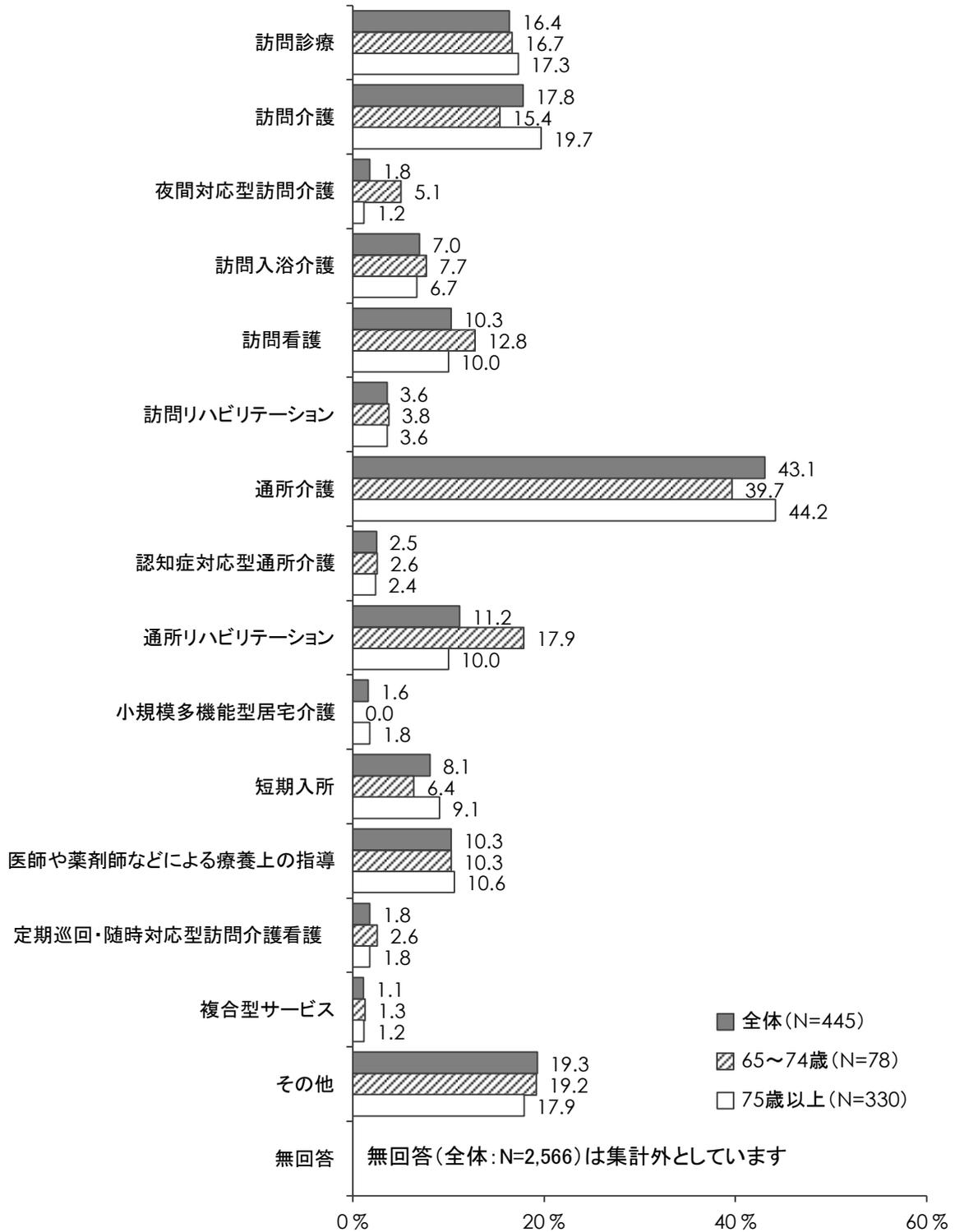
問8-Q4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか（SA）



4. 在宅サービスの利用状況

【1号被保険者】

問8-Q5. (利用している方のみ)以下の在宅サービスを利用していますか。(MA)

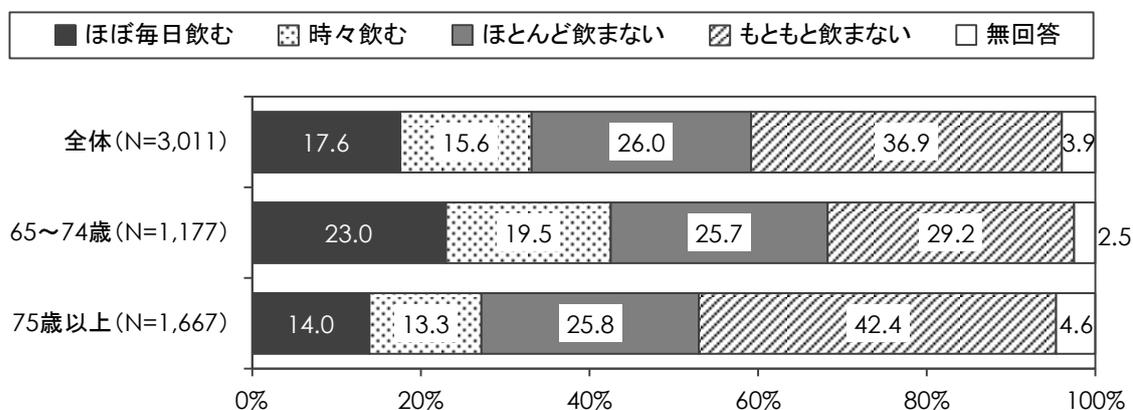


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

5. 飲酒・喫煙状況

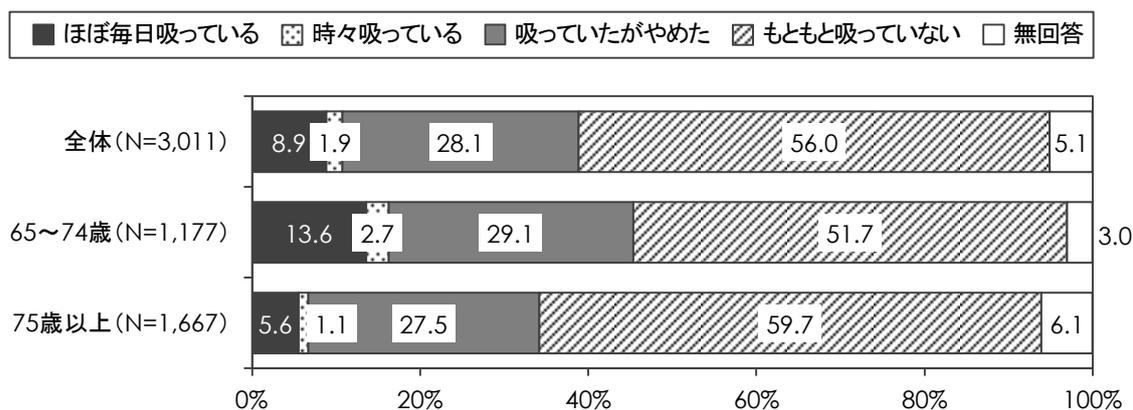
【1号被保険者】

問8-Q6. お酒は飲みますか(SA)



【1号被保険者】

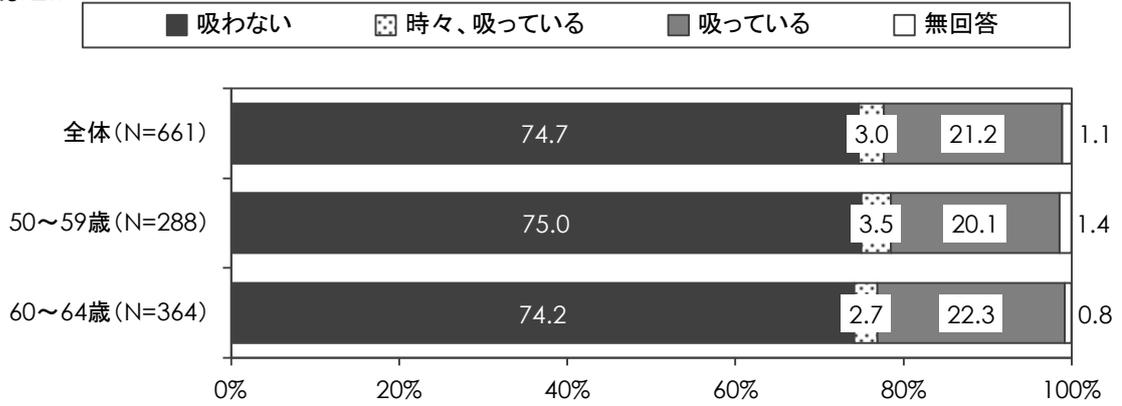
問8-Q7. タバコは吸っていますか(SA)



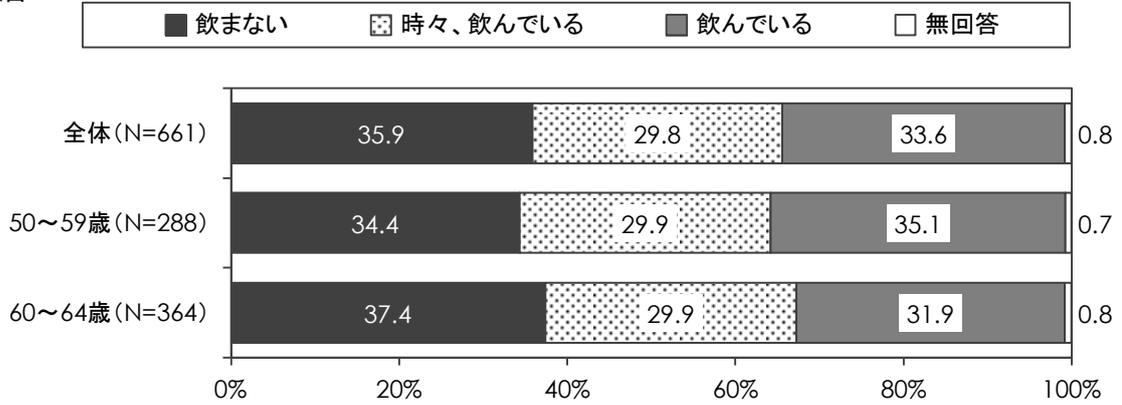
【2号被保険者】

問14 あなた(あて名ご本人)の健康に関する行動についておたずねします。(SA)

《タバコ》



《お酒》

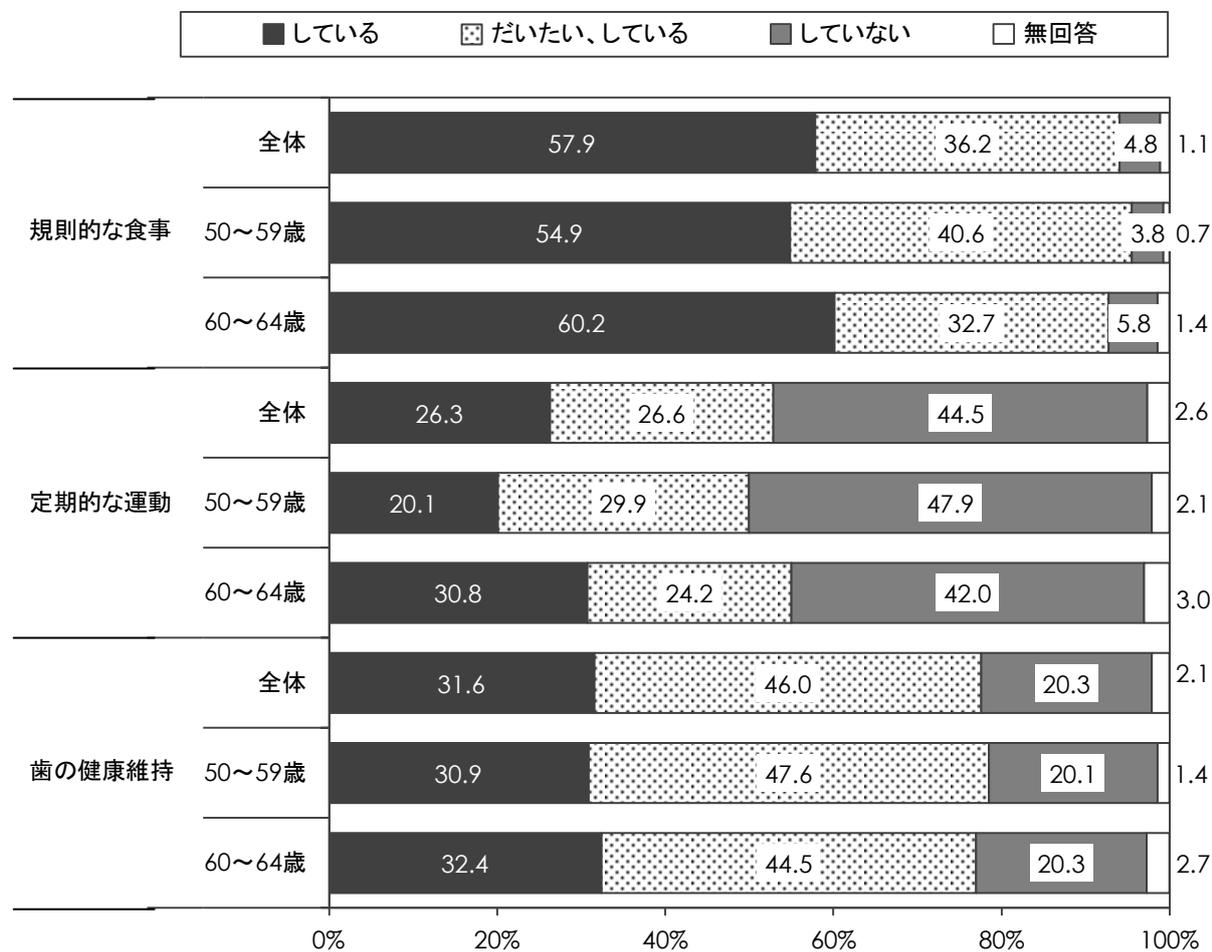


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

6. 健康に関する行動

【2号被保険者】

問14 あなた(あて名ご本人)の健康に関する行動についておたずねします。(SA)

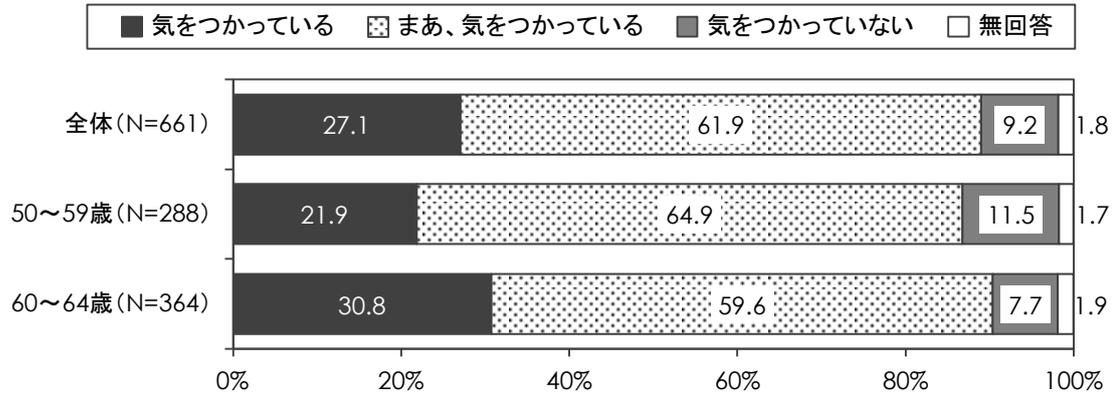


※全体(N=661)、50～59歳(N=288)、60～64歳(N=364)

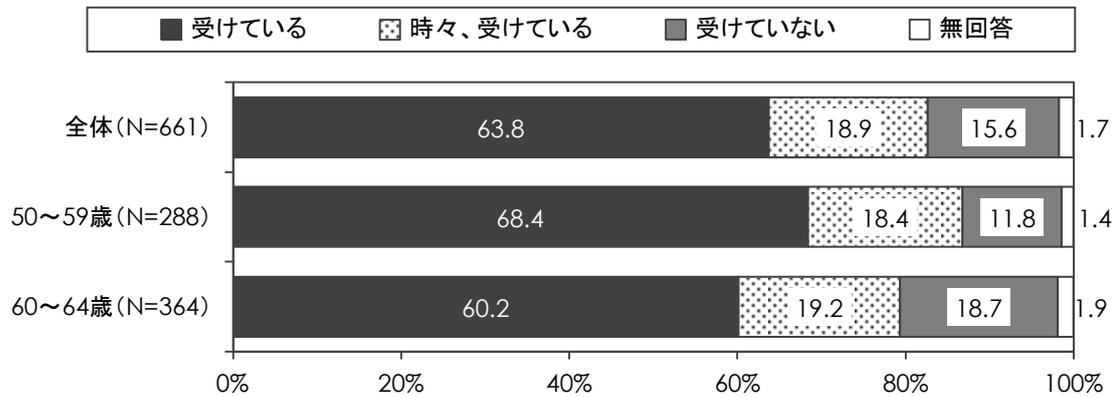
【2号被保険者】

問14 あなた(あて名ご本人)の健康に関する行動についておたずねします。(SA)

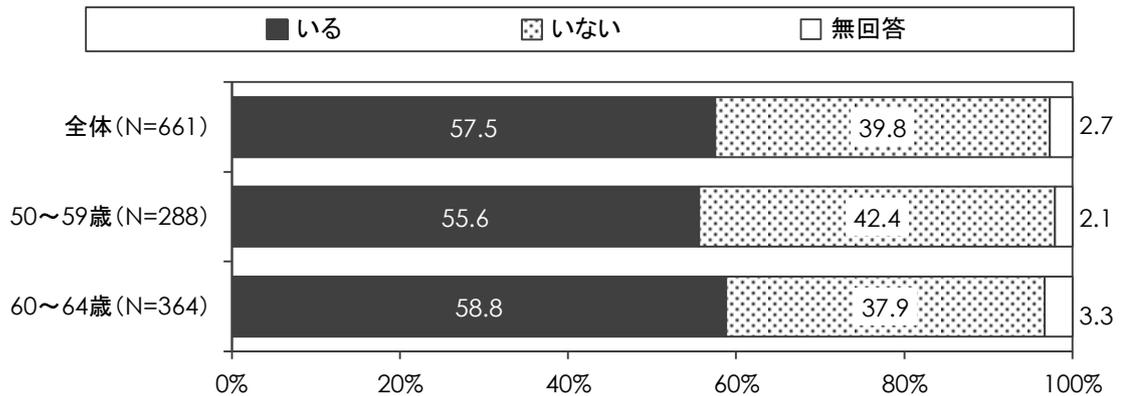
《普段の健康》



《定期的な健康診断》



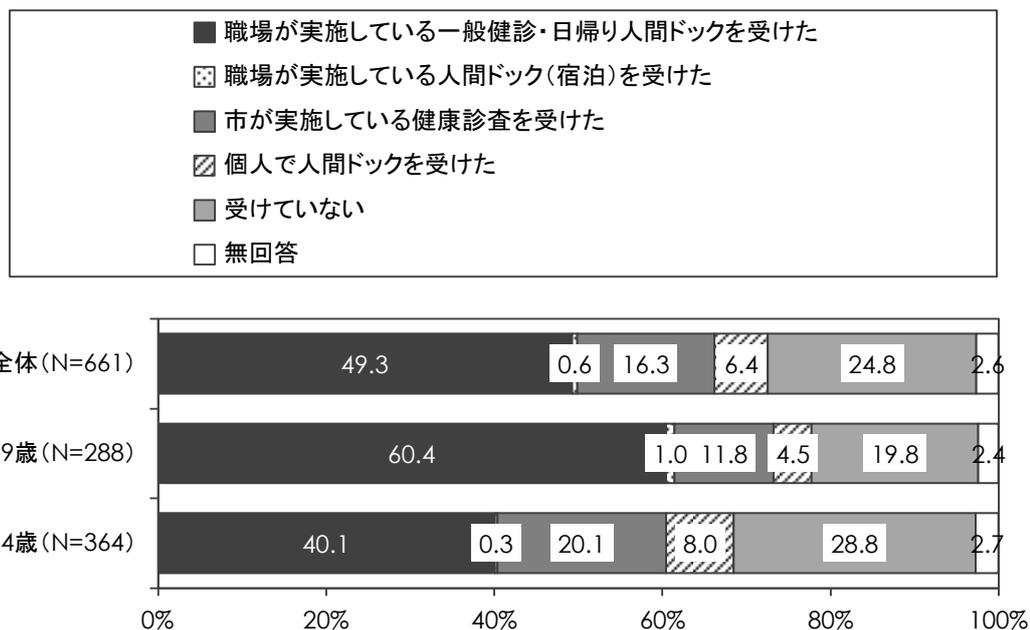
《かかりつけ医》



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【2号被保険者】

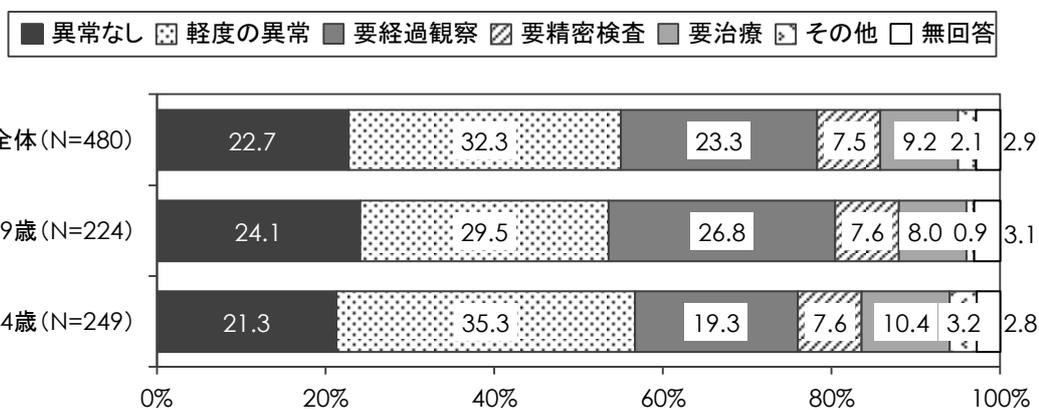
問15 あなた(あて名ご本人)は、ここ1年間、健康診断や人間ドックなどを受診したことがありますか。(SA)



【2号被保険者】

問15-1 (問15で受けたと回答された方)

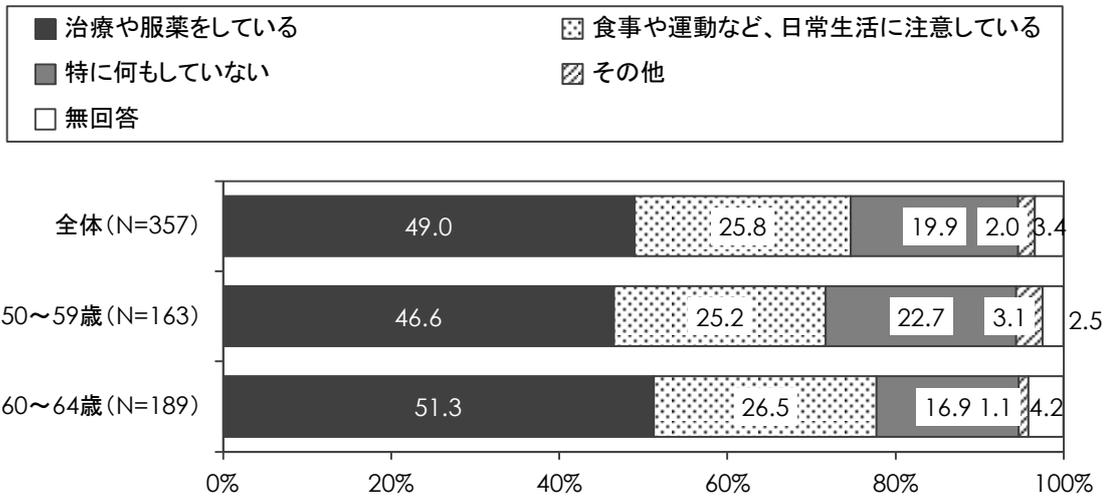
受診の結果、異常を指摘された点はありますか。(SA)



【2号被保険者】

問15-2（問15-1で異常があったと回答された方）

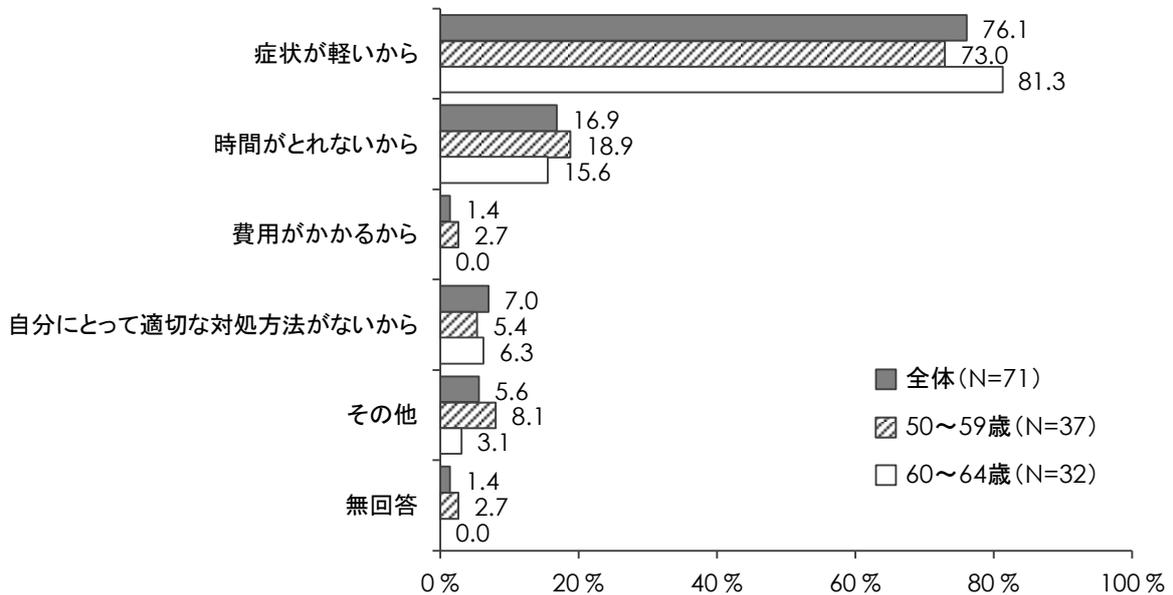
異常を指摘されたことについて、治療や日常生活に注意をしていますか。（SA）



【2号被保険者】

問15-3（問15-2で「特に何もしていない」と回答された方）

「特に何もしていない」のはなぜですか。（MA）

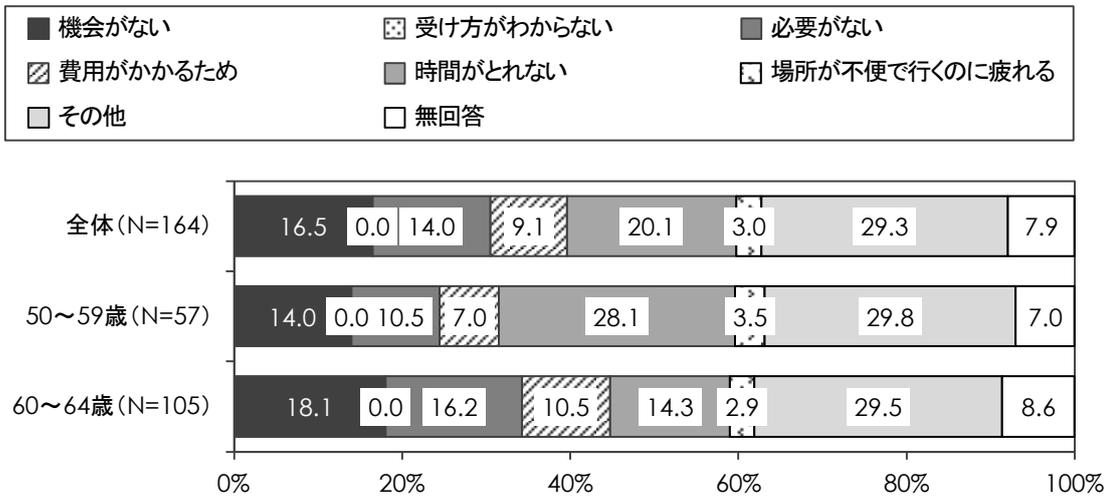


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【2号被保険者】

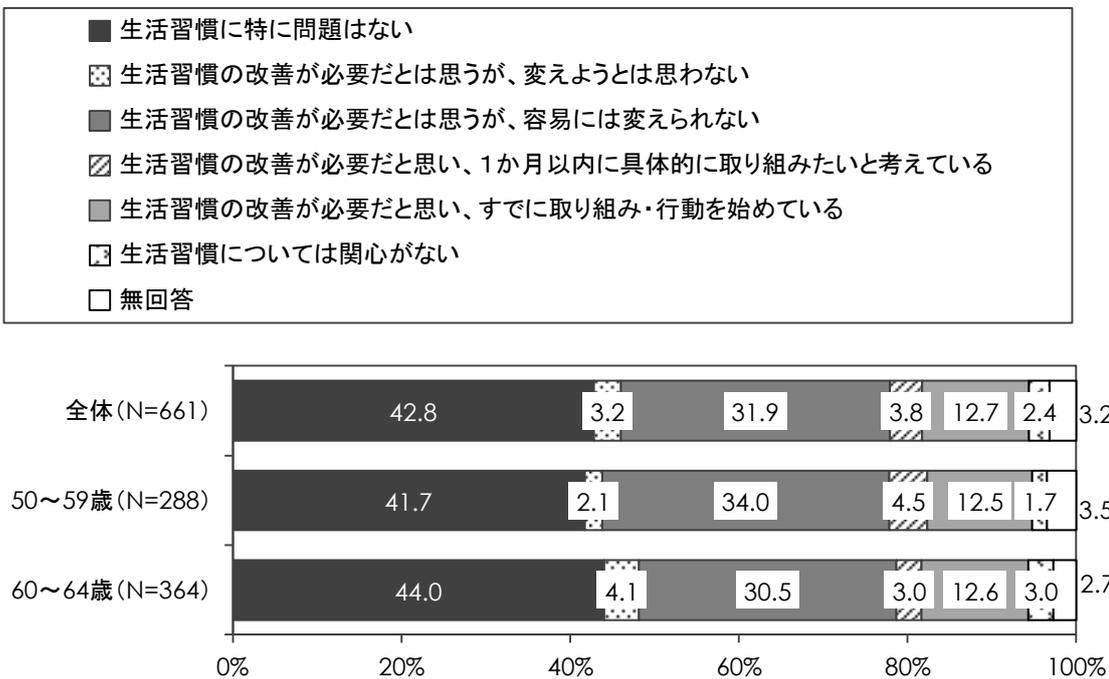
問15-4（問15で受けていないと回答された方）

受診していない主な理由はどんなことですか。（SA）



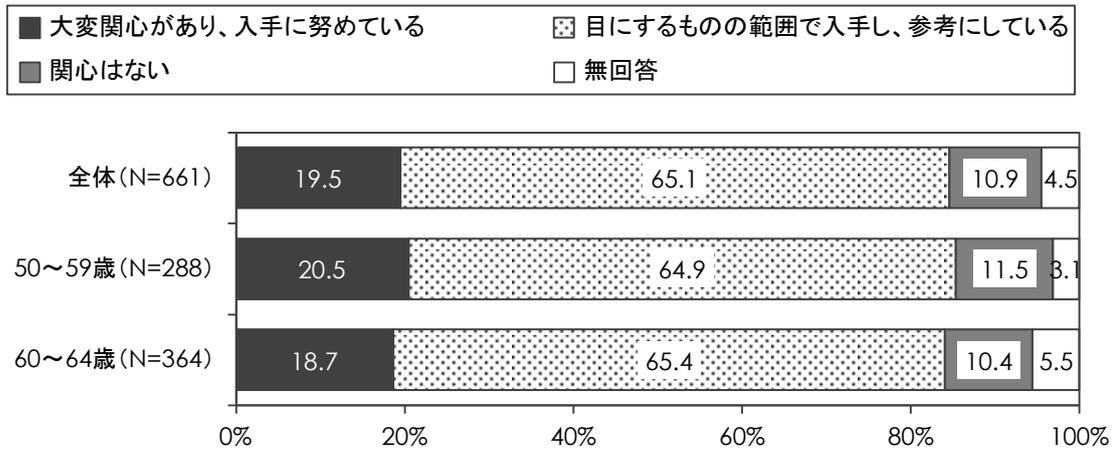
【2号被保険者】

問20 あなた(あて名ご本人)は、ご自身の生活習慣(食事・運動など)についてどのようにお考えですか。（SA）



【2号被保険者】

問24 あなた(あて名ご本人)の健康に関して、普段から情報を入手し生活に取り入れることに関心があるほうですか。(SA)



8 介護保険

■調査結果概要

介護保険制度について知っていることについて、1号被保険者では、「介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が6割強で最も高くなっています。次いで、「介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている」がおよそ5割、「要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある」と「40歳以上の人が介護保険料を負担する」が4割弱となっています。

2号被保険者においても、上位4項目は同様の項目となっており、1号被保険者よりも割合がやや高くなっています。

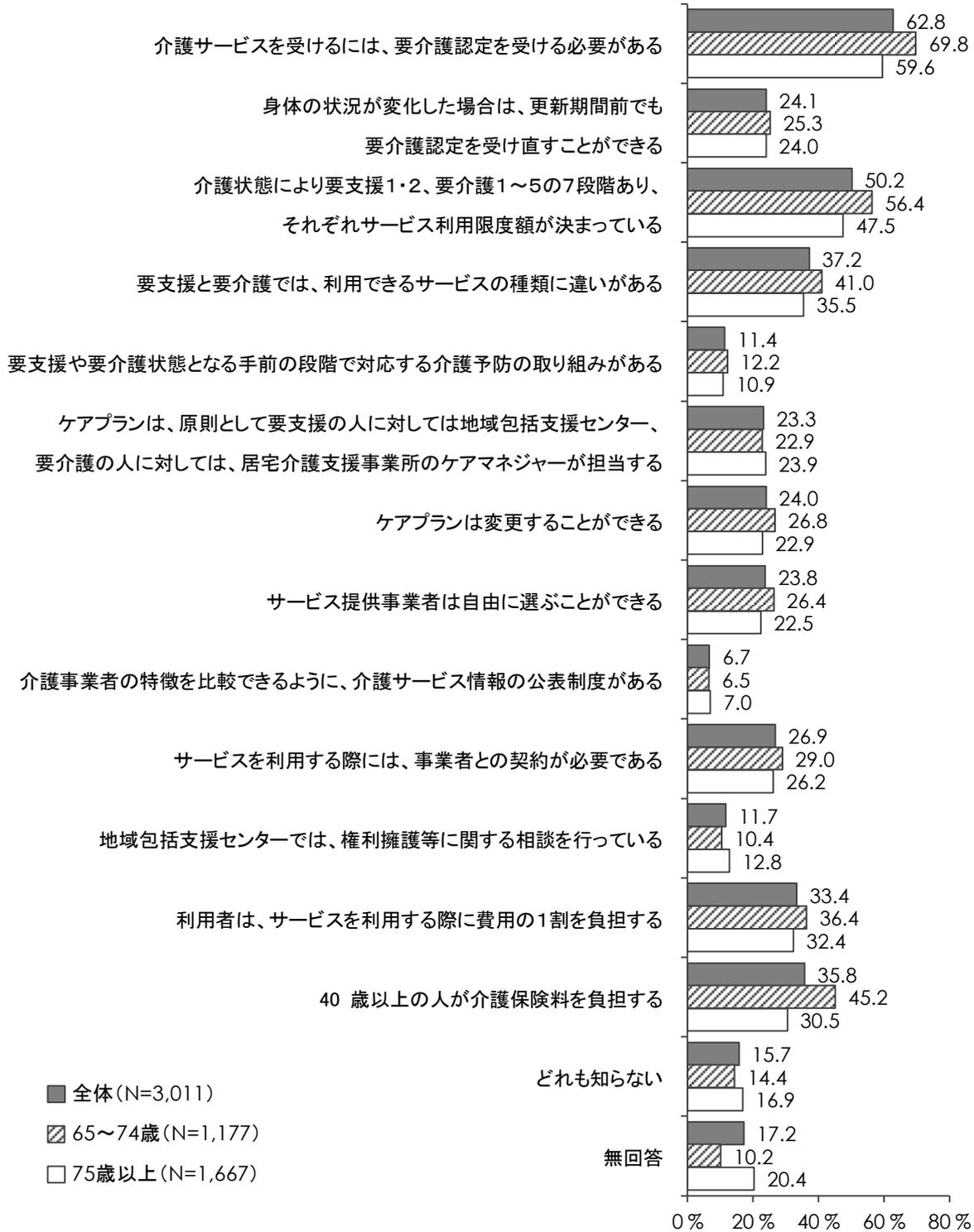
一方、1号被保険者、2号被保険者ともに、「介護事業者の特徴を比較できるように、介護サービス情報の公表制度がある」、「要支援や要介護状態となる手前の段階で対応する介護予防の取り組みがある」、「地域包括支援センターでは、権利擁護等に関する相談を行っている」等で認知度が低く、1割前後となっています。

介護保険料と介護サービスの整備のあり方について、1号被保険者では、「わからない」を除くと、「現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい」が最も高くなっています。一方、2号被保険者では、「わからない」を除くと、「保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき」が最も高くなっています。

1. 介護保険制度について知っていること

【1号被保険者】

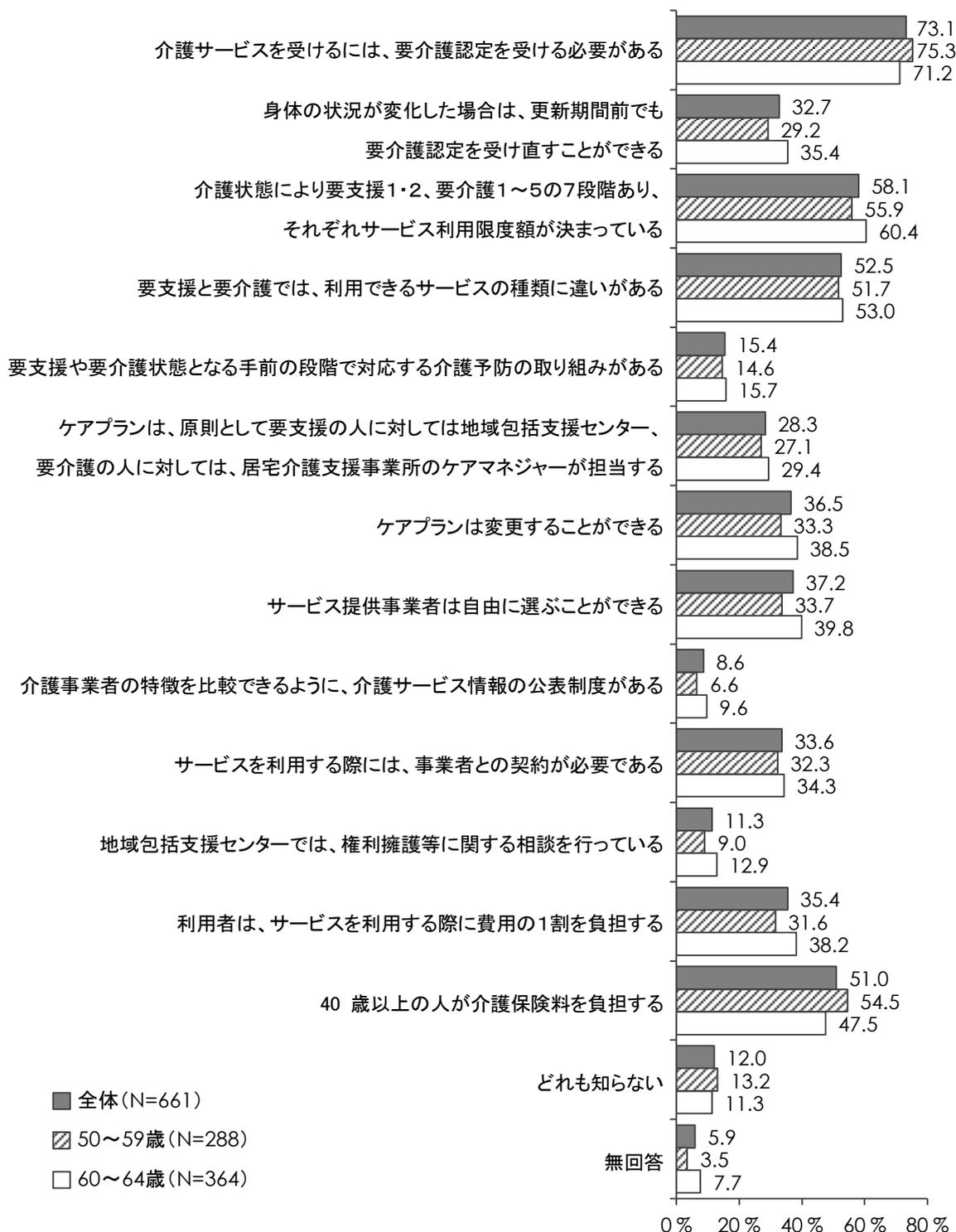
問9-Q1.「介護保険制度」についてどのようなことを知っていますか。(MA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【2号被保険者】

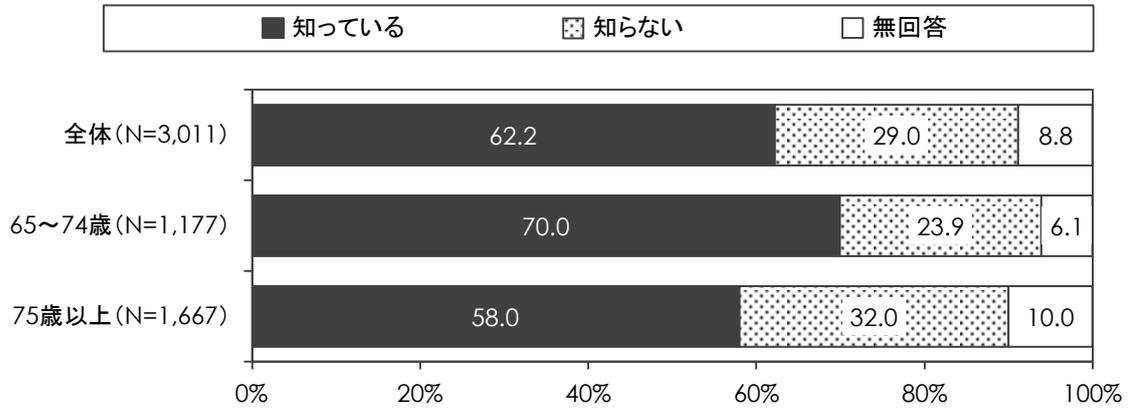
問25 「介護保険制度」についてどのようなことを知っていますか。(MA)



2. 介護保険料

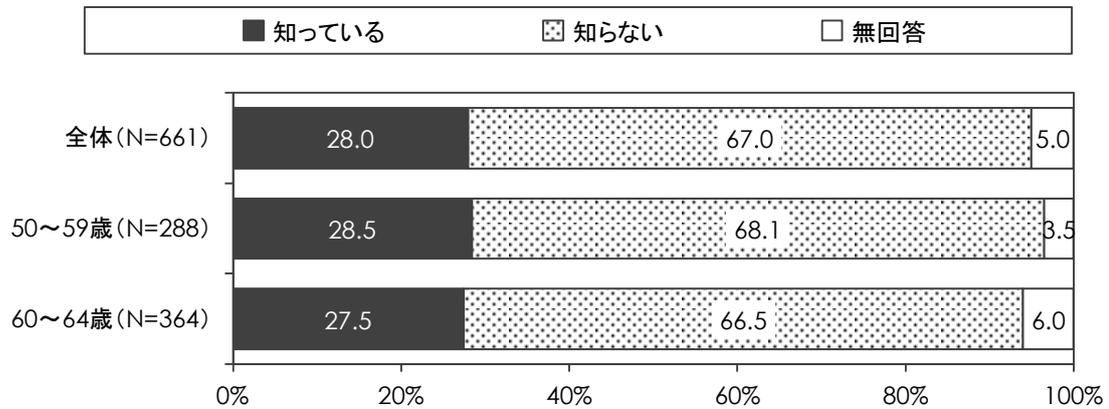
【1号被保険者】

問9-Q2. あなた(あて名のご本人)の介護保険料は年間いくらかご存知ですか。(SA)



【2号被保険者】

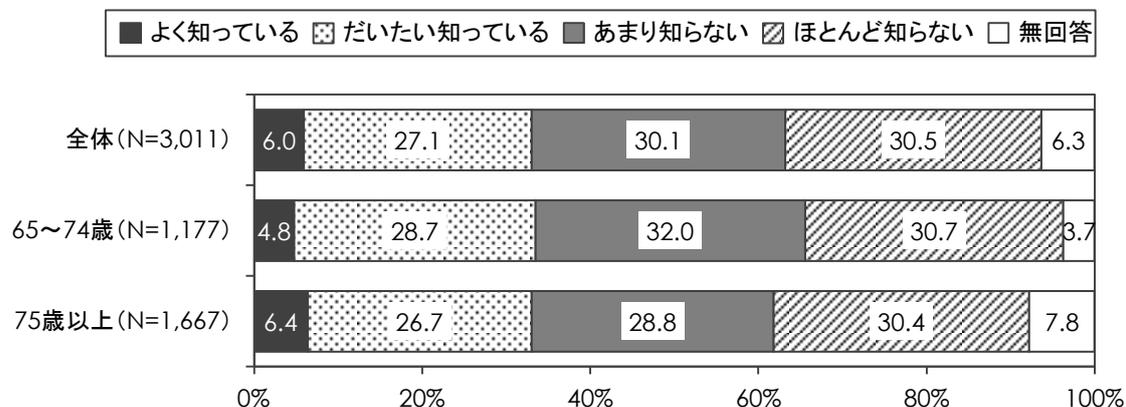
問26 あなた(あて名のご本人)の介護保険料(健康保険料といっしょに徴収される介護納付金)は年間いくらかご存知ですか。(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

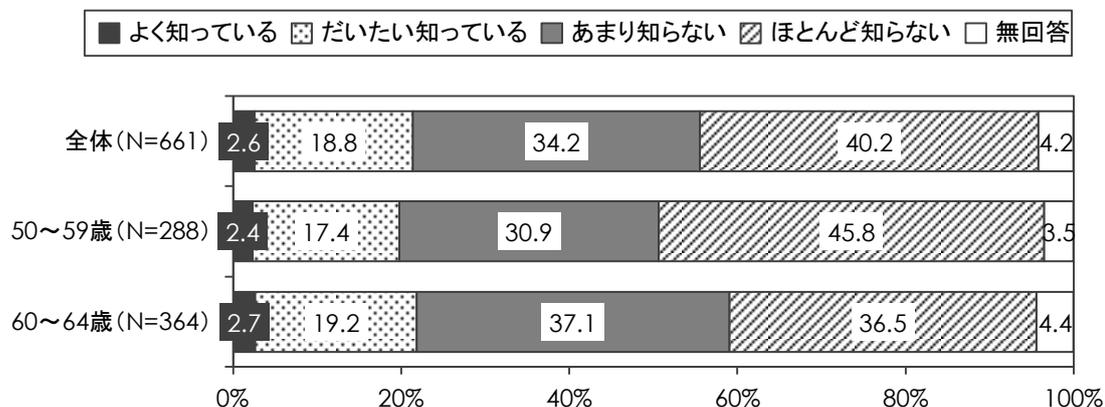
【1号被保険者】

問9-Q3. 介護保険料の額は、介護保険事業計画期間の3年間に必要な介護サービスの費用を見込んで決められています。高齢化が進み介護サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりのサービス額が増えたりすると、保険料額が高くなる仕組みになっていますが、あなた（あて名のご本人）はこの仕組みについて知っていますか。（SA）



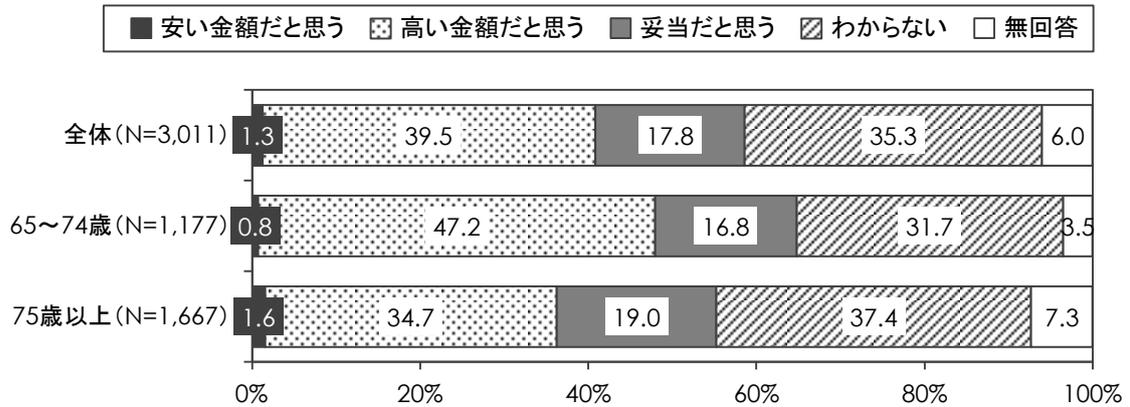
【2号被保険者】

問27 介護保険料の額は、介護保険事業計画期間の3年間に必要な介護サービスの費用を見込んで決められています。高齢化が進み介護サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりのサービス額が増えたりすると、保険料額が高くなる仕組みになっていますが、あなた（あて名のご本人）はこの仕組みについて知っていますか。（SA）



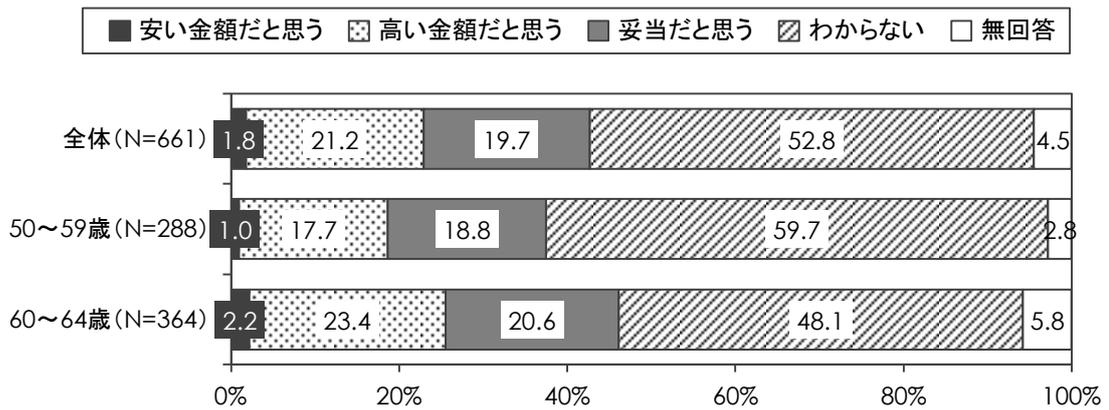
【1号被保険者】

問9-Q4. 介護保険料は妥当だと思いますか。(SA)



【2号被保険者】

問28 介護保険料は妥当だと思いますか。(SA)

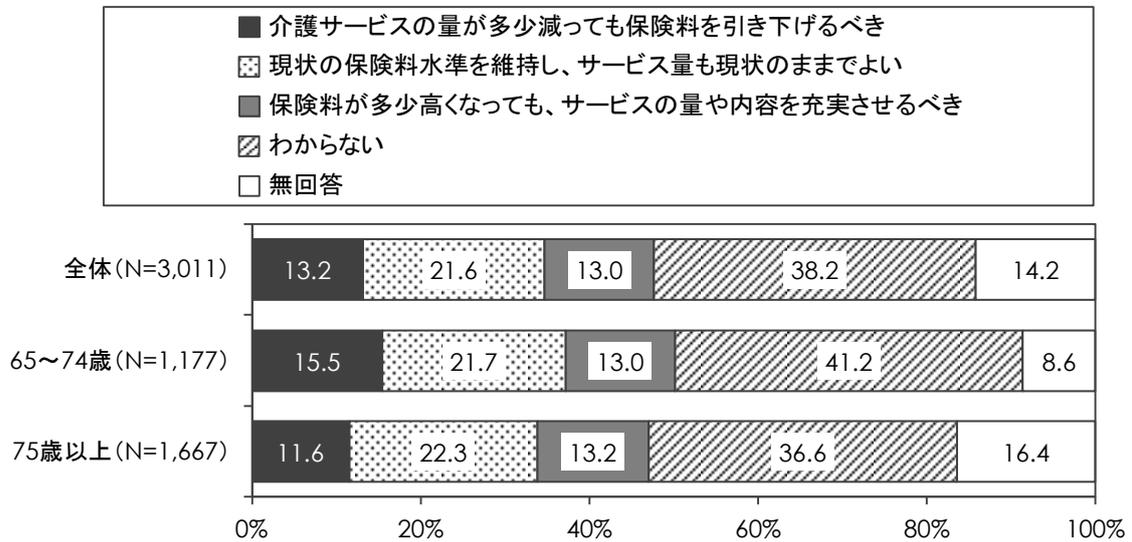


Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

3. 介護保険料とサービスの関係

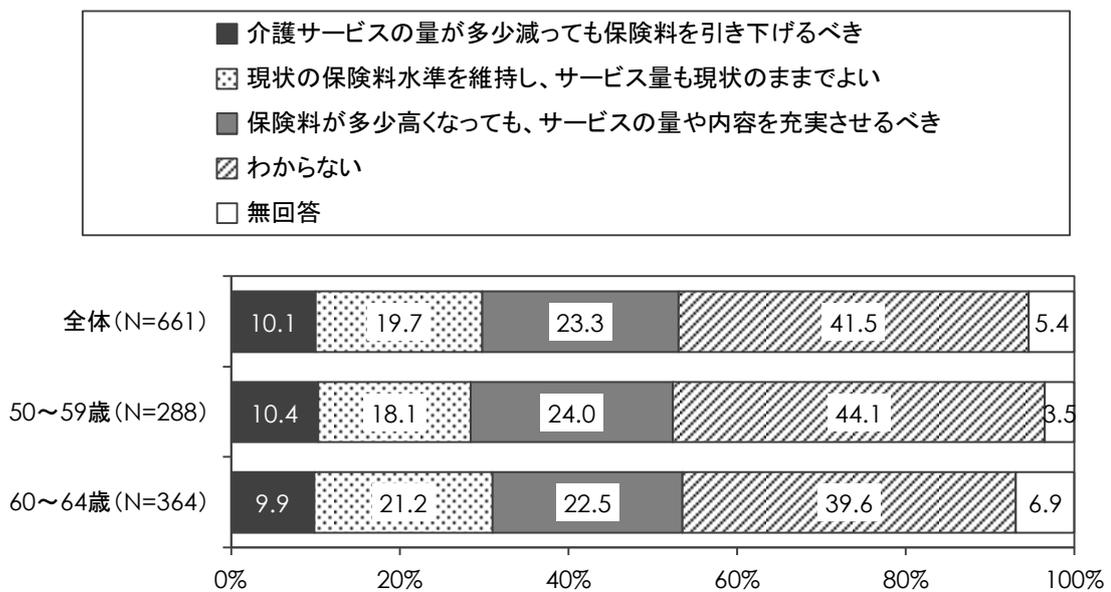
【1号被保険者】

Q5. 今後の介護保険料と介護サービスの整備のあり方について、あなた（あて名ご本人）の考えに最も近いものは以下のどれですか。（SA）



【2号被保険者】

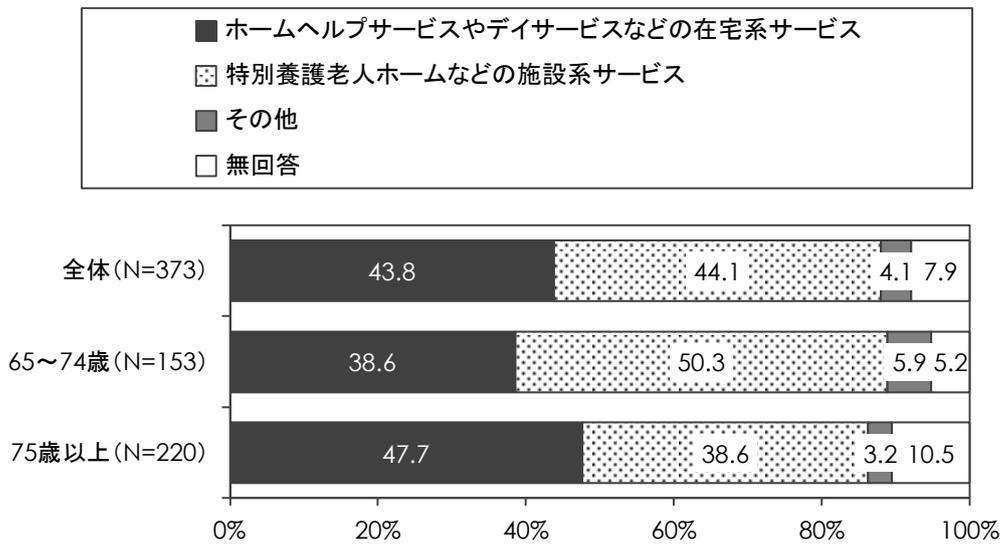
問29 今後の介護保険料と介護サービスの整備のあり方について、あなた（あて名ご本人）の考えに最も近いものは以下のどれですか。（SA）



【1号被保険者】

問9-Q6. (Q5で「保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき」と答えた方)

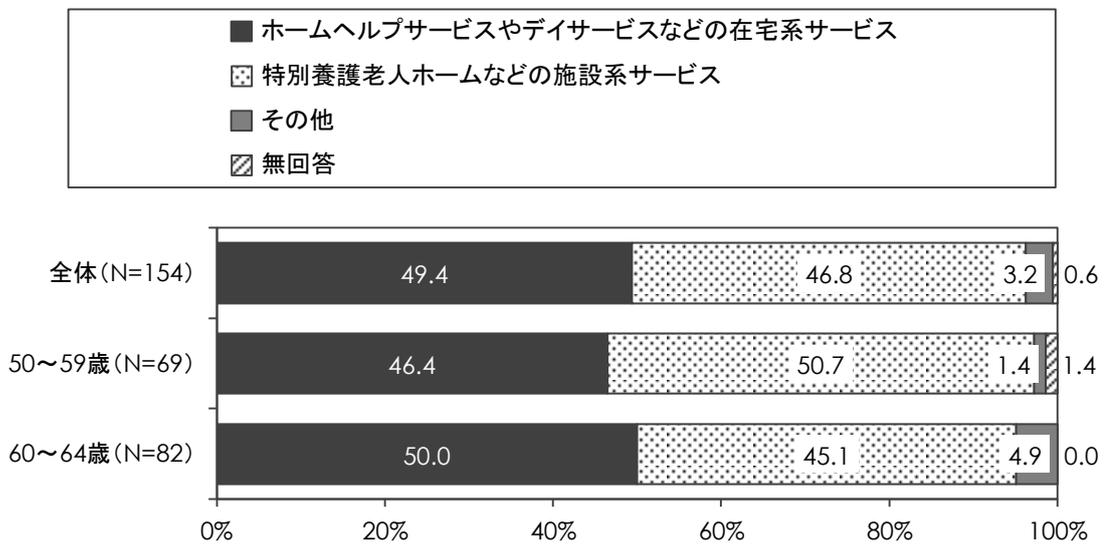
介護サービスはどのようなサービスの充実を望まれますか。(SA)



【2号被保険者】

問30 (問29で「保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき」と答えた方)

介護サービスはどのようなサービスの充実を望まれますか。(SA)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

9 高齢者福祉サービス全般

■調査結果概要

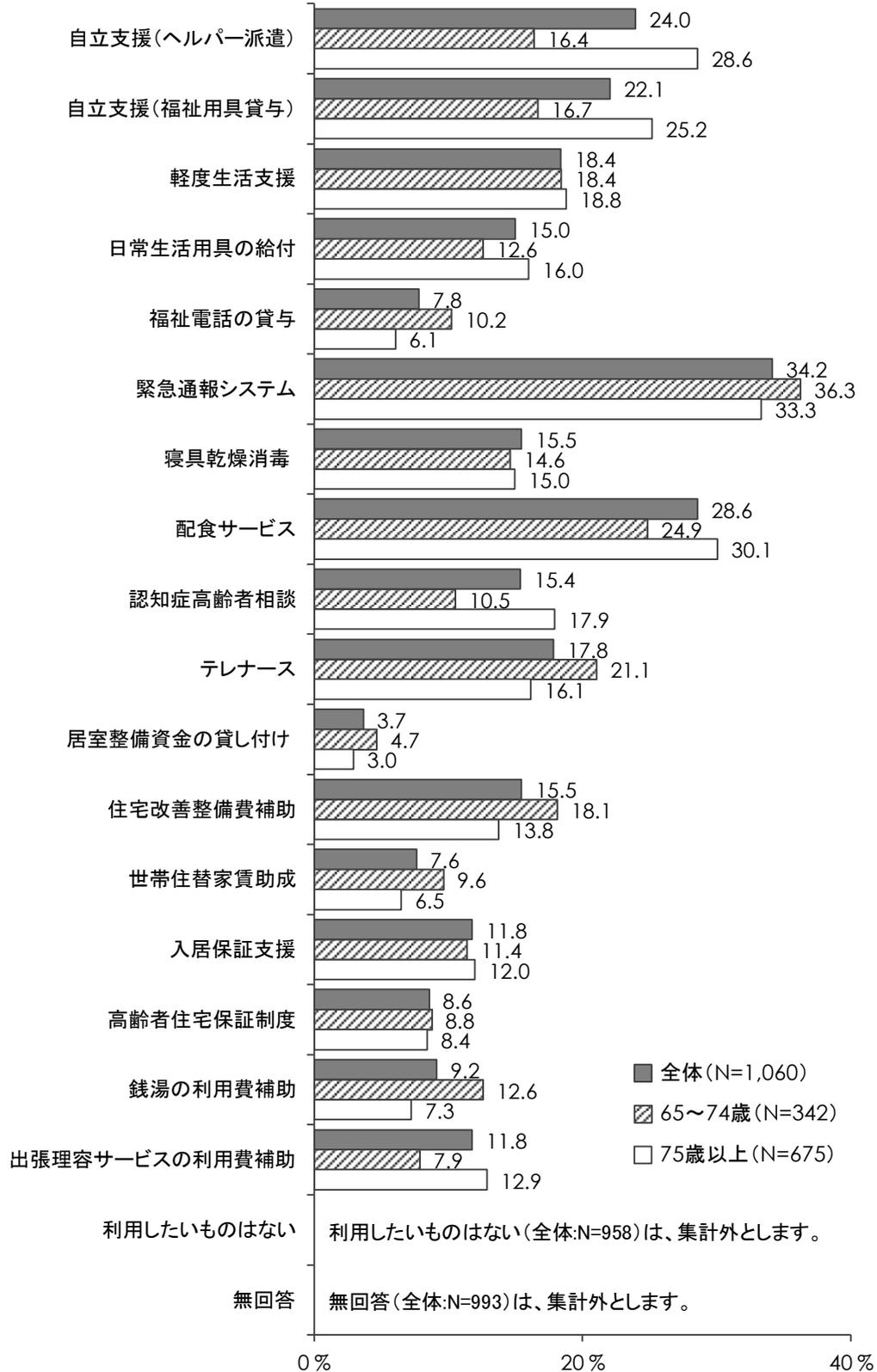
1号被保険者のサービスの利用希望は、「緊急通報システム」が3割強で最も高くなっています。次いで、「配食サービス」が3割弱、「自立支援（ヘルパー派遣）」と「自立支援（福祉用具貸与）」が2割強と続いています。

2号被保険者のサービスの利用希望においても、「緊急通報システム」が3割強で最も高くなっており、上位4項目は1号被保険者と同じ項目となっています。

1. サービスの利用希望

【1号被保険者】

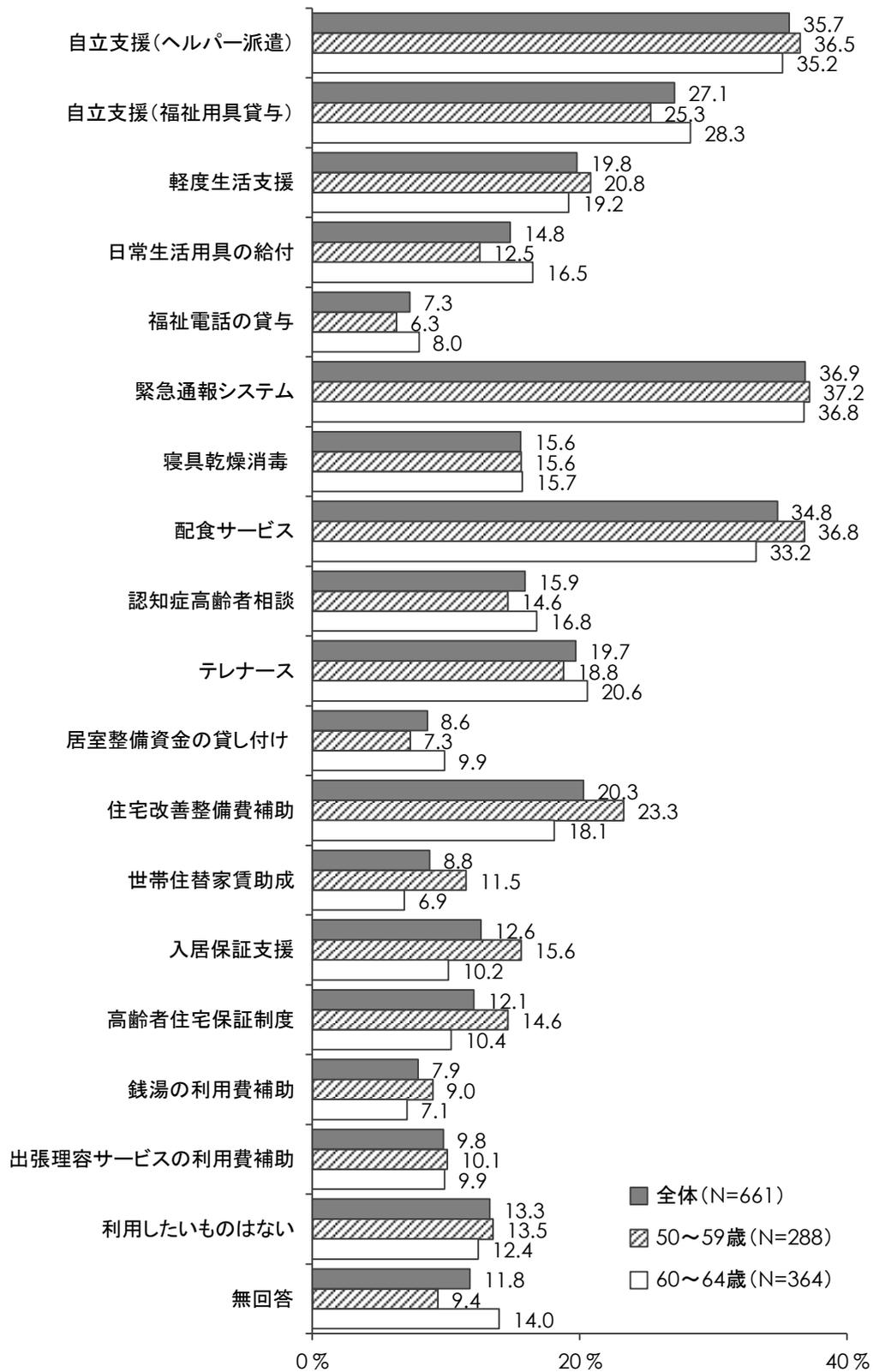
問10-Q1. 下記の高齢者福祉サービスのうち、今後3年間くらいの間に利用したいサービスはありますか。(MA)
 (無回答等が多いため、利用したい方のみの集計としました)



Ⅱ 調査結果（1号被保険者・2号被保険者）

【2号被保険者】

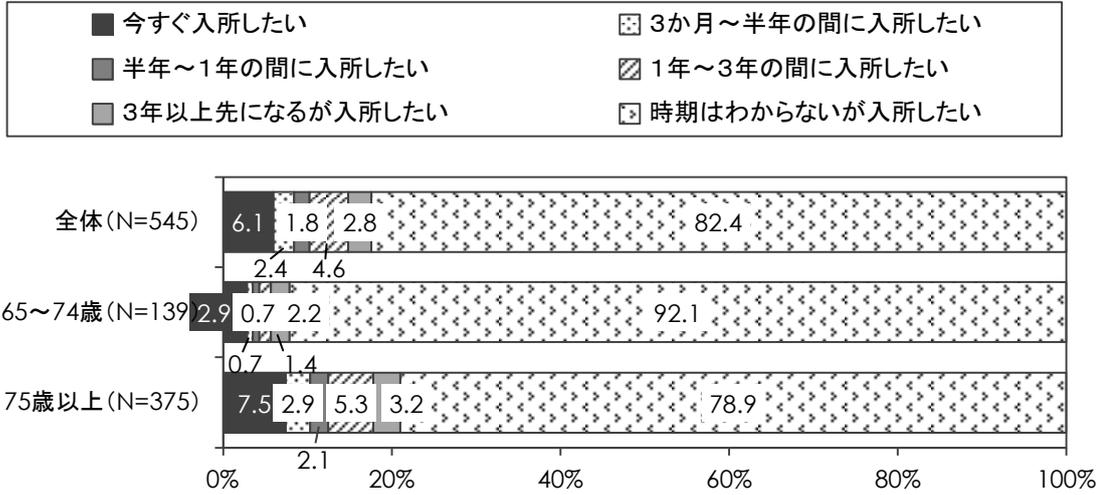
問31 下記の高齢者福祉サービスのうち、将来利用してみたいサービスはありますか。(MA)



【1号被保険者】

Q2. 介護を必要とされている方にお伺いします。特別養護老人ホームに入所を希望する場合、時期はいつ頃ですか。現在入所の申し込みをしている方も希望の入所時期をお答えください。(SA)

(無回答等が多いため、入所希望者のみの集計としました)



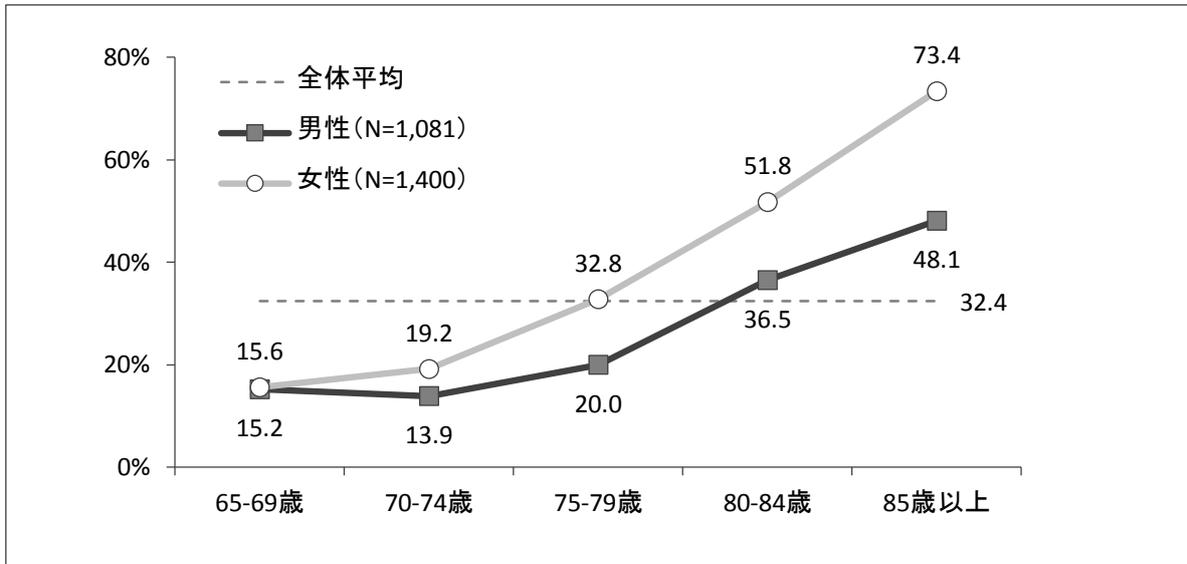
Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

1. 運動器

「運動器」では、要介護状態等となるおそれの高い状態にあり、運動器の機能が低下している又はそのおそれのある方を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「運動器」の評価結果をみると、全体平均で32.4%がリスク該当者となっています。「女性」では、「75-79歳」で全体平均を上回り、「85歳以上」では73.4%となっています。

■「運動器」性別×年齢別 リスク該当者割合



【判定方法】

「運動器」の判定に関しては、下記設問5点満点中、3点以上がリスクありと判定されます。

設問内容	回答と配点	
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0: はい	1: いいえ
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0: はい	1: いいえ
屋内、屋外問わず、15分位続けて歩いていますか	0: はい	1: いいえ
この1年間に転んだことがありますか	1: はい	0: いいえ
転倒に対する不安は大きいですか	1: はい	0: いいえ

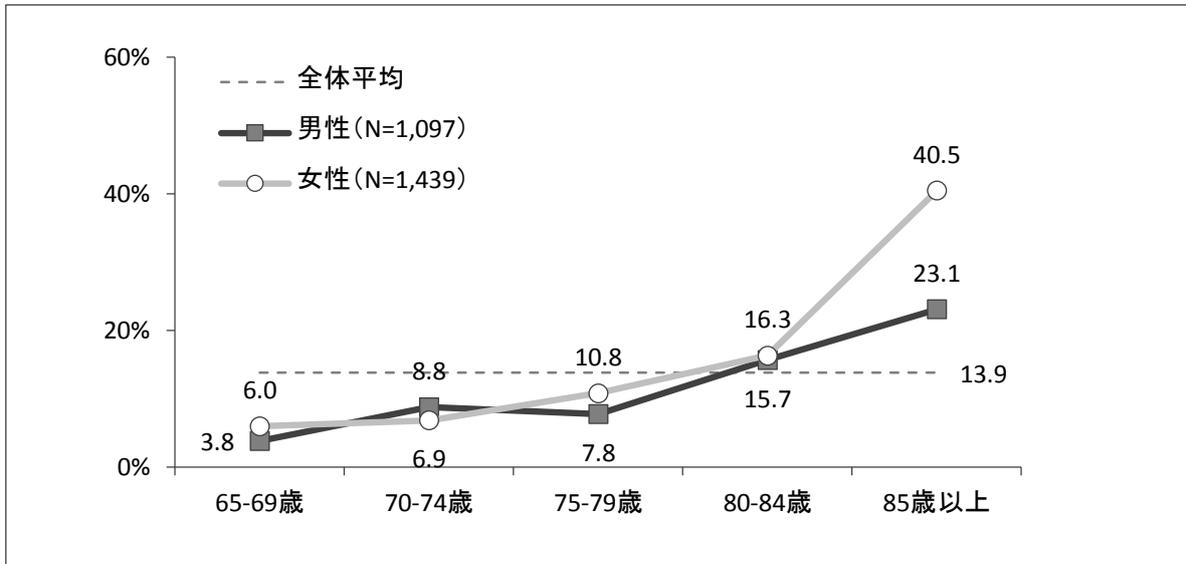
Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

2. 閉じこもり

「閉じこもり」では、要介護状態等となるおそれの高い状態にあり、閉じこもり状態の疑いがある方を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「閉じこもり」の評価結果をみると、全体平均で13.9%がリスク該当者となっています。特に、女性では「80-84歳」から「85歳以上」にかけて割合が大きく増加し、「85歳以上」では40.5%となっています。

■「閉じこもり」性別×年齢別 リスク該当者割合



【判定方法】

「閉じこもり」の判定に関しては、下記設問1点以上がリスクありと判定されます。

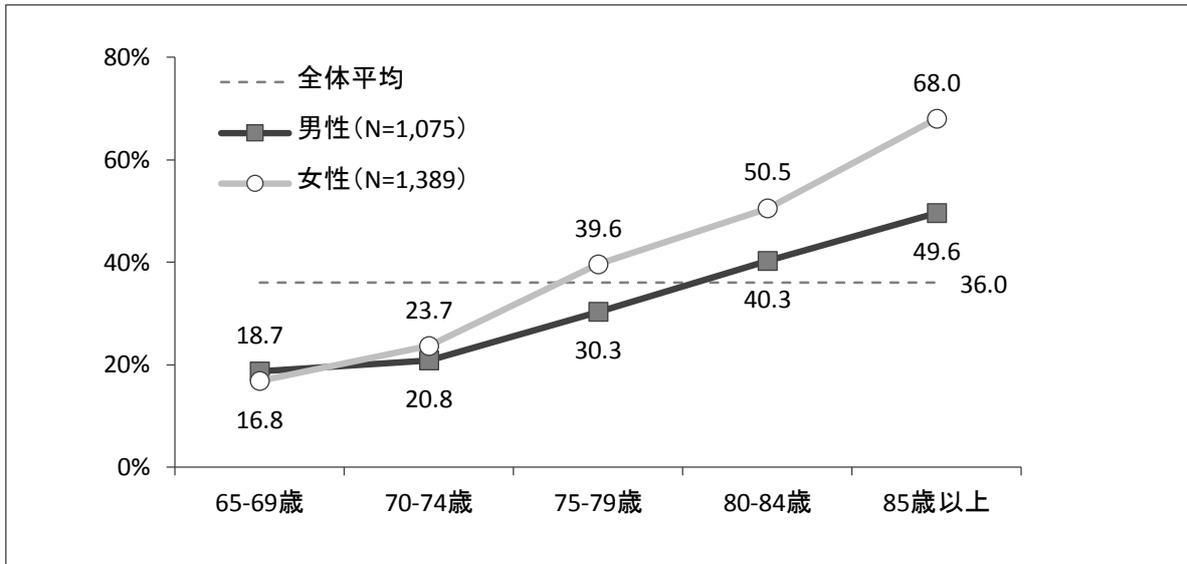
設問内容	回答と配点	
週に1回以上は外出していますか	0: はい	1: いいえ

3. 転倒

「転倒」では、日常生活において、転倒のリスクが高い方を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「転倒」の評価結果をみると、全体平均で 36.0%がリスク該当者となっています。女性では「1. 運動器」と同様に、「75-79 歳」で全体平均の割合を上回り、「80-84 歳」で 50%以上、「85 歳以上」で 70%近くがリスク該当者となっています。

■「転倒」 性別×年齢別 リスク該当者割合



【判定方法】

「転倒」の判定に関しては、下記設問 13 点満点中、6 点以上がリスクありと判定されます。

設問内容	回答と配点	
この1年間に転んだことがありますか	5: はい	0: いいえ
背中が丸くなってきましたか	2: はい	0: いいえ
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2: はい	0: いいえ
杖を使っていますか	2: はい	0: いいえ
現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか	2: 5 種類以上	0: いいえ

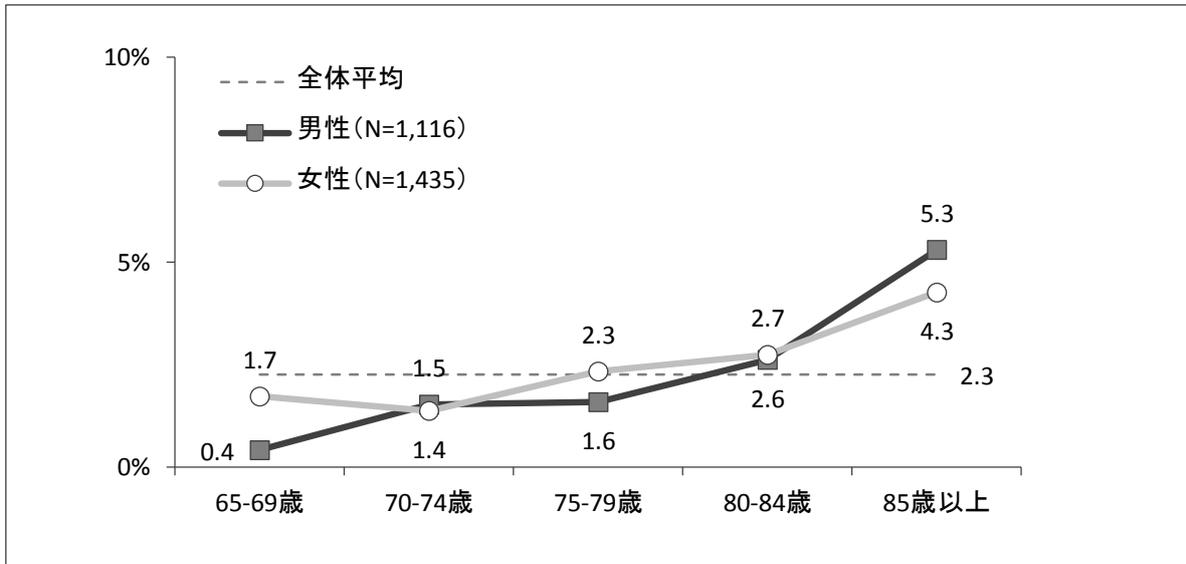
Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

4. 栄養

「栄養改善」では、介護状態等となるおそれの高い状態にあり、低栄養状態にある、又はそのおそれのある方を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「栄養」の評価結果をみると、全体平均で2.3%がリスク該当者となっています。全体的に割合が低く、最もリスク該当者の割合が多いのは、85歳以上の女性で5.3%となっています。

■「栄養」性別×年齢別 リスク該当者割合



【判定方法】

「栄養」の判定に関しては、下記設問2点満点中、2点がリスクありと判定されます。

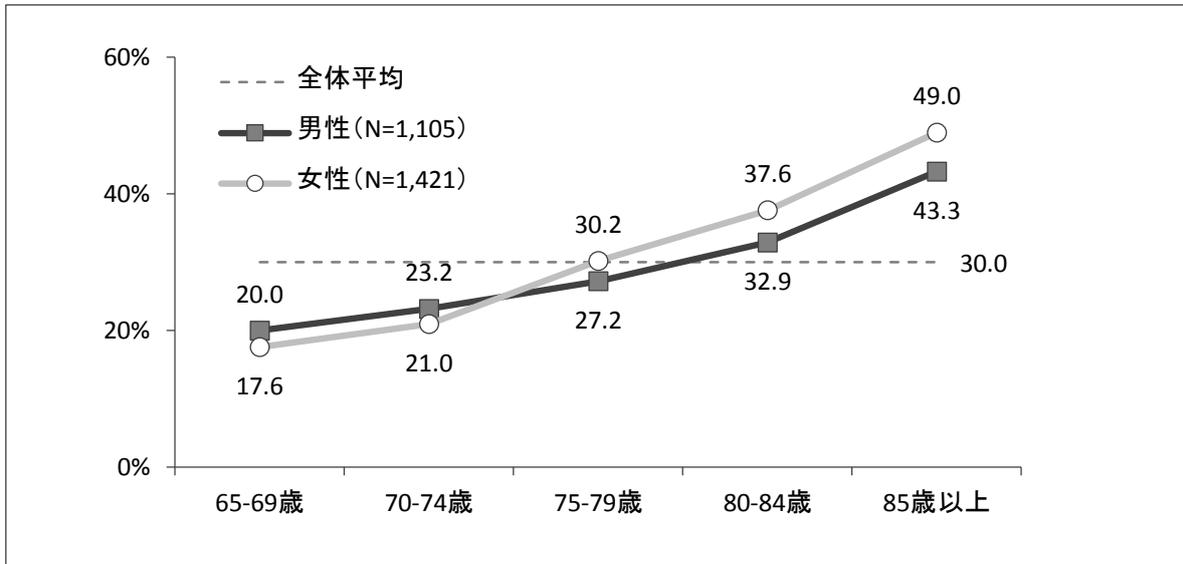
設問内容	回答と配点	
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1: はい	0: いいえ
「BMIが18.5未満」(身長・体重よりBMIを算出)	1: はい	0: いいえ

5. 口腔

「口腔」では、要介護状態等となるおそれの高い状態にあり、口腔機能が低下している、又はそのおそれのある方を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「口腔」の評価結果をみると、全体平均で 30.0%がリスク該当者となっています。男女ともに、年齢が上がるにつれて緩やかに増加し、「85 歳以上」で 40%を超えています。

■「口腔」性別×年齢別 リスク該当者割合



【判定方法】

「口腔」の判定に関しては、下記設問3点満点中、2点以上がリスクありと判定されます。

設問内容	回答と配点	
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1: はい	0: いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1: はい	0: いいえ
口の渇きが気になりますか	1: はい	0: いいえ

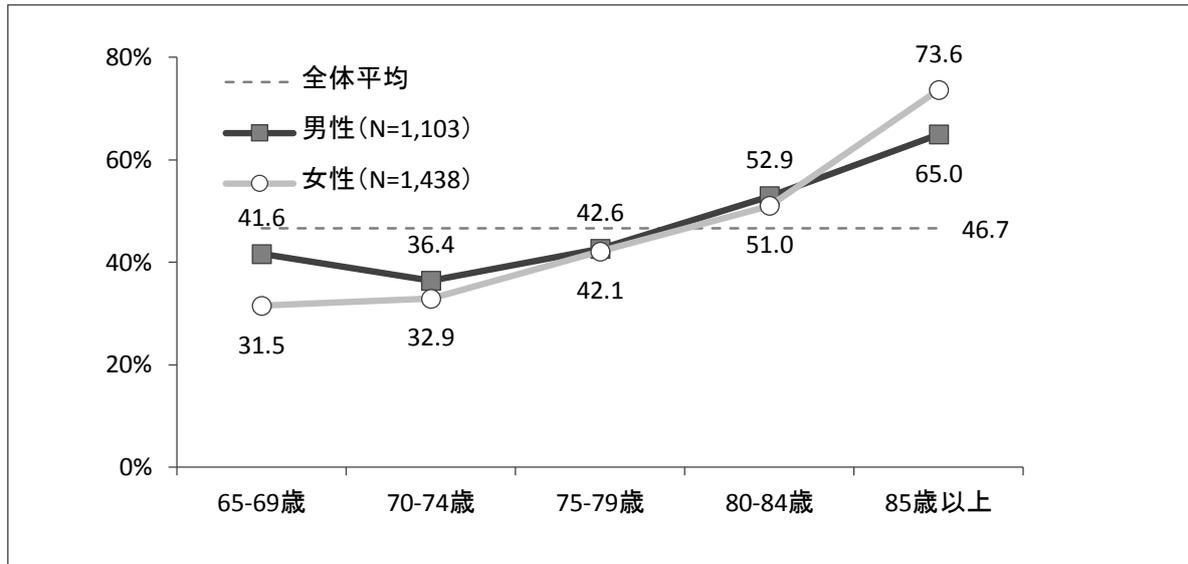
Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

6. 認知症予防

認知症予防では、要介護状態等となるおそれの高い状態にあり、認知症の疑いのある方を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「認知症予防」の評価結果をみると、全体平均で46.7%がリスク該当者となっています。全体的に割合が高く、「65-69歳」で30%以上がリスク該当者となっており、「80-84歳」では50%以上、「85歳以上」では女性が70%以上、男性が60%以上となっています。

■「認知症予防」性別×年齢別 リスク該当者割合



【判定方法】

「認知症予防」の判定に関しては、下記設問3点満点中、1点以上が該当者と判定されます。

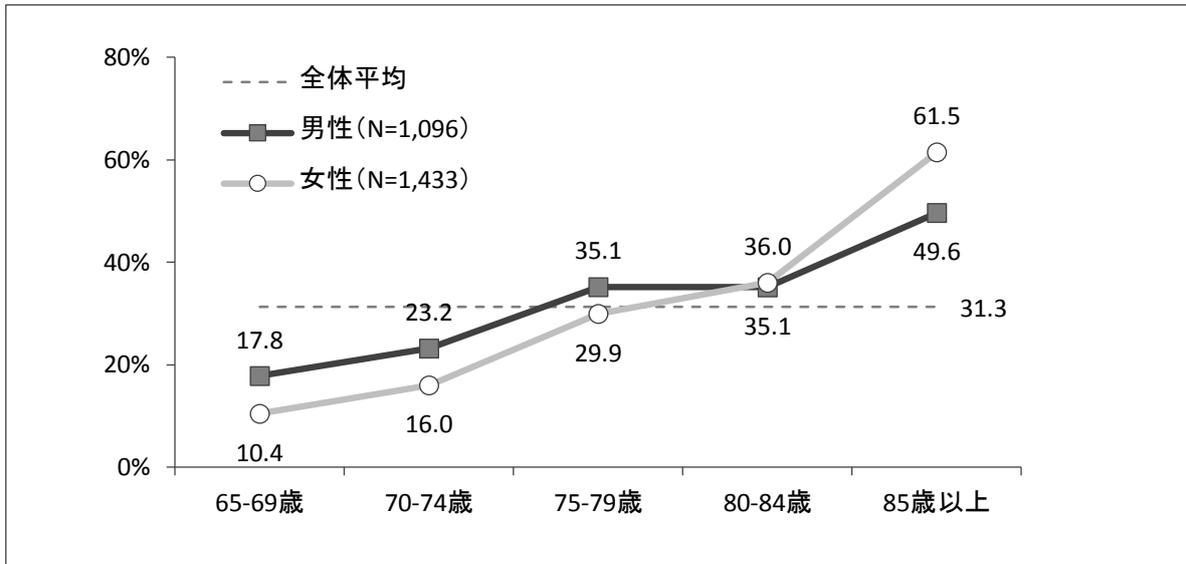
設問内容	回答と配点	
周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1: はい	0: いいえ
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0: はい	1: いいえ
今日が何月何日かわからない時がありますか	1: はい	0: いいえ

7. 認知機能障害程度（CPS=Cognitive Performance Scale）

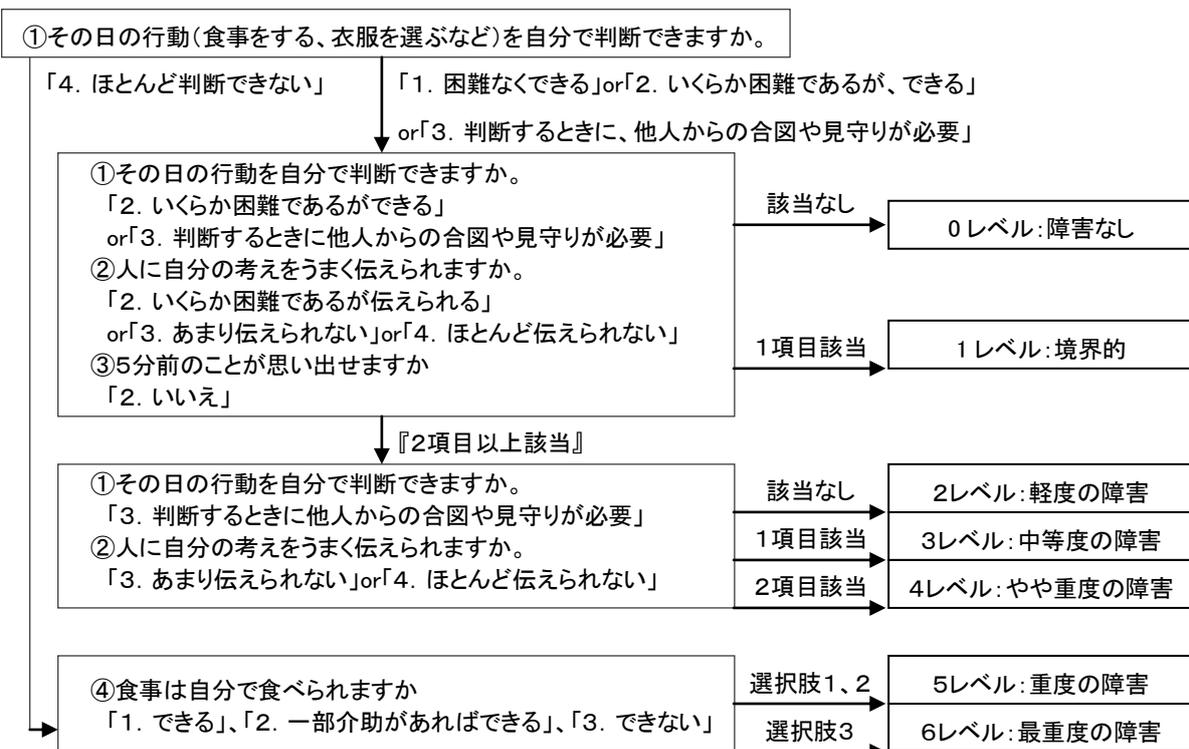
「認知機能障害程度」では、設問に対する回答内容により、0レベル(障害なし)から6レベル(最重度の障害)を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「認知機能障害程度」の評価結果をみると、全体平均で31.3%が「1レベル」以上となっています。女性の「85歳以上」では60%以上が「1レベル」以上となります。

■「認知機能障害程度」性別×年齢別 リスク該当者(レベル1以上)割合



【判定方法】



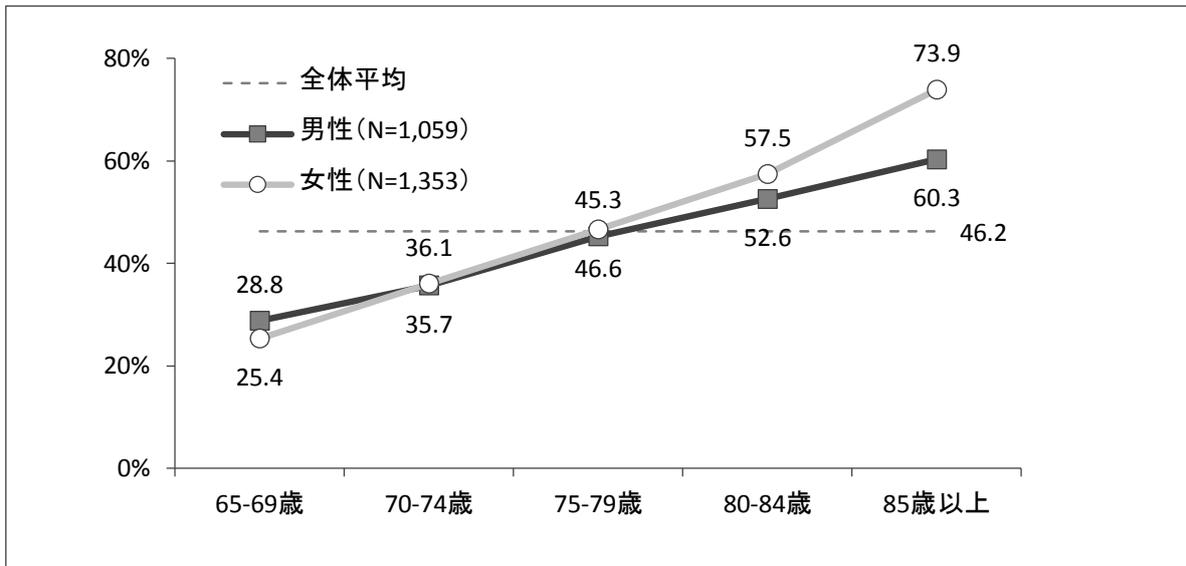
Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

8. うつ予防

「うつ予防」では、要介護状態となるおそれの高い状態にあり、うつ状態の疑いがある方を判定します。

下記の判定方法に基づいて算出された、「うつ予防」の評価結果をみると、全体平均で46.2%がリスク該当者となっています。「80-84歳」で全体平均を上回るとともに、男女ともに半数以上がリスク該当者となっています。

■「うつ予防」性別×年齢別 リスク該当者割合



【判定方法】

「うつ予防」の判定に関しては、下記設問5点満点中、2点以上が該当者と判定されます。

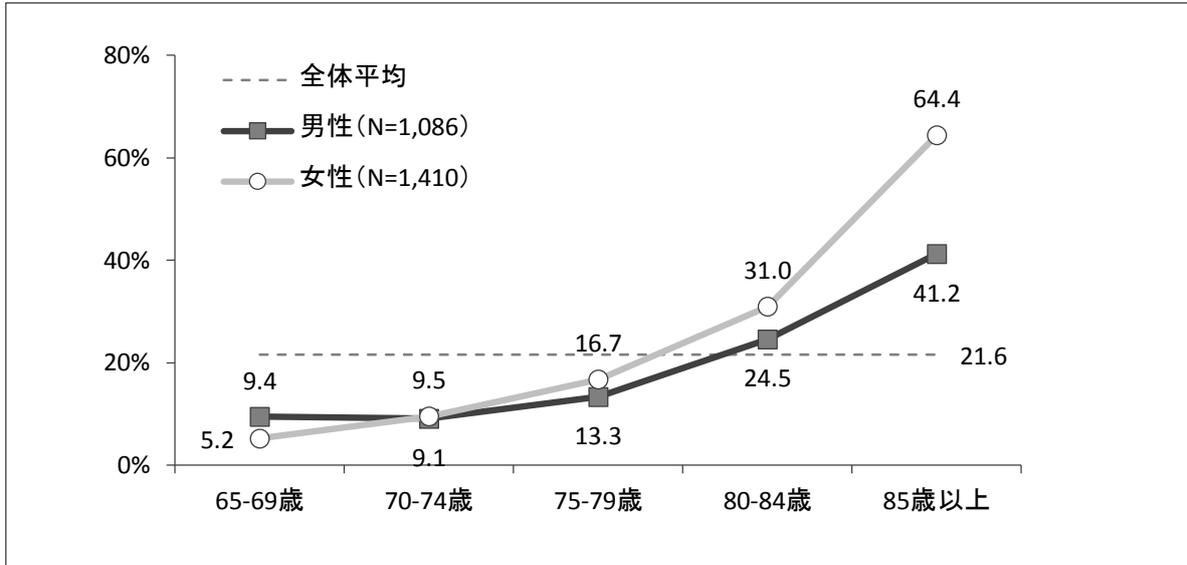
設問内容	回答と配点	
(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1: はい	0: いいえ
(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1: はい	0: いいえ
(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	1: はい	0: いいえ
(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1: はい	0: いいえ
(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1: はい	0: いいえ

9. 虚弱

「虚弱」では、要介護状態等となるおそれの高い状態にある方を判定します。

次のページの判定方法に基づいて算出された、「虚弱」の評価結果をみると、全体平均で21.6%がリスク該当者となっています。女性では、「80-84歳」から「85歳以上」にかけてリスク該当者が倍増し、半数以上がリスク該当者となっています。

■「虚弱」性別×年齢別 リスク該当者割合



Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

【判定方法】

虚弱の判定に関しては、下記設問 20 点満点中、10 点以上がリスクありと判定されます。

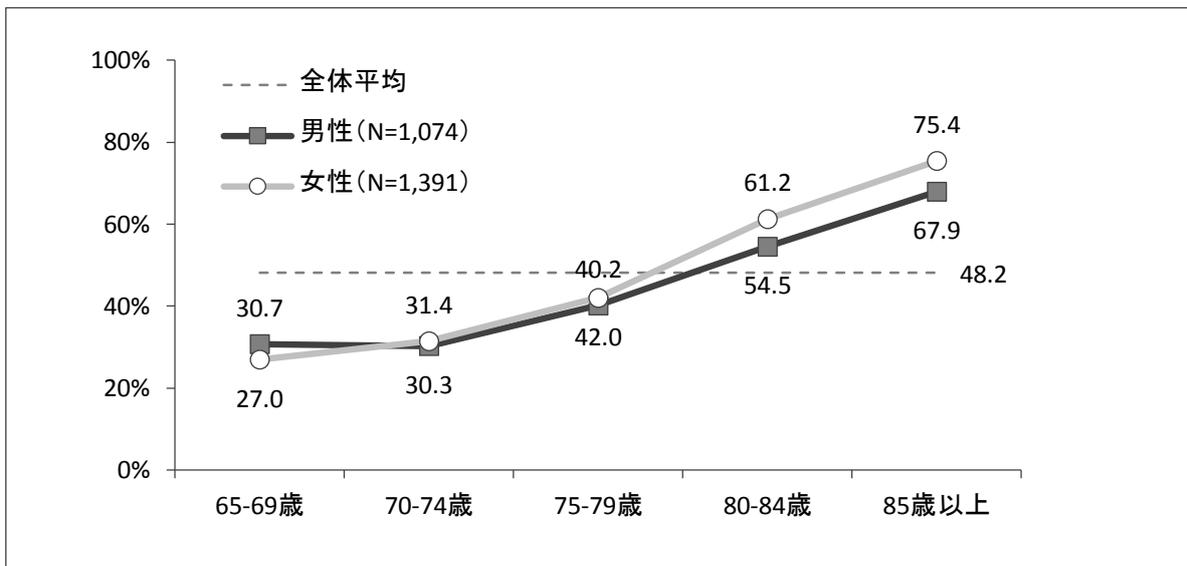
設問内容	回答と配点	
	0: はい	1: いいえ
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0: はい	1: いいえ
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0: はい	1: いいえ
15分位続けて歩いていますか	0: はい	1: いいえ
週に1回以上は外出していますか	0: はい	1: いいえ
昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1: はい	0: いいえ
この1年間に転んだことがありますか	1: はい	0: いいえ
転倒に対する不安は大きいですか	1: はい	0: いいえ
BMIが18.5未満か(身長・体重よりBMIを算出)	1: はい	0: いいえ
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1: はい	0: いいえ
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1: はい	0: いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1: はい	0: いいえ
口の渇きが気になりますか	1: はい	0: いいえ
周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1: はい	0: いいえ
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0: はい	1: いいえ
今日が何月何日かわからない時がありますか	1: はい	0: いいえ
バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	0: はい	1: いいえ
日用品の買物をしていますか	0: はい	1: いいえ
預貯金の出し入れをしていますか	0: はい	1: いいえ
友人の家を訪ねていますか	0: はい	1: いいえ
家族や友人の相談にのっていますか	0: はい	1: いいえ

10. 二次予防対象者

「二次予防事業対象者」とは、「要介護状態等となるおそれの高い状態にあると認められる65才以上の者」と定義されています。「二次予防対象者」に関しては、「1. 運動」「4. 栄養」「5. 口腔」「9. 虚弱」の4つの項目のうち、1つでもリスクがある場合に、該当者と判定されます。

二次予防対象者は、全体平均で48.2%が該当者となっています。「80-84歳」で男女ともに半数を超え、「85歳以上」では女性では70%以上、男性では60%以上が該当者となっています。

■「二次予防対象者」性別×年齢別 該当者割合



《二次予防対象者数》

	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	全体
男性(N=1,074)	71	76	96	121	89	453
女性(N=1,391)	79	94	113	188	255	729
合計	150	170	209	309	344	1,182

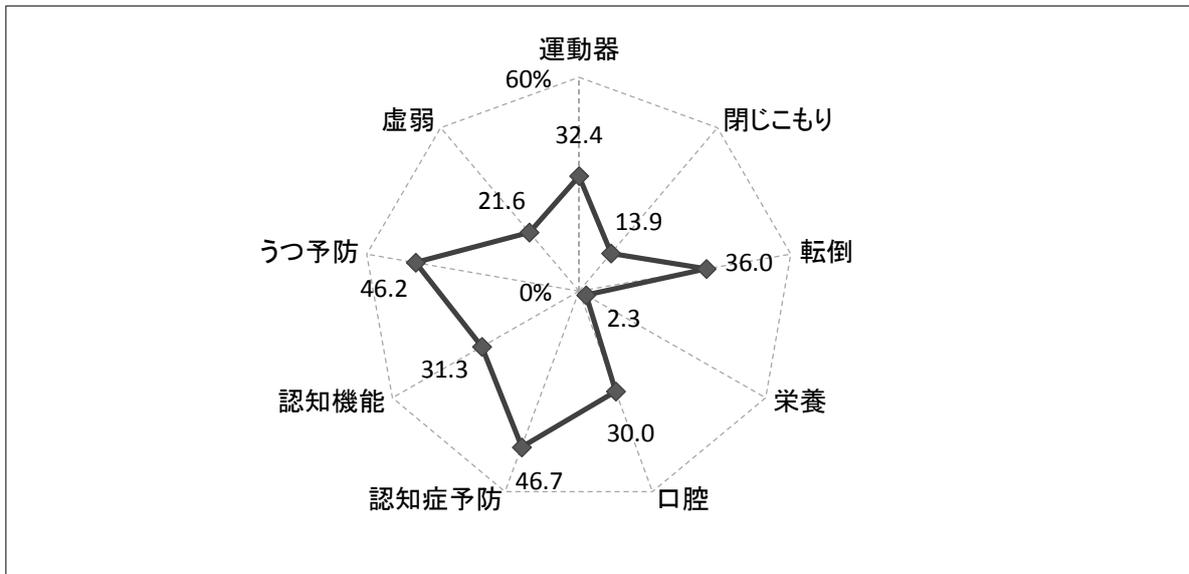
単位:人

Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

10-1. 生活機能項目別のリスク該当者

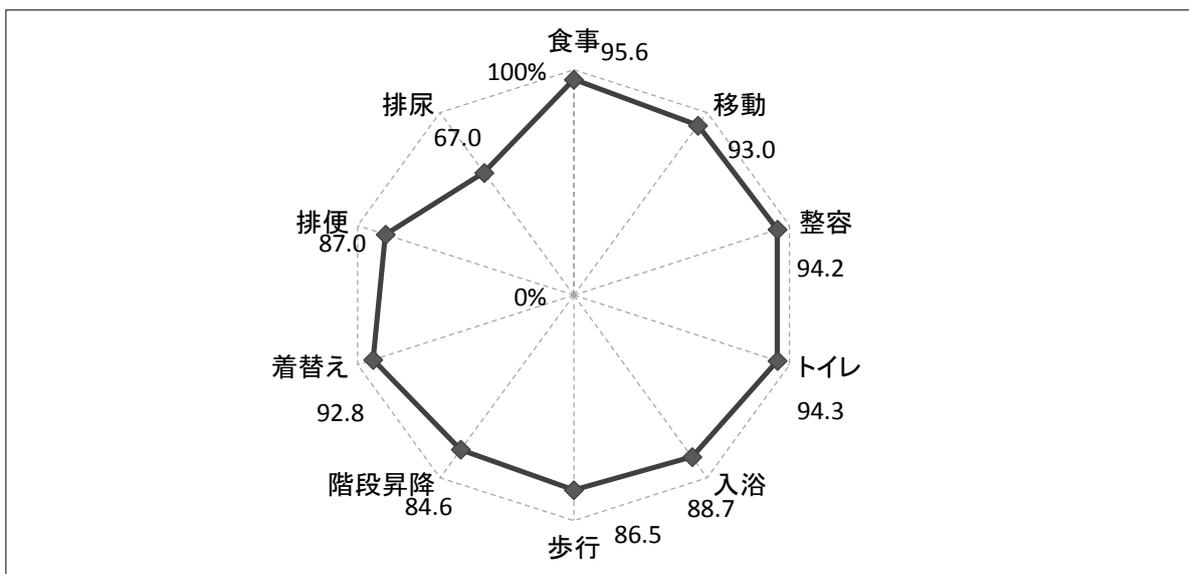
(1)生活機能項目別のリスク該当者

生活機能項目別のリスク該当者は、「認知症予防」が46.7%で最も高くなっています。次いで、「うつ予防」が46.2%、「転倒」が36.0%となっています。



(2)日常生活動作(ADL)の状況<<自立者割合>>

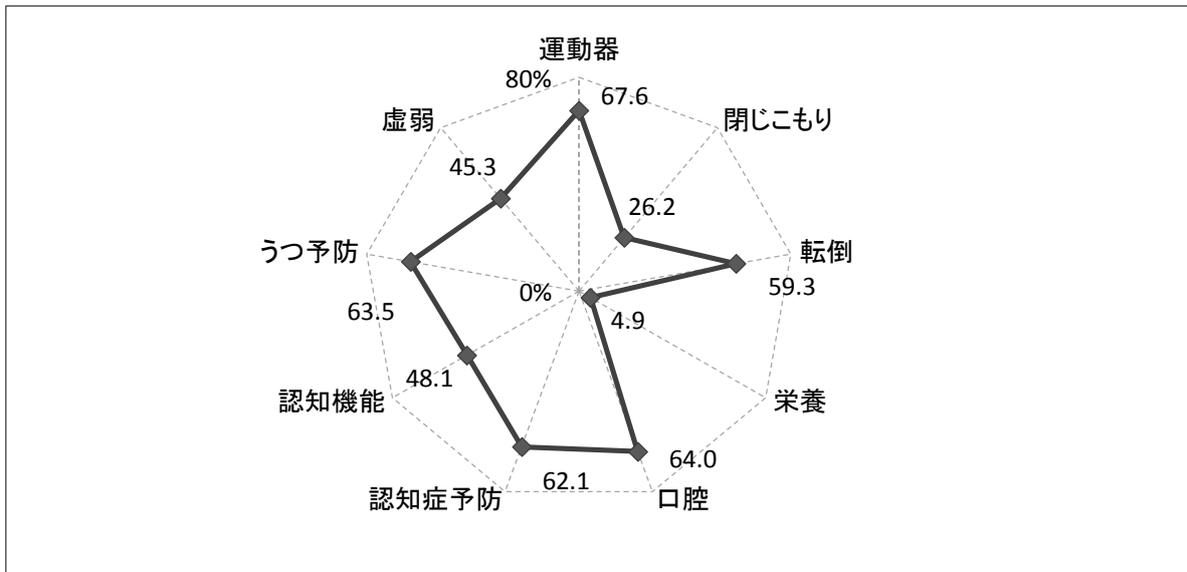
日常生活動作(ADL)の状況は、「食事」、「移動」、「整容」、「トイレ」、「着替え」では90%以上が自立しています。一方、「排尿」では、自立者割合67.0%で低くなっています。



10-2. 二次予防対象者の評価結果

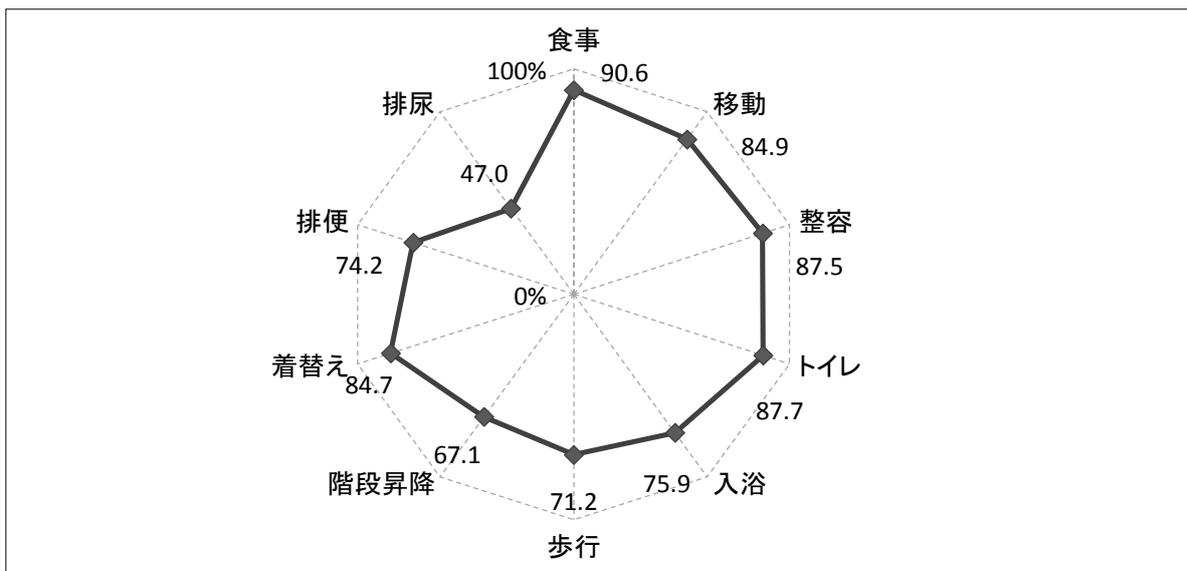
(1)生活機能項目別のリスク該当者(二次予防対象者のみ)

二次予防対象者の生活機能項目別のリスク該当者は、「運動器」が67.6%で最も高くなっています。次いで、「口腔」が64.0%、「うつ予防」が63.5%となっています。



(2)日常生活動作(ADL)の状況(二次予防対象者のみ)《自立者割合》

二次予防対象者の日常生活動作(ADL)の状況は、調査回答者全体と比較すると、全体的に自立者割合が低下しています。特に、「排尿」では20.0ポイント、「階段昇降」では17.5ポイント低くなっています。



Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

1.1. 日常生活動作（ADL = Activity of Daily Living）

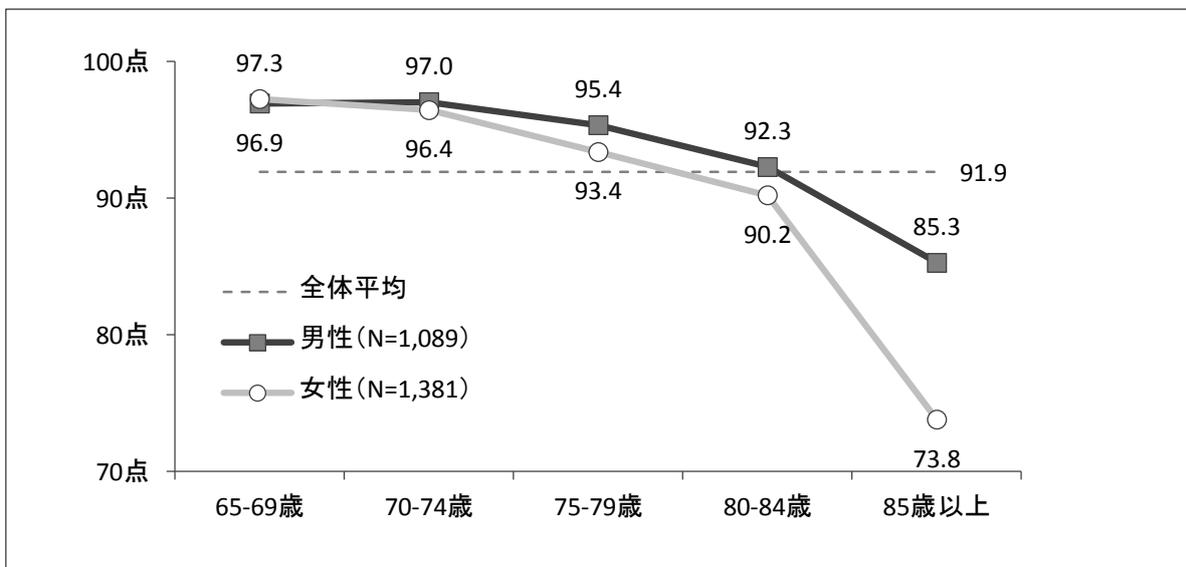
本調査では、日常生活動作（自立して生活するための基本的な身体的動作。具体的には、食事、入浴、排泄など）に関する設問が項目として含まれています。

内容としては、食事、移動、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便、排尿の10項目で、ADL評価指標として広く用いられているバーセルインデックス（機能的評価を数値化したもの：次ページの表）に準じた設問内容となっています。

設問ごとの配点は、バーセルインデックスの評価方法に従って、各設問で自立を5～15点とし10項目の合計が100点になるよう評価しています。100点は、自分で全てできる人であり、0点の人は自分では全てできず、介護者が全てを介護している状態であることを意味しています。

次のページの判定方法に基づいて算出された、「日常生活動作（ADL）」の得点における平均点は全体平均で91.9点となっています。「80-84歳」までは平均点が90点台となっていますが、85歳以上では、男性が85.3点、女性が73.8点となっています。

■「日常生活動作（ADL）」性別×年齢別 平均点



【判定方法】

「日常生活動作(ADL)」に関しては、各設問の合計が100点の場合に自立と判定されます。

設問内容	配点	選択肢
食事は自分で食べられますか	10	「1. できる」
	5	「2. 一部介助があればできる」
	0	「3. できない」
寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	15	「1. できる」
	10	「2. 一部介助があればできる」
	5	「3. 全面的な介助が必要」※の回答が1か2の場合
	0	「3. 全面的な介助が必要」※の回答が3の場合
座っていることができますか※	-	「1. できる」、「2. 支えが必要」、「3. できない」
自分で洗面や歯磨きができますか	5	「1. できる」
	0	「2. 一部介助があればできる」or「3. できない」
自分でトイレができますか	10	「1. できる」
	5	「2. 一部介助があればできる」
	0	「3. できない」
自分で入浴ができますか	5	「1. できる」
	0	「2. 一部介助があればできる」or「3. できない」
50m以上歩けますか	15	「1. できる」
	5	「2. 一部介助があればできる」
	0	「3. できない」
階段を昇り降りできますか	10	「1. できる」
	5	「2. 介助があればできる」
	0	「3. できない」
自分で着替えができますか	10	「1. できる」
	5	「2. 介助があればできる」
	0	「3. できない」
大便の失敗がありますか	10	「1. ない」
	5	「2. ときどきある」
	0	「3. よくある」
尿もれや尿失禁がありますか	10	「1. ない」
	5	「2. ときどきある」
	0	「3. よくある」

Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

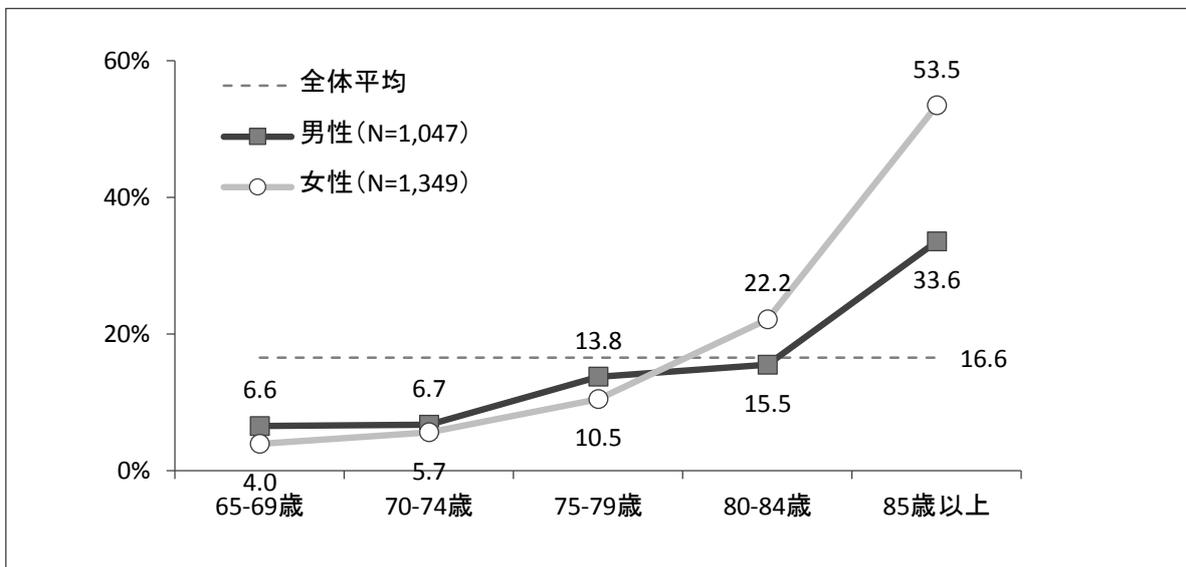
1 2. 手段的日常生活動作（IADL=Instrumental Activity of Daily Living）

本調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる設問が設けられています。

このうち、「手段的日常生活動作」（モノや道具を使ってする生活能力。具体的にはバスに乗って買物に行く、食事の支度をする、電話をかけるなど）については、各質問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価しています。

次のページの判定方法に基づいて算出された、「手段的日常生活動作(IADL)」が3点以下で「低い」とされる評価結果をみると、全体平均で16.6%となっています。「85歳以上」では割合が大きく増加し、女性では53.5%、男性では33.6%となっています。

■「手段的日常生活動作(IADL)」性別×年齢別 リスク該当者(3点以下:「低い」)割合



【判定方法】

手段的日常生活動作(IADL)に関しては、下記設問5点満点中、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価されます。

設問内容	配点	選択肢
バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	1	「1. できるし、している」
	1	「2. できるけどしていない」
	0	「3. できない」
日用品の買物をしていますか	1	「1. できるし、している」
	1	「2. できるけどしていない」
	0	「3. できない」
自分で食事の用意をしていますか	1	「1. できるし、している」
	1	「2. できるけどしていない」
	0	「3. できない」
自分で請求書の支払いをしていますか	1	「1. できるし、している」
	1	「2. できるけどしていない」
	0	「3. できない」
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	「1. できるし、している」
	1	「2. できるけどしていない」
	0	「3. できない」

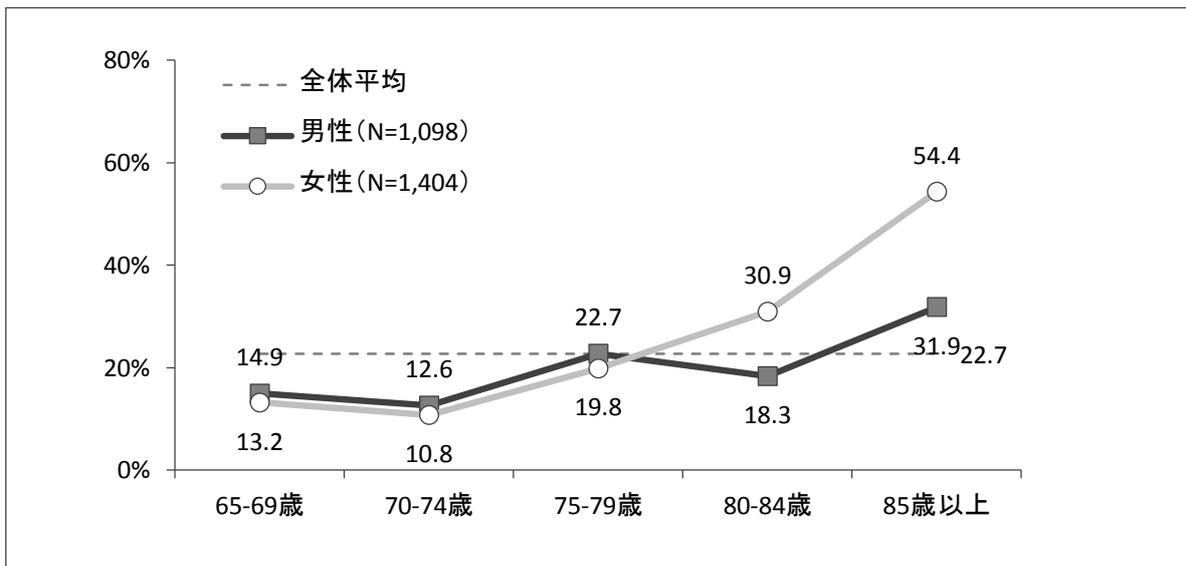
Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

13. 知的能動性

本調査では、高齢者の「知的能動性」(余暇や創作など生活を楽しむ能力)に関する設問が4問設けられています。

下記の判定方法に基づいて算出された、「知的能動性」の評価結果をみると、2点以下で「低い」と判定された方は全体で22.7%となっています。「85歳以上」で割合が大きく増加し、女性では54.4%、男性では31.9%となっています。

■「知的能動性」性別×年齢別 リスク該当者(2点以下:「低い」)割合



【判定方法】

「知的能動性」に関しては、下記設問4点満点中、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価されます。

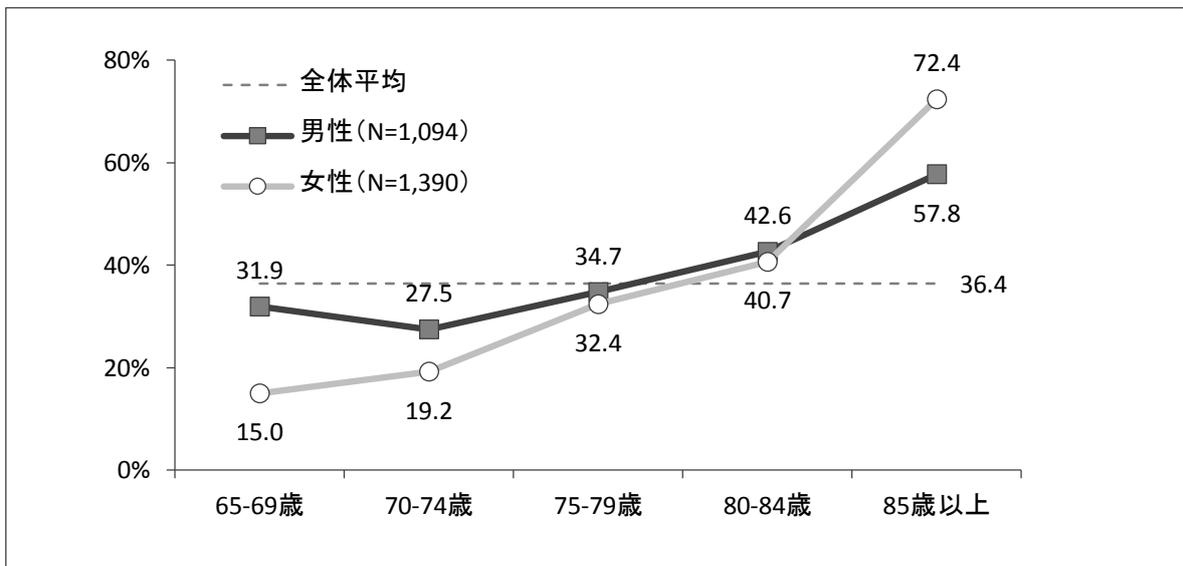
設問内容	回答と配点	
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1: はい	0: いいえ
新聞を読んでいますか	1: はい	0: いいえ
本や雑誌を読んでいますか	1: はい	0: いいえ
健康についての記事や番組に関心がありますか	1: はい	0: いいえ

14. 社会的役割

老研式活動能力指標（ADL の測定では捉えられない高次の生活能力を評価するために開発された尺度）でいう高齢者の「社会的役割」（地域で社会的な役割をはたす能力）に関する設問が4問設けられています。

下記の評価方法に基づいて算出された、「社会的役割」の評価結果をみると、2点以下で「低い」と判定された方は全体平均 36.4%となっています。区分別でみると、80-84 歳までは男性の割合が女性よりも高くなっています。また 80-84 歳で男女共に 40%を超え、85 歳以上では女性が 72.4%、男性が 57.8%となっています。

■「社会的役割」 性別×年齢別 リスク該当者(2点以下:「低い」)割合



【判定方法】

「社会的役割」に関しては、下記設問4点満点中、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価されます。

設問内容	回答と配点	
友人の家を訪ねていますか	1: はい	0: いいえ
家族や友人の相談にのっていますか	1: はい	0: いいえ
病人を見舞うことができますか	1: はい	0: いいえ
若い人に自分から話しかけることがありますか	1: はい	0: いいえ

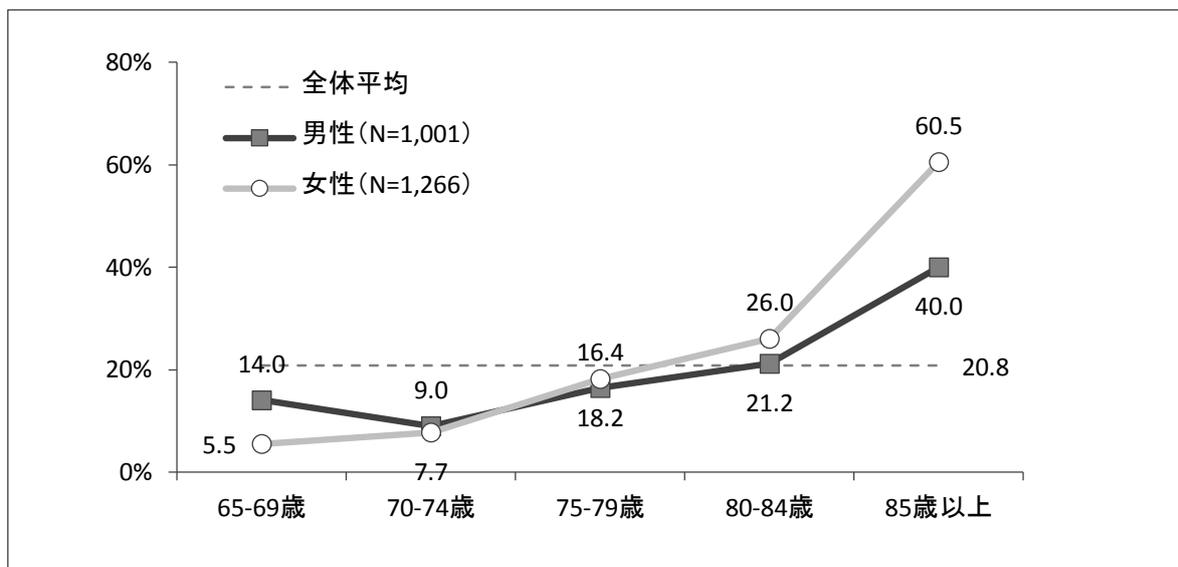
Ⅲ リスク分析（1号被保険者）

15. 生活機能総合評価（IADL+知的能動性+社会的役割）

「生活機能総合評価」は、IADL、知的能動性、社会的役割の合計点で判定され、高齢者の生活機能を評価することができます。

「生活機能総合評価」の評価結果をみると、8点以下で「低い」とされた方は、全体平均で20.8%となっています。「85歳以上」では男女ともに割合が急増し、女性では60.5%、男性では40.0%となっています。

■「生活機能総合評価」 性別×年齢別 リスク該当者(8点以下:「低い」)割合



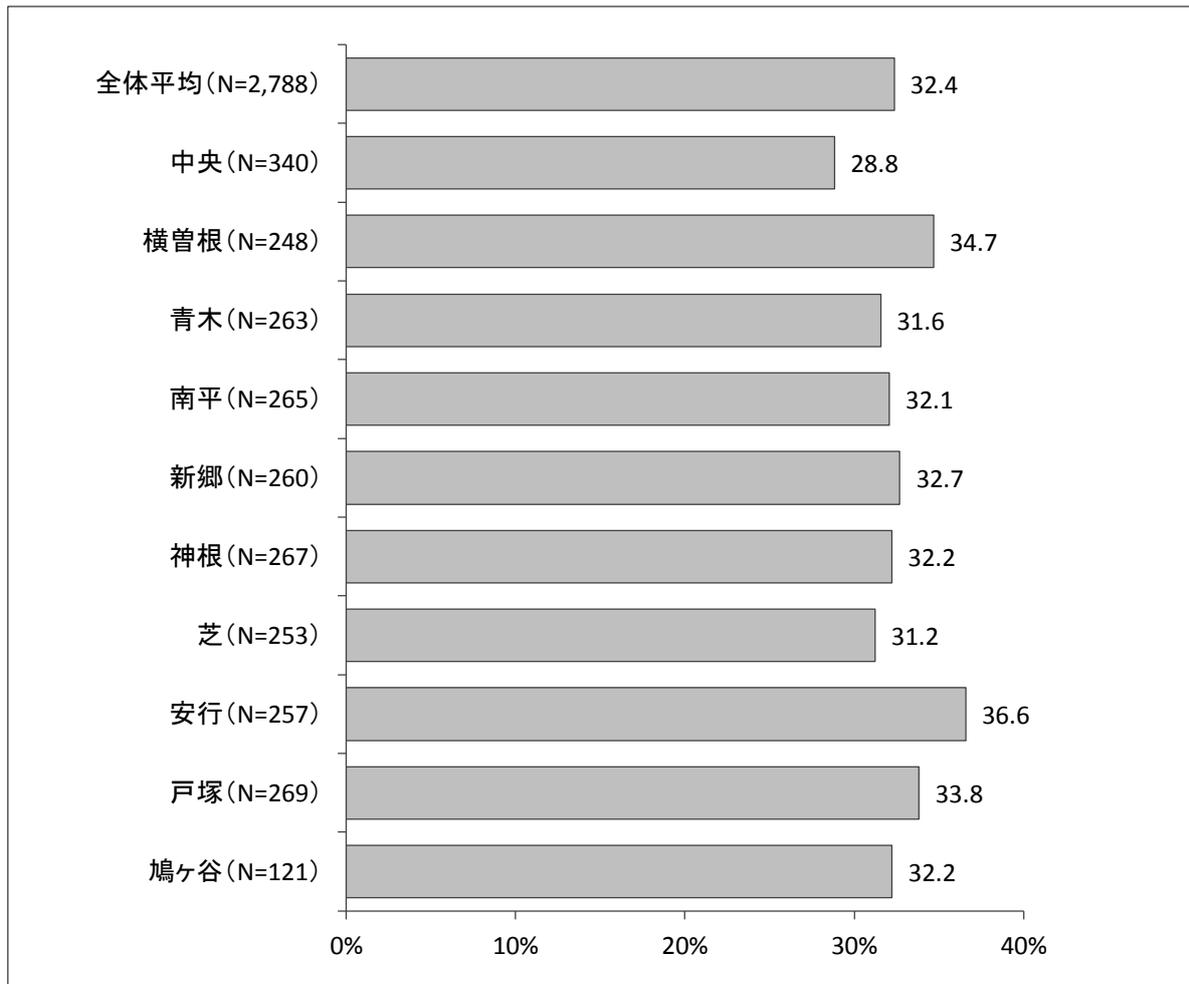
IV 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

1. 運動器

「運動器」の居住地区別の評価結果をみると、「横曽根地区」、「新郷地区」、「安行地区」、「戸塚地区」が全体平均を上回っており、「安行地区」が36.6%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「中央地区」は、28.8%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「運動器」居住地区別 リスク該当者



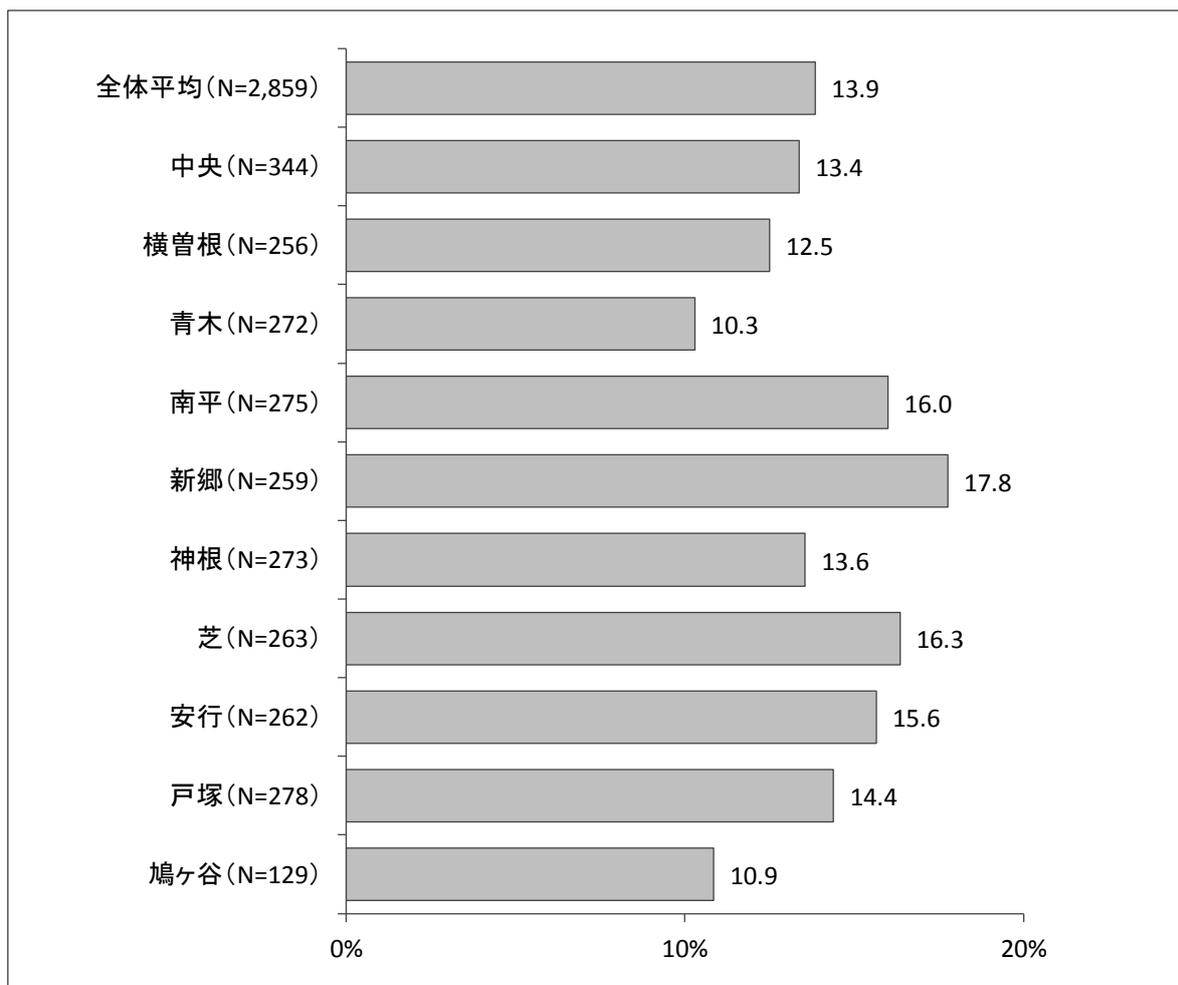
IV 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

2. 閉じこもり

「閉じこもり」の居住地区別の評価結果をみると、「南平地区」、「新郷地区」、「芝地区」、「安行地区」、「戸塚地区」が、全体平均を上回っており、「新郷地区」が17.8%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「青木地区」は、10.3%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「閉じこもり」居住地区別 リスク該当者割合

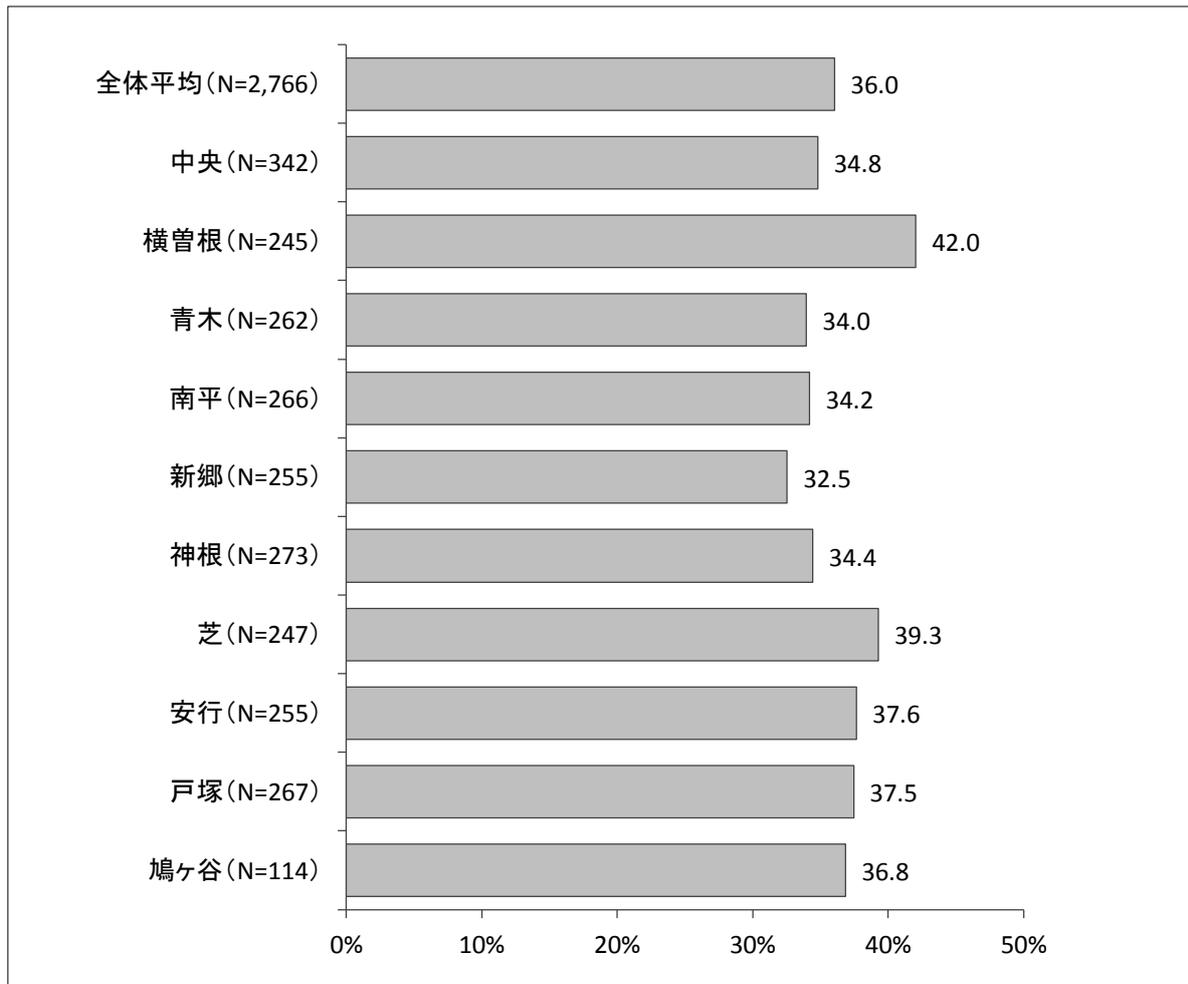


3. 転倒

「転倒」の居住地区別の評価結果をみると、「横曽根地区」、「芝地区」、「安行地区」、「戸塚地区」、「鳩ヶ谷地区」が全体平均を上回っており、「横曽根地区」が42.0%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「新郷地区」は、32.5%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「転倒」居住地区別 リスク該当者割合



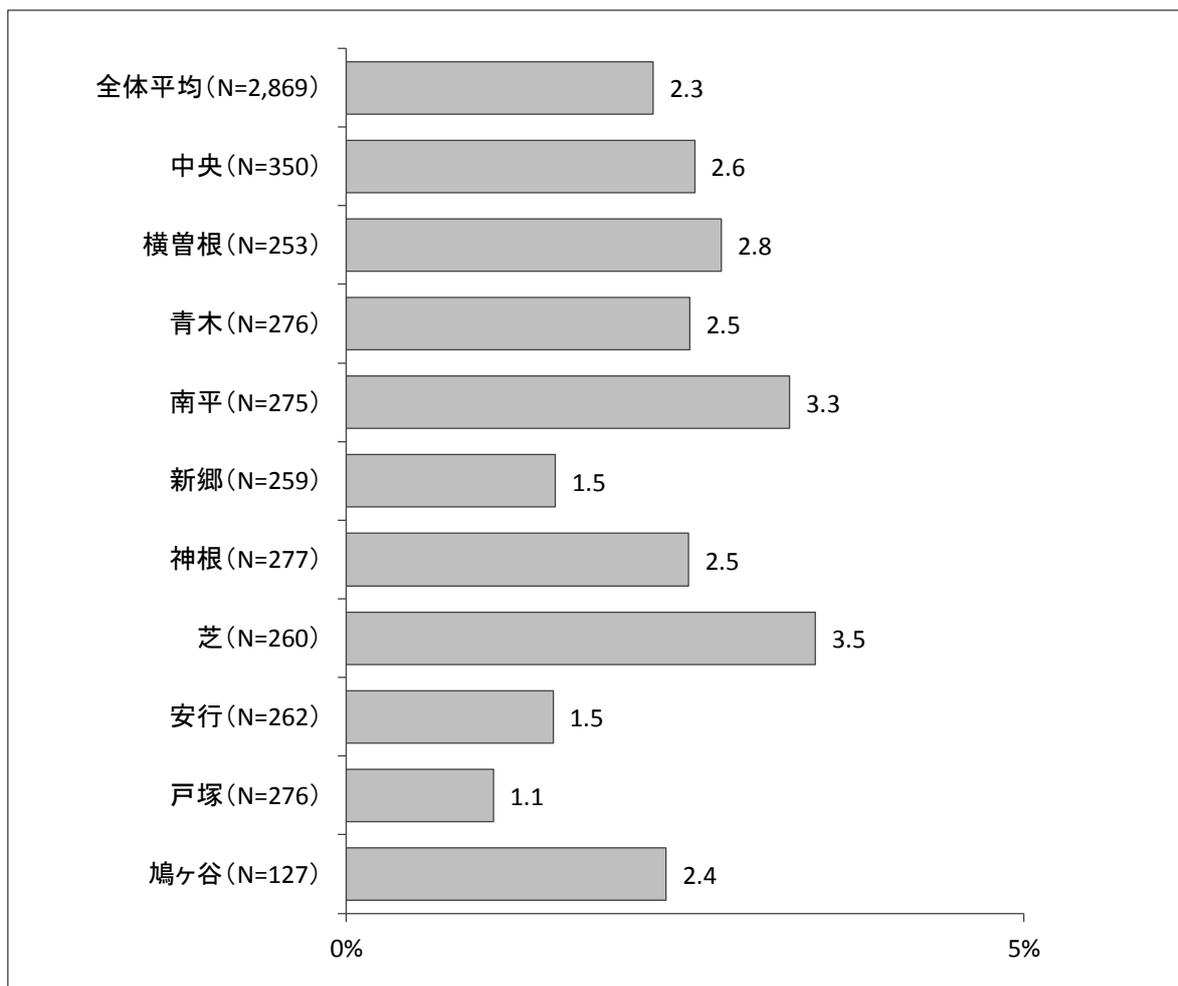
IV 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

4. 栄養

「栄養」の居住地区別の評価結果をみると、「中央地区」、「横曽根地区」、「青木地区」、「南平地区」、「神根地区」、「芝地区」、「鳩ヶ谷地区」の7地区が全体平均を上回っており、「芝地区」が3.5%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「戸塚地区」は、1.1%でリスク該当者割合が最も低くなっています。ただし、全体的にリスク該当者はごく僅かであると言えます。

■「栄養」居住地区別 リスク該当者割合

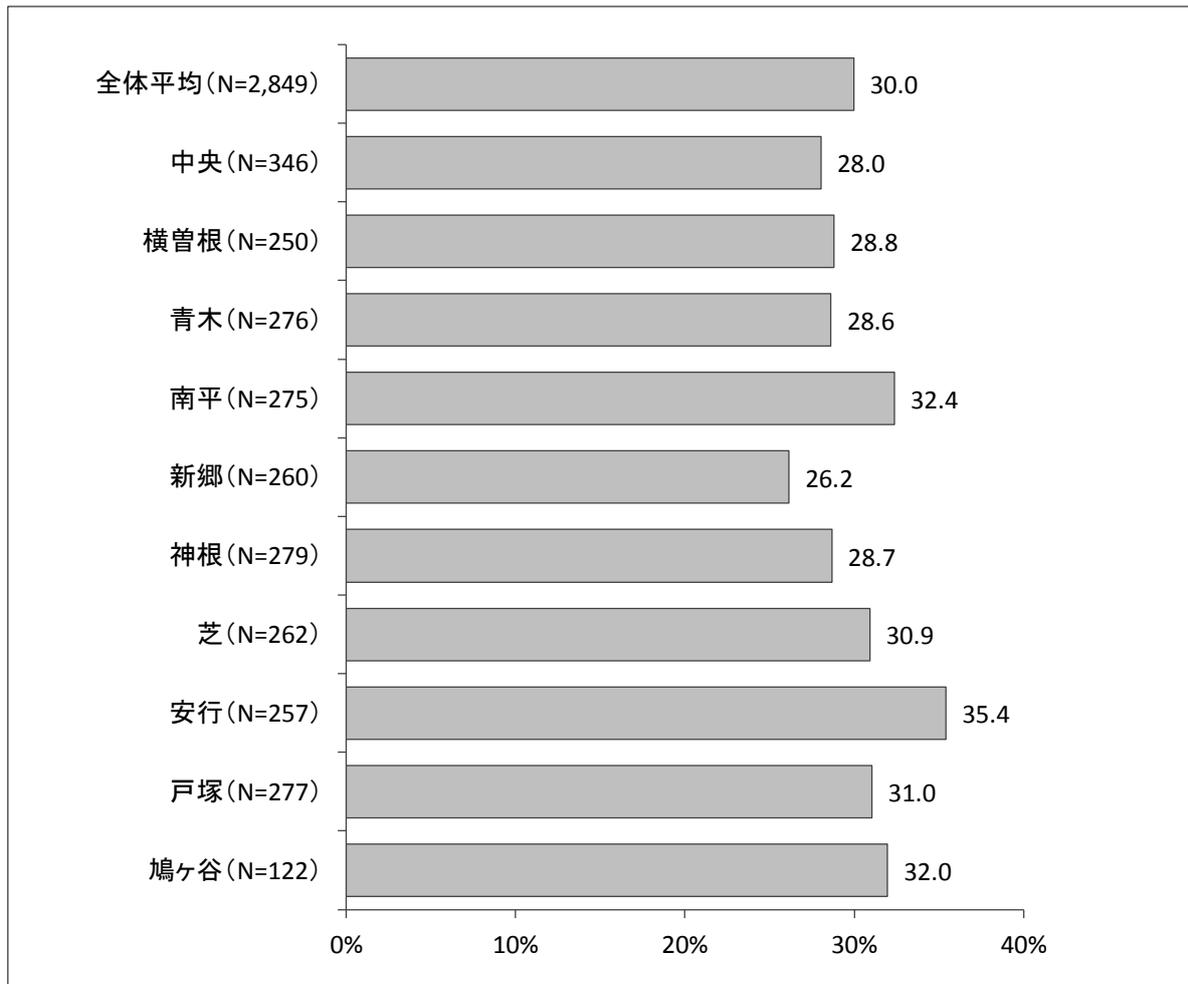


5. 口腔

「口腔」の居住地区別の評価結果をみると、「南平地区」、「芝地区」、「安行地区」、「戸塚地区」、「鳩ヶ谷地区」が全体平均を上回っており、「安行地区」が35.4%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「新郷地区」は、26.2%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「口腔」居住地区別 リスク該当者割合



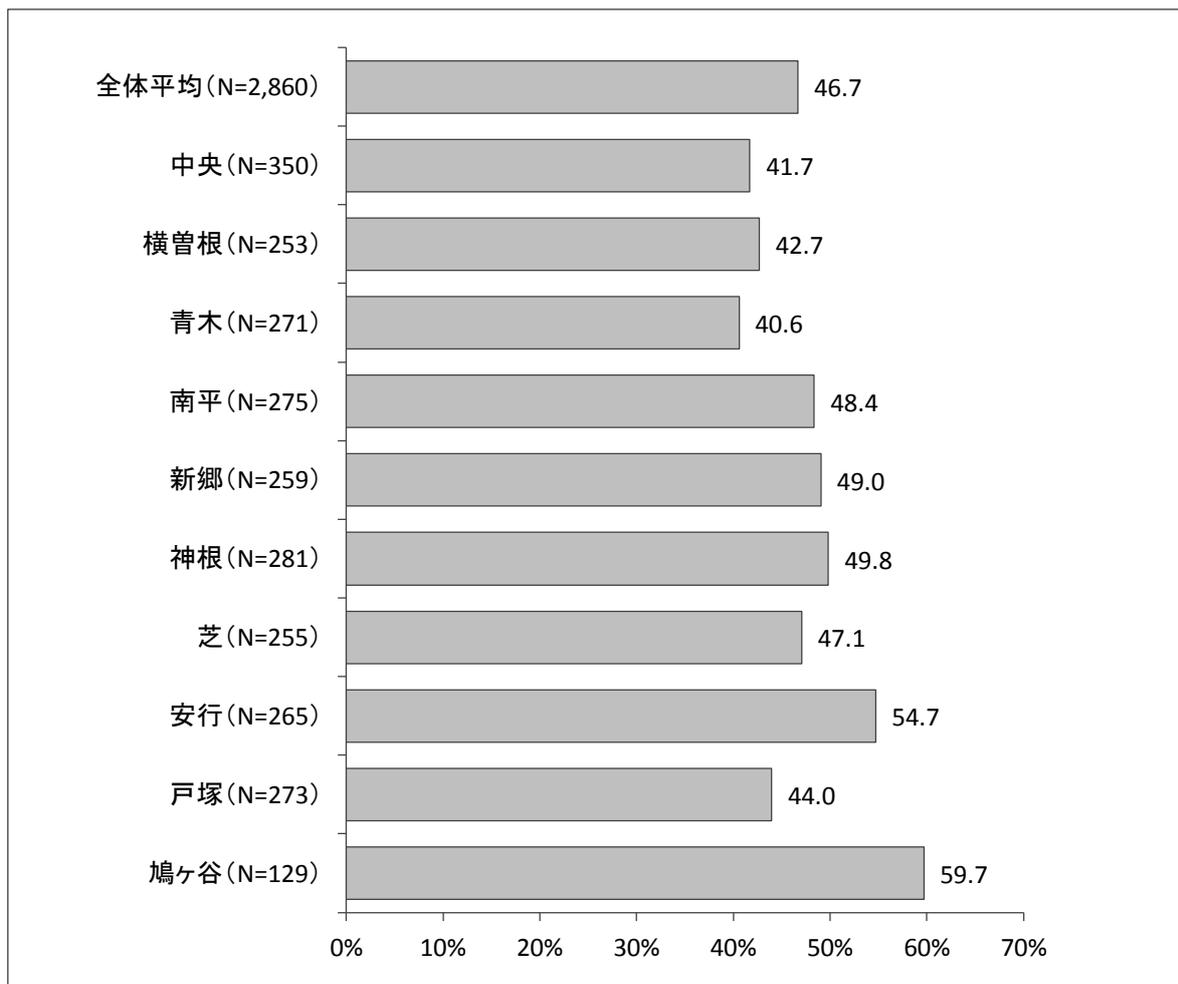
IV 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

6. 認知症予防

「認知症予防」の居住地区別の評価結果をみると、「南平地区」、「新郷地区」、「神根地区」、「芝地区」、「安行地区」、「鳩ヶ谷地区」が全体平均を上回っており、「鳩ヶ谷地区」が59.7%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「青木地区」は、40.6%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「認知症予防」居住地区別 リスク該当者割合

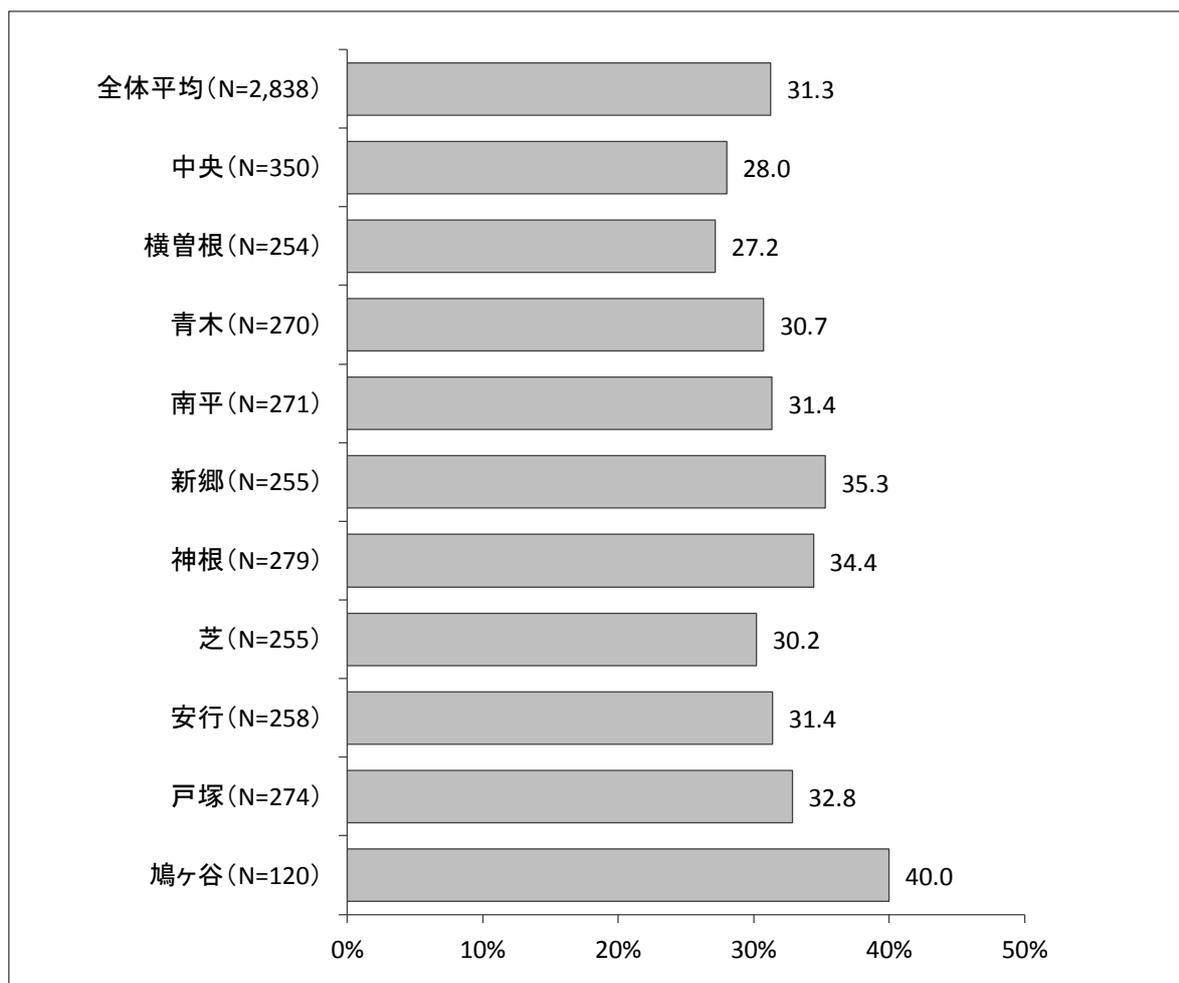


7. 認知機能障害程度（CPS）

「認知機能障害程度(CPS)」の居住地区別の評価結果をみると、「南平地区」、「神根地区」、「安行地区」、「戸塚地区」、「鳩ヶ谷地区」が全体平均を上回っており、「鳩ヶ谷地区」が40.0%で「6. 認知症予防」と同様にリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「横曽根地区」は、27.2%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「認知機能障害程度(CPS)」居住地区別 リスク該当者割合



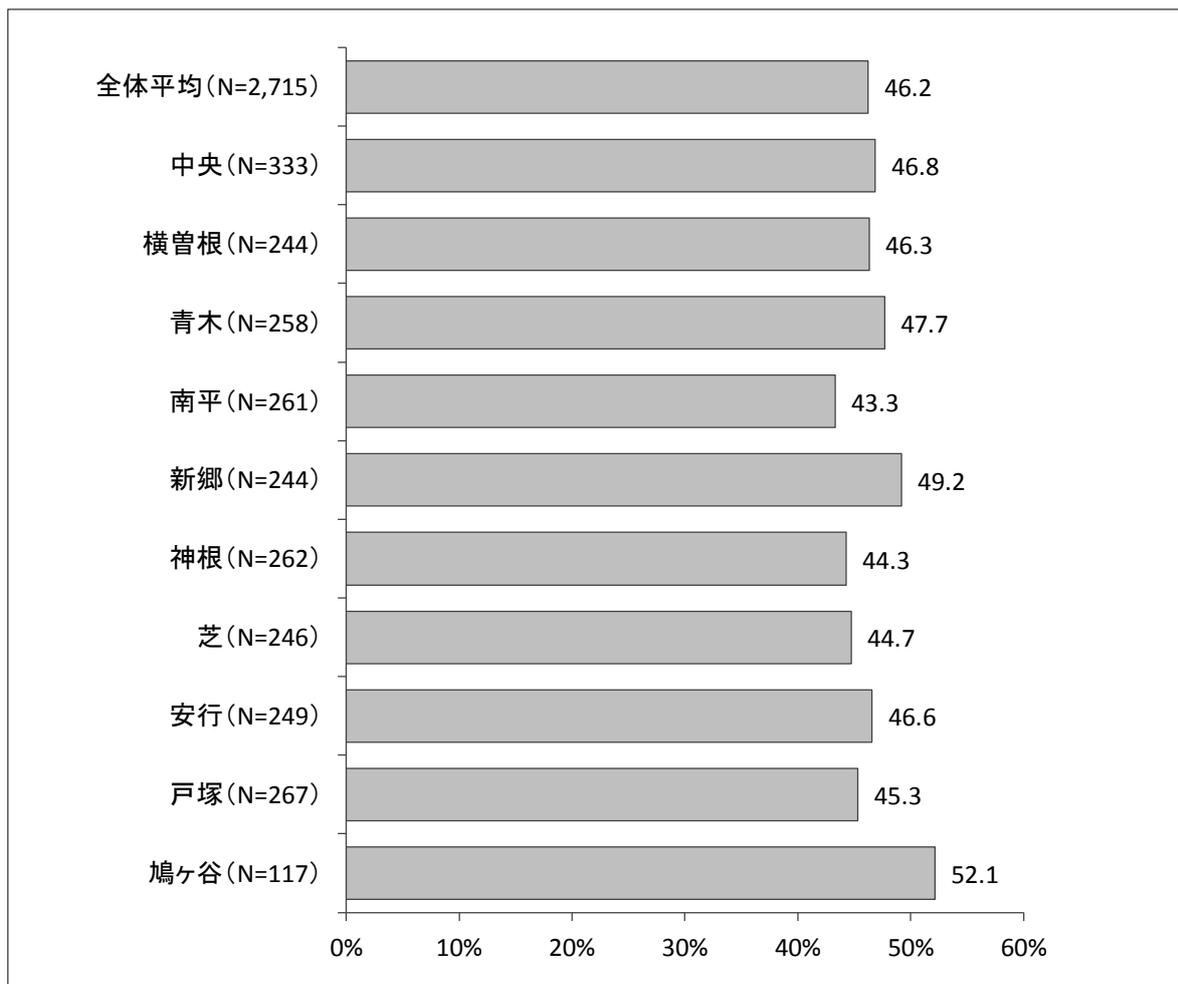
Ⅳ 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

8. うつ予防

「うつ予防」の居住地区別の評価結果をみると、「中央地区」、「横曽根地区」、「青木地区」、「新郷地区」、「安行地区」、「鳩ヶ谷地区」が全体平均を上回っており、「鳩ヶ谷地区」が52.1%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「南平地区」は、43.3%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「うつ予防」居住地区別 リスク該当者割合

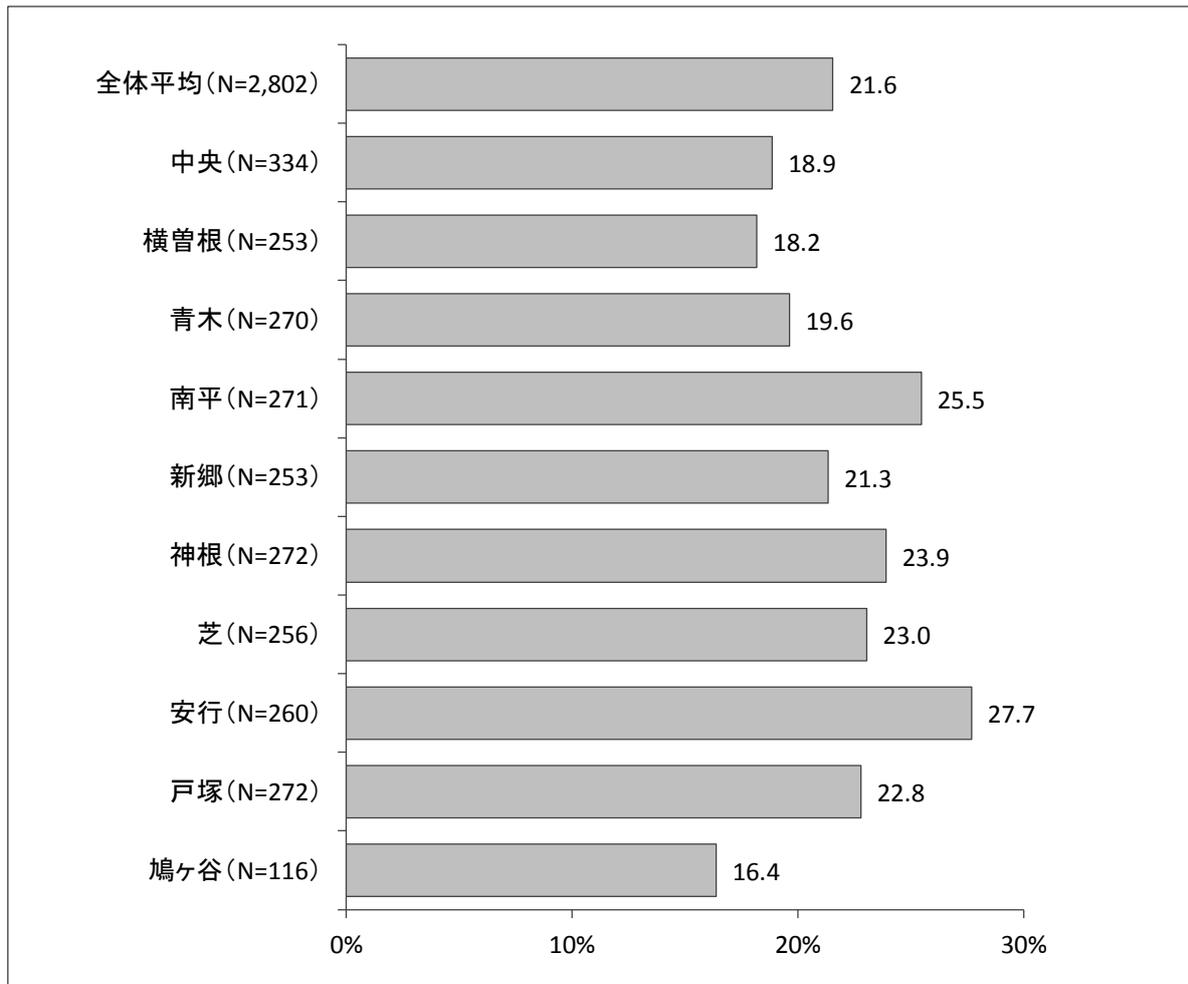


9. 虚弱

「虚弱」の居住地区別の評価結果をみると、「南平地区」、「神根地区」、「芝地区」、「安行地区」、「戸塚地区」が全体平均を上回っており、「安行地区」が27.7%でリスク該当者割合が最も高くなっています。

一方、「鳩ヶ谷地区」は、16.4%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「虚弱」居住地区別 リスク該当者割合



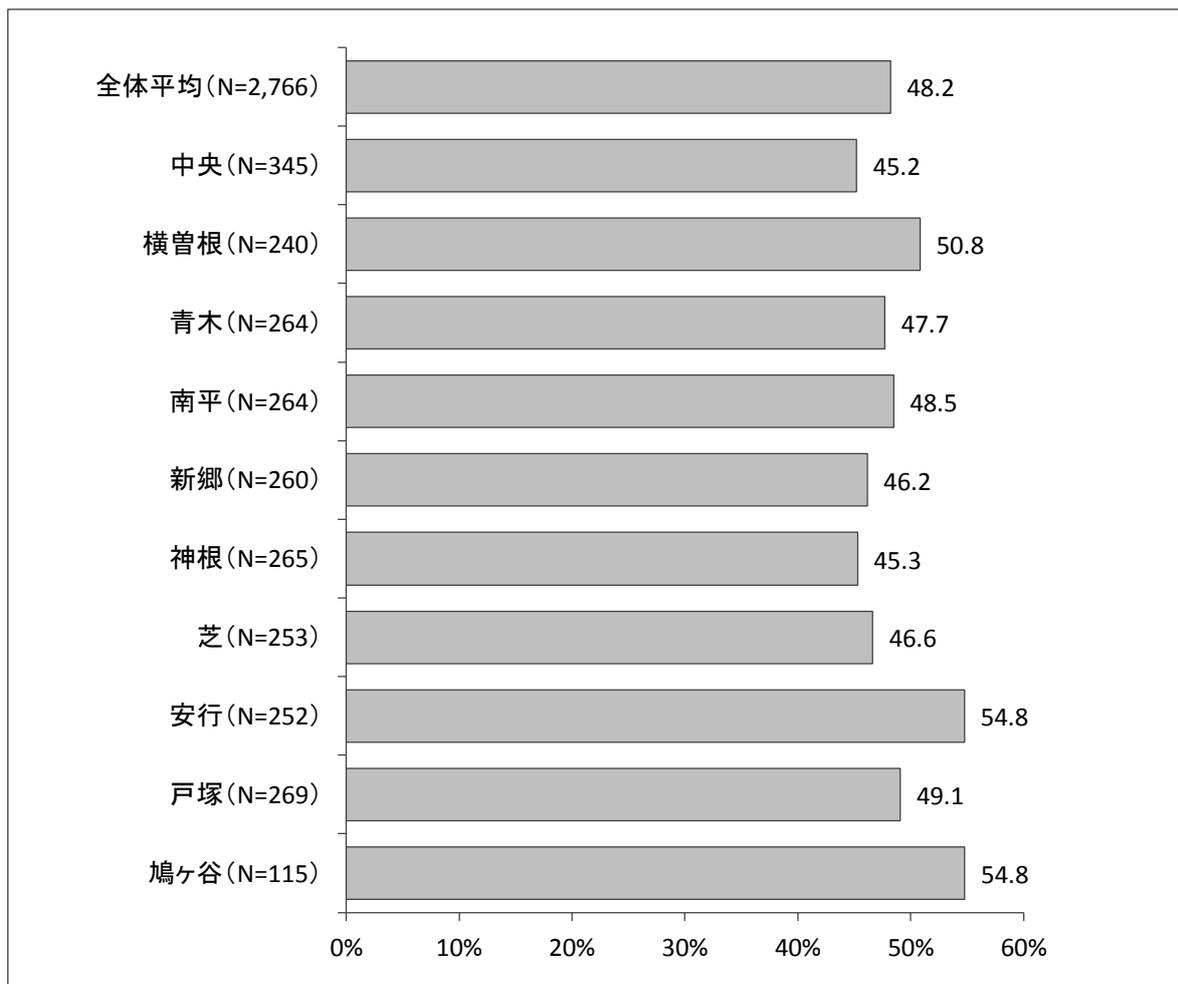
IV 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

10. 二次予防対象者

「二次予防対象者」の居住地区別の評価結果をみると、「横曽根地区」、「南平地区」、「安行地区」、「戸塚地区」、「鳩ヶ谷地区」が全体平均を上回っており、「安行地区」と「鳩ヶ谷地区」が54.8%で該当者割合が最も高くなっています。

一方、「中央地区」は、45.2%でリスク該当者割合が最も低くなっています。

■「二次予防対象者」居住地区別 該当者割合

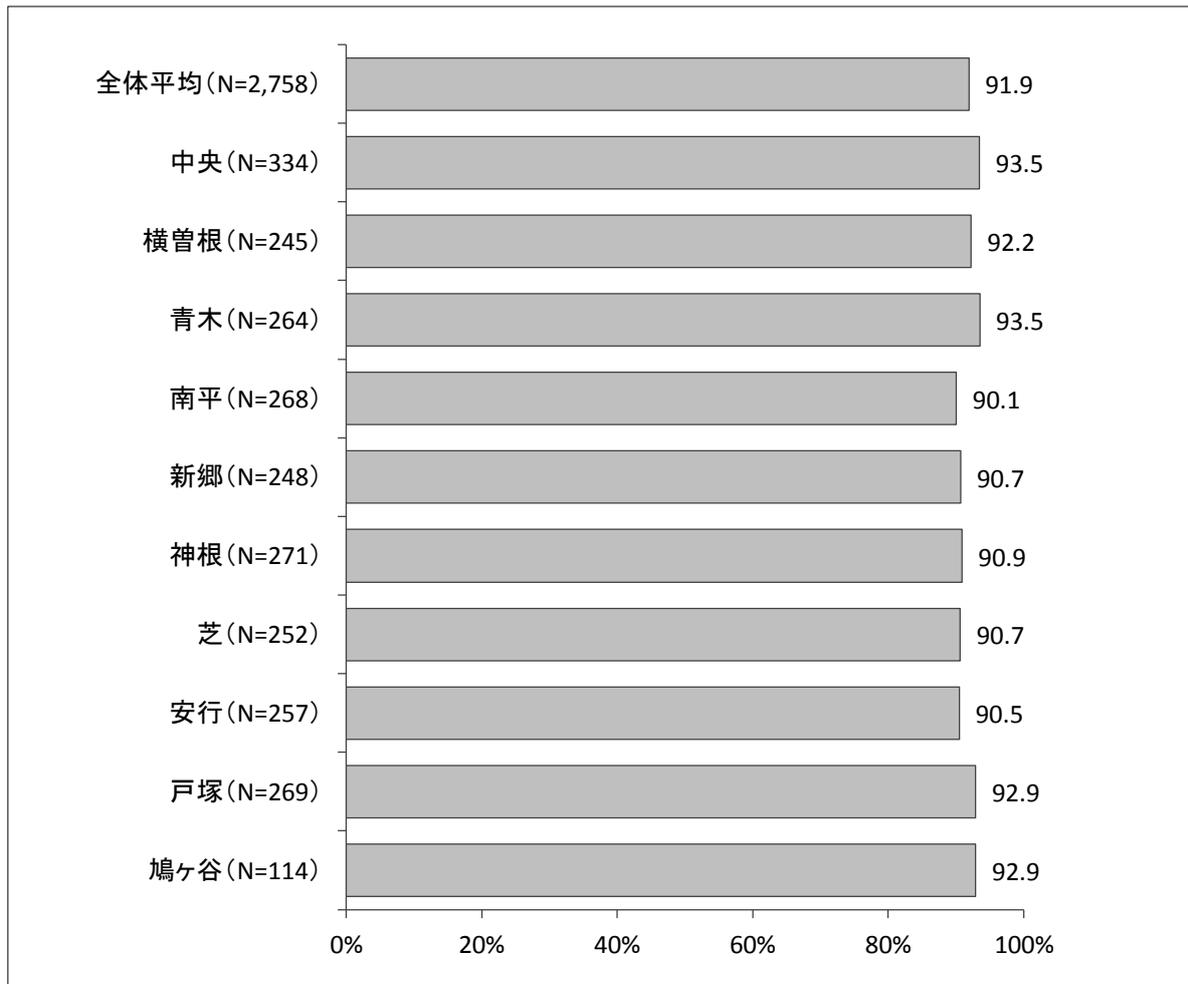


1.1. 日常生活動作（ADL）

「日常生活動作(ADL)」の居住地区別の評価結果をみると、「南平地区」、「新郷地区」、「神根地区」、「芝地区」、「安行地区」が全体平均を下回っており、「南平地区」が90.1点で平均点が最も低くなっています。

一方、「中央地区」と「青木地区」は、93.5点で平均点が最も高くなっています。

■「日常生活動作(ADL)」居住地区別 平均点



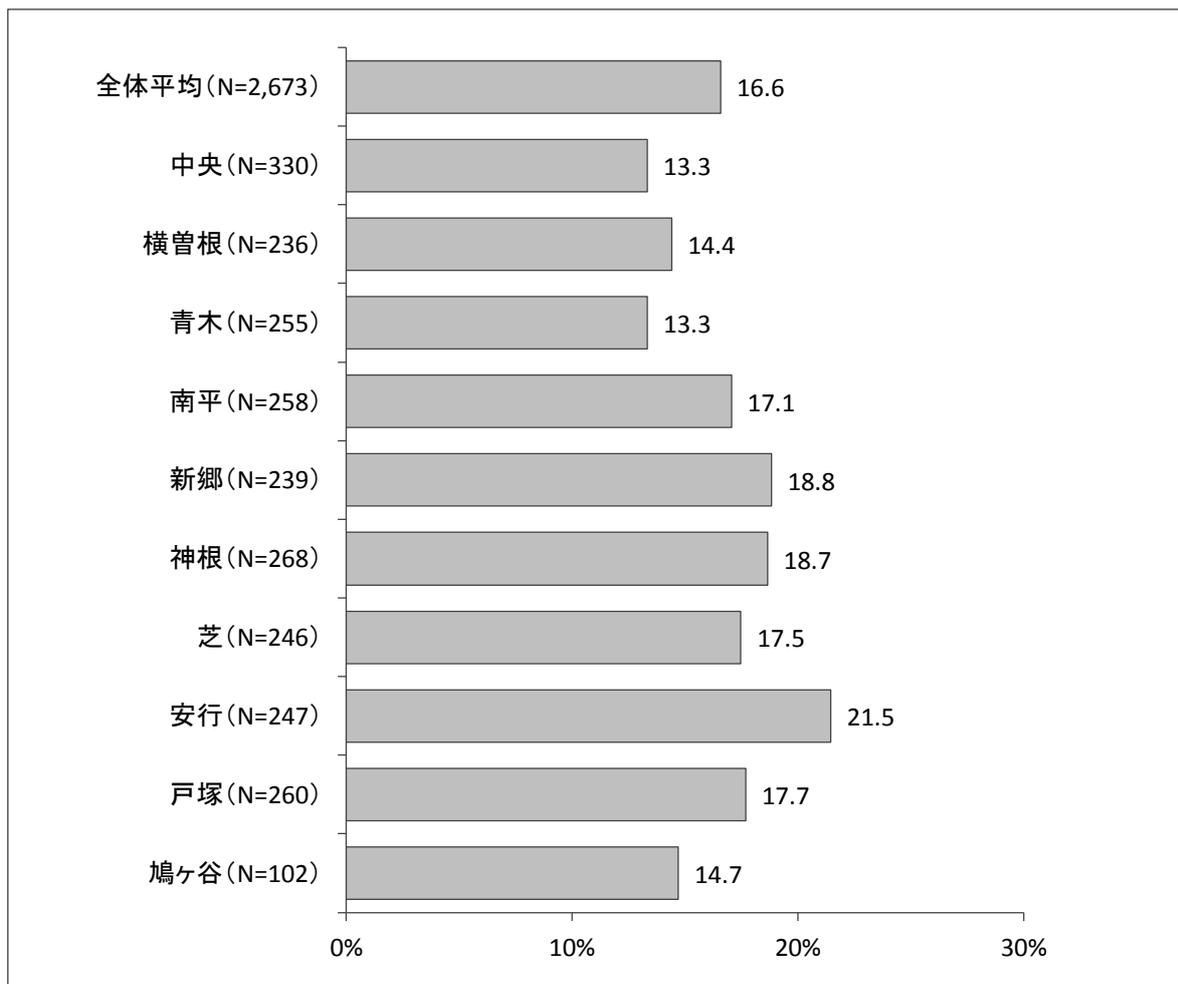
Ⅳ 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

1 2. 手段的日常生活動作（IADL）

「手段的日常生活動作(IADL)」の居住地区別の評価結果をみると、3点以下で「低い」と判定された方は、「南平地区」、「新郷地区」、「神根地区」、「芝地区」、「安行地区」、「戸塚地区」が全体平均を上回っており、「安行地区」が21.5%で最も高くなっています。

一方、「中央地区」と「青木地区」は、13.3%で最も低くなっています。

■「手段的日常生活動作(IADL)」 居住地区別 リスク該当者(3点以下:「低い」)割合

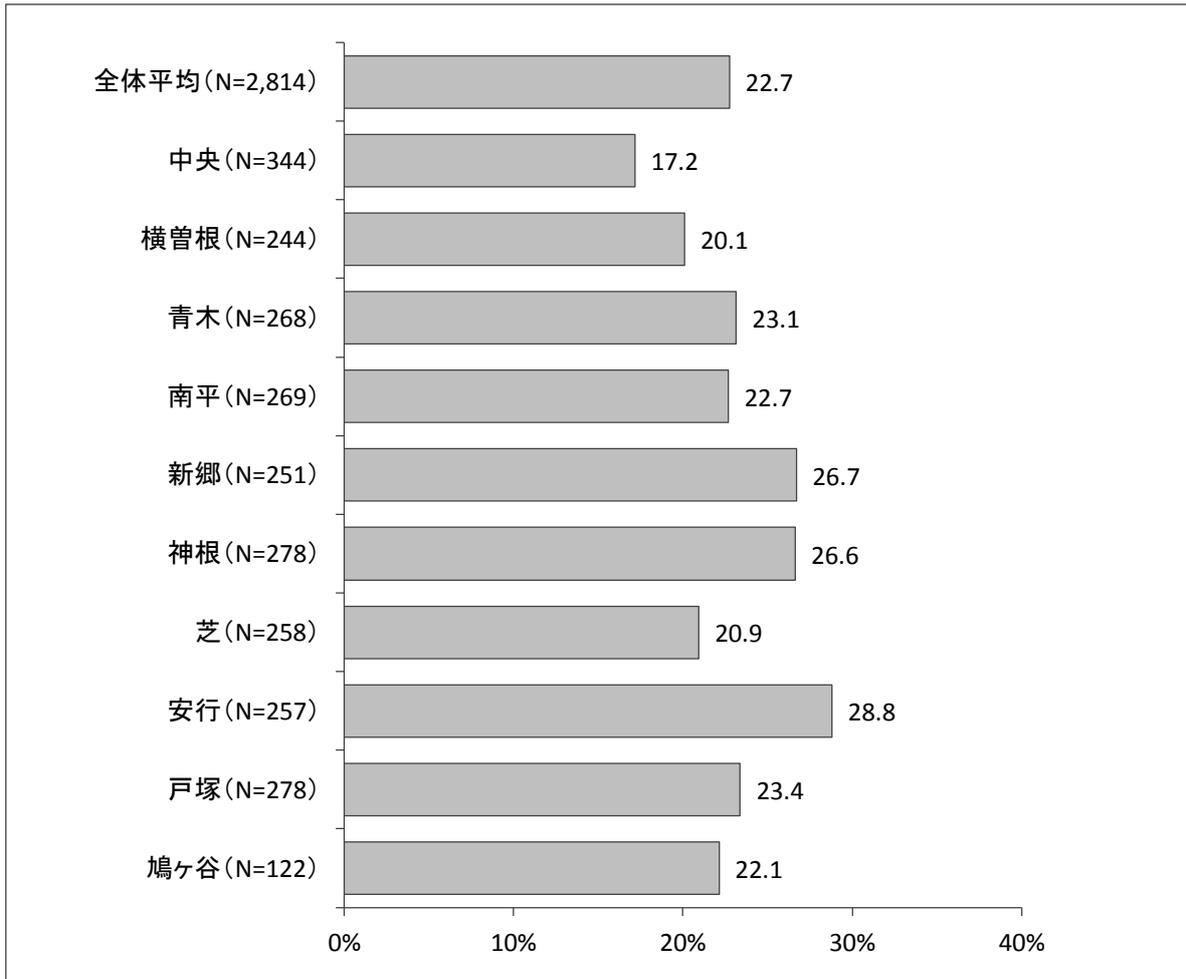


13. 知的能動性

「知的能動性」の居住地区別の評価結果をみると、2点以下で「低い」と判定された方は、「青木地区」、「新郷地区」、「神根地区」、「安行地区」、「戸塚地区」が全体平均を上回っており、「安行地区」が28.8%で最も高くなっています。

一方、「中央地区」は、17.2%で最も低くなっています。

■「知的能動性」居住地区別 リスク該当者(2点以下:「低い」)割合



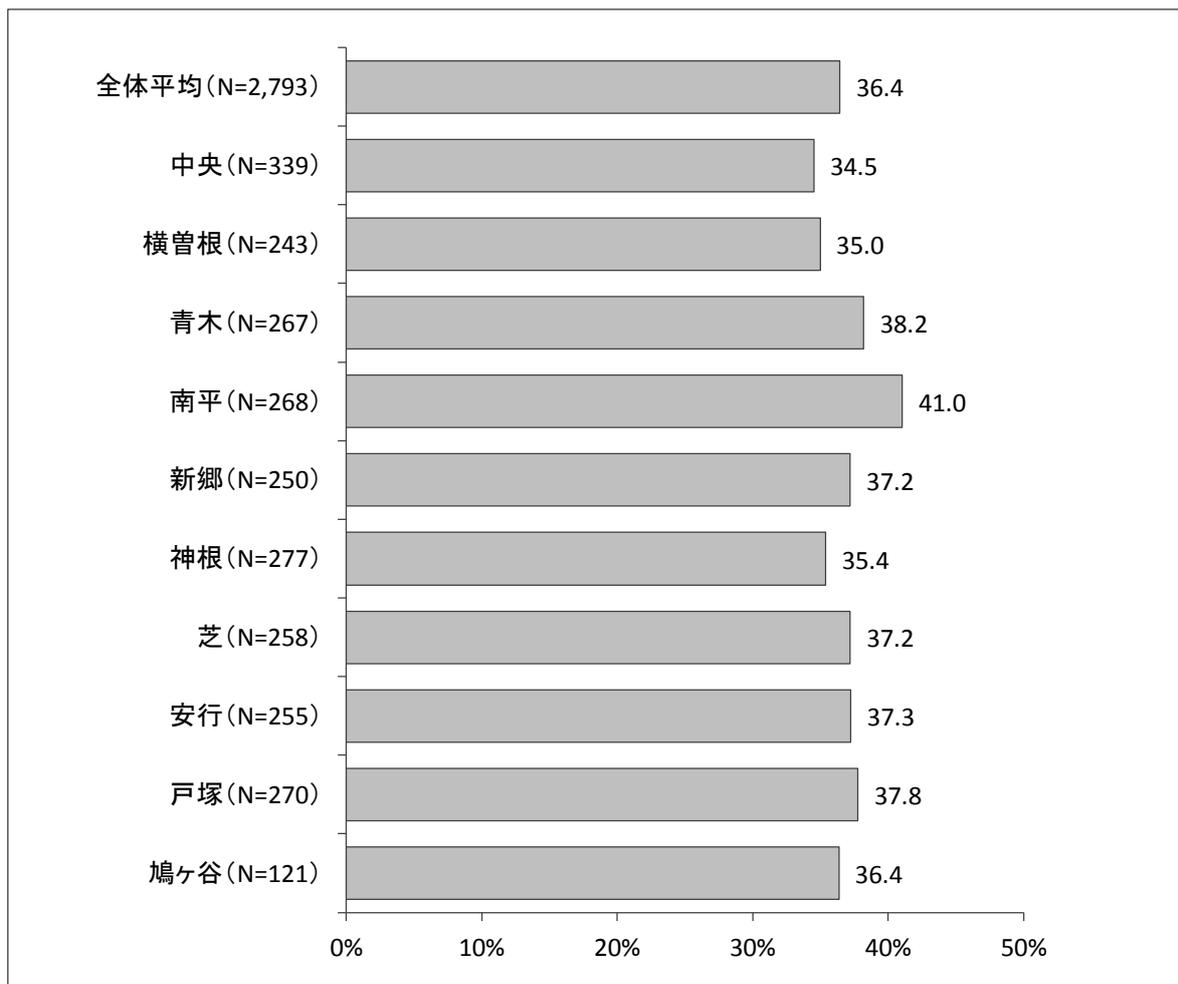
IV 各地区のリスク該当状況（1号被保険者）

14. 社会的役割

「社会的役割」の居住地区別の評価結果をみると、2点以下で「低い」と判定された方は、「青木地区」、「南平地区」、「新郷地区」、「芝地区」、「安行地区」、「戸塚地区」が全体平均を上回っており、「南平地区」が41.0%で最も高くなっています。

一方、「中央地区」は、34.5%で最も低くなっています。

■「社会的役割」居住地区別 リスク該当者(2点以下:「低い」)割合

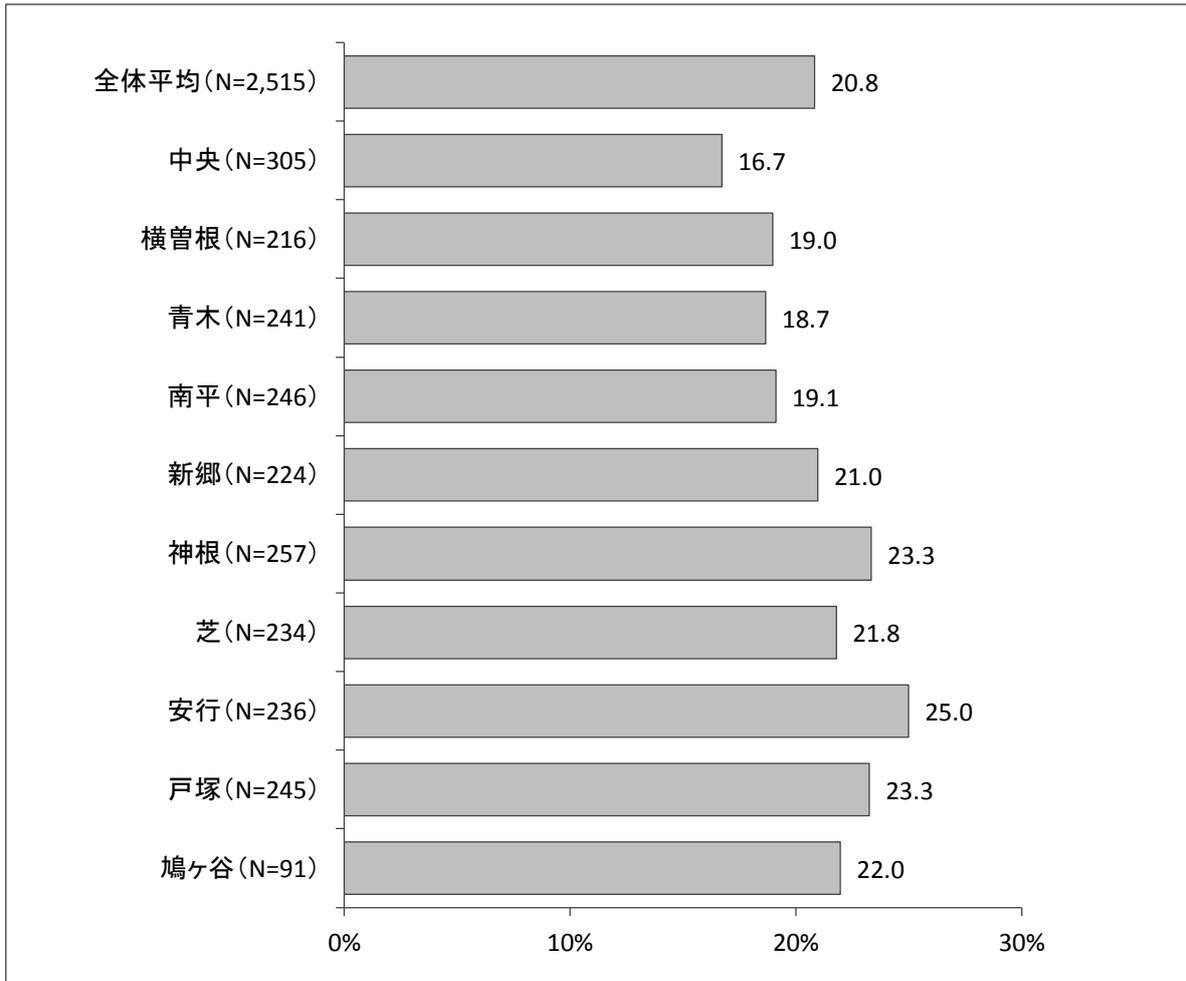


15. 生活機能総合評価

「生活機能総合評価」の居住地区別の評価結果をみると、8点以下で「低い」と判定された方は、「新郷地区」、「神根地区」、「芝地区」、「安行地区」、「戸塚地区」、「鳩ヶ谷地区」が全体平均を上回っており、「安行地区」が25.0%で最も高くなっています。

一方、「中央地区」は、16.7%で最も低くなっています。

■「生活機能総合評価」居住地区別 リスク該当者(8点以下:「低い」)割合



V 調査結果（介護サービス事業者）

1 基本項目

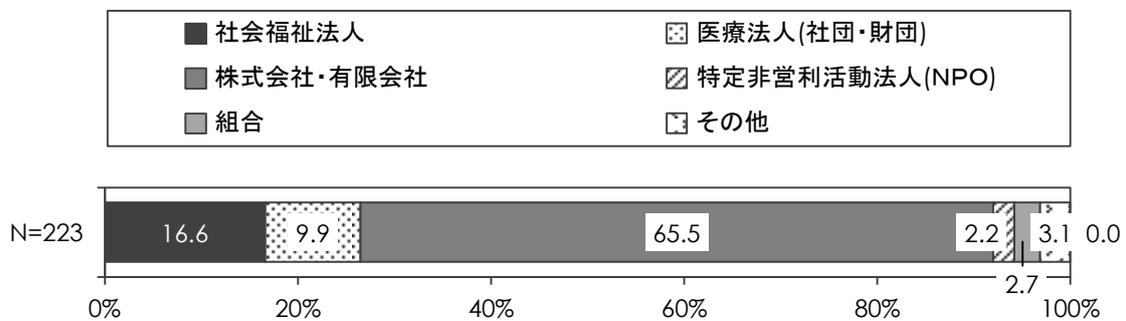
■調査結果概要

経営主体は、「株式会社・有限会社」が7割弱で最も高くなっています。次いで、社会福祉法人が2割弱、医療法人が1割弱となっています。

また、従業員数は、「20人～49人」と「10人～19人」がそれぞれ3割弱となっています。非常勤職員の割合については、「10～30%未満」が2割強で最も高くなっています。

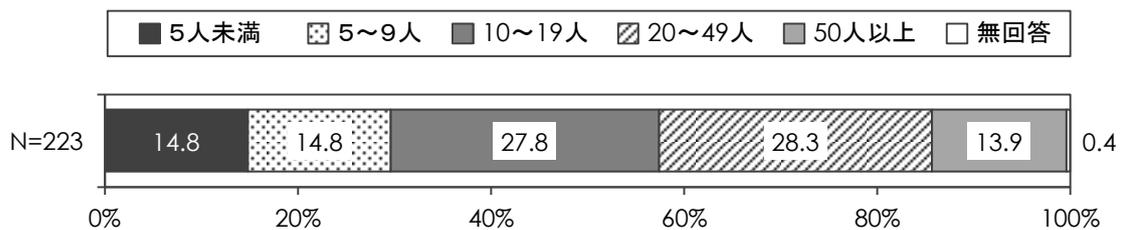
1. 経営主体

問1 経営主体についてお答えください。(SA)

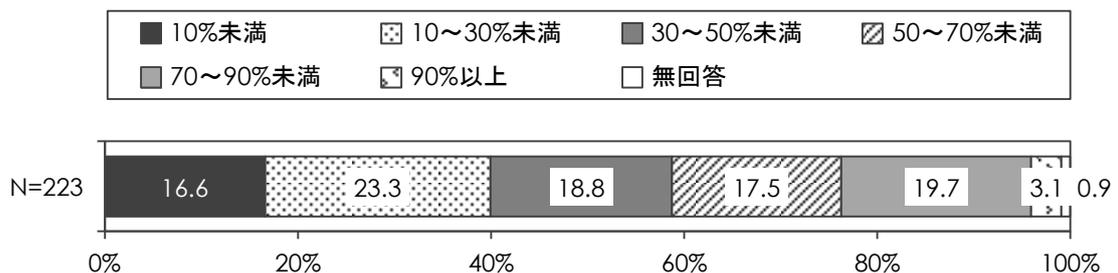


2. 従業員

問2 貴事業所における介護サービスに関わる従業員数はどのくらいですか。(SA)



問3 問2の従業員数のうち、非常勤職員の割合はどのくらいですか。(SA)



2 事業運営

■調査結果概要

事業の採算について、『下回った』（大幅に+やや）が5割弱で最も高く、次いで、「見込みどおり」が3割強、『上回った』（大幅に+やや）が2割弱となっています。

上回った理由と下回った理由をみると、『利用者数の確保』が大きく影響していることがわかります。下回った理由では、「人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため」が5割弱を占めており、『利用者数の確保』とともに影響が大きくなっています。

事業運営における困難は、「従業員の確保」が7割強で最も高くなっています。次いで、「利用者の確保」が7割弱、「従業者の資質向上」が5割強と続いています。

事業の採算の結果とともに考えると、特に上位2つの困難である「従業員の確保」と「利用者の確保」を解消することが事業の採算に繋がると言えます。

苦情について、受けたことがあるものは、「サービス内容」が5割弱、「職員の態度」が4割強となっています。逆に、「苦情を受けたことはない」は2割弱となっています。

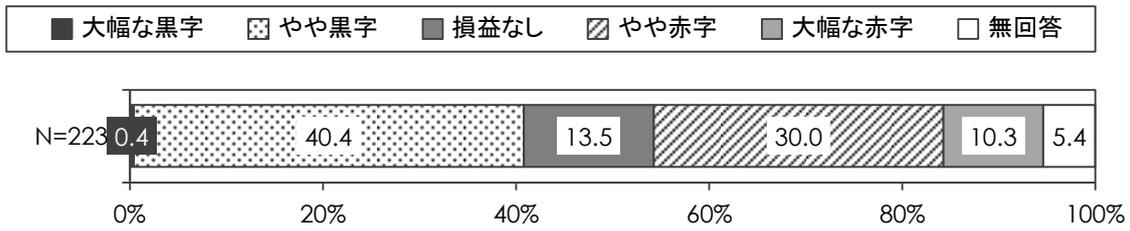
苦情についての取り組みでは、「苦情窓口への相談員の配置」が7割弱、「利用者等との話しあいの場の設置」が6割強、「苦情・相談対応マニュアルの作成」がおよそ5割となっています。逆に、「特にない」は1%未満となっており、大半の事業者が何かしらの取り組みを行っていることがわかります。

職員の研修の実施や講習会等への参加については、『実施・支援している』（十分に+ある程度）がおよそ9割となっており、「あまり実施・支援していない」はおよそ1割となっています。

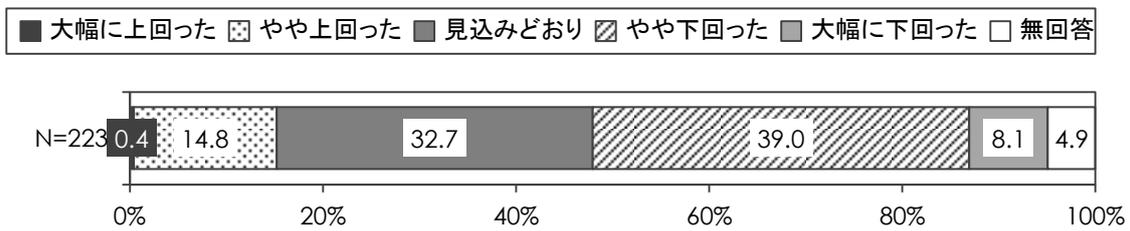
サービスの質の向上に向けた課題や取り組みは、「職場内での人材育成・教育の充実」が7割弱で最も高くなっています。次いで、「利用者の納得と意思の尊重」がおよそ5割、「従業員への経営理念の周知徹底」が4割弱となっています。逆に「無回答」は2.2%となっており、苦情への取り組みと同様に、大半の事業者が何かしらの課題を抱え、取り組みを行っていることがわかります。

1. 事業の採算

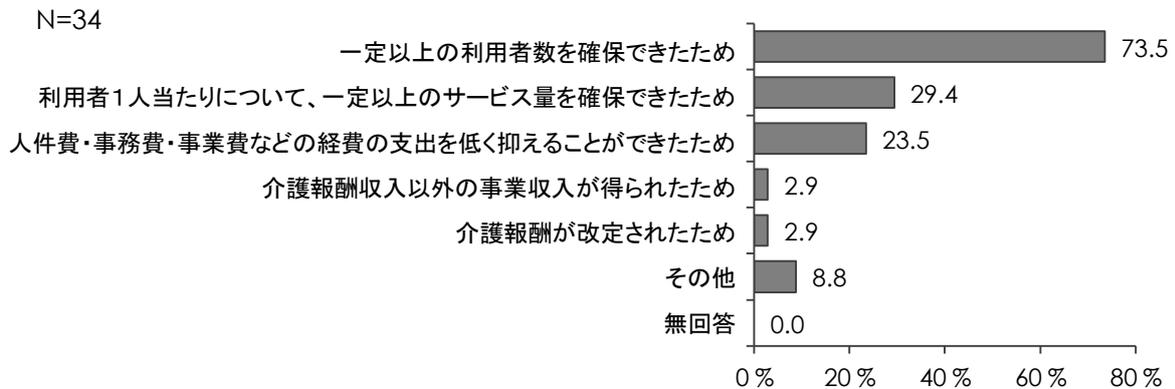
問4 昨年度の事業の採算について、お差支えなければお答えください。(SA)



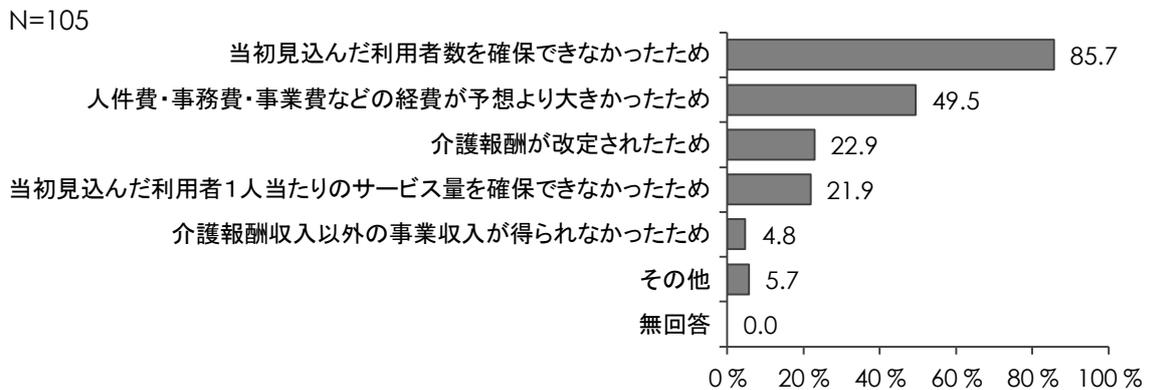
問5 昨年度の事業の採算について、当初の見込みと比較すると、どのような状況ですか。(SA)



問5-1 問5で「1」または「2」を選んだ方のみ上回った理由について、どうお考えですか。(MA)



問5-2 問5で「4」または「5」を選んだ方のみ下回った理由について、どうお考えですか。(MA)

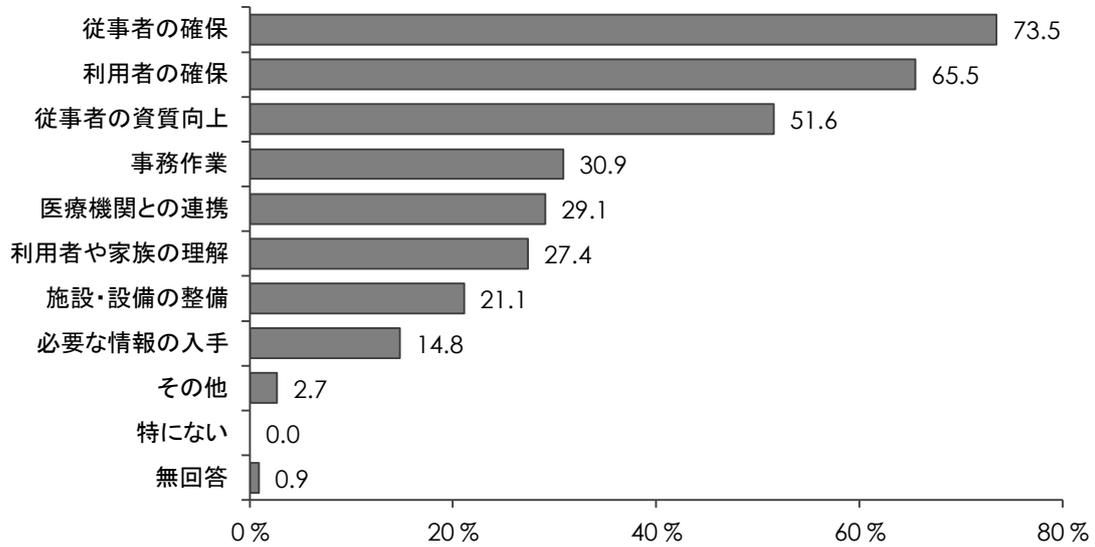


V 調査結果（介護サービス事業者）

2. 事業運営における困難

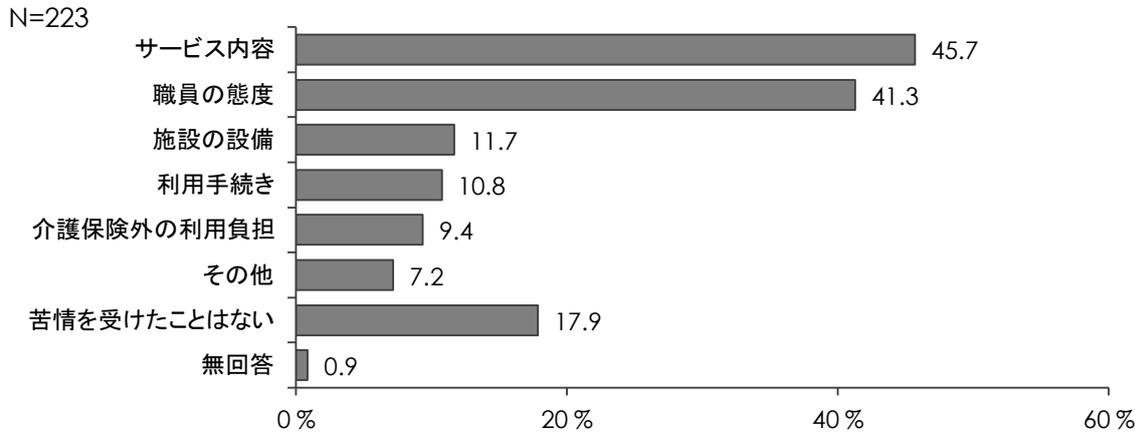
問6 円滑な事業運営を進めていく上で、困難を感じることはどのようなことですか。(MA)

N=223

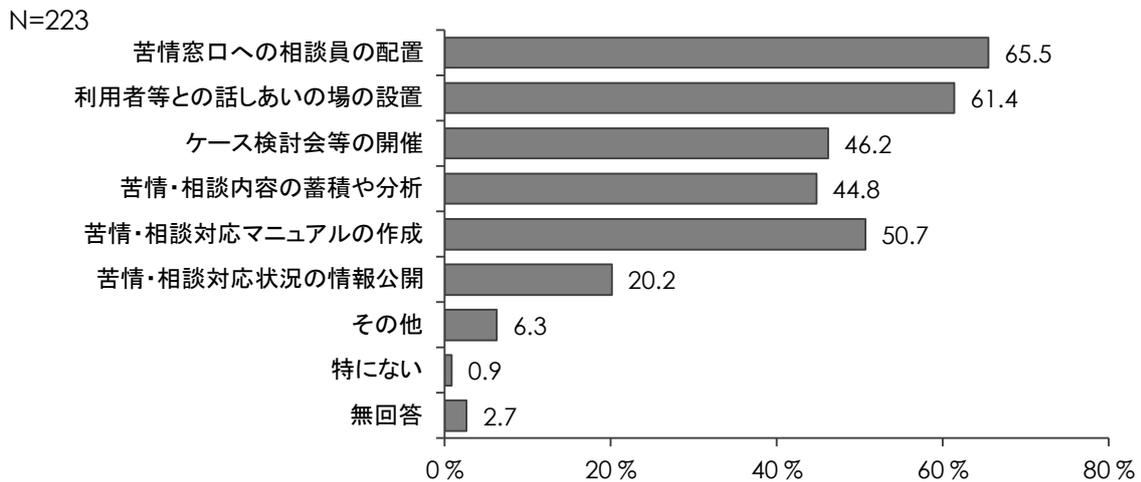


3. 苦情

問7 これまでに、利用者本人やその家族から以下のような苦情を受けたことがありますか。(MA)



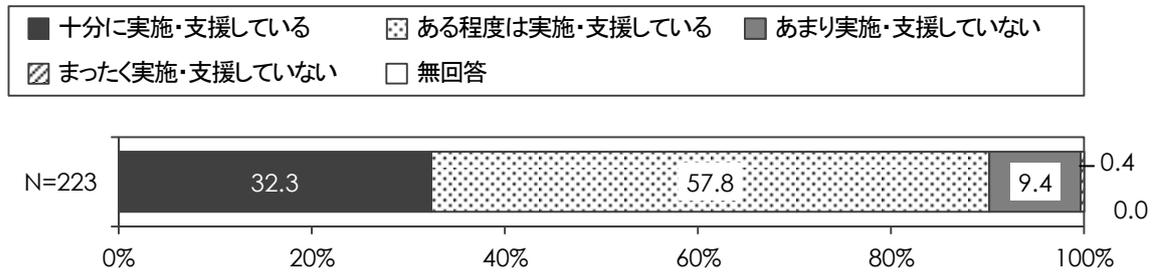
問8 苦情について、どのような取り組みをしていますか。(MA)



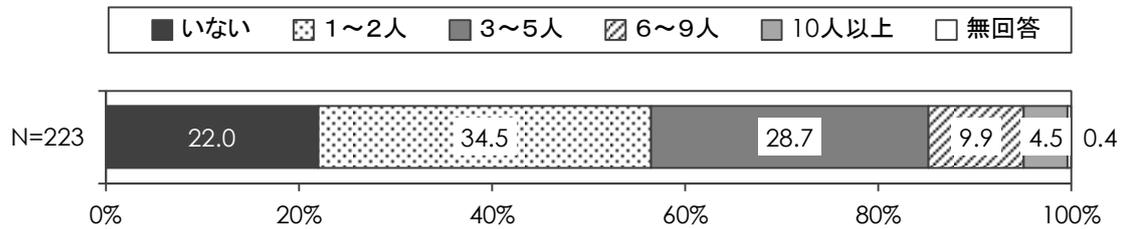
V 調査結果（介護サービス事業者）

4. 職員

問9 職員の研修や講習会等への参加を実施または支援していますか。(SA)

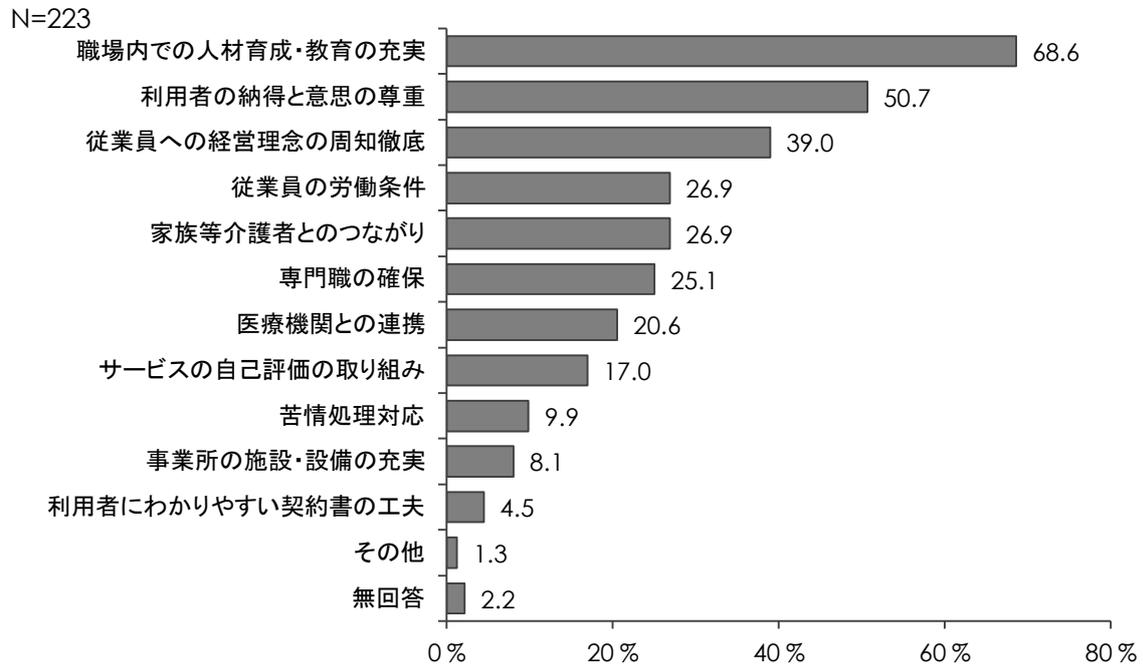


問10 貴事業所における介護サービスに関わる従業員の退職者は、年間でどのくらいですか。(SA)



5. サービスの質の向上に向けた課題

問11 サービスの質の向上に向けた、貴事業所での課題や取り組みとしてあげられることをお答えください。
 （重要度の高いもの3つまでに○）



3 サービス提供

■調査結果概要

実施しているサービスは、「居宅介護支援」が4割強で最も高くなっています。次いで、「訪問介護」が4割弱、「通所介護」が3割強となっています。

今後の方向性では、全体的に「さらに利用者の受け入れが可能」である割合が高くなっています。ただし、「15 認知症対応型共同生活介護」、「16 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」、「18 介護老人福祉施設」で「利用者を増やすことは困難」が過半数となっています。

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「複合型サービス」、「小規模多機能型居宅介護」についての今後方向性は、いずれの事業も、「実施する予定である」は1%前後と僅かになっています。

「実施する予定はない」と回答した理由としては、いずれの事業も、「夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない」が最も高くなっています。

利用者や市民への情報提供は、「実施している介護サービスの種類や特徴」が9割強で最も高くなっています。次いで、「事務所の運営体制」が5割強、「介護サービスの質の向上への取り組み内容」が4割強となっています。一方、「専門知識を持つ第三者による事業所の評価」等の評価に関する内容や「事業所の経営状況」は2割以下とやや低くなっています。

地域包括ケアシステムについてのイメージは「理想通りに実現できるか疑問である」がおよそ5割、「概念だけで具体的な中身が良くわからない」が4割弱となっています。

地域包括ケアシステムを構築するために重要になるものは、「地域との関係」が5割強、「医療機関との関係」が5割弱、「地域包括支援センターとの関係」が4割強となっています。一方、「社会福祉協議会との関係」が1割弱で、他の項目と比較すると低くなっています。

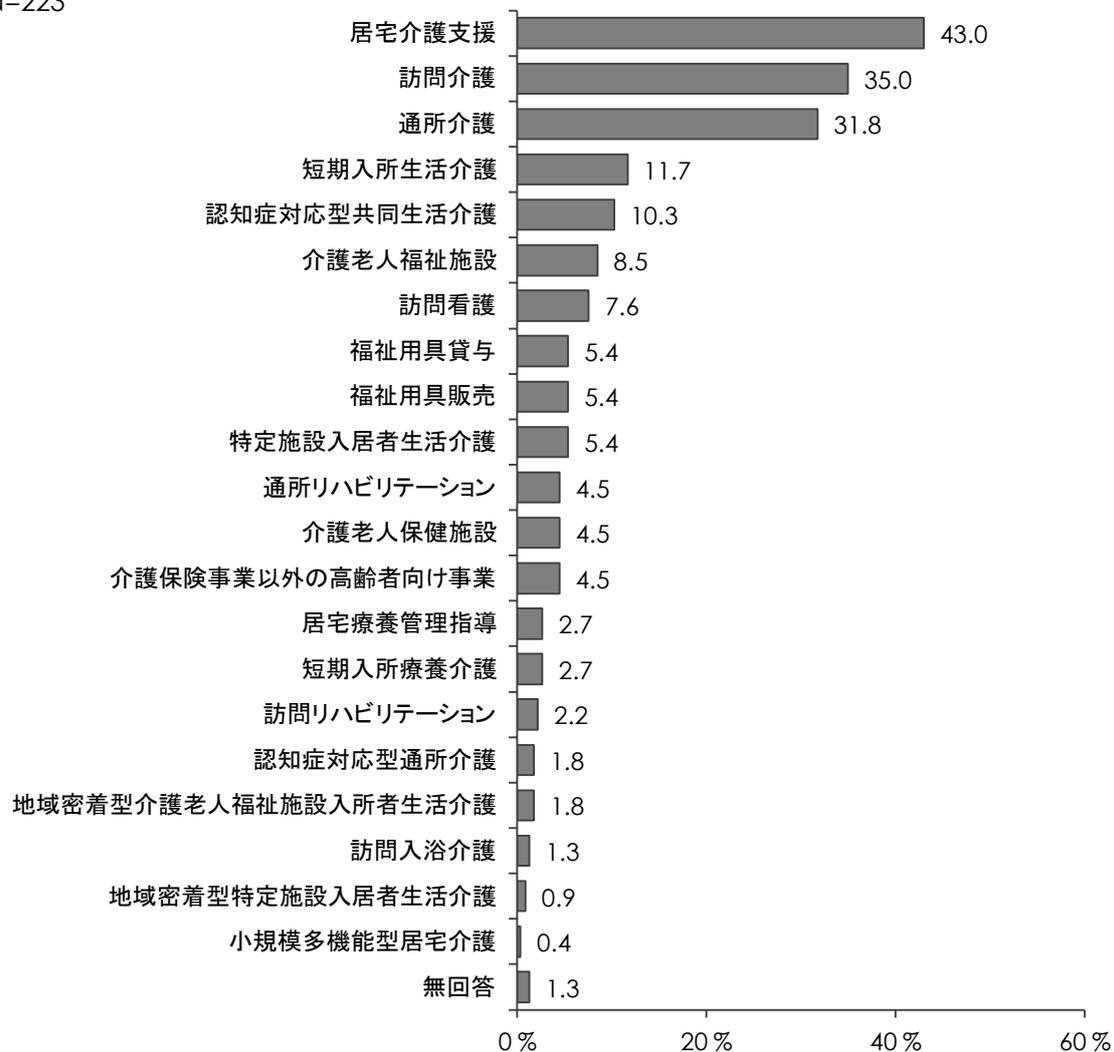
実施している地域活動は、「多職種による連絡会・事例検討会などへの参加」が5割弱で最も高くなっています。次いで、「事業所の宣伝、広告など」が4割弱、「地域住民との交流会」が3割強となっています。逆に、「実施していない」は1割強となっています。

1. サービスの提供体制と今後の方向性

問12 貴事業所の実施しているサービスの提供体制についてお答えください。(SA)

《実施しているサービス》

N=223



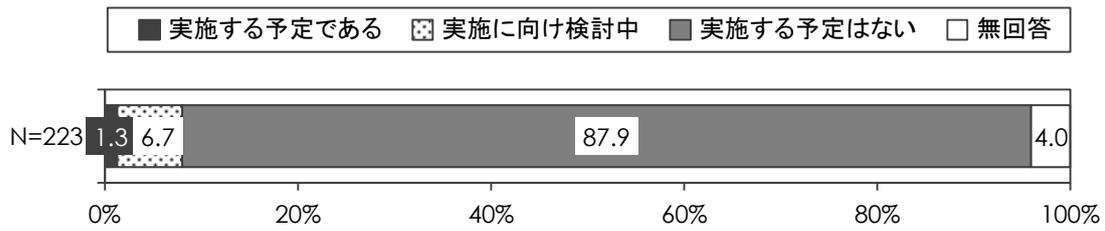
V 調査結果（介護サービス事業者）

問12 貴事業所の実施しているサービスの提供体制についてお答えください。(SA)

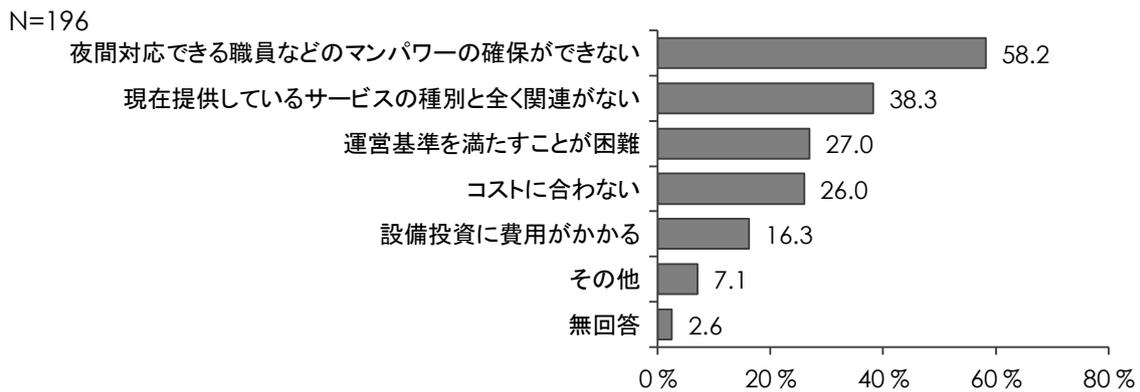
《今後の方向性》

上段:事業所数 下段:%	合計	さらに利用者の 受け入れが可能	利用者を増やす ことは困難	無回答
1 居宅介護支援	96	82	11	3
	100.0	85.4	11.5	3.1
2 訪問介護	78	72	4	2
	100.0	92.3	5.1	2.6
3 訪問入浴介護	3	3	-	-
	100.0	100.0	-	-
4 訪問看護	17	14.0	2.0	1.0
	100.0	82.4	11.8	5.9
5 訪問リハビリテーション	5	4	1	-
	100.0	80.0	20.0	-
6 居宅療養管理指導	6	5	1	-
	100.0	83.3	16.7	-
7 通所介護	71	65	2	4
	100.0	91.5	2.8	5.6
8 通所リハビリテーション	10	10.0	-	-
	100.0	100.0	-	-
9 短期入所生活介護	26	18	7	1
	100.0	69.2	26.9	3.8
10 短期入所療養介護	6	5.0	1.0	-
	100.0	83.3	16.7	-
11 福祉用具貸与	12	11.0	-	1.0
	100.0	91.7	-	8.3
12 福祉用具販売	12	11.0	-	1.0
	100.0	91.7	-	8.3
13 認知症対応型通所介護	4	4.0	-	-
	100.0	100.0	-	-
14 小規模多機能型居宅介護	1	1.0	-	-
	100.0	100.0	-	-
15 認知症対応型共同生活介護	23	8.0	13.0	2.0
	100.0	34.8	56.5	8.7
16 地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	4	1.0	3.0	-
	100.0	25.0	75.0	-
17 地域密着型特定施設入居者 生活介護	2	1.0	1.0	-
	100.0	50.0	50.0	-
18 介護老人福祉施設	19	5.0	14.0	-
	100.0	26.3	73.7	-
19 介護老人保健施設	10	8.0	2.0	-
	100.0	80.0	20.0	-
20 特定施設入居者生活介護	12	11.0	-	1.0
	100.0	91.7	-	8.3
21 介護保険事業以外の高齢者 向け事業	10	9.0	1.0	-
	100.0	90.0	10.0	-

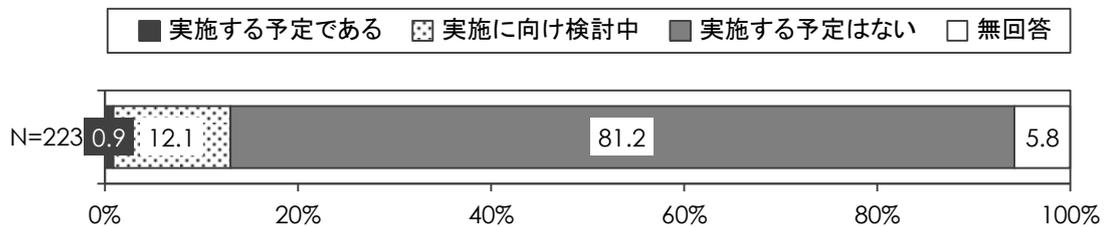
問13 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について、貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(SA)



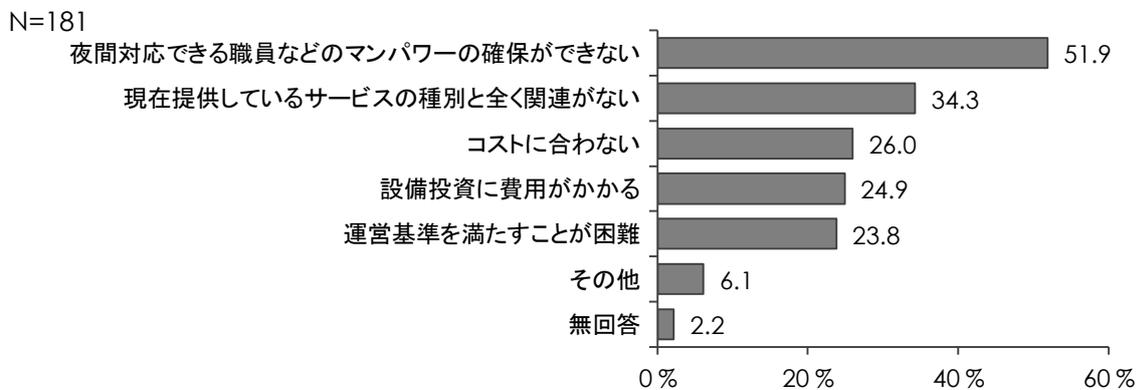
問13-1 問13で「3」を選んだ方のみ 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(MA)



問14 「複合型サービス」について、貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(SA)

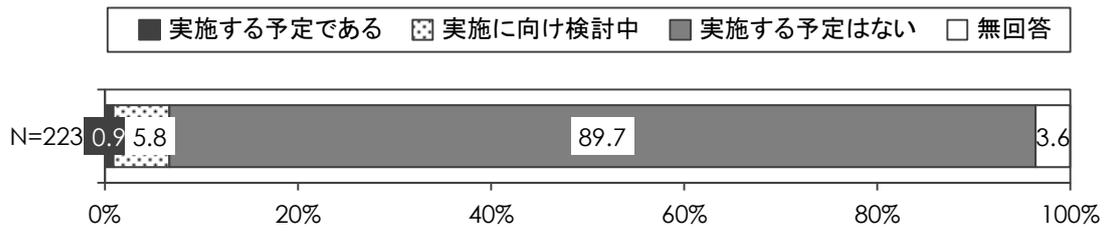


問14-1 問14で「3」を選んだ方のみ 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(MA)

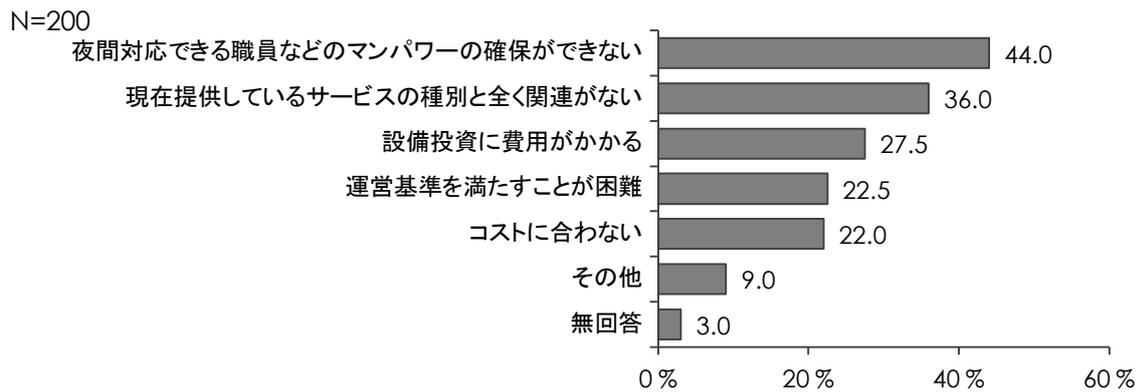


V 調査結果（介護サービス事業者）

問15 「小規模多機能型居宅介護」について、貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(SA)



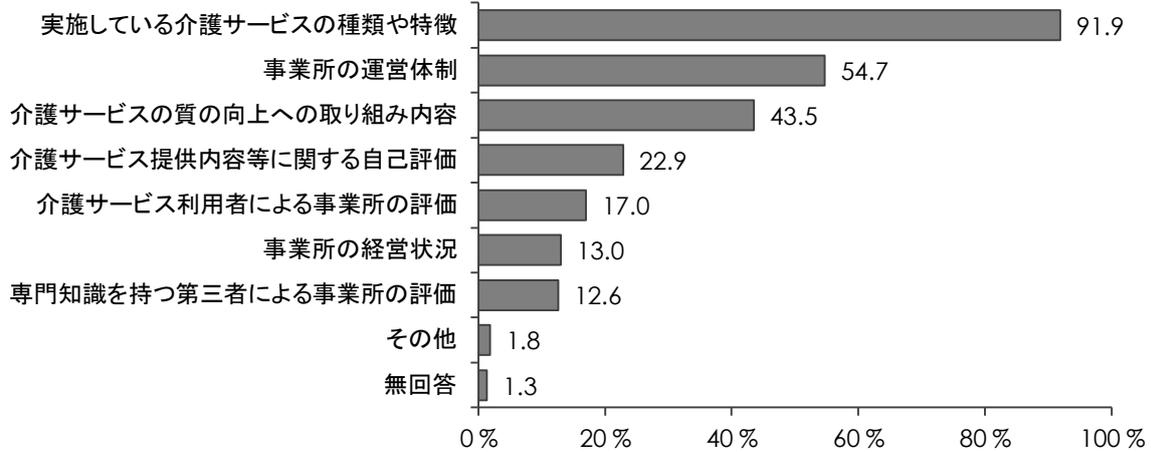
問15-1 問15で「3」を選んだ方のみ 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(MA)



2. 情報提供・情報収集

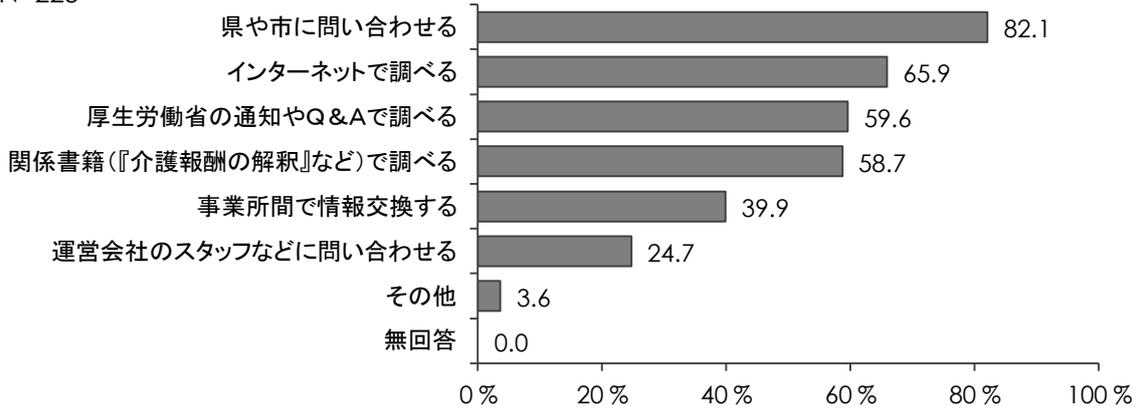
問16 貴事業所では、利用者を含め市民に対して、どのような情報を提供していますか。(MA)

N=223



問17 貴事業所では、介護報酬や指定基準などの解釈に疑問があった場合、どのように対応していますか。(MA)

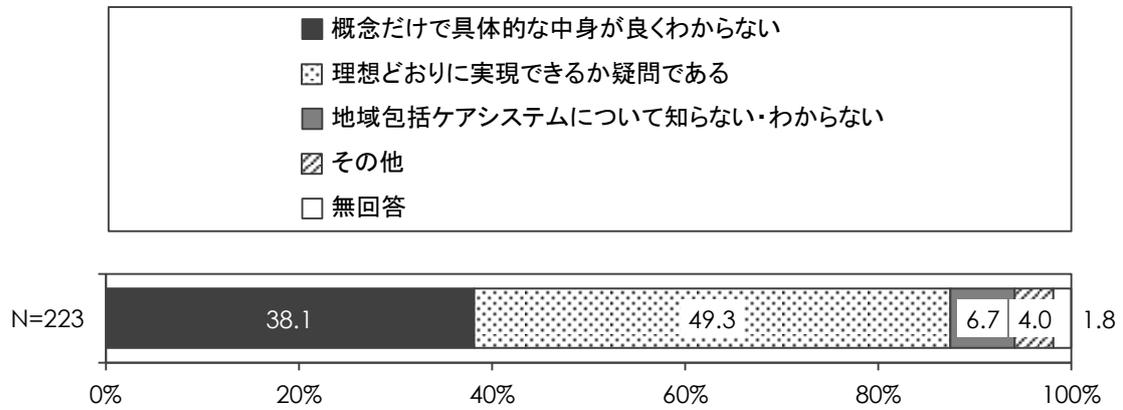
N=223



V 調査結果（介護サービス事業者）

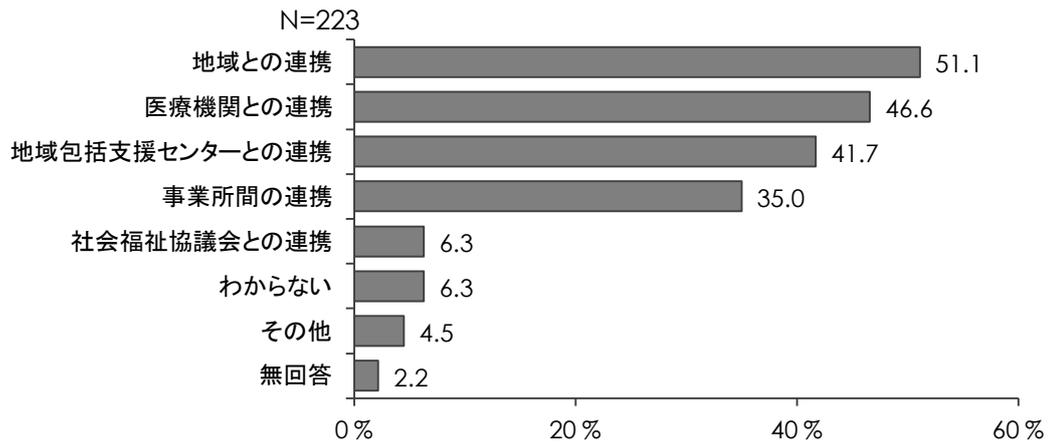
3. 地域包括ケアシステム

問18-1 国が進める地域包括ケアシステムについて、どのようなイメージを持っていますか。(SA)



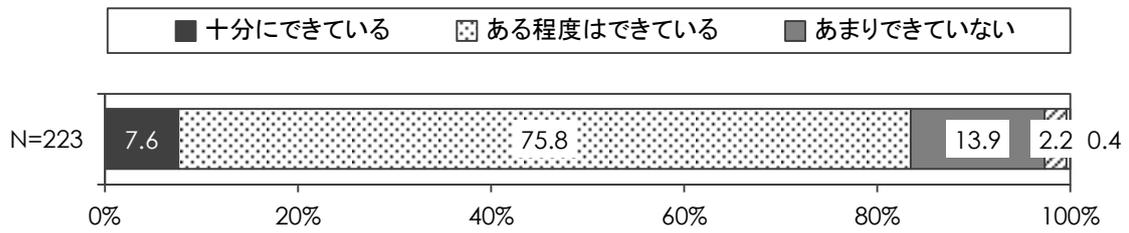
問18-2 地域包括ケアシステムを構築するために、今後より重要となるものは何だと思いますか。

(2つまでに○)

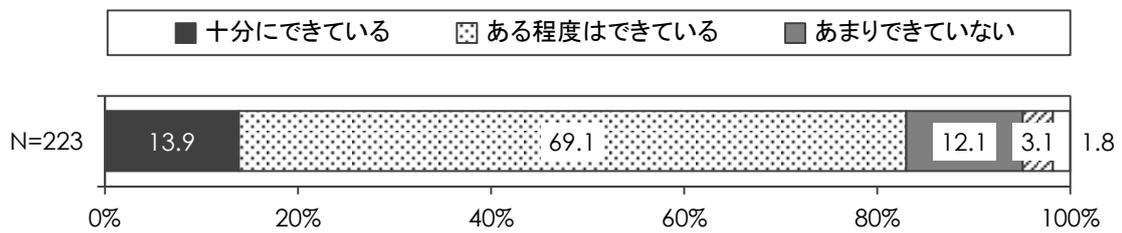


4. 他機関との関係

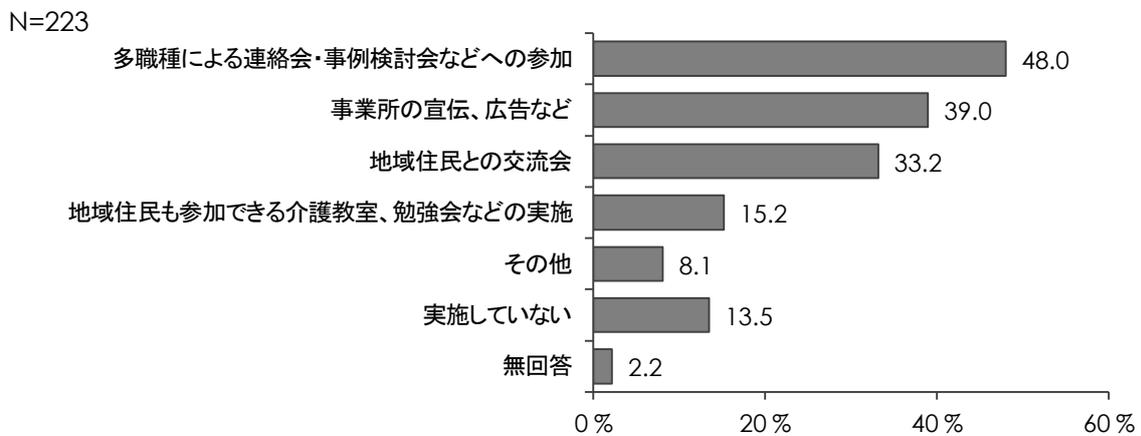
問18-3 貴事業所では、他の事業所との連携はできていますか。(SA)



問18-5 貴事業所では、医療機関との連携はできていますか。(SA)



問18-7 貴事業所で実施している地域活動についてお答えください。(MA)



VI 自由記載

1 1号被保険者

【介護保険制度について】

- ・介護認定の軽重により、ケアプランの作成期間を変えてもよいと思う。重い方は月1回でもよいと思うが、軽い方は半年から3か月に1回程度でよいと思う。変化がある時はケアマネジャーに連絡して計画を変更すればよいので。現在の制度では何もかも重度の方と合わせていて、軽度の方には面倒くさい。健常者と同居の要介護者でも、健常者のストレス解消を考慮して、月に1～2回程度、食事の支度等の軽度の生活支援を許可してほしい。(65-69歳・男性)
- ・介護保険制度について具体的に相談できる窓口はどのようにすればよいのか。手続きをする際にどんな方法で手続きをするのか。まだ、その必要はないと思っていますが、いざという時に相談できる体制を知りたいと思います。(65-69歳・女性)
- ・私は高齢者で子どもも60歳代です。介護保険制度は認定を受けるのに色々な決まりごとが多く、難しいイメージがあります。介護者がこの制度を利用しようとしている時は、かなりぎりぎりまで家族が頑張っ、もう無理な状態の時なのです。高齢者が一生払い続ける保険料です。要介護認定システムをマニュアルだけでなく、わかりやすく納得のいくよう説明していただきたく思います。手続きはすみやかにお願いしたいです。(85歳以上・女性)
- ・昨年1年間、週1回「訪問介護」と「訪問リハビリ」を受けました。リウマチでの歩行が不自由になって、今まで参加していた地域の活動や趣味の俳句には参加できず、閉じこもりがちになりました。要介護1を受けて、週1回介護士の方と会話をしたり、運動をして、リウマチではありますが、健康診断の結果、内臓等には異常がなく過ごせました。今後もよろしく願います。(85歳以上・女性)
- ・今現在は自力で生活しておりますが、年齢を重ねていきますと、自分で連絡ができなくなった時のことを考えますと不安になります。近い将来、特別養護老人ホーム等に入所できたらと思っております。(75-79歳・女性)
- ・介護保険料を維持してサービスの量や内容を充実してほしい。介護サービス付高齢者専用福祉在宅・施設をもっと増やし、要望に応じて即時入居できるようにしてほしい。地域包括支援センターの活動は受け身ではなく、個々人へ能動的かつ積極的に働きかけてほしい。(65-69歳・男性)
- ・現在妻を有料老人ホームに入所させていますが、入所前に老老介護の大変さを経験して、制度利用ができることで今後の生活に安心感を覚えました。(年齢・性別の回答なし)
- ・今後人口が減っていく状況下で、介護付等の入居施設の建築物が数多く見受けられますが、国や地方自治体の補助金等が投入されているようであれば、今後新設施設を規制し、国や地方自治体からの補助金の見直しを行い、出費の削減を図った方がよいと思います。在宅介護等は手厚い見直しを願いたいと思います。(65-69歳・男性)

VI 自由記載

【介護保険料・サービス利用料金等について】

- ・介護が必要になり、特別養護老人ホームに入所しなくてはならない時がきたら、国民年金で支払いができる金額で入所できれば良いと思います。現在住んでいるところにはいっぱいありますが、金額が高いので入りたいと思っても入れない状況です。(65-69 歳・男性)
- ・知人に病院・施設を転々としている方がいて、その環境の変化がストレスとなり体調が悪くなっている。軽度の介護の方が入所できて長期に生活できる医療体制のある施設があればよいと思います。高額費用のかかる有料ホームはあるが、年金生活者など低所得者は受け入れが少なく長期に待機する現状では、家庭内での老々介護となり負担増となる。高所得の方、また、生活保護など公的支援を受けられる方はまだ救いもあるが、その間の低所得で頑張っている人々へも何らかのサービスを充実していただきたい。(65-69 歳・女性)
- ・市役所に長寿支援課があることを知らなかった。高齢者社会になって大変な時代になりました。高齢者の医療費が増えるとはいえ 40 歳で介護保険料を負担するのは気の毒に思う。子どもの学費等に負担がかかっている年齢、国民年金も介護保険料の天引きで手取りが少しずつ少なくなることが哀しい。高齢者の医療費無料の時を知っていますから。(65-69 歳・女性)

【介護保険外サービスの希望について】

- ・難病の夫と生活しています。だんだん機能が衰えていく夫を病院に連れて行く時、歩けなくなった時、タクシーに乗れるサービスを希望します。ともかくお金がかかります。駅まで電動自転車を買って乗っているが、降りた駅から病院まできつい坂道を歩きます。タクシーを使用するようになっていきます。将来の医療費を少なくするために、テレビで見た他県の取り組みのように、一時的には費用がかかるが、女性の死亡率 1 位、大腸がんの内視鏡検査を無料または低料金で、ある意味義務のように行ってほしい。早期発見。地域でその地域の老人の運動機能測定、機能の維持ができるような取り組みを継続してやってほしい。認知症の早期発見とか。元気で寿命が終われるように。(75-79 歳・女性)

【介護予防・健康づくりについて】

- ・老後の事が心配で日頃スポーツジムに行き、運動をしています。少し援助制度があれば、もっと病気や医療費の減少につながり、大勢の人が利用できると思う。病気になる前の予防が大事。公共の運動だけでは物足りない講座が多い。(70-74 歳・女性)
- ・介護を必要としない予防に重点をおかれてはと思います。広報を見て体操教室を探しましたが高齢者向けは、社協の実施しているたたら荘のしかありませんでした。民間でしている有料のプログラムには、高齢の方もかなり参加されているので市でなさってはと思います。元気な前向きの高齢者が増えれば市の経済面への貢献もかなりな額になると思います。(70-74 歳・女性)

【情報提供について】

- ・介護サービスのパンフレット等を各家庭に配布してほしい。詳しくわかりやすいパンフレットがほしい。特別養護老人ホームかどうかは、はっきりしませんが、昔探した時は空きがなく、何件もまわったり、順番待ちだと言われたことがあった。金額についてもわからない。(80-84歳・女性)
- ・65歳の誕生日を過ぎた人を対象に、介護保険制度についての説明会が実施されると、心の準備もでき、また、制度への理解も深まると思います。今の状態ですと、必要になってあわててしまうのではという状況です。(65-69歳・女性)
- ・グループ活動しているが物忘れが進むと参加できずとじこもりになる。この進行を防ぐことができれば、健康で活動を続けられる。物忘れ、認知症に関する予防教育、医療機関を教えてもらいたい。医療費、福祉費の節約のためにも。(80-84歳・男性)

【生きがい・社会参加について】

- ・兄弟姉妹や親戚が身近にいない母と子2人の世帯です。認知症の母のこれからを思うと働き続けることができるのかとても不安でいっぱいです。母の認知症が進行してしまったとしても、働きながら在宅介護ができるよう考えてほしいです。デイサービスには週3回通っていますが、他の平日は家でひとりです。デイサービスの日も朝と夕方ひとりになる時間帯ができてしまいます。(80-84歳・女性)
- ・現在家内が要介護になって、私ができる限り面倒をみていますが、食事、散歩、買物、銀行関係も全部やっている状態です。もちろん、ヘルパーさんに相談、用具等の他のサービス等も話し善処しています。(85歳以上・男性)

【その他】

- ・介護士の報酬など人件費の問題が大切と思う。また、日常の細々とした介護をするのに技術や時間割など、かなり複雑な作業が求められると思うので、経験者の増員や学習など、指導面での充実・研究が大切と思う。結局は、心と金の問題でしょうか。(75-79歳・男性)

2 2号被保険者

【介護保険制度について】

- ・80歳になる実母が県内で一人暮らしをされており、要支援の介護を受けています。軽度の認知症もあり、介護保険制度やケアプランのことを知りましたが、もう少し早く、この制度を利用すべきだったと考えています。PR活動をもう少し徹底されてもよいと思いました。(55～59歳・男性)
- ・特養を増やし、希望する者がスムーズに入所できるよう早急な対応が必要である。消費税が真に福祉の充実に充てられるよう望む。従来税で対応していた部分を消費税で対応するのではなく、新たなサービスや充実に充てるべきである。現状は医療費の負担や様々な負担が増加しており、とても福祉の充実とは言えない。政治家も行政も真剣に考えてほしい。(60～64歳・男性)
- ・まだまだ、施設等が足りない気がする。ますます高齢化が進むのは以前からわかっていたのだから、計画的に対応すべきと思う。多少の個人負担は仕方ないができるだけ、国、県等の負担を考えるべきと思う。少し遅れ遅れではないでしょうか。今後も年々高齢者に対して少し粗末な扱いではないでしょうか。もう少し頑張ってください。よろしくお願いします。(60～64歳・男性)
- ・制度は必要でしょうが、制度優先でなく、利用者優先の考えで対処されたい。時間も費用もかかるのかもしれませんが、高齢化・超高齢化は待ったなし。面倒なことを先送りせず、困難なことから手をつけて改善することが必要かと思います。認知症の家族を手に余している世帯は想像より多いはずで。(60～64歳・男性)
- ・自分が介護保険を利用する時にならないとわからないことが多い。親の介護時代とは違い、今から友人・隣人と会話を交え、フォローをお願いしておく大切さ、介護保険サービス費用の1割以上になったら、それ以上高くないように願います。保険料を上げないでほしいが、介護にかかわって現場で働いている人の給料を安定させてほしい。(年齢・性別・回答なし)

【介護保険料・サービス利用料金等について】

- ・介護保険料は妥当と感じても、国保と合わせると、大きな金額となってしまう、現状では負担が大きいです。(60～64歳・女性)
- ・年金が少ない人は、特養に入りたいと思っているが実際はほとんど入れない現状である。家で介護をする大変さを考えると、デイサービス等を利用することになるが、一日中やってもらうにはショートステイ等をお願いすることになり、お金が必要なので是非、地方自治体で安く入居できる施設をたくさん作ってほしい。(60～64歳・男性)
- ・介護保険料が払えなくなったらと思うことはあります。その時、健康ならいいが、そうでない状態だったら、サービスを利用できないようならと思うと不安です。(55～59歳・女性)

【介護予防・健康づくりについて】

- ・福祉や保健制度で援助することはとても大切だと思いますが、それらの援助を受けなくて済むような健康な体を作ることも大事だと思います。そのためにいつまでも自分の事は自分でできるような食生活に気を付けたり、運動したり等、予防的なことを皆で行ったら良いと思います。(60～64歳・女性)
- ・認知症などになる前の若い元気なうちから、休日に自由に予約なしで参加できる体操やダンスなど趣味の手作業のようなことができるようにするといい。支援・介護等にお金をかけるより、そのような老化を遅らせる取り組みにお金をかけておけばよいのでは。(60～64歳・男性)

【人材確保・育成について】

- ・介護する方のプロを育成してほしい。心の面、技術の面等。そのためにはしっかり研修を行い、給料も上げて良い。しっかりしたサービスにはきちんと対価を払うという意識をみんなが持つべきです。介護税は上がって構わない。親切にお世話する程度でなく、介護する方の質の向上、地位向上をめざした取り組みをし、プロ意識を持った介護士を育ててほしい。相応の対価は当然です。(60～64歳・女性)
- ・介護福祉に携わる福祉士さんの給料が安すぎる。聞くところによると、結婚や出産を機に仕事を転職される人が多いといいます。おかしくないですか。これから高齢者が増えるのにせつかく見てくれるやさしい人たちがやめなくてはならない給料なんておかしいです。給料は生活できるくらい、せめて家族をちゃんと養っていただけるだけの給料をあげてください。(55～59歳・女性)
- ・需要が多くなると、人格的に問題のあるヘルパーが増え、言葉で伝えられなくなった老人は軽んじられる。そのようなことの起こらぬように、ヘルパーさん達には様々な技術の向上、修得とともに人柄のよい人間を育ててほしいです。1. 人格、2. 技術、3. 利用しやすい価格(60～64歳・女性)
- ・高齢になったら、子どもにもあまり負担をかけず生きていきたいと思います。それには金銭的な面の心配もありますが、これからの若い方々が仕事として介護を選択できるような仕組みにしてほしいです。老人問題と同時に若い人たちが介護を仕事としながら、家庭を持ったり、将来が明るい未来が持てる工夫をしてあげてください。(55～59歳・女性)

【情報提供について】

- ・介護保険制度に関する内容をまとめた小冊子があればほしい。なければ作成してほしい。情報提供はインターネットではなく、書面で通知してほしい。(60～64歳・男性)

【その他】

- ・なるべく自宅で過ごせるように支援制度を整えてほしい。高齢者に対する尊敬の念を小さい時から教育し、家族制度を強化しないと根本的解決にはならない。特に離婚による孤独死などにより、夫婦の大切さ、子どもの教育など、長い目でみた視点が最も重要である。家族が崩壊すれば国も滅ぶということをもっと真剣になって考え、取り組んでいかなければならないと思う。(60～64歳・女性)

3 介護サービス事業者

【人材確保・育成について】

- ・特養の待機者が実態として減少していく中、さらに神根地域での施設整備が進んでいる。今後、職員確保が困難となり、サービスレベルの低下が懸念される。また、真に特養入所が望ましい対象者以外の入所も懸念される。
- ・介護施設等が増えている中、介護職員になる希望者は減少しています。今のままでは介護職員の取り合いとなり、運営が難しくなることや処遇が悪くなるころがでてくると思います。高齢化が進んでいるのはわかりますが、介護業界全体的に計画的な許可及び人材の育成確保を考えていただきたいと思います。
- ・神根地区では数多く、施設をはじめ、事業所があるが、介護職員を採用するのに大変苦労している。運営するにあたり、人材確保が困難な場合、質の向上もできるものではない。是非、高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定される場合、介護職員の育成も計画の中に入れていただきたい。
- ・人材確保が困難で、利用者の受け入れが難しくなっている。自治体としても手立てを考えてほしい。
- ・介護事業所が増えることは良いことと思うが、介護サービスを提供する介護職の数は増えず職員不足は益々顕著となっている。特養建設費に補助金を出すことで特養数は増えているが、施設の介護職員の確保はどこの施設でも大きな悩みとなっている。
- ・高齢者の増加に反比例して、介護職員の就業希望者が減少傾向に感じます。職員募集をしても希望者はなく、たまに希望者がきても他の業種ではまず採らないだろうと思うような方しかこない。それでも職員が足りないので、最低水準を低くして面接せざるを得ない状況です。この状況下で今後地域包括ケアシステム等が機能するか不安に感じています。
- ・7時間～9時間対応で通所介護で勤務しています。職員の研修・勉強会を実施することが困難です。なかなか時間の確保ができません。送迎後だと18時半過ぎから、休日ですと個人個人になってしまいます。だからと人員を研修のために増やし雇用するのも経営面で厳しい。職員の高齢化、女性が多いこともあります。
- ・これから一番必要なのは、まず介護職員だと思います。高齢化を止めることはもうできません。現場の意見としては、2級ヘルパーの廃止以降、スタッフの確保に非常に苦しんでおります。今後その部分が良くなると質の向上などの取り組みに進むのは難しいのではないのでしょうか。そのためには、介護報酬の見直しも必要かと思います。若い男性が介護職をしながら家庭を養うのはとても大変です。そうしてやりたくても介護職から離れるケースも少なくありません。

【地域包括ケア体制について】

- ・地域包括支援センターを指導・支援し、包括ケアの中心となってネットワーク構築を。
- ・核となるべき地域包括支援センターが機能していない。もっと増やしていくべきです。
- ・地域包括ケアシステムに対する川口市の具体的なビジョンが見えない。地域包括支援センターが自己利益誘導になっている。市の直轄で運営する2～3のセンターの設置を希望する。

【アンケート調査について】

- ・決まりきったアンケートではなく、よりよいプランを作るためには抽出事業所のヒアリングをするように。項目にはない細かい実態の把握に努めるべき。
- ・サービス種別にアンケートをお願いします。

【その他】

- ・地域の開業医などとの連携が十分に図れていない。主治医に利用者の情報を提供したり、指示を仰いだりすることが、日常的にできるよう、市内共通の連携シートを作成してほしい。医師会にも協力してほしい。FAXやメール等でやり取りできると助かるのではと思う。
- ・おかげ様で併設のサ高住は常時満室で待機者もいる状況です。弊社の居宅では囲い込みをせず、他の事業者への誘導をしております。介護保険の利用も70～80%におさえておりますが、収益が出ております。川口市として囲い込みをさせないよう指導をしていただき、市民に安心感を与える取り組みをしたらいいと考えます。
- ・新利用者の状況、情報が少なく、事業所の規模が小さいため、情報がほしい。
- ・介護報酬改定で、どのようになるか不明で、そのため、減収になった場合の蓄えをしなくてはならないと考えています。職員給与を上げることができません。管理者、事業者、職員、利用者が不安に思っています。
- ・訪問看護ステーションを把握していただいている主管課がありません。地域住民と直接接している職種ですので、県の主管課だけに任せずに、市と連携して超高齢社会の生活に沿った健康管理をしていただきたいと思っております。ご相談、お話し合いながら、いっしょに歩めるようお願いいたします。
- ・国道298号線を中心とした施設が乱立している。周辺を中心に福祉のまちづくりや福祉フェア等デメリットをメリットに変換できるような対策を計画していただけないだろうか。施設利用者、家族、職員が集まりやすい、また利用しやすいまちづくりをお願いしたい。よろしくようお願いいたします。

Ⅶ 調査票

1号被保険者用

「高齢者福祉」や「介護保険」などに関する アンケート調査にご協力をお願いします

日頃から、皆様には川口市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、平成27年4月からの3年間を計画期間とする「川口市第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業の準備を進めております。

この計画は、高齢者の皆様がそれぞれの住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らしていけるためのまちづくりの施策の指針となるものであります。

そこで、この計画の重要な基礎資料とするため、「高齢者福祉」や「介護保険」などに関するアンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。

なお、収集した個人情報は皆様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、川口市個人情報保護条例に基づく適正な取り扱いを行います。

平成26年1月

川口市長職務代理人 川口市副市長 濫谷 祥晴

記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、平成26年1月1日現在で本市にお住まいの65歳以上の方を抽出させていただいております。その後、転出された方やお亡くなりになられた方に送付された場合はご容赦ください。
- 封筒に記載されている宛名の方がこの調査の対象の方（ご本人）となります。ご本人のご回答が困難な場合は、ご家族の方が代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例

0	4	8
---	---	---

 kg）でご記入ください。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に内容を具体的にご記入ください。
- 回答していただく方が限られる質問もありますので、ご注意ください。
- この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、**1月31日（金）**までにお送りください。

問い合わせ先 川口市役所 福祉部 長寿支援課 庶務係
電話 048-259-7650

Ⅶ 調査票

①調査票を記入されたのはどなたですか（1つ）		
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄_____） 3. その他		
②年 齢	1. 65～69 歳 4. 80～84 歳	2. 70～74 歳 5. 85 歳以上
③性 別	1. 男性	2. 女性
④住 所 (数字に○)	1. 中 央（本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口 1～3 丁目） 2. 横曽根（川口 4～6 丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、 荒川町、並木元町、並木） 3. 青 木（青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町） 4. 南 平（朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町） 5. 新 郷（赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀町、新堀、榛松、 江戸、江戸袋、本蓮） 6. 神 根（安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、 石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町） 7. 芝 （芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、 芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎） 8. 安 行（安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、 安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽） 9. 戸 塚（戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、 北原台、戸塚鉄町、戸塚境町、戸塚東、長蔵） 10. 鳩ヶ谷（坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、 三ツ和）	

問1 あなたの家族や生活状況について

Q1. 家族構成をお教えてください（1つ）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 一人暮らし ⇒ Q2へ | 2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む） |
| 3. その他（施設入居など）⇒ Q2へ | ⇒ Q1-1、2へ |

Q1-1.（家族などと同居されている方のみ）ご自分を含めて何人で暮らしていますか
また、同居されている方はどなたですか（いくつでも）

人

- | | | | |
|-------------|----------|--------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 | 7. その他 | |

Q1-2.（家族などと同居されている方のみ）日中、一人になることがありますか（1つ）

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つ）

- | |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない ⇒ Q3へ |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ Q2-1へ |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）⇒ Q2-1～3へ |

Q2-1.（介護・介助が必要な方のみ）介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

- | | | |
|--------------------|-----------------------|--------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 2. 心臓病 | 3. がん（悪性新生物） |
| 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等） | 5. 関節の病気（リウマチ等） | |
| 6. 認知症（アルツハイマー病等） | 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 視覚・聴覚障害 | 10. 骨折・転倒 | 11. 脊椎損傷 |
| 12. 高齢による衰弱 | 13. その他（ ） | 14. 不明 |

Q2-2.（介護・介助を受けている方のみ）主にどなたの介護・介助を受けていますか（1つ）

- | | | | |
|-------------|----------|----------------|----------------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 | 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） |

Q2-3.（介護・介助を受けている方のみ）主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか（1つ）

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～74歳 | 3. 75～84歳 | 4. 85歳以上 |
|----------|-----------|-----------|----------|

Q3. 年金の種類は次のどれですか（1つ）

- | | | |
|---------|-----------------|-----------------|
| 1. 国民年金 | 2. 厚生年金（企業年金あり） | 3. 厚生年金（企業年金なし） |
| 4. 共済年金 | 5. 無年金 | 6. その他 |

Q4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つ）

- | | | | |
|--------|----------|-------------|-----------|
| 1. 苦しい | 2. やや苦しい | 3. ややゆとりがある | 4. ゆとりがある |
|--------|----------|-------------|-----------|

Q5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | |
|---------|---------|
| 1. 一戸建て | 2. 集合住宅 |
|---------|---------|

Q6. お住まいは、次のどれにあたりますか（1つ）

- | | | |
|-------|-----------|--------------------------|
| 1. 持家 | 2. 民間賃貸住宅 | 3. 公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社等） |
| 4. 借間 | 5. その他 | |

Q7. お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. はい ⇒ Q7-1へ | 2. いいえ ⇒ 問2へ |
|---------------|--------------|

Q7-1. (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問2 運動・閉じこもりについて

【日常生活動作についてうかがいます】（それぞれ1つ）

Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. はい 2. いいえ
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい 2. いいえ
Q3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい 2. いいえ
Q4. 5m以上歩けますか	1. はい 2. いいえ
Q5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい 2. いいえ
Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい 2. いいえ

Q7. 外出を控えていますか

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. はい ⇒ Q7-1へ | 2. いいえ ⇒ Q8へ |
|---------------|--------------|

Q7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

- | | | |
|------------------|--------------------|------------|
| 1. 病気 | 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) | 3. 足腰などの痛み |
| 4. トイレの心配 (失禁など) | 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない | 9. 交通手段がない |
| 10. その他 () | | |

Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか (それぞれ1つ)

A. 買物	1. ほぼ毎日	2. 週4~5日	3. 週2~3日
	4. 週1日	5. 週1日未満	
B. 散歩	1. ほぼ毎日	2. 週4~5日	3. 週2~3日
	4. 週1日	5. 週1日未満	

Q9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 () | | |

問3 転倒について

【転倒についてうかがいます】 (それぞれ1つ)

Q1. この1年間に転んだことがありますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	2. いいえ
Q3. 背中が丸くなってきましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 杖を使っていますか	1. はい	2. いいえ

問4 口腔・栄養について

Q1. 6ヶ月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか 1. はい 2. いいえ

Q2. 身長・体重をうかがいます（小数点以下は記入しない）

身長	□	□	□	cm	体重	□	□	□	kg
----	---	---	---	----	----	---	---	---	----

【口腔・栄養についてうかがいます】（それぞれ1つ）

Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
Q5. 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ
Q6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい 2. いいえ
Q7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	1. はい 2. いいえ
Q8. 入れ歯を使用していますか	1. はい ⇒ Q8-1, 2へ 2. いいえ ⇒ Q9へ
Q8-1. <u>（入れ歯のある方のみ）</u> 噛み合わせは良いですか	1. はい 2. いいえ
Q8-2. <u>（入れ歯のある方のみ）</u> 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい 2. いいえ

Q9. 1日の食事の回数は何回ですか（1つ）

1. 朝昼晩の3食	2. 朝晩の2食	3. 朝昼の2食
4. 昼晩の2食	5. 1食	6. その他

Q10. 食事を抜くことがありますか（1つ）

1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	4. ほとんどない
---------	------------	------------	-----------

Q11. 自分一人でなく、どなたかと食事をとにもする機会はありますか（1つ）

1. 毎日ある ⇒ Q11-1へ	2. 週に何度かある ⇒ Q11-1へ
3. 月に何度かある ⇒ Q11-1へ	4. 年に何度かある ⇒ Q11-1へ
5. ほとんどない ⇒ 問5へ	

Q11-1. （どなたかと食事をとにもする機会がある方のみ）

食事をとにもする人はどなたですか（いくつでも）

1. 家族	2. 近所の人や友人	3. デイサービスの仲間	4. その他
-------	------------	--------------	--------

問5 物忘れについて

【物忘れについてうかがいます】（それぞれ1つ）

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい 2. いいえ
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい 2. いいえ
Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい 2. いいえ
Q4. 5分前のことが思い出せますか	1. はい 2. いいえ

Q5. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか（1つ）

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 困難なくできる | 2. いくらか困難であるが、できる |
| 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 | 4. ほとんど判断できない |

Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか（1つ）

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 伝えられる | 2. いくらか困難であるが、伝えられる |
| 3. あまり伝えられない | 4. ほとんど伝えられない |

問6 日常生活について

Q1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

Q2. 日用品の買物をしていますか（1つ）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. できるし、している ⇒ Q3へ | 2. できるけどしていない ⇒ Q2-1へ |
| 3. できない ⇒ Q2-1へ | |

Q2-1.（日用品の買物をしていない、できない方のみ）

日用品の買物をする人は主にどなたですか（1つ）

- | | | | | |
|----------|----------|---------|----------|--------|
| 1. 同居の家族 | 2. 別居の家族 | 3. ヘルパー | 4. 配達を依頼 | 5. その他 |
|----------|----------|---------|----------|--------|

Q3. 自分で食事の用意をしていますか（1つ）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. できるし、している ⇒ Q4へ | 2. できるけどしていない ⇒ Q3-1へ |
| 3. できない ⇒ Q3-1へ | |

Q3-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)

食事の用意をする人は主にどなたですか(1つ)

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービス利用 5. その他

【日常生活についてうかがいます】(それぞれ1つ)

Q4. 請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
Q5. 預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
Q6. 食事は自分で食べられますか	1. できる	2. 一部介助があればできる (おかずを切ってもらなど)	3. できない
Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	1. 受けない	2. 一部介助があればできる	3. 全面的な介助が必要
Q8. 座っていることができますか	1. できる	2. 支えが必要	3. できない
Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか	1. できる	2. 一部介助があればできる	3. できない
Q10. 自分でトイレができますか	1. できる	2. 一部介助があればできる (他人に支えてもらう)	3. できない
Q11. 自分で入浴ができますか	1. できる	2. 一部介助があればできる (他人に支えてもらう)	3. できない
Q12. 50m以上歩けますか	1. できる	2. 一部介助があればできる (他人に支えてもらう)	3. できない
Q13. 階段を昇り降りできますか	1. できる	2. 介助があればできる	3. できない
Q14. 自分で着替えができますか	1. できる	2. 介助があればできる	3. できない
Q15. 大便の失敗がありますか	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q16. 尿もれや尿失禁がありますか	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q17. 家事全般ができていますか	1. できている	2. できていない	

問7 社会参加について

【社会参加についてうかがいます】（それぞれ1つ）

Q1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 新聞を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 本や雑誌を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 友人の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 病人を見舞うことができますか	1. はい	2. いいえ
Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい	2. いいえ
Q9. 趣味はありますか	1. はい	2. いいえ
Q10. 生きがいがありますか	1. はい	2. いいえ

Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか（それぞれ1つ）

(1) ボランティアのグループ	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. していない
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. していない
(3) 趣味関係のグループ	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. していない
(4) 老人クラブ	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. していない
(5) 町内会・自治会	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. していない
(6) 学習・教養サークル	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. していない
(7) その他の団体や会	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. していない

Q12. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか（それぞれ1つ）

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
(3) 子どもを育てている親を支援する活動	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
(5) 収入のある仕事	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします（いくつでも）

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・市役所 6. その他 7. そのような人はいない

Q4. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか

1. はい ⇒ Q4-1、2へ 2. いいえ ⇒ Q5へ

Q4-1.（通院している方のみ）その頻度は次のどれですか（1つ）

1. 週1回以上 2. 月2～3回 3. 月1回程度
4. 2ヶ月に1回程度 5. 3ヶ月に1回程度

Q4-2.（通院している方のみ）通院に介助が必要ですか

1. はい 2. いいえ

Q5.（利用している方のみ）以下の在宅サービスを利用していますか。（いくつでも）

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 訪問診療（医師の訪問） | 2. 訪問介護 |
| 3. 夜間対応型訪問介護 | 4. 訪問入浴介護 |
| 5. 訪問看護 | 6. 訪問リハビリテーション |
| 7. 通所介護（デイサービス） | 8. 認知症対応型通所介護 |
| 9. 通所リハビリテーション（デイケア） | 10. 小規模多機能型居宅介護 |
| 11. 短期入所（ショートステイ） | |
| 12. 医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導） | |
| 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |
| 14. 複合型サービス | 15. その他（ ） |

Q6. お酒は飲みますか（1つ）

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

Q7. タバコは吸っていますか（1つ）

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

【ここ2週間の状況についてうかがいます】（それぞれ1つ）

Q8. 毎日の生活に充実感がない	1. はい 2. いいえ
Q9. これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい 2. いいえ
Q10. 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	1. はい 2. いいえ
Q11. 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい 2. いいえ
Q12. わけもなく疲れたような感じがする	1. はい 2. いいえ

問9 介護保険について

Q1. 「介護保険制度」についてどのようなことを知っていますか。(いくつでも)

1. 介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある
2. 身体が状況が変化した場合は、更新期間前でも要介護認定を受け直すことができる
3. 介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている
4. 要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある
5. 要支援や要介護状態となる手前の段階で対応する介護予防の取り組みがある
6. ケアプランは、原則として要支援の人に対しては地域包括支援センター、要介護の人に対しては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する
7. ケアプランは変更することができる
8. サービス提供事業者は自由に選ぶことができる
9. 介護事業者の特徴を比較できるように、介護サービス情報の公表制度がある
10. サービスを利用する際には、事業者との契約が必要である
11. 地域包括支援センターでは、権利擁護等に関する相談を行っている
12. 利用者は、サービスを利用する際に費用の1割を負担する
13. 40歳以上の方が介護保険料を負担する
14. どれも知らない

Q2. あなた（あて名のご本人）の介護保険料は年間いくらかご存知ですか。(1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

Q3. 介護保険料の額は、介護保険事業計画期間の3年間に必要な介護サービスの費用を見込んで決められています。高齢化が進み介護サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりのサービス額が増えたりすると、保険料額が高くなる仕組みになっていますが、あなた（あて名のご本人）はこの仕組みについて知っていますか。(1つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. だいたい知っている |
| 3. あまり知らない | 4. ほとんど知らない |

Q4. 介護保険料は妥当だと思いますか。(1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 安い金額だと思う | 2. 高い金額だと思う |
| 3. 妥当だと思う | 4. わからない |

高齢者福祉や介護保険制度に関することで、
ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください

～ご協力ありがとうございました～

Ⅶ 調査票

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for a survey form but contains no text or graphics.

2号被保険者用

「高齢者福祉」や「介護保険」などに関する アンケート調査にご協力をお願いします

日頃から、皆様には川口市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、平成27年4月からの3年間を計画期間とする「川口市第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業の準備を進めております。

この計画は、高齢者の皆様がそれぞれの住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らしていけるためのまちづくりの施策の指針となるものであります。

そこで、この計画の重要な基礎資料とするため、「高齢者福祉」や「介護保険」などに関するアンケート調査を実施することといたしました。

計画の策定にあたっては、計画期間の3年間だけではなく、高齢化のピークを迎えるといわれる平成37年頃までを視野に入れる必要があるため、高齢者の方々だけではなく、55歳から64歳までの方々にもご意見をお伺いすることといたしました。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。

なお、収集した個人情報は皆様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、川口市個人情報保護条例に基づく適正な取り扱いを行います。

平成26年1月

川口市長職務代理人 川口市副市長 澁谷 祥晴

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、平成26年1月1日現在で本市にお住まいの55歳以上65歳未満の方を抽出させていただいております。その後に、転出された方やお亡くなりになられた方に送付された場合はご容赦ください。
2. 封筒に記載されている宛名の方がこの調査の対象の方（ご本人）となります。ご本人のご回答が困難な場合は、ご家族の方が代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例

0	4	8
---	---	---

 kg）でご記入ください。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に内容を具体的にご記入ください。
4. 回答していただく方が限られる質問もありますので、ご注意ください。
5. 調査票記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、**1月31日（金）**までにお送りください。

問い合わせ先 川口市役所 福祉部 長寿支援課 庶務係
電話 048-259-7650

Ⅶ 調査票

①調査票を記入されたのはどなたですか（1つ）	
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄_____） 3. その他	
②年 齢	1. 55～59歳 2. 60～64歳
③性 別	1. 男性 2. 女性
④住 所 (数字に○)	1. 中 央（本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1～3丁目） 2. 横曽根（川口4～6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、 荒川町、並木元町、並木） 3. 青 木（青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町） 4. 南 平（朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町） 5. 新 郷（赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀町、新堀、榛松、 江戸、江戸袋、本蓮） 6. 神 根（安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、 石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町） 7. 芝 （芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、 芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎） 8. 安 行（安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、 安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽） 9. 戸 塚（戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、 北原台、戸塚鉄町、戸塚境町、戸塚東、長蔵） 10. 鳩ヶ谷（坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、 三ツ和）

あて名のご本人（あなた）及びご家族等について

問1 平成26年1月1日現在の世帯状況をお答えください。（1つに○）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 未婚の子どもとの同居世帯 |
| 2. 夫婦ふたり暮らし | 5. その他の世帯 |
| 3. 子どもの家族と同居 | 〔具体的に 〕 |

問2 あなた（あて名ご本人）のお住まいの周辺環境について、あてはまるものをお選びください。（1つに○）

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. どちらかという戸建が多い住宅地域 | 4. 工業施設が多い地域 |
| 2. どちらかという中高層住宅が多い住宅地域 | 5. 田畑、花き、植木農家が多く自然の多い地域 |
| 3. 商店やオフィスの多い地域 | 6. わからない |

問3 あなた（あて名ご本人）のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

- | | | |
|--------------------------------|----------------------------|----------------------|
| 1. 持ち家の戸建て住宅
（借地に持ち家の場合も含む） | 3. 公営住宅
（UR、県営、市営、公社等） | 5. 有料老人ホーム
・ケアハウス |
| 2. 持ち家の集合住宅
（分譲マンション等） | 4. 民間賃貸住宅
（アパート、マンション等） | 6. その他
〔 〕 |

日常生活や社会活動について

問4 あなた（あて名ご本人）の仕事は次のどれですか。（主なもの1つに○）

- | | |
|------------|------------|
| 1. 常勤の勤め人 | 4. 家業手伝い |
| 2. 非常勤の勤め人 | 5. その他〔 〕 |
| 3. 自営業 | 6. 無職・家事専業 |

問4-1 あなた（あて名ご本人）は、何歳まで働き続けたいと思いますか。（1つに○、下線に数字）

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. _____歳位まで働きたい | ⇒ 問4-2へ |
| 2. 働く予定はない・働こうとは思わない | ⇒ 問5へ |

問4-2 あなた（あて名ご本人）は、働き続ける場合、どのような働き方が望ましいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 定年前と同等の時間・内容で働く | 4. 趣味や好きなことを活かした仕事をする |
| 2. 定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く | 5. その他
〔 〕 |
| 3. パートやアルバイトで働く | |

問5 散歩や買物、通院、仕事などで外出する割合はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|---------------|
| 1. ほとんど毎日 | 3. 週に1回程度 | 5. 2、3ヶ月に1回程度 |
| 2. 2、3日に1回程度 | 4. 月に1～2回程度 | 6. ほとんど出かけない |

問6 あなた(あて名ご本人)は、平日の日中はご自宅にいますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ひとりであることが多い | 3. ふだんの平日は家にいないことが多い |
| 2. 家族または友人などといることが多い | |

問7 ご家族以外の方との会話をする割合はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|---------------|
| 1. ほとんど毎日 | 3. 週に1回程度 | 5. 2、3ヶ月に1回程度 |
| 2. 2、3日に1回程度 | 4. 月に1～2回程度 | 6. ほとんど話をしない |

問8 あなた(あて名ご本人)は現在、次のような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 運動、スポーツ、健康体操 | 6. 旅行 |
| 2. 大学公開講座や市民講座等での学習 | 7. 町会や自治会、地域づくり活動 |
| 3. 趣味や娯楽活動 | 8. 友人・知人との交流 |
| 4. パソコン(メールやインターネット) | 9. その他〔 〕 |
| 5. ボランティア活動 | 10. 特に活動していない |

問9 普段あなた(あて名ご本人)はどのような運動をしていますか(3つまでに○)

- | | | |
|----------------|--------------|----------------|
| 1. ゴルフ | 6. 体操 | 11. グラウンドゴルフ |
| 2. ソフトボール・野球 | 7. ハイキング | 12. ゲートボール |
| 3. サッカー | 8. ジョギング | 13. その他 |
| 4. 卓球 | 9. ウォーキング・散歩 | 〔 〕 |
| 5. 水泳(水中歩行を含む) | 10. サイクリング | 14. 特に運動はしていない |

問10 あなた(あて名ご本人)は今後もずっと現在のお住まいで生活したいですか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 可能な限り今の住まいで生活したい | 4. もっと間取りの広い住まいに転居したい |
| 2. 今の住まいを改修して住み続けたい | 5. その他〔具体的に 〕 |
| 3. もっと間取りの少ない住まいに転居したい | 6. わからない |

問11 孤独死(誰にも看取られることなく、亡くなった後に発見される死)について、身近な問題だと感じますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 非常に感じる | 3. あまり感じない | 5. わからない |
| 2. まあまあ感じる | 4. まったく感じない | |

→ 問11-1へお進みください。

→ 問12へお進みください。

【問11で「1」～「2」と回答された方におうかがいします。】

問11-1 主な理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 一人暮らしだから | 4. あまり外出しないから |
| 2. ご近所との付き合いが少ないから | 5. 経済的に苦しいから |
| 3. 家族・親戚との付き合いが少ないから | 6. その他〔 〕 |

【すべての方におうかがいします。】

問12 今後、以下のような地域での活動に参加したい、又は、続けたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 町会、自治会等活動 | 7. 地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動 |
| 2. 高齢者や障害者、子どもの育成に関する活動 | 8. 各種学習・研究活動 |
| 3. 環境美化や自然保護など環境に関する活動 | 9. その他 |
| 4. 防犯・防災等活動 | 〔 〕 |
| 5. 地域の産業振興や活性化に関する活動 | 10. 特に参加したい地域活動はない |
| 6. 健康スポーツ等の活動 | |

あなたの身体や健康について

問13 現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

- | | | | |
|-------|---------|-------------|-----------|
| 1. 健康 | 2. まあ健康 | 3. あまり健康でない | 4. 健康ではない |
|-------|---------|-------------|-----------|

問14へお進みください。

【問13で「3」～「4」と回答された方におうかがいします。】

問13-1 医療機関で治療中又は服薬中の病気やけがはありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問14へお進みください。

【問13-1で「1」と回答された方におうかがいします。】

問13-2 どのような病気・けがですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------------|-------------------------|------------------|
| 1. 高血圧症 | 8. 骨粗しょう症 | 15. 耳や鼻の病気(難聴など) |
| 2. 脂質異常症(高コレステロール血症・中性脂肪など) | 9. 脳卒中(脳出血、脳梗塞など) | 16. 歯の病気(歯周病) |
| 3. 糖尿病 | 10. 狭心症・心筋梗塞 | 17. 骨折・外傷 |
| 4. 動脈硬化症 | 11. 目の病気(白内障など) | 18. 認知症 |
| 5. 腰痛症 | 12. 胃腸の病気(胃炎、肝炎など) | 19. その他 |
| 6. 関節症・リウマチ | 13. 泌尿器の病気(腎臓病、前立腺肥大など) | 〔具体的に 〕 |
| 7. 肩こり症 | 14. 呼吸器の病気(ぜん息など) | |

【すべての方におうかがいします。】

問14 あなた(あて名ご本人)の健康に関する行動についておたずねします。(それぞれ1つに○)

たばこは	1. 吸わない	2. 時々、吸っている	3. 吸っている
お酒は	1. 飲まない	2. 時々、飲んでいる	3. 飲んでいる
規則的な食事は	1. している	2. だいたい、している	3. していない
定期的な運動は	1. している	2. だいたい、している	3. していない
歯の健康維持は	1. している	2. だいたい、している	3. していない
普段から健康に	1. 気をつけている 2. まあ、気をつけている 3. 気をつけていない		
定期的な健康診断を	1. 受けている	2. 時々受けている	3. 受けていない
かかりつけ医は	1. いる	2. いない	

問15 あなた(あて名ご本人)は、ここ1年間、健康診断や人間ドックなどを受診したことがありますか。(1つに○)

<p>1. 職場が実施している一般健診・日帰り人間ドックを受けた</p> <p>2. 職場が実施している人間ドック(宿泊)を受けた</p> <p>3. 市が実施している健康診査を受けた</p> <p>4. 個人で人間ドックを受けた</p>	⇒	<p>問15-1へ お進みください。</p>
<p>5. 受けていない ⇒ 問15-4へお進みください。</p>		

【問15で「1」～「4」に回答された方におうかがいします。】

問15-1 受診の結果、異常を指摘された点はありますか。(1つに○)

<p>1. 異常なし</p> <p>2. 軽度の異常(僅かに基準範囲を外れるが、日常生活に異常はない)</p> <p>3. 要経過観察(治療の必要はないが、日常生活に注意し、経過観察を必要とする)</p> <p>4. 要精密検査(医療機関にて精密検査を受け治療が必要かどうか検査を必要とする)</p> <p>5. 要治療(医療機関を受診し治療を必要とする)</p> <p>6. その他〔 〕</p>

【問15-1で「2」～「6」と回答された方におうかがいします。】

問15-2 異常を指摘されたことについて、治療や日常生活に注意をしていますか。(1つに○)

<p>1. 治療や服薬をしている</p> <p>2. 食事や運動など、日常生活に注意している</p>	<p>3. 特に何もしていない</p> <p>4. その他〔 〕</p>
--	--------------------------------------

問15-3へお進みください。

【問15-2で「3」と回答された方におうかがいします。】

問15-3 「特に何もしていない」のはなぜですか。(あてはまるものにすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 症状が軽いから | 4. 自分にとって適切な対処方法がないから |
| 2. 時間がとれないから | 5. その他 |
| 3. 費用がかかるから | [] |

【問15で「5」と回答された方におうかがいします。】

問15-4 受診していない主な理由はどんなことですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 機会がない | 5. 時間がとれない |
| 2. 受け方がわからない | 6. 場所が不便で行くの疲れ |
| 3. 必要がない | 7. その他 |
| 4. 費用がかかるため | [] |

【すべての方におうかがいします。】

問16 あなた(あて名ご本人)は、半年前に比べて、食事量の変化がありましたか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 変化なし | 4. 食べる量が増えた |
| 2. 食べる量が減った | 5. わからない |
| 3. 体重管理のため食べる量を減らしている | |

問17 自分の歯は何本ありますか。入れ歯、インプラントは含みません。(差し歯は含みます。)
(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 自分の歯は()本ある | 2. 自分の歯はまったくない |
|----------------|----------------|

問18 あなた(あて名ご本人)の現在の歯ぐき・口の状態についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 歯ぐきが腫れている | 6. 歯周病といわれ治療している |
| 2. 歯を磨いたときに血が出る | 7. 抜けたままにしている歯がある |
| 3. 歯ぐきが下がって歯の根が出ている | 8. むし歯がある |
| 4. 歯がぐらぐらする | 9. あてはまるものはない |
| 5. 入れ歯が合わない | |

問19 噛んで食べる時の状態はいかがですか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 何でも、噛んで食べることができる |
| 2. 噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる |
| 3. あまり噛めないで、食べものが限られている |
| 4. ほとんど噛めない |

問20 あなた（あて名ご本人）は、ご自身の生活習慣（食事・運動など）についてどのようにお考えですか。（1つに○）

1. 生活習慣に特に問題はない
2. 生活習慣の改善が必要だとは思いますが、変えようとは思わない
3. 生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない
4. 生活習慣の改善が必要だと思い、1か月以内に具体的に取り組みたいと考えている
5. 生活習慣の改善が必要だと思い、すでに取り組み・行動を始めている
6. 生活習慣については関心がない

問21 平日の食事は主にどなたがつくりますか。（朝・昼・夕それぞれ○は1つ）

	自分で つくる	配偶者が つくる	子ども・ 子どもの 配偶者が つくる	買って くる	外食 する	その他	食べない
朝食は	1	2	3	4	5	6 ()	7
昼食は	1	2	3	4	5	6 ()	7
夕食は	1	2	3	4	5	6 ()	7

問22 あなた（あて名ご本人）のふだんの生活について、おうかがいします。

次の各項目について、それぞれ「はい（している）」、「いいえ（していない）」のどちらかをお選びください。（1つに○）

	いずれかに○	
	はい (している)	いいえ (していない)
	↓	↓
バスや電車を使って1人で外出していますか・・・・・・・・	1	2
日用品の買い物をしていますか・・・・・・・・	1	2
預貯金の出し入れをしていますか・・・・・・・・	1	2
友人の家を訪ねていますか・・・・・・・・	1	2
家族や友人の相談にのっていますか・・・・・・・・	1	2
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか・・・・・・・・	1	2
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか・・・	1	2
15分くらい続けて歩いていますか・・・・・・・・	1	2
この1年間に転んだことがありますか・・・・・・・・	1	2
転倒に対する不安は大きいですか・・・・・・・・	1	2
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか・・・・・・・・	1	2
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか・・・・・・・・	1	2
お茶や汁物等でむせることがありますか・・・・・・・・	1	2
口の渇きが気になりますか・・・・・・・・	1	2
週に1回以上は外出していますか・・・・・・・・	1	2
昨年と比べて外出の回数が減っていますか・・・・・・・・	1	2
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われますか・・・・・・・・	1	2
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか・・・	1	2
今日が何月何日かわからない時がありますか・・・・・・・・	1	2
（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない・・・・・・・・	1	2
（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1	2
（ここ2週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1	2
（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない・・・・・・・・	1	2
（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする・・・・・・・・	1	2
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg <small>（小数点以下は記入しない）</small>		

問23 あなた（あて名ご本人）は、外出することについてどのようにお考えですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 特に負担には感じない
2. 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない
3. 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない
4. 外出するより、家にいて過ごす方が好き
5. 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる
6. 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる
7. 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない
8. その他〔 〕

問24 あなた（あて名ご本人）の健康に関して、普段から情報を入手し生活に取り入れることに
関心があるほうですか。（1つに○）

1. 大変関心があり、入手に努めている
2. 目にするものの範囲で入手し、参考にしている
3. 関心はない

介護保険制度全般について

問25 「介護保険制度」についてどのようなことを知っていますか。（いくつでも）

1. 介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある
2. 身体の状態が変化した場合は、更新期間前でも要介護認定を受け直すことができる
3. 介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている
4. 要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある
5. 要支援や要介護状態となる手前の段階で対応する介護予防の取り組みがある
6. ケアプランは、原則として要支援の人に対しては地域包括支援センター、要介護の人に対しては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する
7. ケアプランは変更することができる
8. サービス提供事業者は自由に選ぶことができる
9. 介護事業者の特徴を比較できるように、介護サービス情報の公表制度がある
10. サービスを利用する際には、事業者との契約が必要である
11. 地域包括支援センターでは、権利擁護等に関する相談を行っている
12. 利用者は、サービスを利用する際に費用の1割を負担する
13. 40歳以上の方が介護保険料を負担する
14. どれも知らない

高齢者福祉サービスについて

問3 1 下記の高齢者福祉サービスのうち、将来利用してみたいサービスはありますか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 自立支援（ヘルパー派遣） | 10. テレナース（健康に関する電話相談） |
| 2. 自立支援（福祉用具貸与） | 11. 居室整備資金の貸し付け |
| 3. 軽度生活支援 | 12. 住宅改善整備費補助 |
| 4. 日常生活用具の給付 | 13. 世帯住替家賃助成 |
| 5. 福祉電話の貸与 | 14. 入居保証支援 |
| 6. 緊急通報システム | 15. 高齢者住宅保証制度（公的保証人制度） |
| 7. 寝具乾燥消毒 | 16. 銭湯の利用費補助 |
| 8. 配食サービス | 17. 出張理容サービスの利用費補助 |
| 9. 認知症高齢者相談 | 18. 利用してみたいものはない |

高齢者福祉や介護保険制度に関することで、
ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください

～ご協力ありがとうございました～

介護サービス事業者

第6期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための アンケート調査にご協力をお願いします

日頃から、皆様には川口市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、平成27年4月からの3年間を計画期間とする「川口市第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業の準備を進めております。

この計画は、高齢者の皆様がそれぞれの住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らしていけるためのまちづくりの施策の指針となるものであります。

そこで、この計画の重要な基礎資料とするため、介護サービス事業者の皆様に対するアンケート調査を実施することといたしました。

集計にあたりましては、事業所や個人が特定・類推されないよう配慮し、ご迷惑をかけることはありませんので、率直なご意見を賜りますようお願いいたします。

ご多用のところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

川口市長職務代理人 川口市副市長 澁谷 祥晴

記入に際してのお願い

1. この調査の対象としては、川口市内の介護サービス事業者を抽出させていただいております。
2. このアンケートは、事業所の管理者又はそれに準ずる方がご回答ください。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。
「その他」にあてはまる場合は、()内に内容を具体的にご記入ください。
4. 事業の運営状況など、事業所単独では回答が難しい質問がありましたら、恐れ入りますが運営主体の法人と調整のうえご回答ください。
5. 調査票記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**1月31日(金)**までにお送りください。

問い合わせ先 川口市役所 健康増進部 介護保険課 庶務係

電話 048-259-9004

※他事業所と併設している場合でも、封筒の宛名に記載されている事業所ごとにお答えください。

問1 経営主体についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------------|---------------|-------------|
| 1 社会福祉法人 | 2 医療法人(社団・財団) | 3 株式会社・有限会社 |
| 4 特定非営利活動法人(NPO) | 5 組合 | 6 その他() |

問2 貴事業所における介護サービスに関わる従業員数はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1 5人未満 | 2 5～9人 | 3 10～19人 |
| 4 20～49人 | 5 50人以上 | |

問3 問2の従業員数のうち、非常勤職員の割合はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 10%未満 | 2 10～30%未満 | 3 30～50%未満 |
| 4 50～70%未満 | 5 70～90%未満 | 6 90%以上 |

問4 昨年度の事業の採算について、お差支えなければお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1 大幅な黒字 | 2 やや黒字 | 3 損益なし |
| 4 やや赤字 | 5 大幅な赤字 | |

問5 昨年度の事業の採算について、当初の見込みと比較すると、どのような状況ですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 大幅に上回った ⇒ 問5-1へ | 2 やや上回った ⇒ 問5-1へ |
| 3 見込みどおり ⇒ 問6へ | |
| 4 やや下回った ⇒ 問5-2へ | 5 大幅に下回った ⇒ 問5-2へ |

問5で「1」または「2」を選んだ方のみ

問5-1 上回った理由について、どうお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 一定以上の利用者数を確保できたため |
| 2. 利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため |
| 3. 人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため |
| 4. 介護報酬収入以外の事業収入が得られたため |
| 5. 介護報酬が改定されたため |
| 6. その他(具体的に:) |

問5で「4」または「5」を選んだ方のみ

問5-2 下回った理由について、どうお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 当初見込んだ利用者数を確保できなかったため |
| 2. 当初見込んだ利用者1人当たりのサービス量を確保できなかったため |
| 3. 人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため |
| 4. 介護報酬収入以外の事業収入が得られなかったため |
| 5. 介護報酬が改定されたため |
| 6. その他(具体的に: _____) |

問6 円滑な事業運営を進めていく上で、困難を感じることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 従事者の確保 | 2 利用者の確保 |
| 3 事務作業 | 4 施設・設備の整備 |
| 5 必要な情報の入手 | 6 従事者の資質向上 |
| 7 利用者や家族の理解 | 8 医療機関との連携 |
| 9 その他(_____) | 10 特にない |

問7 これまでに、利用者本人やその家族から以下のような苦情を受けたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|---------------|---------|
| 1 サービス内容 | 2 利用手続き | 3 職員の態度 |
| 4 施設の設備 | 5 介護保険外の利用負担 | |
| 6 その他(_____) | 7 苦情を受けたことはない | |

問8 苦情について、どのような取り組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 苦情窓口への相談員の配置 | 2 利用者等との話しあいの場の設置 |
| 3 ケース検討会等の開催 | 4 苦情・相談内容の蓄積や分析 |
| 5 苦情・相談対応マニュアルの作成 | 6 苦情・相談対応状況の情報公開 |
| 7 その他(_____) | 8 特にない |

問9 職員の研修や講習会等への参加を実施または支援していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 十分に実施・支援している | 2 ある程度は実施・支援している |
| 3 あまり実施・支援していない | 4 まったく実施・支援していない |

問10 貴事業所における介護サービスに関わる従業員の退職者は、年間でどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 1 いない | 2 1~2人 | 3 3~5人 |
| 4 6~9人 | 5 10人以上 | |

問11 サービスの質の向上に向けた、貴事業所での課題や取り組みとしてあげられること
をお答えください。(重要度の高いもの3つまでに○)

1. 従業員への経営理念の周知徹底	2. 職場内での人材育成・教育の充実
3. 専門職の確保	4. 利用者にわかりやすい契約書の工夫
5. 利用者の納得と意思の尊重	6. 苦情処理対応
7. サービスの自己評価の取り組み	8. 従業員の労働条件
9. 医療機関との連携	10. 家族等介護者とのつながり
11. 事業所の施設・設備の充実	
12. その他(具体的に)	

[]

問12 貴事業所の実施しているサービスの提供体制についてお答えください。
(現在実施中のものに○、該当するサービスの提供体制について1か2に○)

サービスの種類	現在 実施中 のもの に○	川口市内の利用者に対する サービス提供体制	
		さらに利用者の 受け入れが可能	利用者を増やす ことは困難
1 居宅介護支援		1	2
2 訪問介護		1	2
3 訪問入浴介護		1	2
4 訪問看護		1	2
5 訪問リハビリテーション		1	2
6 居宅療養管理指導		1	2
7 通所介護		1	2
8 通所リハビリテーション		1	2
9 短期入所生活介護		1	2
10 短期入所療養介護		1	2
11 福祉用具貸与		1	2
12 福祉用具販売		1	2
13 認知症対応型通所介護		1	2
14 小規模多機能型居宅介護		1	2
15 認知症対応型共同生活介護		1	2
16 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		1	2
17 地域密着型特定施設入居者生活介護		1	2
18 介護老人福祉施設		1	2
19 介護老人保健施設		1	2
20 特定施設入居者生活介護		1	2
21 介護保険事業以外の高齢者向け事業		1	2

問16 貴事業所では、利用者を含め市民に対して、どのような情報を提供していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 実施している介護サービスの種類や特徴 2. 介護サービスの質の向上への取り組み内容 3. 介護サービス提供内容等に関する自己評価 4. 介護サービス利用者による事業所の評価 5. 専門知識を持つ第三者による事業所の評価 6. 事業所の運営体制 7. 事業所の経営状況 8. その他 () |
|--|

問17 貴事業所では、介護報酬や指定基準などの解釈に疑問があった場合、どのように対応していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係書籍（『介護報酬の解釈』など）で調べる 2. 運営会社のスタッフなどに問い合わせる 3. インターネットで調べる 4. 厚生労働省の通知やQ & Aで調べる 5. 県や市に問い合わせる 6. 事業所間で情報交換する 7. その他 () |
|---|

川口市では、団塊の世代が75歳以上になる2025年(平成37年)に向けて、高齢者が住みなれた地域で暮らしていけるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援などのサービスが一体的に提供されるようにするため、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。以下その地域包括ケアシステムの構築について質問します。

問18-1 国が進める地域包括ケアシステムについて、どのようなイメージを持っていますか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 概念だけで具体的な中身が良くわからない 2. 理想どおりに実現できるか疑問である 3. 地域包括ケアシステムについて知らない・わからない 4. その他 () |
|---|

問18-2 地域包括ケアシステムを構築するために、今後より重要となるものは何だと思
いますか。(2つまでに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 事業所間の連携 | 2. 医療機関との連携 |
| 3. 地域との連携 | 4. 地域包括支援センターとの連携 |
| 5. 社会福祉協議会との連携 | 6. わからない |
| 7. その他() | |

問18-3 貴事業所では、他の事業所との連携はできていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 十分にできている | 2. ある程度はできている |
| 3. あまりできていない | 4. まったくできていない |

問18-3で「3」または「4」を選んだ方のみ

問18-4 他事業所との連携ができていない具体的な理由をお書きください。

問18-5 貴事業所では、医療機関との連携はできていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 十分にできている | 2. ある程度はできている |
| 3. あまりできていない | 4. まったくできていない |

問18-5で「3」または「4」を選んだ方のみ

問18-6 医療機関との連携ができていない具体的な理由をお書きください。

川口市
第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定に係る高齢者等実態調査
調査結果報告書

発行日：平成26年3月

発行：川口市

編集：川口市役所 長寿支援課／介護保険課

住所：〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号

電話：048-258-1110（代表）